

終戦直後の満州と三井物産奉天支店

—香川卓一日記の翻刻と紹介—

大窪有太・吉田ますみ

目次

1. はじめに
「故小野氏書類」の発見
香川日記の概要
香川卓一と小野碩介の経歴
2. 研究史における香川日記
戦後満州と日記史料
多様な体験
3. 香川日記の背景と三井物産奉天支店
ソ連参戦・引揚政策・居留民
満関地域における奉天支店
4. 内容紹介
ソ連軍侵攻下の三井物産奉天支店
占領下の三井物産奉天支店
日記の終焉と内地への目線

1. はじめに

本稿では、1945年8月の終戦時に旧三井物産⁽¹⁾（以下、三井物産）奉天⁽²⁾支店農場長であった香川卓一が残した日記帳2冊（以下、香川日記）を紹介、翻刻する。文字数にして約14万字という、長大な戦後満州⁽³⁾の記録である。一部個人情報が含まれるが、広く公益に資する貴重資料と判断し、公開を決めた。以下、すべて敬称は略した。

「故小野氏書類」の発見 香川日記は、三井文庫が1987年に三井物産精算人から受け入れた戦時・戦後の三井物産関連史料（2024年中に公開予定）の中から発見された。吉田の科研費プロジェクト「帝国の戦後処理と企業財産に関する基礎的

研究」(22K13215)のもと史料整理にあっていた大窪より翻刻が提案され、本稿に至った。日記は「故小野氏書類（大連関係、不動産処分関係等）」と書かれた厚紙とともに麻紐でまとめられた一連の史料に含まれており、「小野氏」とは終戦時に三井物産奉天支店長であった小野碩介を指す（小野の経歴については後述）。厚紙には「三井物産株式会社 総務部」の印が押されており、小野が戦後に三井物産総務部に在籍していた関係で、会社の資料として総務部が保管していたものと思われる。「故小野氏書類」のまとまりには、①表紙に「三井物産社有不動産関係」と書かれ書類が一括されたファイル、②題名等がなく奉天支店に関する戦後処理関係の書類が一括されたファイル（以下、「奉天支店戦後処理ファイル」とする）、③A4サイズの日記帳、の三点が含まれ、更に日記帳には、③-a.「財産清冊」と書かれた書類、③-b. 表紙に「雑記帳 小野碩介」と書かれたB5サイズのメモ帳、③-c. B4サイズの日記帳、の三点が挟まれている。なお、前述の厚紙には「大連関係」とあるが該当すると思われる史料は見られず、三井文庫が受け入れる以前の段階で散逸した可能性が考えられる。

①には、1949年頃に作成された国内不動産関係の書類がまとめられており、奉天支店や引揚との直接的な関係は見出し難い。おそらく、戦後に小野が新たに担当した業務関連のものと思われる。③-a. は、表紙に「東北敵偽事業資産統一接収委員会遼寧省分会物資組」の印が押されており、民国35（1946）年4月21日付で三井物産倉庫から接収された物品のリストと思われる。③-b. は、表紙の通り奉天において小野が使用したメモ帳と思われ、日付ごとの遣送（引揚）人数の記録が残されているほか、民国35年6月29日付の遣送計画の通達書が挟まれている。以上の三点は、内容、時期の関係から本稿では特に触れない。②「奉天支店戦後処理ファイル」に収められた書類の内容⁽⁴⁾は本稿の翻刻には含まれないが、以下、本解題において適宜引用する。

香川日記の概要 香川日記は、③-c. のB4サイズ日記帳（日記帳Ⅰとする）と③のA4サイズ日記帳（日記帳Ⅱとする）から構成され、日記帳Ⅰには1945（昭和20）年8月7日～10月26日分が、日記帳Ⅱには同10月27日～1946（昭和21）年2月3日分が記録されている（日記帳Ⅰは最終ページまで使用されている）。それぞれの外観と中身の状態については本誌口絵を参照いただきたい。記述は全部で14万字におよび、管見の限り、満州残留中に記録された日記としては異例の分量である。香川はなぜこれだけの記録を残したのだろうか。

冒頭に記された「序言」の内容から、香川は出張先の克山でソ連参戦を知り8月14日に奉天に戻ったのち、遡るかたちで8月7日から日記の記録を開始したものと考えられる。また、8月23日に一度記したあと取り消し線が引かれた部分の内容が、同24、27日に記載されていることから、日記は数日分をまとめて記録さ

れることがあったと分かる。

注意を要するのは、「序言」部分が内容からして明らかに、少なくとも日記帳Ⅰを最後まで書き終えた後に記入されている点である。各頁上部に印字されている頁数（位置の乱れもほとんどなく日記帳に最初から備わっていたものと考えられる）でいうと、「序言」は2頁、日記がはじまるのは6頁である。可能性としては、別のノート等に記入していた日々の記録を日記帳Ⅰに書き写すにあたり「序言」を付したことも考えられるが、前述のように日記中にはまとまった取り消し線が残っていることから、日記帳Ⅰは写でなく原本であり、6頁から書いていた日記が最終頁まで至った後に空いていた（空けていた）冒頭頁に「序言」を記したと考えたほうが自然である。

そして、「序言」があとから（早くて日記帳Ⅰを終えた10月下旬、遅くとも日記帳Ⅱが終わる2月上旬）書き足されたであろうことは、香川が日記を記録し続けた目的を考える上で重要となる。「序言」の末尾には「香川個人ノ近況ヲ伝フルトコロ多キモ〔中略〕後日ノタメ書続クル次第ナリ」という言葉が見られ、日記がいづれ他者に読まれることを香川が期待していたことは確かである。ただ、たとえば三井物産の奉天社会における活躍や小野支店長の「名声」を伝えるといった明確な目的を持っていたとは言い難い。「序言」にあるように、また実際に日記の起点がそうであるように、香川が日記の記録を開始したきっかけは、克山から奉天までのソ連軍からの逃避行の経験である。また、日記に記されているのは奉天支店の動向のみに限られず、街の治安、避難してきた開拓民の姿、ラジオの情報、食料品物価など非常に広範である。8月9日の日ソ開戦により突然香川を、満州を襲った暴力と混乱、そしてその対応をまずは記録することを、香川は目指したのであろう。「序言」に見られる小野の評価への配慮は、むしろ目的を持たずに日記を書いたことの現れでもある。もちろん、記述に香川個人の主観が含まれていることは言うまでもなく、香川が無意識に見落としていること、また敢えて記録していない出来事も多くあろう。これ以上の史料批判は、これから日記を読む方々に委ねたい。

さて、約半年の間、日記はほぼ欠かすことなく記録されるが、前述のように1946年2月3日に突然終わりを迎える。戦後の小野の書状によると、2月5日、香川は満州各地の実状および社員の安否を東京の本店に報告するため、小野の命により大連経由で帰国すべく奉天を出発したが、この「所謂密航計画」は大連でのソ連、中国官憲の取り締まりにより失敗する。香川はそのまま大連で生活したのち、1947年4月頃に一般引揚者として帰国したという⁽⁵⁾。日記は香川が奉天を離れる際に小野支店長の手元に残され、香川の元に戻ることはなかったと思われる。香川日記が1946年2月3日で終わっているのは以上の事情による（香川が奉天を発つに至るまでの経緯は後述）。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

香川卓一と小野碩介の経歴 香川卓一⁽⁶⁾は、1904（明治37）年10月5日生まれ、東京都出身。1928（昭和3）年に慶應義塾大学経済学部を卒業し、同年7月1日に三井物産機械部での勤務を開始した。その後、営業部、サンフランシスコ支店（雑貨課長）勤務を経て、1942（昭和17）年に神戸支店の穀肥課長に就任した（なお、サンフランシスコ支店在勤中に日米開戦を迎え、モンタナ州ミズーラにあるアメリカ陸軍駐屯地（Fort Missoula）に建てられた収容所に収容されている⁽⁷⁾）。その後、日記「序言」にあるように三井物産を退社し「一個ノ農業者トシテ立チタルガ」失敗、奉天支店の農場長⁽⁸⁾として三井物産に復帰した。神戸支店穀肥課長時代に、後述のように当時本社穀脂部長であった小野と面識があった可能性はあるが、奉天支店に参加した経緯は不明である。終戦当時は40歳。戦後は東京日本橋に化学工業薬品を扱う株式会社メトロ商会を設立し、香川が社長を、高橋要之助（日記にも頻出）が常務を務めた。戦後の香川と三井物産の関係は不明である。引揚げ直後の1947年7月前後、香川は井舟瑞芳ほか4名に特別慰労金としてそれぞれ2,000円を支給するよう三井物産本店人事部長に申請している⁽⁹⁾が、現時点ではこれ以上のことは判明していない。

小野碩介⁽¹⁰⁾は、1894（明治27）年11月7日生まれ、岡山県倉敷市出身。1919（大正8）年に東京帝国大学法学部政治学科を卒業し、同年11月1日より三井物産穀肥部に勤務。その後、穀肥部大連支部、穀物掛主任、大連支店大豆掛主任、大連支店長代理、東京営業部長代理、穀物油脂部長代理、同部長などを経て1945年（昭和20）年5月に奉天支店長に任じられた。入社以来穀肥畑を歩んできた小野が奉天支店長に選ばれた理由は、前支店長・新関八洲太郎の経営構想にあると思われる。新関は、奉天における大農場経営と、トラクターなどの土木機械の製造、栽培した馬鈴薯などを原料とするアルコール製造を有機的に関連づけた事業を展開することを試みた⁽¹¹⁾。小野は有機肥糧配給会社取締役⁽¹²⁾、帝国油糧統制会社取締役⁽¹³⁾、日本飼料統制会社取締役⁽¹⁴⁾といった国内の統制会社の重役も務めており、知識や人脈の点から適任と思われるのであろう。終戦当時は50歳で、香川とはちょうど10歳差になる。小野は1946年8月2日に北奉天駅を出発し、葫蘆島から三井船舶の船に乗り、舞鶴を経て8月17日に東京に到着している⁽¹⁵⁾。戦後は三井物産査査部参与、総務部副部長のほか、三井物産が第二会社として設立した日東倉庫建物の常務を務めた⁽¹⁶⁾。

以上が香川日記に関する基本的な情報である。これらを踏まえた上で、研究史における香川日記の位置づけと概要を以下述べておきたい。

2. 研究史における香川日記

戦後満州と日記史料 終戦時に満州に居住しており、引揚げまで一定期間残留し

ていた日本人（引揚者）による記録資料のなかで、香川日記はどのように位置づけられるだろうか⁽¹⁷⁾。

まず、引揚者やシベリア抑留者の記録、記憶については、主に後年に記された当事者たちの手記や引揚者団体が編纂した書籍というかたちで残されてきた。これらはもちろん、部分的には残留・引揚げ当時の史料を材料として記述されているが、回想という性格を完全に払拭することは難しく、事後的に再構築された記憶、あるいは冷戦期には特定のイデオロギー、つまり「反共」が（本人の自覚の有無に係わらず）、記述に投影されていることを考慮せざるを得ない。引揚者団体が終戦史を編纂・刊行したのは1960年代以降であり、個々の引揚者がその体験を語りはじめたのは引揚げから15年以上が経過した1970年代以降であった。戦後の語り手たちが記した残留生活や引揚げの様子について客観的事実の部分とそうでない部分を判別することは困難であり、回想記録には事実を把握する上での限界があることは否定できない⁽¹⁸⁾。なお、引揚者が長く沈黙していた背景には、生々しい記憶を抱えながら他人に経験を語るということがおそらく誰にも困難であったこと、また戦後直後の日本社会には引揚者への反発が存在し、引揚げを語ることがタブー視されていたことがある⁽¹⁹⁾。

このように残留、引揚生活を伝えるのが多くは回想記録であるために、戦後満州研究は歴史学と社会学である種の分業が行われてきた。つまり、史料批判＝「史料がどれだけ信用できるかを検証する作業⁽²⁰⁾」を基本としながら客観的な史実の把握を目指す（狭義の）歴史学では、公文書や政治家の私文書を利用しながら⁽²¹⁾、引揚げ実施に至るまでの米ソ中の国際政治情勢や、GHQ、日本政府の対応、その後の補償問題、引揚者の戦後経験に関する研究が先行し、戦後満州社会については主に社会学ないし歴史社会学の領域で、「人の移動」としての引揚げや、記憶の表象の諸相と意味が精力的に論じられてきた⁽²²⁾。

このような研究状況を部分的に規定してきた回想記録という史料に対し、日記史料は事後的なバイアスが介入する余地がないという点において、全く性格が異なる。しかし、書籍、音声、映像など様々なかたちでパブリックかつ膨大に残された回想記録に比して、広くアクセスが可能な日記史料の数は圧倒的に少なく、そのために戦後満州に関する歴史学研究は上記のような限界を有していた。日記史料の発見が、戦後満州研究を率いてきた社会学にとっても、史料的限界のもとにあった歴史学にとっても、意味があることは認められるであろう。

ただ、「少なく」と言ったように、日記史料が全く発見されてこなかったわけではない。最も早い時期に世に出た日記として、作家・榎本捨三ものがあり⁽²³⁾、敗戦後に昌図（新京と奉天の中間に位置する）に残留したときの記録である。「多少改定補足はしたが文章も出来るだけ原文を重んじた」（199頁）と説明されている。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

その後、茂木弘毅（元満洲国興安総省参事官）の日記が1979年に遺族の自費出版により刊行されている⁽²⁴⁾。その他、回想記録において本人の日記が参照されていることはあるものの⁽²⁵⁾、やはり管見の限り残留中の日記原文の翻刻・刊行は多くない。

こうしたなか、満州経験者への聴き取りや資料収集・整理とそれらに基づいた研究成果を発信している「満洲の記憶」研究会の面々は、2016年に朝鮮・新義州からの引揚記録「石崎操日記」を翻刻した⁽²⁶⁾のに続き、2022年、『崩壊と復興の時代―戦後満洲日本人日記集』（東方書店）を刊行した⁽²⁷⁾。同書には満鉄理事・八木聞一（新京、1945.8～1946.10、約5万字）、満州日報記者・安部誠子（長春・安東、1945.1～1946.7、約8万8000字）、農事試験場技師／主婦・池田寶／雪江（公主嶺、1945.8～1947.10、約3万字）、満州製鉄東辺道支社副社長・渡部通業（東通化、1945.7～1946.10、約2万8000字）の日記が収録されている。詳細は同書の解題に譲るが、香川日記との関係で言えば、満鉄重役・八木の日記には、満州重工業開発株式会社（満業）総裁・高崎達之助のもとでソ連軍や国民政府との折衝、日本人会の運営、引揚支援を行う様子が記録されており、一部、香川日記と類似した性格を持つ。他方で、新京（八木）、奉天（香川）という満洲国二大都市の終戦後の状況が全く同じだったわけではない（後述）。また、八木の日記『長春日僑生活誌抄』はその名の通り日記の原本から一部を書き写したものであり、筆写した満蒙同胞援護会による記述の取捨選択や写し間違いが含まれる可能性がある⁽²⁸⁾。その他、1957年に刊行された満洲製鉄鉄友会編『鉄都鞍山の回顧』⁽²⁹⁾は、元満洲製鉄総務部庶務課長安田一郎氏の「終戦後引揚まで」という日誌から奉天に近い鞍山における出来事を年表形式で抜粋しており、奉天に関する事項も記録されている。

既に公開されているこうした貴重な日記史料も、香川日記の発見により新しい読み方が可能となるかもしれない。

多様な体験 回想記録や終戦史の記述のなかでも在満日本人の戦後体験として長らく注目されてきたのは、関東軍による根こそぎ動員で壮年男性がほとんどいない状態でソ連軍の侵攻を迎えた「満蒙開拓団」の女性、子ども、老人たちの集団自決や中国残留（中国残留日本人、残留孤児）に代表されるような悲劇性であった。このようなある種ステレオタイプ化した満州の見方に対して、戦後体験はもっと多様なのではないかと指摘したのが加藤聖文である。北満の農村に居住していた開拓団が日ソ開戦直後から戦場に巻き込まれたのに対し、新京や奉天といった中央平原の都市部の商工業者、官吏、社員はソ連軍の侵攻時というよりも、その後の統治において暴行や強制使役の被害を受けた。さらにその中でも、技術者らは留用を経験している⁽³⁰⁾。加藤は、戦後満州に残された人々を「居留民」、「非定住者」、「開拓団」の三つにグループ分けをした。それぞれのグループは生活基盤の場所（内地

or 満州) や居住地 (農村 or 都市) によって、満州との物質的 (土地や家屋を所有するか)、歴史的・意識的 (いつから満州に居住しているか、特に満州事変の前／後) つながりに濃淡があり、ゆえにその戦後経験は主観的にも異なってくるという⁽³¹⁾。

以上の問題提起を踏まえると、香川日記の特徴が浮かび上がってくる。つまり、日記は①大都市奉天の経験、②三井物産社員の経験、という二点において、ステレオタイプ化した戦後満州経験とはやや異なるのである。①については新京市との比較を念頭においている。満州での経験を語る際に、都市部・農村部 (開拓団) 間はもちろん、都市間、職種間でも強調される内容や記憶している事項が異なることは指摘されている⁽³²⁾が、実際の当時の状況はどの程度、どのように異なっていたのか。この点、奉天と新京の関係で言えば、新京で居留民指導と引揚活動を率いた満業総裁・高碓達之助⁽³³⁾の活躍が知られているように、戦後満州の都市部については奉天より新京が目されてきた感がある。しかし、1942年月末時点で新京市の総人口は863,607人 (日本内地人は153,614人)、奉天市の総人口は1,890,694人 (日本内地人152,239人) で⁽³⁴⁾、総人口でいえば満州国最大の都市は首都・新京でなく奉天であった。日本人人口は新京、奉天の間に大差はないが、終戦後の日本人を取り巻く状況は長く日本支配の抑圧を受けてきた朝鮮人や満族・漢族 (合わせて「満人」) の人々らの数にも左右されたことは容易に想像できる。また日本人については、終戦後の避難民の流入は新京市のほうが多かったようであるが⁽³⁵⁾、1946年5月 (または3月) 時点の日本人人口は新京市206,000人、奉天市235,000人となお奉天が最多である⁽³⁶⁾。しかしながら、前述のように引揚研究において奉天が注目されることはこれまで多くなかったように思われる。1946年4月に国民政府軍が奉天に進駐すると日本人管理と引揚げ活動の中心地は新京から奉天に移るが、終戦後の奉天については今なお1962年刊行の満蒙同胞援護会編『満蒙終戦史』、あるいは1976年刊行の福田實『満洲奉天日本人史』がほとんど唯一の文献である。『満蒙終戦史』は膨大な史料をもとに執筆されているが、情報が不正確であること、章によって日付やデータが大きく異なることが既に指摘されている⁽³⁷⁾。加えて日本人やソ連兵、中国共産党軍、国民政府軍の描写が極端になる箇所が少なくなく、何かしらのバイアスがかかっているのは確かである。たとえば、同書には終戦から9月までの奉天の日本人は「すべてが自信を失い、茫然自失の形であった⁽³⁸⁾」と記述されているが、これは、香川日記に見られる、8月16日から治安が極度に悪化するなか食糧確保と分配に奔走する奉天支店員たちの姿や、食糧管理によって公安局と良好な関係を築く香川の積極的な行動とは必ずしも一致しない。おそらく、ソ連兵の描き方には冷戦の緊張度が極度に高まっていた (刊行はキューバ危機の年) という編纂時の時代状況が、日本人の描き方には本書が「日本民族大陸発展の

終幕史」、「日本人民族残虐物語」、「満洲国壊滅史」として執筆されたこと⁽³⁹⁾が背景にある。本来複雑であった戦後満州の状況は、やや単純化された人物描写や対立構図に収斂され、『満蒙終焉史』は『日本』というナショナルな共同体にとっての〈物語〉⁽⁴⁰⁾となったのである。『満洲奉天日本人史』は、戦前部分は雑誌や統計など同時代史料を利用して描かれているが、終戦以降の部分は『満蒙終焉史』以上に満洲国肯定と侵略の否定を前面に押しだした『満洲国史』⁽⁴¹⁾や、回想録、座談会に基づいて執筆されている。このように、終戦時の最大都市・奉天の実相は十分に明らかになっているとは言えず、香川日記によってある程度の実態の把握と、新京をはじめとする他の都市部との比較が可能になると考えられる。

②三井物産社員の経験としての香川日記の特徴は、本文を読めばすぐに気づくだろう。資本（現金）、資源（建物、食糧、広範な人脈）を有する三井物産奉天支店はソ連や中国共産党軍、国民政府軍に注目され、支店幹部は彼らとの折衝にあたりながら、支店構成員の家族や各地から避難してくる関係者のための食糧の確保・分配、居住割当などに奔走した。都市部の大企業に勤めた彼らは一般的な避難民、居留民とは戦後満州社会における立ち位置や視点が全く異なるが、同時に、居留民指導と引揚活動を率いた満業総裁・高碓達之助のような最上層の指導者とも、おそらくそれは重ならない。

以上、戦後満州に関する研究史、史料状況を踏まえて香川日記の位置づけを例示した。次に、香川日記が書かれた状況について基本的な解説と、日記内容の概要を記す。なお本解題および日記に登場する満州の地名については付図1を適宜参照されたい。

3. 香川日記の背景と三井物産奉天支店

ソ連参戦・引揚政策・居留民 前述の通り、香川が日記を書くことを決めたのは1945年8月9日のソ連の対日参戦と、混乱と恐怖のなかの逃避行の経験であった。8月8日夜の対日参戦宣告ののち、香川がいた北安方面には第二極東方面軍が、新京、奉天のある中央平原には大興安嶺山脈を越えたザバイカル方面軍が進攻し、そのうちコワリョフ軍が新京を占領したのち四平を経て奉天へと進んだ⁽⁴²⁾。こうして満州各地を占領したソ連軍が日系工場設備や資材を次々に搬出し⁽⁴³⁾、市民への略奪、暴行、強姦を繰り返した⁽⁴⁴⁾ほか、武装解除された日本軍人や民間人をソ連国内へ連行し強制労働に従事させたこと（いわゆるシベリア抑留など）は広く知られている。

こうした状況におかれた満州の人々は、すぐに内地に引き揚げることはできなかった⁽⁴⁵⁾。連合国への降伏直後、日本政府は雇用問題、食糧不足、船腹不足から満州や占領地に残された日本人を原則として現地に定着させる方針を採った。閣議に

において満州の治安悪化と早期引揚げの必要が認められた後も、日本政府は引揚げ実行の手段を持たず、現地定着方針を維持せざるを得なかった。事態を打開したのは1945年12月、アメリカによる日本人の送還実施発表である。これは米、ソ、中共、国民党の高度な国際政治の中で生まれたアメリカの戦略的政策であったが、ともかくこの発表ののちアメリカ船舶の大規模貸与や国民政府の協力のもと日本人の引揚げが急ピッチで進展した。ソ連軍が1946年3月14日に奉天から撤退すると、国民政府は奉天を行政の拠点として日本人管理、遣送（引揚）の体制を整えた。こうして5月から10月にかけて100万人以上の在満日本人が引き揚げ、小野の帰国はこの流れの中に位置づけられる。香川が帰国した1947年は、満州からの引揚者は約3万人であった。当初の現地定着方針を思えば、急展開ののち終戦から2年前後という比較的早期に実施された日本人引揚であるが、残留日本人にとって満州での生活は決して短い期間ではなかった。

やや時間が戻るが、既に在満日本人の悲惨な状況が日本に伝わっていた1945年9月5日、ソ連軍によって関東軍総司令部が解体された。これは、居留民保護を担う日本側代表機関が消滅したことを意味する。日本政府は複数のチャンネルからソ連に対して在満日本人の保護を要請したが、ソ連は彼ら彼女らを「一方的二処理」することを通告してきた⁽⁴⁶⁾。こうしてソ連侵攻時に満州にいた132万人の日本人⁽⁴⁷⁾は、現地定着を方針とする日本政府のもと引揚げができないまま、武器を持ったソ連軍の前にさらされた。香川日記からは、ソ連兵や暴徒からの暴行、収奪が日常的であったことが分かる。香川が他の支店員たちと住んでいた清友荘の隣の「峰氏」宅は、終戦から2か月の間に14回の襲撃を受けており、そのたびに主人が心身ともに弱っていく様子が継続的に書かれている。

なお、終戦後の満州における軍隊や政治主体はソ連軍だけではなかった。いち早く満州を占領したソ連（スターリン）に対し、中国共産党（延安・毛沢東）、国民政府（重慶・蒋介石）はいずれもソ連撤退後の東北の掌握を望んだ。しかし、スターリン、毛沢東、蒋介石の関係は静的な協力／対立構図では捉えられず、アメリカの動向を睨みながら常に牽制を重ねていた⁽⁴⁸⁾。香川日記において、ソ連軍、中国共産党軍（八路軍、新四軍）、国民政府軍の到来、撤退に人々が翻弄されていたり、民会幹部層や企業重役が「八路か重慶か」と議論していたりするのにはこのような背景がある。

日記には上記のような大局的軍事、政治状況のなかで奉天の人々が具体的にどのような生き残った、あるいは生き残れなかったかが記されている。なお奉天市街図（付図2）に日記中に登場する建物、通りなどを出来る限り示した。位置関係を把握したい場合、適宜参照されたい。

満開地域における奉天支店 1876（明治9）年7月に開業した三井物産⁽⁴⁹⁾は、

日露戦争後に中国東北部への進出を加速させた⁽⁵⁰⁾。その流れのなかで、1906（明治39）年5月（翌月には奉天総領事館が開設）、牛莊（營口）支店の出張員として奉天に人員を配置したのが三井物産の奉天進出の嚆矢である。その後、1909（明治42）年に奉天出張所を設置（以後、管轄は何度か変更）、1938（昭和13）年6月に出張所を支店に昇格させた⁽⁵¹⁾。時期によって異なるが、満関（満州・関東州）地域には他に新京支店、哈爾濱支店、大連支店が置かれ、それぞれの管轄下に複数の出張所が置かれた。また、三井本社（三井の統轄機関）は満州に多数の傘下企業を有し（付図3）、各支店はこうした関連会社とも連携して事業を運営、拡大した⁽⁵²⁾。香川日記でも関連会社の人々が奉天支店を訪れる様子が多数描かれている。また、こうした連絡網から同支店には終戦直後から各地の情報が集まり、「年末〔1945年末—引用者注〕ニハ略々全満各店ノ実情ヲ詳知スルニ至⁽⁵³⁾」っていたことは、香川日記に記録された各地情勢からも判明するところである。

人員ついて言えば、終戦時（1945年9月末）には三井物産の従業員（嘱託、応募者を含む）4,474人のうち、満関地域には251人が勤務していた（内地2,683人）⁽⁵⁴⁾。ただし、この数字には雇員や女性職員、現地採用の朝鮮人、中国人はおそらく含まれておらず、実際に働いていた人の数はこれよりも遥かに多かったものと思われる。1942年6月の時点では奉天支店だけで301名を支店人員として数えている⁽⁵⁵⁾。

本解題末尾に、終戦時の三井物産奉天支店および近郊支店の人員一覧（付表1）を掲載した。同表は三井物産の職員録および社報をもとに作成したが、雇員の人事情報はそのどちらにも掲載されない。そのため、「奉天支店戦後処理ファイル」に残されていた奉天支店雇員一覧を付表2として掲載した。終戦時に奉天支店に所属した人々を完全に網羅しているとは言えない（どちらにも女性従業員は含まれない）が、香川日記における人名比定等の参考にさせていただきたい。また奉天支店は終戦直後から、彼ら彼女らおよびその家族を支店が所有する社宅に収容した。日記内にも各人の所在を示す表が書かれているが、かなり流動的だったようで、付表4-1に各社宅の概要を、付表4-2に既に香川が奉天を離れていた1945年3月末時点の収容状況を参考として示しておく。

さて、終戦後の混乱のなかで奉天支店はどのような役割を担ったであろうか。以下、香川日記および冒頭で紹介した「奉天支店戦後処理ファイル」に残された史料から少し述べておく。

終戦時点で奉天支店がどれだけの預金および現金を所有していたのかは明らかでない（香川日記では通貨単位が記されていないが、満銀券＝満州国円と判断した⁽⁵⁶⁾）。ただ、支店員たちの俸給等を現金で払うにあたり1ヶ月3万円の経費を想定した上で少なくとも6ヶ月分を見通している（合計18万円）ことから（香川日

記9/16)、ある程度まとまった額の現金を所有していたものと推測できる。哈爾賓支店は終戦時に33万5,000円の現金を所有していた(10/31)が、奉天支店のほうが規模は大きいので、それ以上であったことは確かであろう。ただし、上記の6ヶ月18万円という数字はあくまで「各自ノ生活ヲ最低限度ニ引下ゲ」ることが前提にあり(9/22)、支店員やその家族を十分に支える余裕があったわけではない。

付表3として掲載した薄井繁次(奉天支店会計担当)作成の収支表では、9月12日時点で30万円の現金が手元にあったようである(9/12、9/13も参照)。各銀行は終戦直後に閉鎖され(8/20)預金引出しが不可能だったため、奉天支店の預金が使えなかったのはもちろん、三井物産からの支援を受けることも出来ず、奉天支店は満関地域を監督する高見に「貴方ハ貴方デ賄フ様ニスルコト」との指示を受けた(9/22)。新京にいた手塚庄三郎(三井物産満関監督附か)は小野に宛てた書状で、横浜正金銀行、満州興業銀行の預金者から東京で返還することを条件に借入れることで「当分持チコタヘルデセウカ」と不安そうに漏らしている(9/25)。加えて個人、企業ともに日常的にソ連軍から現金を強奪され、さらに通貨が安定しないなかでインフレは加速した。12月には「[奉天支店の]手許ハ相当以上逼迫」し、1月から従業員の基本給を半分に減額することが決定されている(12/11)。

このように逼迫した状況で、奉天支店は特に関連会社の支援のために「資金調達ニ奔走」している(10/4)。「当社名義乃至保証ニ依ル借入金ノ依頼ハ方ヨリ来ルガ、平素ノ干係モ有リ一概ニ断ル訳ニモ不參」という事情があった(10/21)。当初は従業員への退職金、生活資金供給を目的とした借入依頼が多かったが、日記後半では事業融資としての借入依頼も増える。順番が前後するが、小野が作成した奉天支店の貸付先・金額一覧表を**付表6**として掲載した。奉天支店は支店員の生活支援だけでなく、満州に残された関連企業の支援も行ったといえよう。他方で、支出を減らすための支店員整理も行われており、真っ先に解雇されたのは女性従業員たちであった(11/1、1/27)。

また、奉天支店は資金の貸付のみを一面的に行っていたわけではなく、外部からの借入も行っている。10月4日の時点で「日本払条件ノ借入金」を得ていた、あるいは得ようとしており(10/4)、手元現金が底をつきつつあった12月上旬には、借入金の上限を借入先ひとつあたり50万円に引き上げた(12/11)。こうした借入金は「円円パー」であったようである(11/13)。ただ、香川日記ではその詳細は明らかにされていない。奉天支店への借入依頼、貸付実績は細かく記録されているが、誰から、どれだけの借入金を得たのかは記されていない(1/13「某氏」)。**付表5**に戦後、三井物産整理部が作成した「恩借金」=借入金の一覧を示した。これによると奉天支店は9つの借入先から合計115万円を借用しており、これは三井物産海外支店の借入金総額約592万円の22%にあたる。総額としては新京支店ほどこ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

はないが、新京支店が小口での借入が多かったのに対し、奉天支店の9つはいずれも大口借入であることが極めて特徴的である。ただ、こうした借入金戦後返済されたのかは不明で、1946年9月の本店整理部は、借入金については総額の一割程度の見舞金、謝礼金を支払い、その代わり債権については放棄してもらえないかと考えている⁽⁵⁷⁾。借入先からの返済依頼も、「奉天支店戦後処理ファイル」に残された史料の限りでは断っていたようである。

日記には、ソ連軍将校や中国官憲を除くと、340人余の名前が登場する（無論、名前を記されず「妻」「母」「長男」「大工」「満系」「鮮系」といった一般名詞で表現される人々もあり、日記のなかに生きる人間の数はそれ以上である）。我々は満州に残された旧日本帝国の人々について、とかく数字でその存在を強調しがちである。しかし同時に、その数字のなかには名前を持った一人ひとりの生活が、人生が、たしかに存在していたことを本日記の公開によって現代の多くの人々と共有できれば幸いである。

（以上、吉田）

4. 内容紹介

ソ連軍侵攻下の三井物産奉天支店 ソ連軍の侵攻は香川卓一にとって青天の霹靂であった。克山にいた香川は直ちに奉天への帰還を決意し、満鉄乗車のための交渉を開始する。何とか切符を手にして、深夜にチチハルに到着した香川であったが、宿もなく駅構内も立入禁止となり、防空壕での徹夜を余儀なくされる。蚊が飛び交い空襲警報が響き渡り眠れない体験を、香川は「想ハザリキ北方ヨリ空襲ヲ受ケントハ」と日記の末尾に書きつけた（8/9）。

そこからチチハル→洮南→四平と電車を乗り継ぎ奉天へ戻る6日間の旅路が始まるが、この緊急事態のなかの人間模様を、香川は情念を込めて描き出す。「冷酒ヲ以テ別離ノ盃ヲ酌ミ」見送る東亜農産社長の岩崎仁一、温かく「守護スル故同処へ止マレト熱心ニ口説」く洮南農場の苦力、ソ連参戦の報を初めて知り「決死ノ様相ニテ黙然タル」兵士、「全員全ク狂気」と化す洮南の官吏。避難列車にいる軍属の妻子は「惨状目モ当ラレ」ず、車内の熱気に幼児が「泣叫」ぶ様子は、「正ニ阿鼻」であった。四平から奉天への移動では長物車の積荷横の僅か3m平方しかないスペースに乗り込み、土砂降りの雨に「相当ノ危険ヲ感じ全身ツブヌレ」となりながら、香川は他の避難民と「血涙ヲシボラシムル」苦難を分かちあう（8/13）。そうして8月14日の深夜1時、暗闇の奉天に香川は到着した。

何とか奉天へ引き揚げたその翌日、奉天支店長の小野碩介とともに香川は玉音放送を聴く。「嗚呼止マル哉」と万感の思いにとらわれた香川の周囲もまた、「聴ク者只涙スルノミ」であった。敗戦を受けて小野は同日、社員を集めて「時局ニ対スル

三井マンノ採ル可キ途」を説き、「戦争終了後モ当社ハ愈、多忙ナルベシ、全員一層沈着ヲ希望スル」と激励した。ただ、それは迫り来るソ連軍進駐を前にした苦しい鼓舞に他ならない。翌々日より奉天支店では「非常二備ヘ CORD ノ焼棄テ、其ノ他緊急事態ヘ諸準備ヲ進」めることになる。それ以前の8月12日には市公署に社員の疎開を打診するも断られており、社員は残留を決意せざるを得なかった。

終戦後数日間の奉天社会は嵐の前の静けさというべく、混乱と緊張のなかにもまだ相対的な平穏があった。それが破れるのは8月20日のソ連軍の奉天入城であり、ソ連兵・暴徒による掠奪・暴行は日常茶飯事となってしまう。この極限まで悪化した治安状況を受け、翌21日に奉天支店では「事務所ハ閉鎖シ首脳部ハ三井寮ニ籠城」の方針が決定された。三井寮での籠城は65名に及び、新京支店を中心とする他支店の疎開者も含まれていた。奉天支店の中心メンバーは各工場より掻き集めた食糧を確保しつつ、籠城中も公安局との折衝を行い、あるいは支店の他拠点（女子寮・清友荘・淀町社宅・十条社宅・橋立町社宅・八幡町社宅）へ巡回し、訪問を受けて情報を入手するなど精力的に活動した。特に橋立町社宅は暴徒接近の危機に瀕し、24日には三井寮へ合流することになる。

とはいえ、籠城生活が長期に亘ることはなかった。8月28日、前日の「明日ヨリ生業ヲ開始セヌ者ハ怠業ト看做ス旨布告」を受け、三井寮の開扉を行うことになる。その光景を「10.00 社屋表玄関ノ Shutter ヲ開ク。正二八日振りナリ。但シ全員門衛トナリ立哨、出入ヲ厳重ニ看視ス。正午 close シテ兎モ角無事ナリシヲ歡ブ」と香川は綴っている。ただし、この開扉は状況の曙光を意味せず、むしろ同日には協和烟草の勝矢の横死により物産関係者の初めての犠牲者が生じた。また他市より帰奉した者の一部も疎開先・移動中での劣悪な生活環境がたたリ落命していく。あるいは立退命令により奉天まで引き揚げた営口支店員など更なる増加人員も生じた。そこで香川ら奉天支店の首脳部は保健衛生状況の改善と、増加分の人員の安全確保・居住先割振りに努めることになる。なかでも香川は食糧の蒐集・配分の中心的役割を担っており、社屋内に一定の備蓄があった奉天支店では除隊者から食糧の分配を懇請され、苦慮する様子が描かれている。このように本日記からはソ連軍進駐下での企業の対応が詳細に窺えるものになっている。

こうしてソ連軍進駐のなかで集団生活を営む奉天支店員を次に襲ったのは、生活拠点であった三井ビルの接収という事態であった。9月9日に、三井ビルが接収される方針であると内聞すると、対策として「三井寮ヲ別個ノ独立家屋トシテ主張スベク、此ノ体裁ヲ整エルタメ板扉ヲ拡大シテ裏口ヲ Cover シ別ニ木戸ナド設ク」る「必死ノ活動」を行う(9/11)。しかし、12日にソ連軍将校が三井ビルを訪れ「公安局食糧」と「一同ヲ養フ大金」がある地下室の鍵を取り上げると、その翌日、社員は「ヘトヘト」になるまで労働させられた上、抵抗も空しく「三時間以内当寮

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ノ立退」を命ぜられてしまう。この後、「疲労ノ極」のなか綴られたという三井寮からの撤退過程の記述は、臨場感が横溢して読み手を震撼させる。ぜひ一読を薦めたい。

占領下の三井物産奉天支店 三井寮から退却を余儀なくされた奉天支店員は、市内に点在する三井関係の寮や社宅へ分散して生活を行うことになる。香川の移転先は清友荘であり、本日記も以後はそこで執筆された。以下、三井ビルの接收後、清友荘を拠点として行われた諸活動を紹介したい。

(一) 占領軍による奉天統治と三井物産

ソ連軍の侵攻を受け、奉天では8月24日より居留民会（民団）が始動し⁽⁵⁸⁾、支店長の小野も委員として参加することになる。同会の発足当日における香川の評価は「司令官ニモ面会セズ結局分区長達ノ茶舌話ニ終ルガ如シ」とかなり手厳しいものだったが、継続的にコミットはしており、10月下旬に居留民会がソ連軍に正式承認されると小野は参与に就任している。居留民会で三井物産に期待された一つの役割は活動資金の供出であり、「邦人救済ノタメ約五千万円ヲ必要シ此レヲ当地方富豪ヨリ供出セシムル」との方針のもと三菱・住友・正金とともに財政支援を行っている（10/2）。本日記には小野が持ち帰った居留民会での情報が記されており、奉天における居留民会の活動状況の一端が窺える。

もっとも、三井物産は居留民会に依存することではなく比較的自立していたように映る。同会は守中清・篠田籟・宇佐美喬爾・押川一郎などを中心としたが、そうした人物との交流は日記に見られる限り微小である。この居留民会―物産間の一定の距離感はソ連軍・八路軍・国民政府をめぐる認識の揺れ動きにも由来したかもしれない。三者関係の複雑さや、ソ連軍の占領期間の不透明さゆえに、現状の占領主体であるソ連軍と来るべき占領主体であると想定された国民政府のうち、どちらとの関係をより重視するかという問題が居留民会や奉天支店員には存した。居留民会では「寧ろ来ルベキ重慶へ接触スベシトノ論者」や（8/31）、「重慶入城セバ再ヒ変更ヲ見ルベク三者何レニ対シテモ深く commit スルハ危険ナルベシトノ意見」もあったが（9/22）、当座の相手となるソ連軍との関係構築に傾斜していく。居留民会首脳部はソ連軍との直接的交渉のなかで苦難を被っていたが、八路軍側も不快になる程度には「親露政策」を採ったと評される（11/11）。戦後の回想で宇佐美喬爾がソ連軍司令官とは一定の信頼関係構築に成功したと自負するの⁽⁵⁹⁾、この居留民会の方針によるところが大きいだろう。

他方で、小野・香川を含む三井関係者は寧ろ重慶の国民政府への待望論に傾斜しつつ、同時にソ連軍・八路軍との協調の間で揺れ動いていたように映る。本日記中にしばしば重要な情報源として登場する中村喜義（満州選鉱剂取締役）は、ソ連軍の侵攻直後より国民政府との提携を重視し「ソ聯ノ申出ヲ頑強ニ断リ重慶側ト協力

シテ工場ヲ運転」していることを小野・香川に伝えており（9/4）、こうした姿勢が災いしてか後にソ連軍と衝突し二日間抑留される憂き目に遭っている。これを受けて小野・香川もソ連軍による占領直後の9月6日に「結局重慶側ト最初ニ approach セル選鉱剤中村氏ノ意見ヲ参照スル」ことに決定した。無論、香川は現状へに対応すべく、時に対八路軍接近を構想して「現在ノ俸給問題、食堂問題目鼻ツケパー博打ヤツテミル事」を決意したり（10/30）、公安局派出所員に金一封を渡し「吾々ハ人民保護ノタメ働イテキルノダ^マガ^マ此レハ貴ツテ置ク」と上機嫌にさせたりするが（11/20）、日記中には国民党軍進駐（＝ソ連軍・八路軍撤退）の時期予測が目立っており、国民党軍の入奉による秩序回復への高い期待が小野・香川にはあったと言えよう。それは居留民会からの極秘計画として機帆船による帰国計画が持ち上がった際、「途中ノ危険モアレバ重慶レバ其ノ必要モナカランカ」と消極的な姿勢を採っていることから窺える（11/26）。こうした国民政府への親善策として設立されたのが東北技術協会であった。同協会は既存の提携機関であるソ中日友好協会（同志会）につき「八路干係ヲ清算シ、後日中国トノ関係ノ円滑ヲ期スル為此ヲ解体」するという名目で構想されたもので、国民政府の進出後は日僑善後連絡総処に附属することになる⁽⁶⁰⁾。小野がその監事にリクルートされる経緯も本日記には詳細に記されている。

ただ、前述したように本日記期間中はソ連軍が完全撤退することはなかった。ソ連軍占領下の生活環境は深刻であったが、ソ連兵によるとレニングラード戦に比べれば「現在日系ニ対スルソ聯ノ待遇ハ極メテ優遇ト言ハザルベカラズ」とのことであり、香川は「被待遇者トシテ吾人ノ見方ハ別トシ、以上ガ事実トセバ能ク人類ノナシ得ザルヲナス。彼等ニ既ニ勝機在リタリト謂フベシ」と幾重にも複雑な想いとらわれている（11/16）。この生存への不安感を反映してか、在奉天日本人社会では「ソ聯将校数名ソ紙ニ記載ノスターリン像ヲ中ニ落涙セルヲ見タ」といったスターリン死亡説が噂されるまでに至った（12/9）。同様に国共内戦の動向についても、奉天への波及に伴う「敗惨兵ノ乱行」への恐怖から常にアンテナが張られる様子が日記からは浮かび上がる（11/13）。一般に八路軍はその軍紀の厳正さが語られるところが多く⁽⁶¹⁾、八路軍側も「整然タル秩序」を自負していたが（9/16）、ソ連軍の（結果的に一時的な）撤退が伝えられたとき「後釜ノ八路軍ヲ想ヒ少ナクトモ日系ハ寧ロ残留ヲ希フモノ」もいた（11/15）。後述する平和食堂の附近では11月中旬に「連日八路ノ Dabai」もあったというから（11/14）、対八路軍認識もより多様だったのだろう。

（二）引揚と定着をめぐる認識

前述の通り、満洲からの引揚は1946年まで持ち越されることになる。早期引揚の困難さについてはソ連軍侵攻から1ヶ月弱が経過した9月3日には「邦人ハ如

何ナル職業デモ兎モ角揚テ決死的越冬必要」があるという情報が奉天支店員には伝わっていた。それゆえ、引揚と定着のどちらを希望するかを問わず、まず目の前の生活を維持するための模索がなされるが、本日記では引揚についての海外情報に香川が気をとめる様子が窺える。例えば「日本船舶残存総数 59 万トン。既ニ一部天津、上海ニ向ケ出航」との情報に接した香川は、「(当地ノ如キ治安下ニ在ル同胞ヲ最初ニシテ呉レヌモノカ)」と本音をこぼさざるを得ない (10/3)。香川の憂いは内地の認識不足にあり、「ハルピン奉天間ノ列車運転中。奉天ノ大連ハ来月十四日ヨリ」という内地放送を知った香川は「人殺シノ強盗列車ヲ内地ハ知ルヤ知ラズヤ。近衛公拝辞ノニュース有ルモ吾等ニハ縁遠シ」と嘆息している (10/28)。

そこで香川が望みを託したのは「此ノ窮状ヲ知ラバ何レ帰国可能」という線による早期引揚の実現であり (11/7)、満州脱出者による講演会が東京で開催されたと聞いて「現地報告ハ相当深刻ナル印象ヲ与ヘタル模様ナリ。此レハ朗報ナリ」と高い評価を与えている (11/10)。だが状況が常に深刻であるがゆえに、楽観的であることは許されず、大晦日に奉天支店員「在外同胞七百万人ノ引揚ゲハ四年間ヲ要スト考ヘラレタルガ、現状デハ大体三ヶ月ニ 100 万人ヲ輸送可能ニテ昭和廿二年九月迄ニ完了スベシ。尤モ満洲ハ別ナリ」との内地放送に触れると、「昭和廿四年ニナルグラウト又聴者落胆」している。

早期引揚の絶望視は、自活への道筋を立てる必要性を示すものであった。生計を立てるために、無理矢理でも自助で道を切り開く他なかったのである。9月中旬には奉天でも露店が現れ始め、ある者は「バリカン一挺ニテ簡易床屋ヲ開業」し「剃刀ナシノ素人床屋ナレバ一日十五円ハ大成功ナリト大笑」するなど (9/19)、原始的な商売が始まっている。一般に、残留日本人社会の生計を立てる手段は所持品切り売り→屋台→本格的商業・ブローカー、と次第に進化したことが指摘されているが⁽⁶²⁾、本日記にも奉天支店員の関係者により雑貨商や薬種店が営まれる様子が記される。日記の筆者である香川も飲食店の開業を決意し、11月18日に飲食店をオープンした。その名も「平和食堂」といい、香川の深重な想いが伝わってくるが、同店にはソ連兵・八路兵も来店し大いに繁盛することになる。

自活は一つのキーワードとなり、各地の居留民会で自活支援が主要事業となるが⁽⁶³⁾、奉天支店でも給与事情から従業員整理が進められ、関係者への自活支援が行われた。各地の支店では女子事務員の斉解雇策が採られ、奉天支店でも10月末での退社とされた（身寄りのない者は翌年3月まで・退職金有）。本日記からは、彼女たちの就職先の動向が記される。また、各地の支店からの引揚者についても自活支援がなされているが、資金援助は強盗の危険と隣り合わせであった。11月16日に奉天へ引き揚げた錦県支店員が自活資金の強盗被害にあった際、香川は「避難民ナルタメ強盗ニハ縁遠シト対策ナカリシハ遺憾ナリキ」と怒りを滲ませている。

こうして自活への道筋が立てられるなか、奉天では次第に学校教育も再開された⁽⁶⁴⁾。選鉱剤の中村に至っては新たに工場内に学校を設立する構想を打ち立てているが、実際には学校再開への制約条件は大きく、「暖房期ニハ自然閉校サルベントノ意見」は濃厚であり（11/3）、しかもソ連軍が部分撤退から帰帰すると、一旦「再ヒ閉校スル」憂き目に遭っている（11/21）。

ただ、様々な施策を以てしても、やはり満州での越冬は困難を伴っていた。後述するように、ソ連軍の部分撤退や国民政府の行政権接収という事情により、著しいインフレーションが発生しており、食糧・燃料確保は死活問題であった。しかも、極端に悪い衛生環境のもと発疹チフスが大流行しており、清友荘居住者は予防接種を全員受けたものの、物産関係者のうち小島代理が年初に大雪のなか去世している。引揚と定着の間には客死があった。

日記の終焉と内地への目線 以上のように、約半年間ながら濃密な本日記だが、記述が終わる1946年2月2日で記述が途絶えることになる。前述の通りその3日後に香川は奉天から大連へと向かうことになり、それが断筆の直接的理由だろう。大連行の具体的経緯は日記中に記されていないが、以下、その背景となる事情について触れておきたい。

年が明け1946年1月に入ると、食費高騰は奉天支店員の生活により深大な影響を与えることになる。香川の計算によるとこのままでは「毎月2500ノ赤字」となり、抜本的対策を打つ必要が生じた。そこで1月7日、「生活程度ノ切下ゲニ堪エザルベク且ハ御気毒ニ就キ」小野支店長を清友荘から転出させることに決定した。移転は1月13日に直ちに実行され、香川は「吾々終始附添ヒタルモノハ一沫ノ淋シサヲ覚ユ」との感慨を漏らしている。この移転が小野—香川関係に持った意味は大きく、小野との日常的な接触頻度の減少に伴い香川の秘書的役割は失われていったと推察される。並行して、香川が傾注した平和食堂の事業にも大家との対立から暗雲が漂い始め、1月24日には立退要請を受けるまでに至る。1946年2月、もはや香川が奉天に固執する要因はなかったのである。

この点注目されるのが、引揚をめぐる小野・香川の認識である。1月25日、香川は「帰国ノ話」として「六月ヨリ開始スル故帰国届ヲ提出セヨト言ヒタル分区アリ」との情報を接受する。このニュースに対する香川の反応は「大連ヨリ既ニ第一船ガ出タト言フモノアリ。何レモ希望ヲ見出シタリ」と力強い。ただ引揚については、朗報として受け止めた香川が「本社ノ不安解消ト事業再開見透難ヲ以テ是非全員帰国スベシ」との見解を持つものに対して、小野は「中国治下ニ於テ事業再開ノチャンスヲツカム為ニハ是非共一部居残必要ナリ。帰国シテモ社員ハ多々有ナリ却テ迷惑ナルベシ」との意見を有しており、奉天支店内部での引揚をめぐる温度感の違いがあった（1/30）。帰国情報に高い感度を以て接してきた香川が、先遣隊として

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

大連行に前向きになったとしても不思議はない。

最後に、ここまで見てきたように引揚情報に人一倍敏感であった香川が、占領下の内地にむけた眼差しを紹介して、解題を結びとしたい。戦後、連合軍最高司令官総司令部（GHQ）の指示のもと三井は財閥解体の憂き目に遭うが、香川の財閥解消への態度は比較的冷静であり、「株ヲ公債ニ肩替り」し「公債ハ10年間据置ニシテ担保物件トナシ得」ないとの解体内容について、「当社トシテハ寧ロ存立ガconfirmセラレタリ」と安堵している（11/11）。マッカーサーの昭和天皇との関係にも注意が払われ、香川は「行幸時ニ従兵ノナカリシ事乃至英語ニ応待セラレタル事等ナドヨリ元帥ハ陛下ノ神格ニ傾倒セル模様ニテ、此レガ聯合國ノ心証ヲ良化」したとの認識を示す（11/9）。こうした天皇と占領軍の関係をめぐる観察は、同時に降伏要因へとその思索を深化させ、「母国ハ本年食糧問題等ヨリ到底持久戦ニ堪エザリシナラント想像セラル。後世ノ史家、或ハ原子爆弾ノミ因ヲ求ムルヤ不知」と次代に問いかける。序言で「後日ノタメ敢テ書続」けたと語る本日記が、より多くの人に読まれることを願ってやまない。

（以上、大窪）

以下、日記帳Ⅰの翻刻と語句説明は吉田が、日記帳Ⅱの翻刻は大窪が、語句説明は大窪と吉田が担当した。なお、日記中の中国語部分の翻刻については賀申杰氏（国立歴史民族博物館）から多分にご教示をいただいた。

注

- （1） 三井物産株式会社は企業再整備法に基づき1947（昭和22）年11月30日に解散し、清算会社となった三井物産株式会社は1952（昭和27）年に「旧三井物産株式会社」に称号を変更した。その後、1959（昭和34）年に別の法人格として現在の三井物産株式会社が設立された。三井文庫編『三井事業史』本篇第3巻下、同、2001、893～894頁。
- （2） 戦後、奉天は瀋陽と改称されたが、本稿では混乱を避けるため戦後についても奉天と表記する。同様に長春に改称された新京も新京表記に統一する。
- （3） 満洲、満州の表記が存在するが本稿では後者に統一する。また18世紀末に日本が「満州」を地名として創作して以降、それが指す領域は変遷を経ているが、本稿で「満州」と言う場合はかつて満州国の領域であった範囲を指す。満洲／満州については中見立夫『「満蒙問題」の歴史的構図』東京大学出版会、2013、序章。
- （4） 終戦後、奉天支店が現地で個人から借りた「恩借金」の計算と精算、未払給与の支給、現地雇員の退職手続（「御勇退願」）、奉天支店を支援した人物への内地での支援依頼書などが含まれる。
- （5） 1947年4月24日元奉天支店長小野碩介発本店整理部長宛、「奉天支店戦後処理ファイル」所収。本状は、大連生活の諸費用を三井物産本店に請求する香川の要望を、小野が本店整理部に取り次ぐものである。

- (6) 以下、三井物産『社報』（三井文庫所蔵）、人事興信所編『人事興信録 第18版』上、同、1955、か21頁など。
- (7) 佐々木さぶね『抑留所生活記』羅布書店、1950の549頁から記載されている「フョートミゾラ抑留所入所人名（1942年1月現在）」に香川卓一の名前がある。また、カリフォルニア大学バークレー校バンクロフト図書館が所蔵するコレクション“Yoshiko Uchida papers”には、三井物産サンフランシスコ出張所元所長代理の父・Dwight Takashi Uchida（内田堯）が、収容所にいる香川へ100ドルを送金するよう家族に依頼する書簡が残っている。From D. T. Uchida to family, April 27, 1942, BANC MSS 86/97 c, box 63, folder 1. Yoshiko Uchidaは児童文学作家であるヨシコ・ウチダ。
- (8) 前掲、1947年4月24日元奉天支店長小野碩介発本店整理部長宛。
- (9) 1947年7月10日日本店人事部長発本店経理部長・本店整理部長宛、「奉天支店戦後処理ファイル」所収。香川曰く、四名は臨時雇の形式であったため引揚げに際し規定の給与を受けとることができなかったという。
- (10) 以下、三井物産『社報』（三井文庫所蔵）、増尾信の編『三井読本』亜細亜書房、1942、503頁、満蒙資料協会編『満洲紳士録』第3版、同、1940、1200頁。
- (11) 前掲、『三井事業史』本篇第3巻下、707頁。戦後、三井物産社長、会長を務めた新関については「私の履歴書 新関八洲太郎」『私の履歴書』第1集、日本経済新聞社、1957のほか、中村隆英・伊藤隆・原朗編『現代史を創る人びと』4、毎日新聞社、1972に聴き取り記録が収録されており、新京で終戦を迎えた経験が語られている。
- (12) 農林水産技術協会編『農林水産団体社総覧』農林経済研究所、1943、282頁。
- (13) 日本食料新聞社編『食糧年鑑』昭和18年度版、同、1942、97頁。
- (14) 前掲、農林水産技術協会、285頁。
- (15) 小野が引揚げ後に在満各支店に宛てた資料。「奉天支店戦後処理ファイル」所収。
- (16) 東京証券取引所編『上場会社総覧』昭和26年版、1951、526、538頁。
- (17) 以下、「独立国」である満州国ではなく日本の統治下にあった関東州・大連における戦後日本人社会および引揚げ記録、研究は含まない。同地については木村英亮「ソ連軍政下大連の日本人社会改革と引揚げの記録」『横浜国立大学人文紀要 第一類 哲学・社会科学』42、1996.11が石堂清倫（元満鉄調査部、社会運動家）の個人史料（当時は羽田燈子氏が保管していたようであるが現在は不明）をもとに詳細に論じている。石堂の史料は石堂清倫『大連の日本人引揚げの記録』青木書店、1997として翻刻・出版されている。
- (18) もちろん回想には回想の確かな意義があり、歴史学、社会学では引揚げの「記憶」や、体験の「総括」の様に焦点が当てられた研究が進展している。加藤聖文『海外引揚げの研究』岩波書店、2020、第6章。注(22)も参照。
- (19) 柳沢遊「1940年代後半期大連営業者の職業『復帰』」今泉裕美子・柳沢遊・木村健二編『日本帝国崩壊期「引揚げ」の比較研究』日本経済評論社、2016、295頁。
- (20) 秋山哲雄・田中大喜・野口華世編『増補改訂版 日本中世史入門』勉誠出版、2021、6頁。

- (21) 2002年には加藤聖文編『海外引揚関係史料集成 国外篇・補遺篇』全19巻（ゆまに書房）が国内篇全16巻（2001年）に続き刊行された。朝鮮、満州、樺太、中国本土、南方における引揚前、引揚時の調査史料を収録している。ただ、個別具体的な事実を把握するという点では限界もある。その他、東北行営経済委員会主任委員であった張公権の個人文書（スタンフォード大学フーバー研究所所蔵、アジア経済研究所でマイクロ閲覧可能、なお手記の一部は出版されている）や、引揚者団体である満蒙同胞援護会が『満蒙終戦史』（1962年）を編纂する過程で収集した史料の一部である「満州引揚資料」（滋賀大学経済経営研究所所蔵）が存在する。
- (22) 社会学における主な成果として蘭信三・川喜田敦子・松浦雄介編『引揚・追放・残留』名古屋出版会、2019、坂部晶子『「満洲」経験の社会学』世界思想社、2008など。なお歴史学者と社会学者の共同研究の成果として蘭信三・松田利彦編『帝国のはざまを生きる』みずき書林、2022、山本有造編『「満洲」記憶と歴史』京都大学学術出版会、2007があり、満州研究において歴史学と社会学が必ずしも没交渉であるわけではない。また、柳沢遊・倉沢愛子編『日本帝国の崩壊』慶應義塾大学出版会、2017は、歴史学者たちが「人の移動」を含め戦時・戦後の国内各地域における社会と経済の変容の実態を論じたものである。引揚げに関する2016年までの研究動向と史料状況は、今泉裕美子「近年の『引揚げ』研究の視点と本書の課題」および木村健二「日本人の引揚げに関する近年の研究動向」（ともに前掲、今泉裕美子・柳沢遊・木村健二編）に解説されている。2004年段階であるが、阿部安成・加藤聖文『「引揚げ」という歴史の問い方（上）」・「同（下）」』『彦根論叢』348-349、2004で解説されている研究状況・史料状況（加藤執筆部分）もなお資するところが多い。
- (23) 榎本捨三『ソ軍進駐』富士興業、1949に所収。
- (24) 茂木弘毅著、茂木弘道編『満洲引揚日記』茂木弘道、1979。
- (25) たとえば、引揚の回想である、村上ひさの「満州における難民日記抄」平和祈念事業特別基金編『平和の礎 軍人軍属短期在職者が語り継ぐ労苦』13、同、2003が、当時の日記の一部をほとんど原文のまま掲載していると思われる。
- (26) 石崎操執筆、石崎清之・飯倉江里衣・湯川真樹江・尹国花・森巧整理『石崎操日記』『満洲の記憶』3、2016.10。本日記は1946年9月29日の引揚開始から博多港着の10月31日までを記録している。
- (27) 佐藤仁史・菅野智博・大石茜・湯川真樹江・森巧・甲賀真広編『崩壊と復興の時代——戦後満州日本人日記集』東方書店、2022。
- (28) 同前、17頁。
- (29) 満洲製鉄鉄友会編『鉄都鞍山の回顧』同、1957。
- (30) 前掲、加藤、53頁。
- (31) 同前、150～151頁。
- (32) 菅野智博「満洲研究の視座」加藤聖文・田畑光永・松重充浩編『挑戦する満洲研究』国際善隣協会、2015。
- (33) 高碓達之助『満洲の終焉』実業之日本社、1953。高碓達之助集刊行会編『高碓達之助集』上冊、東洋製缶、1965に収録された「満州国最後の日」は『満洲

- の終焉』の一部。
- (34) 満洲日報社『満洲年鑑』昭和20年版、満洲日報社奉天支社、1944. 12、389、394頁。調査年は不明だが、『満蒙終焉史』441頁では満州国政府調査として1944年9月末時点の新京の日本人人口を151,465人としている（奉天市については不明）。
 - (35) 「終戦後八か月間」の避難民の流入数は、新京市108,800人、奉天市36,000人。ただし、この調査は新京にあった東北地方日本人救済会が行ったもので現地調査ではなく各地から新京に引き揚げてくる避難民の証言をもとにしているため、新京とその他の地域の数字の精度には大きな差があると考えられる。満蒙同胞援護会編『満蒙終焉史』河出書房新社、1962、446～450頁。
 - (36) 同前、451～452頁。
 - (37) 前掲、阿部・加藤、(下)、53頁（加藤執筆部分）。
 - (38) 前掲、満蒙同胞援護会編、460頁。
 - (39) このまえがきを書いた編纂委員委員長・平島敏夫は、1920年代、つまり満州事変以前の満州経験を持ち、1970年代においても満州国建国を全面的に肯定したという。前掲、加藤、152～155頁。
 - (40) 前掲、阿部・加藤、(上)137頁（阿部執筆部分）。
 - (41) 前掲、加藤、159～165頁。満洲国史編纂刊行会編『満洲国史』総論・各論、満蒙同胞援護会、1970。
 - (42) 富田武『日ソ戦争 1945年8月』みすず書房、2020、第2章、山本有造「国民政府統治下における東北経済」江夏由樹・中見立夫・西村成雄・山本有造編『近代中国東北地域史研究の新視角』山川出版社、2005、243頁。
 - (43) ソ連軍の「戦利品」搬出については、香島明雄『中ソ外交史研究』世界思想社、1990、第6章。
 - (44) 突然の襲撃で犯された女性たちもいたが、日本人男性たちが女性を「守るべき女性」と「差し出されるべき女性」に二分し、後者と判断された女性たちを「性の防波堤」、「特攻」、「性接待」の名のもとソ連兵に差し出していたこと、また他の女性を守るために自ら犠牲になった女性たちがいたことは平井和子『占領下の女性たち』岩波書店、2023、第2章よって明らかにされている。
 - (45) 以下、前掲、加藤、第1章を参照。
 - (46) 同前、40～41頁。ソ連軍総司令部は自身がSCAP（連合国最高司令官）の指揮下に置かれぬことを宣言していたため、GHQ（連合国最高司令官総司令部）およびSCAPはソ連軍の占領地域における日本人保護に関与することができなかった。
 - (47) 山本有造「『満洲』の終焉」前掲、山本編、6頁表1-1。
 - (48) 徐焯著・朱建栄訳『1945年 満州進軍』三五館、1993、第6章。終戦直前に国民政府とソ連の間で結ばれた中ソ友好同盟条約の際も、ソ連は反共政策を採る国民政府と対立し延安の共産党への支援を行っていたが、国民政府軍の軍事的優位（共産党軍約128万、国民政府軍約430万）とアメリカの国民党支援を考慮して中国の政府代表権を国民党政府に認めた、という背景があった。1945年11月には蔣介石の抗議活動を背景としたアメリカの圧力により、ソ連軍が中

共軍に奉天からの撤退を要求している。松本俊郎『「満洲国」から新中国へ』名古屋大学出版会、2000、第2章。

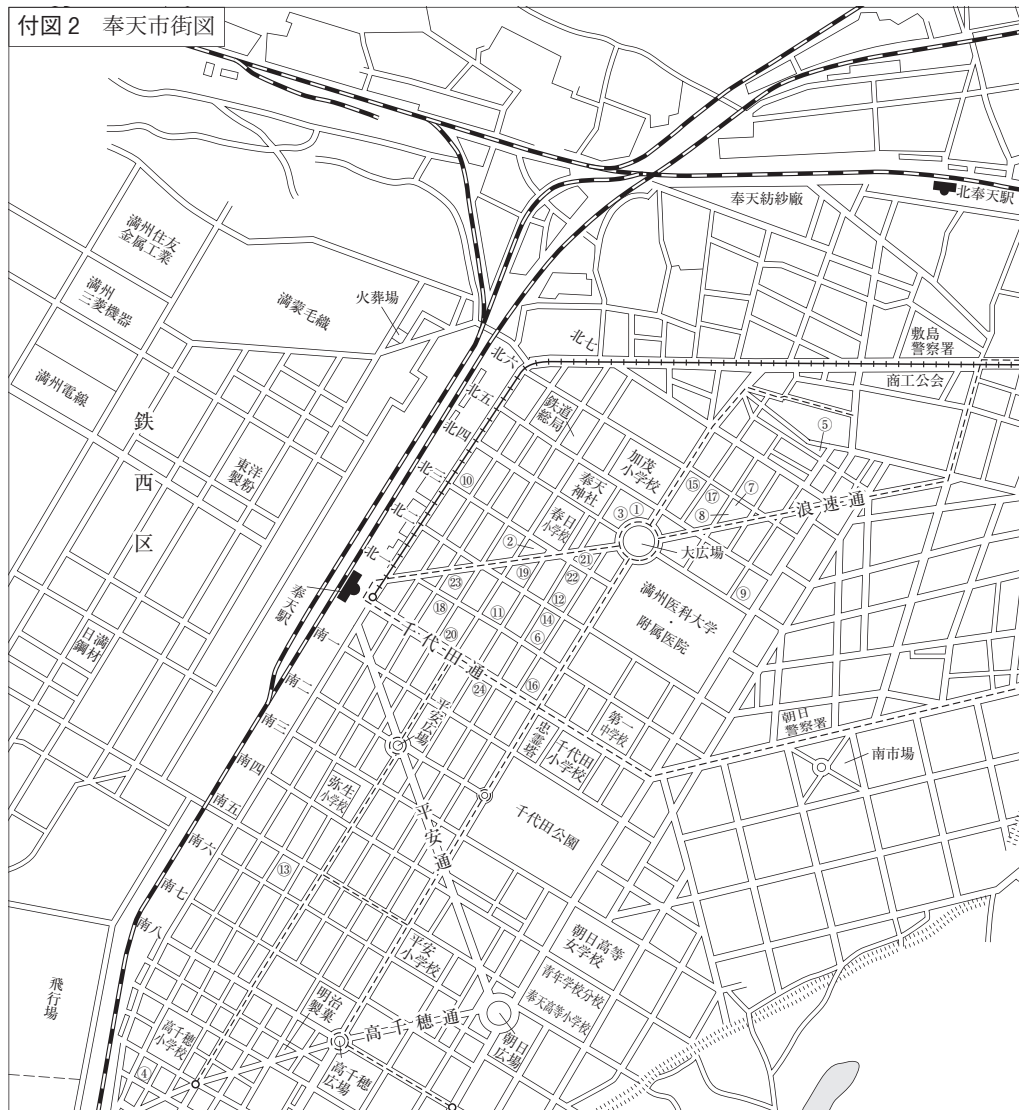
- (49) 三井物産の設立経緯と初期の事業については、三井文庫編『史料が語る三井のあゆみ』同、2015に簡潔にまとまっているほか、木山実『近代日本と三井物産』ミネルヴァ書房、2009、三井文庫編『三井事業史』本篇第2巻、同、1980が詳細に論じている。
- (50) 三井文庫編『三井事業史』本篇第3巻上、同、1980、51頁。
- (51) 「歴代ノ部長、課長、店長名表（一）」（三井文庫所蔵、物産沿45）、「歴代ノ部長・課長・店長名表（二）」（三井文庫所蔵、物産沿46）。
- (52) 昭和期の三井物産については、前掲、三井文庫編『三井事業史』本篇第3巻上のほか、坂本雅子『財閥と帝国主義』、ミネルヴァ書房、2003、春日豊『帝国日本と財閥商社』名古屋大学出版会、2010を参照。
- (53) 前掲、1947年4月24日元奉天支店長小野碩介発本店整理部長宛。
- (54) 『稿本三井物産株式会社100年史』日本経営史研究所、1978、770頁。
- (55) 男性186名（職員51、準職員101、雇員34）、女性115名（職員0、準職員108、雇員7）。1942年6月5日「奉天支店家族持社宅購入ノ件」『廻議綴』（昭和17年3月～5月）（三井文庫所蔵、物産2424）。
- (56) 安富歩「満洲国崩壊後の貨幣」貴志俊彦・松重充浩・松村史紀編『二〇世紀満洲歴史事典』吉川弘文館、2012、693～694頁。
- (57) 1946年9月16日本店整理部村瀬新一郎発査業部参与・元奉天支店長小野碩介宛、「奉天支店戦後処理ファイル」所収。
- (58) 協和会首脳者・官吏がソ連軍による拘置を受けたため、奉天（瀋陽）における居留民会は民間人を中心に構成された（満蒙同胞援護会編『満蒙終戦史』河出書房新社、1962年、290頁）。
- (59) 宇佐美喬爾『満鉄魂の詩 宇佐美喬爾身辺雑記』（日本綜合開発センター、1982年）、91～92頁。
- (60) 同機関の奉天における活動を記した史料として、瀋陽市日僑善後連絡総処『難民救済事業要覧』（同、1946年）。
- (61) 前掲、加藤、74頁。
- (62) 同前、67～68頁。
- (63) 同前、64頁。
- (64) 同前、65頁。



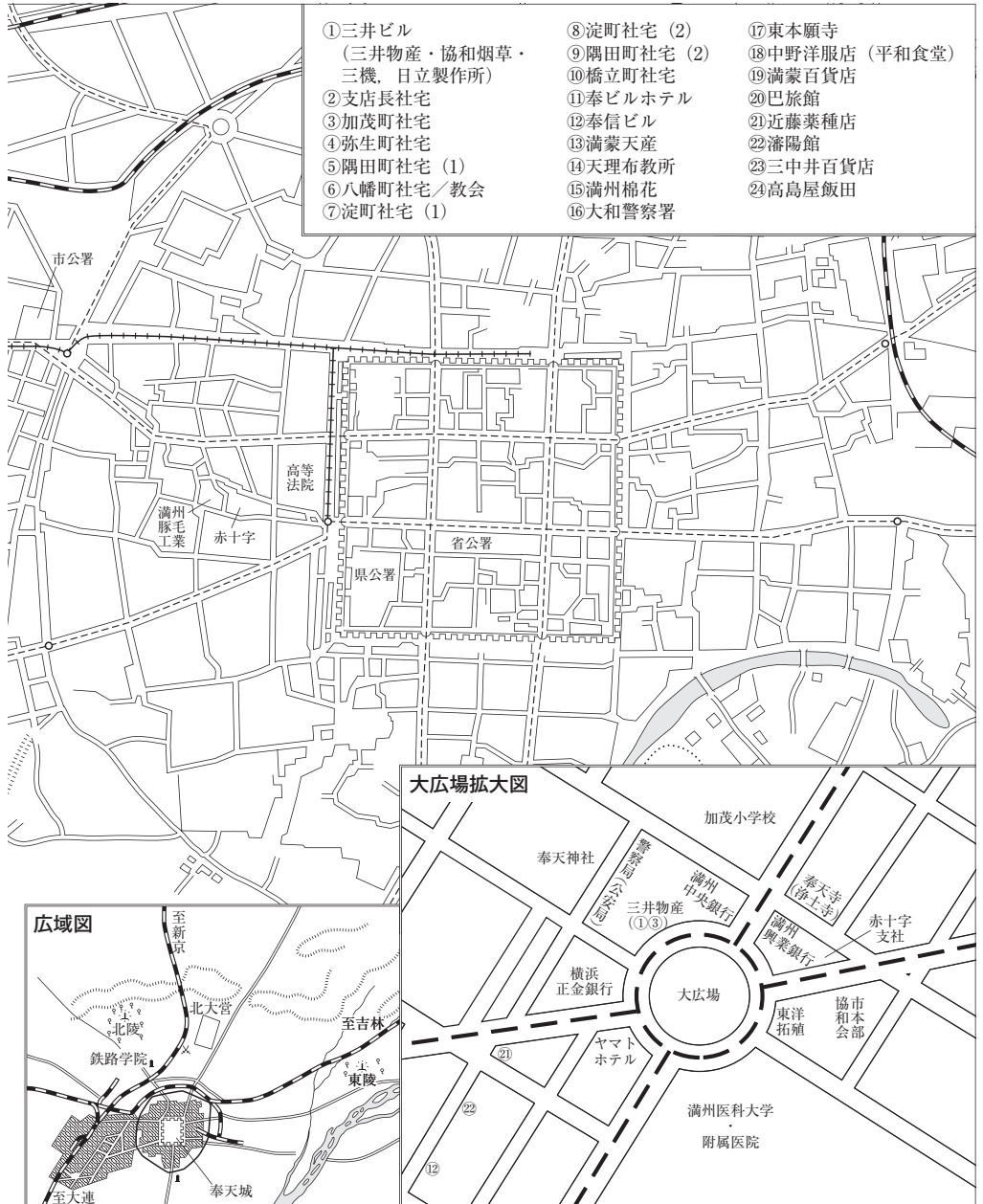
付図1 終戦時の満州概略地図

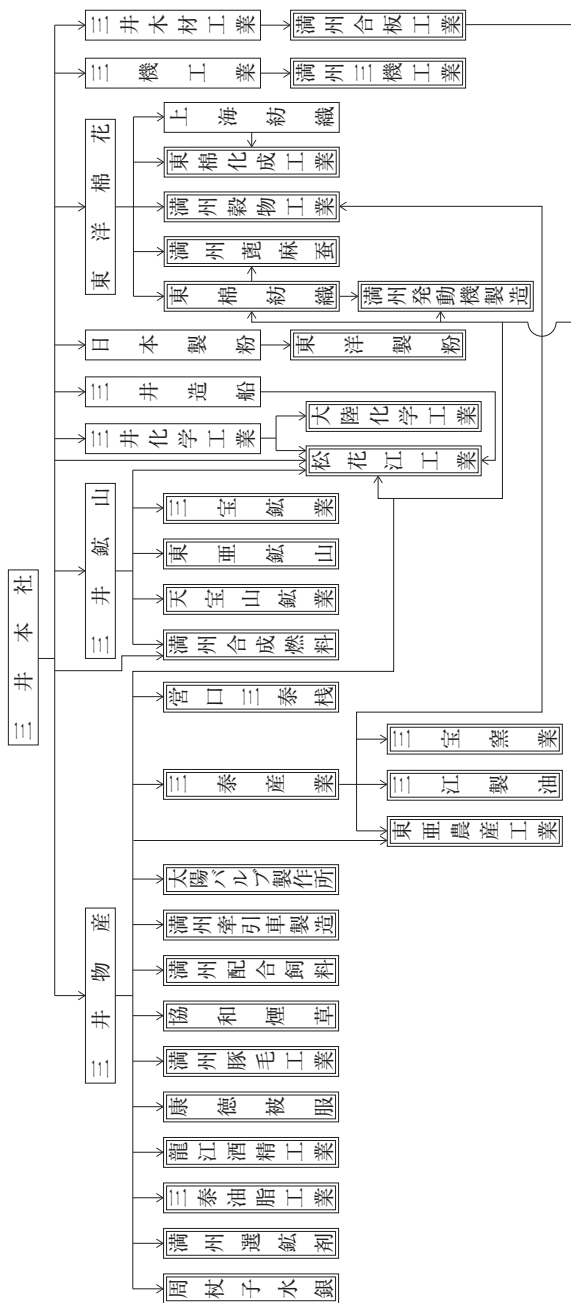
佐藤仁史ほか編『崩壊と復興の時代』東方書店、2022、「満州国関連地図」をもとに作成。

付図2 奉天市街図



注) 本地図は、南満州鉄道株式会社編『簡易満州案内記』(同、1938)所収の「奉天市街図」をもとに、「大日本職業別明細図」(1936、地図資料編纂会編『中国商工地図集成』柏書房、1992所収)、満洲帝國協和會奉天市公署分會製作「大奉天新區劃明細地図」(1939)、「地番入奉天市地圖」(1941)および各建物の住所が掲載された各種資料を参照して作成した。判明する限りで最も1945年8月に近い時期の情報を採用したが、本地図は終戦時の奉天市を正確に描いているものではないことを付言しておく。また可能な限り修正したが、もとの「奉天市街図」は縮尺や道路等がやや実態と異なっており、あくまで本日記の参考として利用されたい。





付図3 満関地域における三井系主要事業会社（1945年8月15日現在）

注) 1. 二重枠で囲った企業が満関地域に本店を置く企業である。
 2. →は出資関係を示す。

出典) 三井文庫編『三井事業史』本篇第3巻下、2001、695頁。

付表1 三井物産満州地域支店主要支店員一覧

部署・職階		氏名	1944年4月以降の異動
満関監督			
満関監督		高見二郎	
44. 4. 1以降に新たに任命された職員			
		手塚庄三郎	新京支店次長→44. 12. 6 満関監督附兼務
		大谷修平	新京支店長代理→44. 12. 6 満関監督附兼務
		万木仙	新京支店総務課長兼調査課長→44. 12. 6 満関監督附兼務
		新関八洲太郎	奉天支店長カ→45. 8. 14 満関監督附(着任)
		澤田一郎	南京支店次長→45. 3. 13 満関監督附
		井上武雄	45. 8. 15 復役・満関監督附
奉天支店			
支店長		新関八洲太郎	45. 8. 17 満関監督附(※着任)
支店長代理		赤松繁次郎	44. 10. 1 哈爾濱支店長
"		海邊誠次郎	44. 11. 27 次長
"		谷口長治郎	?? . ?? 次長→45. 6. 30 罷役(満州牽引車製造常務取締役役に就任)
"		小島慶	
参事		扇原秀治郎	44. 1. 8 総務課長
庶務課	課長	高橋要之助	
		岸原吉之	
		鈴木馨	
		城島浩 谷口博	
金物課	課長	稲見惟精	44. 5. 2 支店長代理(一部権限)→44. 6. 16 大阪支店岡山出張所長
		白木五郎	
穀肥課	課長	後藤基勝	44. 5. 2 総務課長→44. 1. 8 参事→45. 1. 29 大連支店参事
雑貨第一課	課長 課長代理 "	大内武	44. 5. 2 雑貨課長
		森本正雄	44. 6. 19 雑貨課長代理→45. 1. 23 哈爾濱支店商務課長
		吉田尚治	44. 6. 19 雑貨課長代理→45. 11 本店勤務
		林磯雄	45. 5. 29 哈爾濱支店
雑貨第二課	課長 課長代理	浅野令二	44. 5. 2 参事→44. 6. 24 罷役(満州選鉱剤に入社)
		高崎彌	44. 6. 19 雑貨課長代理
煙草課	課長	今泉三彌	44. 12. 2 参事
		吉田尚治(兼)	44. 6. 19 雑貨課長代理→45. 11. 27 本店勤務
		神山繁明(特)	45. 2. 19 職員
機械第一課	課長 課長代理	室谷義男	
		丹野正男	45. 3. 31 課長代理を解く
		太田(大田)秀雄	44. 8. 16 錦州出張所(→錦州支店)→45. 5. 29 奉天支店
		榑原徳三(特)	44. 9. 2 職員

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

部署・職階		氏 名	1944年4月以降の異動
機械第一課		伊原三郎 久保富雄	
機械第二課	課長	田中一正 久武直一 川島一馬 緒方政男 中山公一（特）	44.6.22 支店長代理兼機械第二課長 44.6.19 機械第二課長代理 45.5.31 罷役（松江花工業に入社） 44.9.2 職員
織維課	課長	鎌谷英三郎 福永和光 高橋正司	44.12.22 煙草織維課長 44.6.19 織維課長代理→44.12.22 煙草織維課長代理
石炭課	課長	村戸石之助	44.5.2 大阪支店参事
保険運輸課	課長	中川靖 波多野武司（特） 子安晃 桂朝雄 田畑義人	45.7.1 職員登用→45.7.11 保険運輸課長代理 44.9.29 本店 45.5.29 錦州支店
会計課	課長 課長代理	三村政治 井戸彰 高橋英雄 田中謙 松井健吾	44.4.7 スラバヤ支店マレンガン事務所長 45.10.26 本店勤務（福岡支店）
出納課	課長	薄井繁次	
所属未定		副島清次 寄金常久 高橋健 服部道夫 駒井長一郎* 木谷義一* 久留龍* 大谷勝倍* 安嶋仁* 片桐良一* 榎本勝男* 江崎泰司* 梅宮徹* 泉清司* 佐藤高正*	44.12.22 庶務課長代理→45.8.1 罷役（松花江工業に入社） 45.7.11 総務課長代理兼農場課長代理 45.5.31 罷役（松江花工業に入社） 45.10.25 本店勤務（神戸支店） 45.11.26 本店勤務（大阪支店） 45.9.26 本店勤務 45.3.1 公傷死 44.9.15 ビルマ方面にて戦死
44.4.1以降に配属等された支店員			
		井上新 早瀬誠一	準職員→44.4.1 職員→45.5.31 罷役（松江花工業に入社） 準職員→44.4.1 職員

部署・職階	氏 名	1944年4月以降の異動
	貴島良實 堀田誠一 田澤義一 大西武夫 緒方八郎太 中村猛 高田正夫 中村正知 前田哲男 廣瀬保雄 根来辰之助 小澤巖	準職員→44.4.1 職員 横浜支店→44.4.20 奉天支店 三井本社→44.5.1 奉天支店参事→44.5.24 罷役 準職員→44.4.1 特務職員→45.4.1 職員 準職員→44.4.1 特務職員 準職員→44.4.1 特務職員 準職員→44.4.1 特務職員 準職員→44.4.1 特務職員 準職員→44.4.1 特務職員 準職員→44.4.1 特務職員 新京支店錦州出張所(特)→44.11.1 奉天支店→45.5.31 罷役(松江花工業に入社) 大連支店→45.5.29 奉天支店 45.7.1 復役・奉天支店

奉天支店・四平事務所 (44.10末に閉鎖)

所長	柳瀬久雄	44.9.26 新京支店総務課長代理
	篠田信康 濱中宏治	

44.4.1以降に配属等された支店員

	石川光男	準職員→44.4.1 職員
--	------	---------------

奉天支店・鞍山駐在員

	久武直一(兼)	44.6.19 奉天支店機械第二課長代理
--	---------	----------------------

新京支店

支店長	高見二郎(兼)	
次長	高島得之	44.7.20 南京支店長
支店長代理	田中二郎	44.7.24 罷役(豊田式鉄廠役員に就任)
〃	大友養七	44.8.3 本店物資部参事
〃	手塚庄三郎	44.8.29 次長→44.12.6 満関監督附兼務
〃	石川忠光	44.10.10 会計課長兼務を解く
〃	大谷修平	44.12.6 満関監督附兼務
〃	中西篤造	
参事	土山安二	44.8.15 本店運輸部参事
庶務課	課長	彌永金吾 内藤政雄(特) 青谷徹人
		44.6.22 張家口支店長代理兼資材纖維課長 44.12.15 安東支店 社報では特務職員→44.4.1 職員→45.5.31 罷役(松江花工業に入社)
		木村繁(特) 45.5.17 南京支店
電信課	課長	西田堅
		44.7.7 庶務課長兼電信課長→45.1.8 哈爾濱支店庶務課長 高橋秀夫
調査課	課長	児玉勝重
		44.8.18 佐世保支店会計課長

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

部署・職階		氏名	1944年4月以降の異動
調査課		石原善吉 増田宗一	
総務課	課長 課長代理 〃	万木仙 飯島良* 千葉安治 小池清 濱岡良三（特）	44. 8. 24 調査課長兼務→44. 12. 6 満関監督附兼務 45. 9. 25 本店勤務 45. 12. 3 本店勤務 45. 11. 19 本店勤務 44. 12. 5 職員
穀物課	課長 課長代理	松田榮枝 村田米太郎 中村清典 下本地重次	44. 6. 19 穀物課長兼務を解く 44. 12. 16 雑貨第二課長代理
雑貨第一課	課長 課長代理	齋藤計助 中山友三郎* 久田清春 若林幸生（特） 井出口岩夫	44. 5. 2 雑貨課長→44. 12. 16 雑貨第二課長 45. 5. 31 罷役（松江花工業に入社） 45. 7. 1 職員
雑貨第二課		高垣甫 赤池昌義 菊地智	44. 7. 3 罷役（大陸化学工業に入社） 44. 9. 19 錦州出張所
織維課	課長	飯野弘 森勇作（特）	44. 12. 16 雑貨第一課長 45. 7. 1 職員
機械金物課	課長	梶田孫吉 彌永金吾（兼） 土岐正史 橋本勇 並河義雄	45. 5. 31 罷役（松江花工業に入社）
木材課	課長	齋藤計助（兼） 笠松敏夫 山本武夫（特）	45. 7. 1 職員
保険課	課長	三村彌太郎 太田實	44. 10. 28 済南支店代理兼保険運輸課長
運輸課	課長	室井一雄 竹ノ脇重雄（特） 渡海満 西尾守 佐藤辰雄（特）	44. 8. 15 神戸支店運輸事務所長兼輸入課長 45. 7. 1 職員 45. 6. 11 死去
会計課	課長 課長代理	石川忠光（兼） 松尾豊治 星季治 吉田正 福島益三	44. 10. 10 会計課長兼務を解く 44. 10. 10 会計課長 44. 10. 10 会計課長代理 44. 10. 2 張家口支店 45. 1. 4 北京支店

部署・職階		氏 名	1944年4月以降の異動
		宮本博充 柿沼照生	
出納課	課長	丸山光 勝山渉	45.5.31 罷役（松江花工業に入社）
	嘱託	山本豊三	
所属未定	参事	深山光次郎	44.8.15 運輸課長→44.10.28 保険課長兼務→45.3.9 保険課長兼務を解く 45.12.14 本店勤務（福岡支店） 45.10.29 本店勤務 45.12.6 札幌支店小樽出張所 45.8.30 本店勤務 45.10.29 本店勤務（福岡支店） 45.10.1 本店勤務（横浜支店）
		日根亀之助*	
		山口一男*	
		梶原修平*	
		松平信光*	
		鹽川清隆*	
		池上升二*	
		高橋與太郎*	
		石田善清（特）*	
		安藤博之*	
		和泉行雄（特）*	
		池邊末雄*	
		宇治原精*	
		井上静夫*	
佐藤哲夫*			
水浦清人*			
小佐々高*			
清田正明*			

44.4.1 以降に配属等された支店員

石井仙之助	準職員→44.4.1 職員→45.2.6 死去
泉哲夫	準職員→44.4.1 特務職員
永島昌治	準職員→44.4.1 特務職員
丸石宗生	準職員→44.4.1 特務職員
季村淳一	準職員→44.4.1 特務職員
山本淳	佳木斯出張所長代理→44.6.19 新京支店雑貨課長代理→44.12.16 雑貨第一課長
倉本俊三	本店（新京駐在）→44.6.19 新京支店穀物課長→44.8.3 支店長代理兼穀物課長
古川憲吉	佳木斯出張所→44.8.25 新京支店
豊福直二	青島支店機械課長→44.9.14 新京支店長代理
須藤廣吉	大連支店（特）→44.9.19 新京支店（特）→44.10.1 罷役（華北木材統制組合に就職）
柳瀬久雄	四平事務所長→44.9.26 新京支店総務課長代理
大竹新一	44.9.20 新京支店（新卒）
榑原賢司	吉林事務所→44.11.6 新京支店
土持正	吉林事務所→44.11.8 新京支店
出口清	佳木斯出張所→44.11.8 新京支店

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

部署・職階	氏名	1944年4月以降の異動
	松田榮枝 長枝吉實 南羽良一 豊浦静男 大塚明 多田一雄	吉林事務所長→44.12.8 新京支店参事（榆樹駐在） 北安出張所長→44.12.8 新京支店参事→45.5.23 本店附 佳木斯出張所（特）→44.12.8 新京支店 牡丹江出張所→44.12.8 新京支店 間島出張所長代理→44.12.8 新京支店庶務課長代理 齊々哈爾出張所長代理→44.12.8 新京支店運輸課長 代理
	堀内健吉 川田寛一 森田實 江原誠	牡丹江出張所→44.12.22 新京支店 45.3.9 復役・新京支店長代理兼保険課長 本店人事部→45.3.13 新京支店→45.9.26 本店勤務 哈爾濱支店・北安駐在員→45.4.6 新京支店（榆樹駐 在）
	北川継男 大和屋弘喜	囑託→45.5.1 特務職員 大連支店雑貨課長代理→45.5.22 新京支店総務課長 代理
	伊東要之助	営口出張所商務課長→???.?.? 新京支店→45.5.31 罷役 （松江花工業に入社）
	吉屋昇 原口舒好 大浦信 木村正人	大連支店→45.5.22 新京支店 大連支店→45.6.1 新京支店 大連支店→45.6.1 新京支店 44.6.3 特務職員見習（着任）→44.9.16 特務職員 →45.7.1 職員
	瀬戸正雄 奥井保雄 関口雄二 澤地照夫	45.7.7 復役・新京支店→45.8.30 大阪支店 哈爾濱支店→45.7.10 新京支店 45.6.22 復役・新京支店→45.8.30 本店勤務 本店機械部→45.6.27 新京支店→45.8.30 本店勤務

新京支店・吉林事務所（44.11.27 新京に引揚完了）

所長 所長代理	松田榮枝（兼） 山口留次郎	44.6.19 新京支店穀物課長兼務を解く 44.7.17 青島支店
	浅岡稔 齋藤佑造（特） 土持正 朝倉恒蔵 榊原賢司 久野昭二* 川浪春次*	44.6.1 職員→45.11.28 依願解備（三井木材工業に 入社） 44.11.8 新京支店 44.11.6 新京支店 45.11.17 本店勤務（福岡支店）

新京支店・安東出張所（44.12.8 支店に昇格）

所長 所長代理	芳澤利明 武藤千葉	44.12.8 支店長 44.6.30 罷役（大陸化学工業に入社）
庶務課	鈴木勲	
商務課	課長 武藤千葉（兼） 小関春男	44.6.30 罷役（大陸化学工業に入社）

部署・職階		氏 名	1944年4月以降の異動
商務課		梅尾三郎 (特) 吉永武福 (特)	44. 10. 24 職員
会計課	課長	福田昌之 立花昌一 (特)	45. 3. 8 支店長代理 (一部権限) 兼務
所属未定		甲斐勝*	45. 10. 10 本店勤務

44. 4. 1 以降に配属等された支店員

平出永一	北安出張所長代理→44. 7. 25 安東出張所長代理兼商務課長→44. 12. 8 安東支店長代理→商務課長兼務
内藤政雄	新京支店 (特)→44. 12. 15 安東支店 (特)→職員

新京支店・営口出張所

所長 所長代理 〃	岩崎仁一 西村嘉吉 笹山寛	45. 6. 8 罷役 (東亜農産興業に入社) 44. 6. 15 本店経理部 44. 12. 16 穀肥課長兼務を解き庶務課長兼務
庶務課	課長 小早川精一	44. 12. 22 福岡支店参事
穀肥課	課長 笹山寛 (兼) 大谷忠雄 徳田氏秀 (特)	44. 12. 16 庶務課長 44. 8. 29 濟南支店 45. 4. 1 職員
雑貨課	課長 伊東要之助	44. 12. 16 商務課長→???.?.? 新京支店
会計課	課長 西村嘉吉 (兼) 森英旭 石田尚平	44. 6. 15 本店経理部
所属未定	鈴木丈平* 岸栄一*	45. 3. 5 ビルマ方面にて戦死 45. 9. 21 本店勤務
営口三泰機在勤	塚本政久	

44. 4. 1 以降に配属等された支店員

鈴木幸一良	準職員→44. 4. 1 特務職員
大嶽和夫	準職員→44. 4. 1 特務職員
後藤信吉	準職員→44. 4. 1 特務職員
守岡岩男	嘱託→44. 5. 19 特務職員

新京支店・牡丹江出張所 (のち哈爾濱支店・牡丹江出張所、45. 7 廃止)

所長 所長代理	松村高 吉田健一	45. 6. 8 哈爾濱支店長代理
	豊浦静男 吉田義郎 (特) 奥井保雄 大嶽二士夫*	44. 12. 8 新京支店 45. 5. 29 哈爾濱支店 45. 11. 17 本店勤務

44. 4. 1 以降に配属等された支店員

森井晃	準職員→44. 4. 1 特務職員
渡邊章三	佳木斯出張所長代理→44. 10. 7 牡丹江出張所長代理

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

部署・職階	氏名	1944年4月以降の異動
	堀内健吉	佳木斯出張所→44.12.8 牡丹江出張所→44.12.22 新京支店

新京支店・錦州出張所（44.12.8 支店に昇格）

所長 所長代理	羽原茂雄 納見壽六	44.12.8 錦州支店長 44.12.8 錦州支店長代理→44.12.16 総務課長兼務→ 45.7.27 総務課長兼務を解き 商務課長兼務
	武末正義 木下英香 廣瀬俊雄 小松良三（特）	44.12.16 商務課長→45.5.31 罷役（松江花工業に入社） 44.12.16 錦州支店会計課長代理 45.5.22 総務課長代理→45.6.8 罷役（満州選鉱剤に入社） 44.11.11 死去

44.4.1以降に配属等された支店員

	高尾洋次 齋藤由吉 徳田義彦 菊地智 田中也二郎 大田（太田）秀雄 桂朝雄	準職員→44.4.1 特務職員 準職員→44.4.1 特務職員 営口出張所準職員→44.5.1 錦州出張所特務職員 新京支店雑貨第二課→44.9.19 錦州支店 大阪支店参事→45.2.19 錦州支店長代理→45.6.2 罷 役（満州発動機に入社） 奉天支店→44.8.15 錦州出張所→45.5.29 奉天支店 奉天支店→45.5.29 錦州支店→45.7.27 総務課長代理
--	---	--

新京支店・齊々哈爾出張所（44.12.8 廃止、哈爾濱支店駐在員へ）

所長 所長代理	田村芳造 多田一雄	44.9.22 徐州支店長代理 44.12.8 新京支店運輸課長代理
	福塚伊佐夫 吉雄正教 津崎健 大瀬木大勝*	45.6.5 和歌山陸戦病院にて戦病死 44.12.8 哈爾濱支店齊々哈爾駐在員→45.5.29 哈爾 濱支店

44.4.1以降に配属等された支店員

	市川重夫	準職員→44.4.1 特務職員→44.9.11 北京支店・開封 出張所
--	------	--

新京支店・北安出張所（44.12.8 廃止、哈爾濱支店駐在員へ）

所長 所長代理 〃	長枝吉實 平出永一 大島政一	44.12.8 新京支店参事 44.7.25 安東出張所長代理兼商務課長 44.12.8 徐州支店会計課長代理
	江原誠 野田芳雄 篠原正良（特） 福原正（特） 宮川四郎 一力敏行* 中村弘*	44.12.8 哈爾濱支店北安駐在員→45.4.6 新京支店 （榆樹駐在） 44.7.3 罷役（大陸化学工業に入社） 44.11.21 済南支店 44.6.19 漢口支店 44.10.20 大阪支店 45.1.30 北京にて戦病死

部署・職階	氏名	1944年4月以降の異動
44.4.1以降に配属等された支店員		
	菊池傳	準職員→44.4.1特務職員
新京支店・佳木斯出張所 (44.12.8廃止)		
所長 所長代理 〃	山田順道 山本淳 渡邊章三	44.12.8 哈爾濱支店長 44.6.19 新京支店雑貨課長代理 44.10.6 牡丹江出張所長代理
	古川憲吉 出口清 堀内健吉 (特) 片岡茂雄	44.8.25 新京支店 44.11.8 新京支店 44.6.1 職員→44.12.8 哈爾濱支店牡丹江出張所 44.9.11 北京支店保定出張所
44.4.1以降に配属等された支店員		
	南羽良一	準職員→44.4.1特務職員→44.12.8 新京支店
新京支店・間島出張所 (44.12.8廃止)		
所長	中憲太郎 (健太郎)	44.8.23 本店勤務
	大塚明 植村一男	44.4.8 出張所長代理→44.12.8 新京支店庶務課長代理 44.9.11 張家口支店
哈爾濱支店		
支店長 支店長代理 〃	佐伯真澄 阪上喜太郎 古賀力次	44.10.5 取締役附 44.12.16 会計課長兼務を解き 保険課長兼務→45.1.23 大連支店参事 44.12.16 雑貨課長兼務を解き 商務課長兼務→45.1.23 商務課長兼務を解く
庶務課	課長 久保松雄 西山甚助 (特)	44.9.11 徐州支店総務課長 44.10.24 職員
穀肥課	課長 丸山昇二	44.6.20 上海支店参事
雑貨課	課長 古賀力次 (兼) 横田一雄 藤浪輝雄 伊藤智	44.12.16 雑貨課長兼務を解き 商務課長兼務→45.1.23 商務課長兼務を解く 45.4.5 商務課長代理
保険運輸課	立石岩次 渡部公之	45.4.5 保険課長代理
会計課	課長 阪上喜太郎 (兼) 浅井孝三郎 (兼) 塚田傳三 丸山充 三浦十一	44.12.16 会計課長兼務を解き 保険課長兼務→45.1.23 大連支店参事 44.7.17 罷役 (大陸化学工業に入社)
出納課	課長 浅井孝三郎	44.12.16 会計課長

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

部署・職階		氏 名	1944年4月以降の異動
所属未定		幡生正男* 藤元正彦* 富士虔吾* 山口護*	

44. 4. 1 以降に配属等された支店員

	調和親	準職員→44. 4. 1 職員
	赤松繁次郎	奉天支店長代理→44. 10. 1 哈爾濱支店長
	松田慶助	準職員→44. 4. 1 特務職員
	山田順道	佳木斯出張所長→44. 12. 8 哈爾濱支店長
	吉雄正教	齊々哈爾駐在員→44. 12. 8 哈爾濱支店
	西田堅	新京支店庶務課長→45. 1. 8 哈爾濱支店庶務課長
	森本正雄	奉天支店雑貨課長代理→45. 1. 23 哈爾濱支店商務課長
	曾根原憲喬	45. 5. 1 復役・支店長代理→45. 5. 31 罷役（松花江工業に入社）
	林磯雄	奉天支店→45. 5. 29 哈爾濱支店
	奥井保雄	牡丹江出張所→45. 5. 29 哈爾濱支店→45. 7. 10 新京支店
	菊池傳	哈爾濱支店北安駐在員附（特）→45. 5. 29 哈爾濱支店 →45. 6. 14 死去
	松村高	牡丹江出張所長→45. 6. 8 哈爾濱支店長代理

大連支店

	支店長 支店長代理 〃 〃	本宿一郎 島居繁太郎 渡邊金吾 清水文蔵	44. 4. 26 石炭課長兼務を解く→45. 3. 1 青島支店芝罘出張所長
庶務課	課長 課長代理	安田秀吉 石崎佐喜正 川村正三郎	
雑貨課	課長 課長代理	山本敏夫 鈴木正次 大和屋弘喜 伊藤鉄夫 久保喜兵衛 芝原秀夫 吉屋昇 福泉龍男	44. 12. 16 上海支店長代理 45. 1. 23 雑貨課長代理→45. 5. 22 新京支店総務課長代理 44. 4. 26 石炭課長代理を解く 45. 5. 31 罷役（松花江工業に入社） 45. 5. 22 新京支店 44. 4. 26 上海支店勤務
機械金物課	課長 課長代理	山川智雄 近藤寛 月川侃五（特）	44. 5. 13 死去 44. 7. 7 機械金物課長 45. 5. 16 職員→45. 5. 29 罷役（松花江工業に入社）
保険課	課長 課長代理	渡邊金吉（兼） 山下晃 小林芳樹	

部署・職階		氏 名	1944年4月以降の異動
運輸課	課長 課長代理 〃	川島経三郎	45.3.1 支店長代理兼運輸課長
		篠田徳次郎	
		廣瀬時男	44.9.27 徐州支店保険運輸課長代理
		西村精次	44.10.2 運輸課長代理
運輸課		寺田教人 (特) 大橋修	45.5.16 職員
会計課	課長	福原雄二	
		廣岡治	45.6.20 会計課長
		福澤利雄	
		大栗暁	44.9.26 張家口支店
		佐藤正義	
山中易	44.9.1 依願解雇		
出納課	課長	梅村万一	
所属未定		光田英男*	45.11.30 本店勤務
		前田芳郎*	
		清水慶一*	44.9.1 本店附
		外松修一*	
		朝田順一*	
		堀越幸*	
		鬼頭誠一*	
		西澤正徳*	
		吉澤廣中*	
		人本章*	
	尾上光孝*	45.11.24 福岡支店鹿児島事務所	

44.4.1 以降に配属等された支店員

松原國隆	準職員→44.4.1 職員
原口舒好	準職員→44.4.1 職員→45.6.1 新京支店
大浦信	準職員→44.4.1 職員→45.6.1 新京支店
木尾満幸	準職員→44.4.1 特務職員→44.11.29 定年により退社
新庄敬一	準職員→44.4.1 特務職員
井上茂	準職員→44.4.1 特務職員
須藤廣吉	準職員→44.4.1 特務職員→44.9.19 新京支店
小崎健次郎	準職員→44.4.1 特務職員→44.9.26 張家口支店→?? ?.? 新京支店→45.5.31 罷役 (大陸化学工業に入社)
根来辰之助	大阪支店運輸事務所 (特)→44.11.20 大連支店→45.5.29 奉天支店
田川亮一	北京支店参事→45.1.4 大連支店雑貨課長
後藤基勝	奉天支店参事→45.1.29 大連支店参事
草野義男	神戸支店次長→45.1.23 大連支店次長→45.3.22 定年により退社
北村次郎	三井船舶 (特)→45.6.30 大連支店 (特)
森田勇	北京支店→45.8.1 大連支店
荒木勇二郎	準職員→45.5.29 特務職員&罷役 (松花江工業に入社)

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

出典『三井物産株式会社職員録』1944年（三井文庫所蔵、物産 51-42）および『三井物産株式会社社報』1944年（三井文庫所蔵、物産 43-35）、同 1945年（同、物産 42-36）をもとに作成。

- 注）1. 参照した職員録は「1944年4月1日調」のため、職員録に掲載されている支店員については1944年1月4日～1945年12月28日の社報に掲載された辞令をもとに職員録以降の異動情報を「1944年4月以降の異動」の列に補足した。また各支店の末尾に、社報から判明する限りで1944年4月1日以降に新たに配属された、あるいは社報に載るようになった（特務職員以上になった）支店員の一覧を付した。ただし三井文庫が所蔵する社報は1945年中の63～66号（5月12日～5月22日の間に発行）が欠けており、その間の異動情報は含まれていない。そのためか、小野頌介に奉天支店長を命じる辞令は見つけられていない。また大連支店については1944年4月1日以降の異動も職員録に反映されているようである。
2. 職員録および社報には原則として職員と特務職員のみが掲載されており、準職員や見習、雇員、嘱託、女性職員等は含まれていない。付表2も合わせて参照いただきたい。ただし準職員が特務職員になる際は社報に掲載されるため、付表1には準職員→特務職員の情報が記載してある。
3. 日付は、異動については原則として辞令の交付日、出張所の改廃は規定の交付日である。
4. (兼)は兼任、(特)は特務職員を意味し、*は応召中を指すと思われる（吉川容氏および大島久幸氏のご教示による）。

付表2 奉天支店準職員・見習者・雇員一覽

雇用形態	氏名	生	雇入	備考1	備考2	備考3	備考4
準職員	安倍昌任	明治 36. 10	13. 1		庶	142	
	□村正彦	大 2. 1	13. 6	○	雑	115	応
	有松信義	明 43. 12	14. 9		鞍	108	
	山路守	大 3. 4	13. 4		庶	105	応
	後藤良雄	大 5. 3	15. 4		四平	96	
	福田由元	明治 41. 7	16. 12	○	応	96	
	高田米雄	大 6. 7	13. 11	○	雑	95	
	高山英極	大 10. 4	14. 3		出	94	
	古賀栄典	大 4. 11	14. 11		出	92	応
	本多新一郎	明 44. 8	18. 4		応	92	
	伊東三郎	大 4. 9	16. 12		応	91	
	白土高壽	明 29. 4	12. 6		出	89	
	竹崎幸雄	明 43. 12	16. 3		保	89	応
	高井正雄	大 5. 12	10. 3		応	87	
	久保川大式	大 4. 10	15. 8		庶	86	応
	沖勇	大 2. 6	17. 5	○	雑	93	応
	准田利夫	明 45. 3	18. 6		会	85	応?
	鈴木長平	大 7. 1	15. 7		運	83	
	若松久補	大 2. 2	17. 5	○	雑	82	応
	益永志郎	大 9. 2	14. 12		運	81	
	松宮秀夫	大 6. 12	12. 7		庶	80	
	谷口登	大 10. 4	14. 7		入営中	79	
	福田八策	大 8. 1	16. 2		運	78	応
	川野清文	大 8. 10	17. 8		運	78	死
	根市徳男	大 3. 1	18. 8		庶	78	応
	八尾良彦	大 11. 5	14. 11		応	76	
	坂本満洲男	9. 1	16. 6		機一	76	
	友方茂男	10. 4	14. 6		入営	75	
	伊岐見重男	10. 9	15. 6		入営	72	
	野崎勉	11. 8	15. 9		入営	72	
	平峰義行	12. 1	16. 8		入営	72	
	島原秀雄	10. 5	18. 2		応	70	
	帖佐英達	10. 5	18. 3		長期病欠	67	
	河原富平	4. 10	18. 10		機二	67	
	山口保雄	12. 5	18. 11		会	66	
	太田勲	8. 5	17. 10	○	雑	65	応
	広崎亀	7. 11	18. 2		未定	65	
	富田和夫	13. 12	12. 12		庶	64	入営
	加藤房央	9. 6	17. 3		応	62	
	稲永芳一	10. 9	15. 6		入営	61	
津川幸徳	10. 2	15. 6		応	60		
岡村秋雄	12. 1	16. 11		入営	59		
瓜生守正	12. 1	17. 4		入営	59		

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

雇用形態	氏名	生	雇入	備考1	備考2	備考3	備考4
準職員	辰島芳雄	9. 5	18. 7	○	運	59	応
	宅間幸彦	13. 4	17. 6		雑	58	入営
	田辺尚道	11. 2	16. 2		入営中	57	
	富山正保	大 11. 9	16. 4		入営中	57	雑
	渡部春雄	12. 5	17. 6		応召	57	
	表谷担	13. 2	17. 6		雑	57	入営
	長谷川春男	13. 5	17. 7		機一	57	
	武山市郎	12. 1	17. 7		入営	57	
	瀬山竜潮	11. 1	16. 5		入営	55	
	山本哲郎	9. 10	16. 6		入営	54	
	小杉滋徳	10. 1	16. 6		入営	54	
	小森利孝	10. 6	18. 10		運	54	
	本間徳次郎	12. 8	17. 9		入営	53	
	大津欣二郎	8. 3	18. 4		運ユ	52	
	波平一	13. 1	18. 3		運ユ	50	入営
後藤力	12. 5	18. 10	応	50	雑		
内田甲子郎	13. 12	18. 4	運	49			
榎原二二一	13. 1	18. 12	会	46			
見習者	梶井太一	明 45. 4	18. 6		応	80	
	豊永健造	大 12. 1	19. 6		運	50	
	橋口新	大 13. 10	19. 11		保・運	53	
	東四郎	大 15. 10	19. 12		雑	42	
	上村二三	昭 2. 3	19. 12		保・運	40	
	小川助九郎	大 3. 3	19. 11		機	100	
雇員	清田数馬	明 43. 2	昭 13. 3		庶	91	
	近森弥一郎	明 30. 4	16. 8		庶	88	
	海原大達	大 10. 2	18. 8		庶	76	
	政田栄一	明 38. 8	16. 4		庶	64	
	金沢秀雄	大 9. 4	18. 8		庶	46	
	国本成万	大 14. 9	18. 10		庶	33	
	正木致昌	大 15. 4	18. 12		会	32	
	信川相源	昭 3. 8	18. 10		庶	27	
	松原春秀	昭 3. 6	19. 8		運	27	
	海原正行	昭 3. 1	19. 9		庶	27	

出典)「上/19 期末雇備調ヨリ (19-9 末) 奉天支店」、「奉天支店戦後処理ファイル」所取をもとに作成。

注) 1. 項目欄は適宜作成者が補った。

2. 当時の奉天支店部署は庶務、総務、雑貨、農場、機械第一、機械第二、煙草繊維、保険運輸、会計、出納の各課。

3. 表記が一致しない部分があるが、史料ママとした。

4. 原史料タイトルの通り 1944 (昭和 19) 年 9 月末時点をベースにしているが、事後的に書き足された部分もあると思われる。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

付表 4-1 奉天支店所有または借受社宅一覧

名称	住所	付図2番	香川日記内呼称	形態	議案提出年月*	棟数	敷地(坪)
奉天支店	大和区加茂町2番	①	ビル、三井ビル	所有	—	—	—
支店長社宅	大和区春日町12番	②	支店長社宅	所有	1932年5月(借受→購入) 1935年10月(増築)	煉瓦造平屋建1棟 +1室(増築)	395
加茂町社宅	大和区加茂町2番	③	三井寮	所有	1939年6月(新築)	煉瓦造2階建1棟	—
弥生町社宅	大和区弥生町73号	④	十条社宅、三井荘	所有	1940年7月(購入)	2階建3棟	295.85
隅田町社宅(1)	大和区隅田町15号	⑤	清友荘	借受	1942年8月(借入)	煉瓦造瓦葺建物内の一部	—
八幡町社宅	大和区八幡町5号	⑥	八幡町社宅、八幡寮	借受	1942年11月(借入)	煉瓦造2階建1棟	—
淀町社宅(1)	大和区淀町8号	⑦	淀町社宅	所有	1942年12月(購入)	地下室付煉瓦造3階建1棟	160.09
淀町社宅(2)	大和区淀町8号	⑧	(淀町)女子寮	借受	1943年1月(借入)	煉瓦造2階建の2階の一部	—
隅田町社宅(2)	大和区隅田町2号	⑨	—	所有	1943年9月(購入)	煉瓦造平屋建3棟	745
橋立町社宅	大和区橋立町13号	⑩	橋立町社宅	所有	1944年2月(購入)	煉瓦造3階建1棟、2階建1棟	151.56

出典) 三井文庫所蔵『廻議綴』(物産 2390、2399、2424、2425、2427、2428、2430、2433、2438、2445、2448)、
 注) 1. *三井物産の取締役会、または社長・常務取締役間の持回り審議に当該内容を含む議案が提出された年
 2. 奉天支店は慢性的な社宅難にあり、1944年2月の時点で「社宅不足ノ為メ奉天支店詰員中二十六家族
 ただしここには女性職員が含まれておらず、1943年9月の時点では「独身」53名のうち16名が、「女

付表 4-2 奉天支店収容人員表 (昭和21年3月末、単位：人)

	奉天支店	営口出張所	錦州支店	廣瀬保雄	合計
淀町社宅	103				103
淀町女子寮	26				26
八幡寮	18	16			34
清友荘	16				16
大正社社宅			14		14
選鉱剤社宅				5	5
外宿舍	32	5			37
合計	195	21	14	5	235

出典)「奉天支店収容人員調(21-3月末現在)」、「奉天支店戦後処理ファイル」所収をもとに作成。

延坪 (坪)	戸数	収容状況(1943年1月)	備考
—	—	—	—
52 →59(増築)	—	—	—
427.2	家族持10戸:14畳×10 独身21室:8畳×7、 6畳×14	職員10家族 独身職員15名 同準職員13名	建坪190 延坪には地下室47.2坪を含む
313	家族持17戸:26畳×4、 16畳×7、9畳×6	職員12家族 準職員5家族	売主:庄ノ瀬工務所、敷地は借地
—	2戸6室:(8畳+6畳×2) ×2	職員2家族	貸主:庄ノ瀬工務所
110	16室:8畳×8、6畳×4、 4畳半×4	独身者職員・準職員 計16名	貸主:松浦市太郎
358.163	16戸	購入手続中	売主:南満州鉄道(敷地) 売主:佐々木孝三郎(建物・敷 地借地権)
43.28	5室:16畳×1、14畳×1、 8畳×1、10畳×2 共用部:22畳	—	貸主:佐々木孝三郎
101.21	—	—	支店から徒歩5分 資材入手まで現存建物を倉庫・ 独身社宅とする 空地はテニスコート予定
260.56	3階建11戸、2階建8戸	—	

『取締役会決議録』(物産2063、2064、2065、2070)、『取締役会議案綴』(物産2075)。

月を示した。

十六独身者ハ市内外ニ散宿中」であった。

子」108名のうち98名が「社宅なきもの」に分類されている。

付表5 社外借入金々額区分表（単位：千円、本店整理部作成）

店別	5千円以下		5/10千円		10/15千円		15/30千円		30/50千円		50/100千円		100千円以上		合計	
	数	額	数	額	数	額	数	額	数	額	数	額	数	額	数	額
京城	7	17.7	1	10	2	30	2	47.5			2	138	1	165	8	390.5
清津															7	17.7
群山			1	10											1	10
奉天							1	30	3	150	1	100	4	870	9	1,150
新京	3	15	24	240	10	150	29	730	11	495	9	765	2	300	88	2,695
營口			1	10			1	20							2	30
天津	1	4													1	4
北京			1	5.4			2	48							3	53.4
上海																
南京					1	14							2	380	2	380
漢口	2	4							1	33.3	1	97.7			4	135
汕頭	1														1	※1.3
河内		1.3											1	※749	1	※749
西貢									1	50					1	50
盤谷			1	10			3	51.1	3	153.5					7	214.6
クアラルンプール									1	40					1	40
ストックホルム			1	8											1	8
合計	14	42	30	293.4	13	194	38	926.6	20	921.8	13	1,100.7	10	2,464	138	5,942.5
※控除	1	※1.3											1	※749	2	※750.3
	13	40.7	30	293.4	13	194	38	926.6	20	921.8	13	1,100.7	9	1,715	136	5,192.2

控除分ハ支払フ必要ナキモノト見ラルハモノ
出典「社外借入金々額区分表」、「奉天支店戦後処理ファイル」所収。

付表6 奉天支店管下子会社及社員二貸付明細

選鉱剤	55,000
配合飼料	11,700
豚毛	15,000
日満鋼材	150,000
三機	40,000
營口三井物産	35,000
錦州三井物産	30,000
T (康徳被服)	10,000
I (松花江)	7,000
H (満州発動機)	2,500
H (選鉱剤)	3,000
H (三井済南支店)	2,000
C (水銀)	6,000
計	391,900

出典)「奉天支店管下子会社及社員二貸付明細」、
「奉天支店戦後処理ファイル」所収をもとに
作成。

注) 誤字は適宜あらため、個人名はイニシャルと
した。単位不明。

凡例

- 一、用字について、旧字は新字にあらためた。ただし、人名については旧字であってもそのまま翻刻している。
- 一、翻刻者の判断により、適宜句読点を補った。
- 一、明らかな誤字である場合、〔 〕により正しい文字を補った。判断がつきにくい場合には、該当部分にママのルビをふった。なお、以下の文字については一貫して誤字が使用されていたため、翻刻者の判断ですべて正しい文字にあらためた。
誤：蔭→正：薄 誤：焔→正：賄 誤：薫→正：董
- 一、文字を判読できない箇所は、□で示した。
- 一、金額、価格表記のあとのハイフンは原文において記入がある場合とない場合があるが、翻刻者が統一することはせず、すべて原文に従い翻刻した。
- 一、史料中において一行以上の空きがある場合、すべて一行空きとして翻刻した。
- 一、原文には現在からみて不適切な語句や差別的な表現があるが、当時の時代状況と本日記の史料的意義を考慮し、そのまま掲載した。

翻刻

日記帳Ⅰ：1945年8月7日～10月26日

◎序言

筆者ハ昭和十八年十二月三井物産ヲ退キ一個ノ農業者トシテ立チタルガ失敗シ、本年三月二日奉天支店ノ農場経営ニ参加ノタメ来奉。五月十四日再ヒ当社ニ復帰セリ。

本年四月十二日竜江省洮南県順徳村ニ試験農場ヲ開設スル傍ラ本来ノ目的タル三井機械農場ノ建設ヲ急ギツ、アリ。偶々八月八日北安市ニ出向キ九日克山ニ下車。岩崎仁一氏ノ紹介ニテ附近候補地ヲ視察セントスル時ソ聯ノ参戦ヲ知レリ。

同日克山ヲ発シ洮南農場ニ入り同志ト共ニ身ヲ以テ脱出。十四日奉天ニ歸リタルガ此ノ苦難心労ハ恐ラク生涯ノ想出トナルベシ。

爾来知己小野支店長ノタメニ粉骨セルガ非オニシテ及バサルコト遠シ。九月十三日三井寮退去以来ハ清友荘ニ起居ヲ共ニシ帷幕ニ参劃シ凡百ノ事全テ御相談ニ預リタルガ性来ノ愚鈍ノタメニ同氏ノ名声ヲ傷ケタルヲ怖ル。

本日記ハ農場干係ヨリ始マリ清友荘ニ至ル約二ヶ月半分ナルガ香川個人ノ近況ヲ伝フルトコロ多キモ、後日ノタメ敢テ書続クル次第ナリ。

◎8月7日 F

8.23 ハルピン発ニテ北安ニ向フ。八月一日以来五日迄ノ豪雨ニテ各地トモ出水多シ。北安ニ近付クニ随ヒ愈々甚シク線路ノ決潰セル有リ。揚家屯（北安手前ノ駅）ヨリニヶ所徒歩連絡トナリ、九時漸ク神田旅館ノ大部屋ニ落付ク。当地部隊ニテ病死セル将兵ノ合同葬アリタルタメ投宿者多シ。

※神田旅館…1938年、神田栄二郎（1892年生）が北安に創業した旅館。北安街東松村区。

◎8月8日

17.40 北安発。克山ニ向フ。水害実状視察ノタメ省次長等同列車ニテ克山ニ下車セリ。

東亜農産事務所ニテ岩崎社長ニ面会。直ニ同氏宿泊中ノ旅舎ニ向フ。克山街ハ駅ヨリ半里余リ、鉄路ヲ越エテ南側ハ一大湖水ヲ現出シツ、アリ。馬鈴薯作相当ノ被害アリト看取セラル。

小宴ノ後岩崎氏ト共ニ四畳半ニ就寝ス。機械農業ニ干シ同氏甚ダ積極的ニテ地均工作ハ殆ト全キガ如シ。

※東亜農産…東亜農産工業株式会社、1943年7月設立。三井物産子会社。

◎8月9日

此ノ日農産社ニテソ聯ノ挑戦ヲ知り愕然タリ。5.30ノNewsニテ聴取セル由ナリ。朝食後事情聴取ノタメ岩崎氏全道県公署ヘ向ヒタルモ、全館書類ノ整理其ノ他ニテ騒然タリ。

中食ノウドン屋ニテ正午ノNewsヲ聞クニ、国境方面既ニ激戦中ノ模様ナルモ一般満系ハ極メテ平静ニシテ寧ロー抹ノ不安ヲ覚ユ。

鉄道ハ軍人以外全ク乗車セシメズト言フモ、農産社員某ノ子女駅ニ勤務セルヲ通シ再三交渉ヲ重ネツ、アリタリ。

岩崎氏ハ旅舎ヲ引揚ゲ工場附属ノ社宅ヘ移転スルト言フ。筆者又同氏ト共ニ太車ニテ工場ニ到ル。構内ハ出水ニテ宛然川ヲ渡ルガ如シ。腐敗セル馬鈴薯ノ浮ク中ヲ兩名徒足ニテ工場ヲ視廻ル。

工場内ヘノ侵入ヲ防グ為終日排水ポンプヲ動カシツ、アリタルモ更ニ効果ナキモノノ如シ。

同氏切ニ更ニ一泊ヲ薦メタレ共、筆者又農場不安ナレバ兎角洮南行キヲ決行スベク同氏ニ別レテ駅ニ向フ。冷酒ヲ以テ別離ノ盃ヲ酌ミタルガ同氏ハ筆者ノ無事ヲ祈リ態々工場外迄見送ラレタリ。

駅ニテ種々助役ト交渉ノ結果漸ク切符ヲ入手セリ。時ニ1900ナリ。十二時チ、ハルニ到着。宿ヲ求ムレ共ナク、駅構内ハ警戒厳重ニテ軍人以外立入禁止セラル。駅前単座防空壕ニ徹夜ヲ決心ス。蚊多ク就寝不能ナリ。空襲警報響ク。想ハザリキ北方ヨリ空襲ヲ受ケントハ。

※県公署…満州国の地方行政機構は、省（及び特別市）、市県旗、街村の三層で構成され、省には省公署、市には市公署、県には県公署、旗には旗公署が置かれた（特別市は省と並ぶ格であり、普通市は省長の管轄下にある）。

◎8月10日

【洮南着】6.00、チ、ハルニテ乗車。殆ト軍用列車ノ感アリ。発車前一般乗客ハ下車セシムル由ニテ落付カザルシモ兎モ角列車ハ南下セリ。

14:30、洮南駅下車。北支ヨリ移駐セル部隊ドンドン下車スルカト思エバ、当地ヨリ乗車スルモノアリ。正ニ戦場風景ナリ。

街頭馬車、太車共殆ト見当ラズ、有ルハ全テ軍用ナリ。不取敢南満旅館ニ二室ヲ借受ケ農場干係者ハ洮南街迄引揚ゲセシメント決意ス。

奉天支店ヘ出電。“一同引率シテ帰奉スル”旨急報ス。

午後五時頃ニ到リ偶然馬車一台ヲ手ニ入レ片道100ノ契約ニテ出発ス。満系方面ハ一般ニ平静ナリ。

空襲警報再ビ響巨リ同夜爆弾三発落下。満系ニ死傷アリタリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【農場着】1900、農場二到着。一同ニ開戦ノ事実ヲ報告シタルニ何レモ初耳ニテ愕然タリ。支配人刘ハ承知セルモ“皆々既ニ熟知ト想ヒ”報告ゼサリキト言フ。

一同ヲ集メ日系ハ速刻引揚ゲル旨ヲ告ゲ荷造ヲ開始ス。苦力頭孫ハ元張海鵬將軍輩下ノ將校トテ彼等ガ守護スル故同処ヘ止マレト熱心ニ口説キタルハ終生ノ感激ナルベシ。

【一般】軍及ビ官ノ疎開始マル。海辺、新京ヨリ帰任スル。

※南満旅館…洮南の康楽街にあった日本人経営の旅館。

※張海鵬…1868年生-1951年没（生年は諸説あり）。軍人。張学良配下にいたが、満州事変後に日本軍の工作により日本側に帰順した。

◎8月11日

【農場要員一部出洮、情況急激ニ変化シツ、アリ】正午香川、白地、西村、支配人刘ヲ伴ヒ蔣富ヲ御者トシテ洮南街ニ向フ。途中満系ニシテ田舎ヘ疎開セルモノノ二ノ三ニ出遭フ。

大鼻子ニ対シテハ相当恐怖心ヲ抱キツ、アリ、特ニ外蒙兵ノ婦女子ニ対スル暴行ハ定評ナルモノノ如シ。

洮南街ニ入レバ依然將兵ノ出入繁ク、城門ハ何レモ嚴重ニ守備セラレ戦車壕ヲ構築シツ、アリタリ。

ハイラル方面ヨリ南西下セル敵ハ白城子ニ迫ルトノ報アリ。アルシヤン方面ハ五ノ六千落下傘部隊降下セリト言ハル。

洮南城内ハ皇軍ノ守備区域ニテ約一ヶ師団、城外ハ満軍ノ担当ト定リタル模様ナリ。

白地ヲシテ駅ニ出向カシメ兎モ角会社ノ証明書ニテ切符五枚ヲ購入セシメ、急変セル情況ト共ニ明朝十時迄ニ退出、出洮スベキ旨ヲ井舟、植田ヘ出状。刘、蔣ヲ一応帰場セシム。

南満旅館ニ一泊。

新ニ来洮ノ兵士達ハ其ノ目的ヲ全然知ラズ、吾々ノ情報ニ愕然タルモノ有リ。決死ノ様相ニテ黙然タル者アリ。戦車5,000台白城子ニ迫ルト言フ者アリ。其ノ動キト共ニ愈第一線タルノ気配濃厚ナリ。

【奉天】一般ニ平静ナルモ疎開者殺倒又通過スル者アリ。当社モ婦女子ニ疎開ヲ勧奨スベク取敢ヘズ室谷、牽引車ヘ出向キ打合ハス。

※大鼻子…ロシア人に対する蔑称。

※外蒙兵…8月10日、ソ連のザバイカル方面軍にモンゴル人民革命軍が加わった。

※牽引車…満州牽引車製造株式会社、1945年7月設立。三井物産が、満州自動車製造（満州重工業開発の子会社）と共同で日滿鋼材工業（三機工業の子会社）を

買収し、商号を満州牽引車製造に変更。トラクターや軍用牽引車を製造。

◎8月12日

【竜江酒精】早朝香川、竜江酒精工場ヲ訪問。前夜着場ノ大隈社長ト懇談ス。奉天地区ノ平静ト当地防衛師団ノ装備ノ貧弱ナルヲ聴キ、愈、速刻帰奉スル決心ヲ定ム。尚農場所在ノ家畜ハ満系要員ヲシテ適宜処分セシメ、此ノ代金ヲ以テ賄ハシムル件ヲ承認セシム。

配給ニ干シ輸出証明ヲ得ント白地ヲ同道シテ街縣公署ヘ赴カントスル途中、兵事係田中氏ニ遭フ。同人ノ言甚ダ殺氣立ち吾等在郷軍人トシテ街防衛ニ当ルベキヲ要求ス。当方ハ本店ノ命ニヨリ行動スベキ者ナレバ即吞ヲ避ケ縣公署ヘ向フ。署内ハ兵士ノ宿所乃至司令部トナリタル如ク、行政ハ室外ニ設置セル看視隊ニテ一括処理スルコト、ナリ。兵事部ハ閉室セラレタリ。

副隊長ニ挨拶セントセシモ不在、靛島技佐ヨリ怒号セラル。曰ハク農場要員ハ速刻洮南ヘ引揚ゲシメ、男子全員ハ十二時迄ニ分会事ム所ヘ集合シ監視隊トナルベク、女子ハ縣幹旋ノ避難列車ニ搭乘セシムベシ。

何レニシテモ官吏全員全ク狂氣ノ如ク振舞ヒツ、アリ。到底話相手ニナリ難シト見エタルヲ以テ一切ヲ打切り旅舎ニ帰ル。

井舟、植田ニ迎エタル時ハ（10.00）旅館女将女中、何レモ避難準備ニ忙殺セラレツ、アリタルヲ以テ其ノ標準ヲ聞キ布団其ノ他嵩バル物ハ一切放棄シ、トランク、行李類ニ取纏メシム。

男子要員ニハ街死守ノ場合ヲ予告スルト共ニ、白地ヲ駅ヘ急行セシメ果シテ吾々ノ乗車可能ナリヤ否ヤヲ確メシム。

前日来交渉中ノ某満鉄社員ハ午後間モナク列車アリ之レニ便乗シテハ如何ト話呉レタルタメ、遂ニ全員洮南脱出ヲ決意シ、荷物ハ西村、刘、蔣ノ附添ニテ、他ハバラバラニテ一応竜江酒精ニ向ケテ城門ヲ通過シ迂回シテ駅ニ至ラントセルモ、禦者蔣ハ所要時間多ク到底間ニ合ハヌト言フ。

擬議ノ結果ママヨト許リ兼テ白地ノ判断セル情況ニ基キ尤モ警戒手薄ト想ハル、警察裏通ヲ通行スルニ定メタリ。斯シテ駅ニ辻〔辻〕リ付ク。時二十二時前ナリ。

continued

※竜江酒精…龍江酒精工業株式会社、1944年12月頃設立。三井物産が軍官需燃料用アルコールの製造を目的として、龍江省洮南県に工場を建設しつつあった大隈一二三と提携して設立。

※大隈社長…大隈一二三、1905年生 - 没年不明。合資会社大隈商行（奉天市江ノ島町）社長。男山醸造、洮南澱粉工業も経営した。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

※兵事係…奉天警察署兵事係か。

※兵事部…奉天陸軍兵事部。日本陸軍の管区のひとつである奉天兵事区の業務を担当する機関。

◎8月12日

刘、及び蔣ニ対シテハ積残リ品ハ農場ニ持帰り保存スベキ事、農場ノ有スル家畜ハ之レ売却、経営費ニ当ツル事ナド言置ケリ。

待機スルコト約四時間ニテ一列車来タル。然ルニ右ハ白城子方面ヨリノ避難列車ナレバ当駅ヨリハ軍人以外ノ乗車ハ許サズト言フ。洮南ヨリハ次ノ列車（四時トモ七時トモ言フ）ニ便乗セヨトノコトナリ。

斯克テハ発見セラレ婦店ノ方法ナカルベシト考へ、軍人乗車ニマギレ兎モ角乗車スル様一同ニ命ジ列車ノ入ルヲ待ツ。

文字通りノ避難列車ニテ寔ニ爪モ立タ、ヌ有様ナルガ荷物ヲ乗越エ二組ニ分ケテ乗込ミタリ。人員ヲチェックスル途ナシ。荷物ハ更ナリ。日系婦女子ハ軍属ノ妻子連ナルガ正ニ惨状目モ当ラレズ。車内ノ熱気ニ幼児泣叫ビ正ニ阿鼻ト申スベキナリ。

之ノ中ニ満系婦女子相当ニ有リ。男子又散見セルハ奇妖〔妙〕ナリト謂フベシ。

農場手持現金 7,000円 興農金庫洮南支店

三浦次長ニ現在高証明ヲ頼ミタルモ多忙ニテ其ノ意ヲ得ズ。

3,000円 香川紛失

※興農金庫…1943年8月設立。1942年に満洲中央銀行から普通銀行業務が切り離されたのに伴い、農業資金の供給を担当する機関として誕生。満州農民を組織した興農合作社の親銀行に位置づけられた。

◎8月12日

支店長、市公署へ出頭。当社員家族120名ノ疎開申込ミヲナシ種々懇談スルトコロアリタルモ、申込殺倒シ相当後ル、見込ナリトノ返事ナリ。

今日宮崎部隊長（中佐）一警官ヲ伴ヒテ来社。全部隊ノ衛生班、経理班約20名ノタメ一室借用致度キ旨依頼アリタルヲ以テ応諾。運輸保険室ヲ提供セリ。

※宮崎部隊長…関東軍第一特別警備隊第一大隊（通称：強第37402部隊）の宮崎義一中佐大隊長を指すか。同隊は1945年8月10日に第69兵站警備隊、憲兵、情報部員、現地召集者によって編成され、北陵の各警察署の警備を担当した。9月16日に奉天を出発し、黒河を経由してソ連に入っている。

◎8月13日

【四平着】1.00、四平着。全員下車。

当駅ヨリ南下ノ列車ハ一日一本ナルガ本日ハ皆無ナリトノ申渡シニテ、大部分駅構内ニ出テ連日ノ疲労ニゴロ寝スルモノ多シ。

四平市街ハ全ク平穩ナリ。吾等ハ何時カチャンス有ルベシト考ヘ終始ホームニ頑張りタリ。無蓋車ニヨル疎開列車及ビ軍用列車数本出入セルモ、何レモ乗車不能ナリ。疎開列車ハ梅河口經由通化ヘ向フト言フモ乗客ハ全然不知ナレバ如何トモ為難シ。

偶々奉天農大生ノ乗組メル一列車ニ便乗セントセシモ、何レモ満員ニテ遂ニ吾等ヲ押出ス有様ナリ。遂ニナラズ、朝食、中食共味瓜、トマトナドニテ満シ更ニ頑張ル。

軍用列車ヘノ便乗ハ現役軍人スラ許可サレズトノコトナリシモ当ツテ碎ケト一列車長ヘ事情説明懇願セルトコロ意外ニモ簡單ニ承認シ、Flat Car ニ積載セルトラック横約三米四方ヲ与ヘラル。

便乗スル者十数名、途中三回ノ土砂降りニ相当ノ危険ヲ感じ全身ツブヌレ乍ラ先ツ以テ安堵ノ胸ヲ撫下シタリ。

乗車各位ノ苦難話ハ何レモ血涙ヲシボラシムルモノノミ。

※奉天農大…奉天農業大学（満州国立）。1938年1月に奉天高等農業大学を改編して設立。

◎8月13日

【疎開者】疎開希望者ノ中、十条社宅（31人）、橋立町社宅（11）ノ居住者15家族（他ニ選鉱剤浅野令ニ家族）大石橋ニ向ケテ出発セシム。

此ノ費用トシテ大人1000[〃]、小人500[〃]、合計32,500[〃]ヲ仮渡セリ。

当地実情報告ノタメ本店向ケ打電セリ。市内各地ニ戦車壕ノ構築始マリ、乗物ニヨル交通又極メテ危険トナル。

【自動車】当Crysler^マ運転手清田ト共ニ徴発セラル。

※選鉱剤…満州選鉱剤株式会社、1942年8月設立。選鉱剤の自給を必要視する満州国政府の要請を背景に、三井物産、満州鉱山、満州鉛鉱の三社が出資して立ち上げた。持株率70%の三井物産が経営権を掌握し、資金供与や製品販売・原料購入を代行し、日本化学油脂の取締役兼技師長であった中村喜義が取締役兼技師長に就任した。

◎8月14日

【農場干係者】1.00 am、奉天駅へ安着。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

香川、西村、三井寮へ直行スル。他ノ三名ハ駅前広場へ仮睡ス。当社支店長以下首脳部へ事情報告セリ。

対ソ宣戦ノ詔勅下ラズ、関東軍、官吏、持株会社ノ順序ニテ疎開スルノミ。主脳部ハ何レモ通化方面へ避難セル模様ナリ。

◎8月15日 R 無条件降復^{マツ}

第二回疎開者今泉、室谷ノ家族、11.45ノ列車ニテ出発スベク寄金附添ヒ9.00頃集結終ル。

此ノ日正午重大ニュースノ予告アリ。一同宣戦ノ詔勅ヲ期待シツ、待機セリ。

【陛下放送】正午ニ至リ俄然君カ代ト共ニ前例ヲ破リ陛下ノ放送開始セラル。所謂ポツダム宣言ノ承認ナリ。

嗚呼止マル哉。聴ク者只涙スルノミ。

【支店長訓辞】支店長全員ヲ集メ時局ニ対スル三井マンノ採ル可キ途ヲ説ク。戦争終了後モ当社ハ愈、多忙ナルベシ、全員一層沈着ヲ希望スル要旨ニシテ大ニ士氣ヲ鼓舞スルトコロアリタリ。

【新京組疎者】新京店中西、乃木、石原ノ家族、ハルピンニテ静養中ナリシ築田ト共ニ疎開ニ来ル。豪雨ノ中、香川、寄金、松宮ニテ出迎エ清友荘ニ落付カシム。一同元氣ニテ十三日高木囑託ノ慫慂ニヨリ出発セリト言フ。

【中安部隊】中安部隊－中安中佐、要中尉ノ兩名榊原二伴ハレテ借室ノ依頼アリ。種々折衝ノ結果、四階三機ノ一部及ビー階協和烟草跡ヲ貸与スルコト、セリ。

【竜江酒精組還ル】竜江酒精従業員（大隈社長ヲ除キ）全員引揚ゲ来タル。十二日午後七時洮南出発シ238部隊ト共ニ行動セリ。出発時ハ街各所ノ重要家屋ハ日本軍ニ依テ破壊セラレタル由ナリ。

※中安中佐…関東軍直轄鞍山憲兵隊隊長の中安雄治中佐を指すか。同部隊は9月2日まで鞍山市内の治安維持にあたったとされているが、何かしらの理由で奉天（鞍山から約95km）に入っていたものと思われる。

※三機…満州三機工業株式会社、1943年10月設立。三井物産子会社の三機工業（1925年4月設立）は1933年以来中国大陸でも活動していたが、満州国法人以外の土木建築事業が禁止されたことをきっかけに、在満支店、出張所の権利、義務、社員を引き継ぐかたちで1943年10月に新会社として奉天三井ビル内に満州三機工業を設立した。

※協和烟草…協和烟草株式会社、1949年10月設立（本店新京）。一度は三井物産子会社の三泰産業の子会社となるが、1942年に三井物産の子会社となる。奉天、ハルピンに工場を所有。代表・岩見鑛作。

※238 部隊…四平陸軍燃料廠部隊（満州二三八部隊）。終戦後、洮南出張所員が本部（四平）へと移動している。

◎8月16日

協和烟草ヲ二階当社会計課跡ニ移シ中安部隊へ貸ス。当部隊ハ市内各地ノ警備ニ当リツ、アルモノノ如シ。

現在ノ重要事タル食糧確保ト兼テ満配農場整備ノタメ農場干係者ハ蘇家屯行キヲ命ゼラル。

※満配…満州配合飼料株式会社、1941年6月設立。1941年、日本配合飼料が満州中央銀行、三井物産奉天支店と打ち合わせて奉天で立ち上げた。社長には三井物産奉天支店長が就任し、小野が四代目を務めた。

◎8月17日

香川他五名、蘇家屯へ徒歩ニテ出発セルモ途中青葉町附近ヨリ日本軍ノ立哨セルモノ多ク一応待スルニ違アラズ。依テ荷物ハ明日証明書作成シテ持出スニ定メ、太田、井舟、植田ノ三名軽装ニテ行ク。

残香川、白地、西村ハ再ビ三井寮へ引還ス。

会社ハ非常ニ備へCORDノ焼棄テ、其ノ他緊急事態へ諸準備ヲ進ム。
応召中ノ田中克一來社。清友荘へ案内セリ。

◎8月18日

ソ聯ノ入城モ切迫セル故処理事項多シ。明日曜ハ出勤スル様予告シ、職員ニ対シ日取5m/sヲ分配セリ。

各方面ノ情報ヲ綜合スルニ、奉天地区ハソ聯ノ占領下ニ置カル、モノノ如キモ重慶側乃至八路モ来ルベシト言ヒ結局不明ナリ。

新京ヨリノ疎開家族ハ築田附添再ビ新京へ帰還セリ。

住友河村氏来社。時局情報交換ス。

香川ヲ食糧蒐集委員トシハ方手分ケシテ急速ニ取掛ル。

※重慶…蔣介石率いる国民政府。

※八路…毛沢東率いる中国共産党。

※住友…満州住友金属工業株式会社。1938年1月に満州住友鋼管（1934年設立）が商号変更して誕生（本社鞍山、のち奉天）。1939年7月に鉄西地区に製鋼所建設の一期分が竣工している。「河村」は同社常務、河村龍夫と思われる。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

◎Sun 8月19日

【東洋セ粉】早朝ヨリ香川、白地、寄金ノ三名東洋セ粉社ニ向ヒ、住友河村氏ノ厚意ニヨリ廻送サル、トラックヲ待機ス。

【メリケン粉】各工場共在庫品ヲ工人ニ配給スルモノ、退職手当ヲ支給スルモノアリ。東洋セ粉モ現職又ハ解雇セラレタル者迄殺倒シ整理仲々困難ナリ。扉ノ内外呼応シテノ盗賊多ク容易開扉シ得ザルタメ、満系警官ヲ頼ミ厳戒裡ニ倉庫ヲ開ク。特ニ日本憲兵軍曹一名派出セラレ些カ落付キタルモ警察官ノ強要アリ。正ニ風雨捲起ラン風情ナリ。

住友トラック苦力十名ト共ニ来場。早速荷役開始シ150 B/S ツ、二回運出ス。中100 B/S は十条へ、50 B/S 清友荘へ、残150 B/S ハ三井寮ニ搬入ス。

【味噌醤油】室谷又活躍。干係先ヨリ味噌、醤油二樽ヅ、確〔獲〕得シ、小沢地下袋^{ママ}ナド集メ来ル。

尚雑貨女子全員ニテ小女子、海苔、砂糖ナド分配シ始ム。協和烟草社ヨリ大箱ニテ搬入セリ。如何セン運搬用具少ナク全テ意ノ如クナラズ。

【電報、電話】特別電報遂ニ不通トナリ長距離電話又不明ナリ。

支店長社宅ニテ河村氏ト懇談。住友ノ Car ハ日本軍ニ預ルコト、セリ。

【ソ聯兵】新民ヲ経テ来奉シツ、アル部隊（戦車一台、トラック十数台）ハ深更又ハ明朝到着スベシト報ゼラル。

新京支店橋本、志村来訪ス。

※東洋セ粉…東洋製粉株式会社。1937年2月に日本製粉（三井本社の準直系会社）の全額出資により設立された東洋製粉股份有限公司が1938年8月に商号を変更したもの。

※B/S…Bale。梱、俵。

◎8月20日

【MOB】室谷、駅前ニテ満系 mob 日本人ニ対シ暴行セルヲ目撃シテ帰り、女子ハ全員帰宅セシム。

【デモ】ソ聯兵入城セルモノノ如ク、大広場ヘ弗々ト姿現ハル。同時ニ支那側デモンストレーション始マル。数名ニテ自動車ヲ乗廻シ上空ニ向ケテ発泡、大ニ奇声ヲ挙グ。満系群衆喚呼シテ此ヲ迎ヘ社屋前ハ其ノ中心トナル。ソ首脳部ハ大和ホテルニ入りタリ。

当社満系使用人ハ夜警ノ寮番ヲ残シ全テ逃走、寄付カズ。

【新京組】新京古川、森、豊浦、村田、原口、ハルピン浅井等続々ト集ル。一同取敢エズ社屋宿直室ヘ一泊セシム。

月曜会ニ支店長出席。正金菊沢氏宅ヘソ兵侵入奪略セルガ邦人被害ノ最初ナル

ベシ。何レモ沈痛ナルモノアリ。

【銀行】中銀、興銀、正金ノ順序ニテ何レモ業務ヲ停止シタリ。各会社銀行共ソ聯トノ個々ノ折衝ナレバ全ク手モ足モ出ズ。何トカ軍又ハ官ニテ総括的ニ交渉スル訳ニハ行カヌモノカト、一同指導階級ノ無能ヲ嘆ズルノミナリ。

【MOB 掠奪】豚毛会社ニ隣接セル南満倉庫襲撃セラル。当社干係康德社又昨夜ヨリ侵入セラル、ト聞ク。夜ニ至リ火災ヲ望見セラル。東棉干係ノ某工場ナルベシト言フ。

中安部隊ノ鮮系解除セラレタル模様ナリ。

ソ兵ノ侵入ヲ受ケタル新民屯ノ噂伝ハリ、腕時計ハ特ニ彼等ノ望ムトコロ切ト言ハル。

兵士ト共ニ男子若手ノ立哨始マル。

中安部隊ハmob 鎮圧ノタメ駅方向ニ出動セリ。夜半ニ至リ銃声頻々タリ。

【ソ兵】当車庫内ノFiat 接取ノタメ士官二名昼間ニ来タリタルモ、故障ノタメソノマ、ニシテ帰ル。当方初見参ナリ。

数名ニテ倉庫ニ至リマッチ類ヲ搬出シ帰ル。途中既ニソ聯兵ノ立哨セルヲ見ル。
※MOB…暴徒。

※大和ホテル…奉天ヤマトホテル。満鉄が沿線各地で経営したヤマトホテルのひとつで、奉天の大広場に位置した。1929年落成、客室71室。

※正金菊沢…横浜正金銀行奉天支店支配人、菊沢貞雄（1894年生）。同氏は戦後、満蒙同胞援護会の代表を務めた。

※中銀、興銀…満州中央銀行（1932年7月設立、満銀）、満州興業銀行（1936年12月設立）。満州国内法人への資金供給を担った二大銀行。

※豚毛会社…満洲豚毛工業株式会社、1936年7月設立。三井物産と満洲畜産会社の共同出資で誕生し、奉天を事業地とした。専務取締役・神代勉一。

※南満倉庫…南満倉庫株式会社、1919年9月設立（本社奉天、設立時は南満倉庫信託）。大連の南満倉庫建物とは別会社。

※東棉…東棉紡織株式会社、1938年2月設立（本店錦州）。東洋棉花（1920年に三井物産棉花部が独立して設立）が全額出資し、満州最大規模の紡績・織布企業となる。

◎8月21日

【Office closed】日本軍ハ武装解除ノタメ北陵ニ集結シツ、アル様子ナリ。事務所ハ閉鎖シ首脳部ハ三井寮ニ籠城ト方針決定。支店長モ移転シ来タル。新京組ヲ主トシ全員ニテ夜警ヲ開始シ、非常態制ノ部屋ヲ為ス。

【ソ借室申込】ソ聯佐官級二名、日系通積ヲ伴ヒ来タリ。当社屋 one floor 借用ノ申

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

入レアリタルモ、中川、現在日本軍宿泊中ノ故ヲ以テ辞退致度キ旨申出デタルトコロ納得シテ帰ル。

【中安】中安部隊突如帰り直ニ退去セリ。軍用品一切ヲ放棄。匆々トシテ出発セルガ正ニ敗惨ノ姿ニシテ全ク足ノ踏ミ場モナシ。

【宮崎】宮崎部隊又同様ニテ部隊長ハ公安局ニテ執務中ナリト聞ク。同隊ノ放棄セル馬九頭ハ特ニ厄介千万ナリ。香川外二三名ニテ飼育ニ当ル。

【山崎】山崎部隊 150 名指揮者ヲ失ヒテタ刻来リ一泊ヲ求ム。ソ兵三名裏門ヨリ侵入シ来タリ、部隊ノ缶詰類ヲ持出サシム。浅井等三名背負ヒテ大広場ニ至ル。戦車兵ナルガ無帽ニ肌シヤツノミノモノアリ、外套ノミノ者アリ、正規兵ト思ハレヌ無頼ノ徒ナリ。

昨日会社窓ヨリ見ルニ日本刀、短銃ヲ振廻ス三名ノソ兵アリ。避難スル皇民ヲ襲ヒ掠奪シツ、アリタルガ右ハ本日侵入ノ三名ナリキ。

警察署ハ遼寧省会公安局ト改名。日系官吏ハ総退陣セリ。夜間ハ電灯ヲトモス様当局ヨリ命令出タルモ奪略侵入ニ備ヘ一層警戒ヲ厳重ニセリ。夕刻ヨリ正ニ死都ト化ス。

【豚毛会社】豚毛会社此ノ日襲撃セラル。警備隊員発泡シニ／三負傷セルタメカ空気が極メテ險悪ナリ。

夜間ニ至リ火災発生ス。奉天紡紗廠ニシテ暴徒ノ襲撃ヲ受ケツ、アルガ如シ。

【新聞ラヂオ電車】新聞、ラヂオ、電車何レモ止マリ、電話又殆ド用ヲ為ザルニ至ル。

【新来者】営口森君来社。此レニテ他店所属者十名ニ上ル。部屋割ヲ改メ全部三井寮ヘ宿泊セシム。

当店高橋要之助夜半ニ至リテ還ル。正金前ニテ腕時計ヲ奪ハレタルモ其ノ他被害ナシ。

【不寝番】愈厳戒ヲ要スル模様ナレバ新京組ヲ加エ寮ノ表門、裏門ハ立哨開始。一時交替ニテ終夜ナリ。

【工大生】中川長男ハ当地工業大学々生ナルガ、其ノ友人四名又居所ヲ失ヒ又合流シタリ。警備員必要ノ際ナレバ之レ又仮泊セシムルコト、セリ。

籠城者次ノ如シ

合計 65 名	小野碩介	工大学生
奉天	海辺誠次郎 妻 光千代 子女 千代	四名
男子 十五名	中川清 ヲ アキ 政弘	独身女子
女子 七名	高橋要之助 ヲ 崑久子 要子 要司	小島絢子
家族 二十七名	太田秀雄 母 スミ 博之	古田八重

他店	薄井繁次	杉原コノエ
男子 十名	堀田誠一 附添婦 平田ヨシ	細川智枝
部外者	香川卓一	柴田ヒサエ
男子 四名	白地照彦	〃 綾子
満系	根来辰之介	西村徳枝
男子 一名	益永永三郎	他店者（新京）
女子 一名	高橋正治	橋本勇
	高山英樹	志村聡
	小沢巖	古川憲吉
	室谷義男 千代 年彦 清子	森勇作
	応召者家族 秀明（ママ）	豊浦静男
	高橋	村田米次郎
	大内 妻 真砂子 宣子	原口舒好
	高橋健 〃 志奈江 奉子	他店者（東京）
	吉田 〃 歌子 実 純子	広岡了哉
	今泉 〃 節 恭介 明子 妹 寿代	他店者（哈）
	根市 〃 公枝	浅井
	炊事夫	他店者（當口）
	新田トク 哲郎 正明	森
	留守者	
	楊 妻	

【食糧】食糧干係不安ニツキ配給未済分昨日来配給店へ交渉セルモ進捗セズ。殊ニ本日ハ全店ヘソ兵入込ミツ、アリタレバ如何トモナシ難シ。既得ノ白面ヲ以テ喰繋ガント一同覚悟セル中、天佑ナルカナ、前記二部隊ノ遺留食糧相当ニ有リタルタメ此レニテ二／三ヶ月ハ充分ナル見透シツキタリ。

【鉄西倉庫】当社倉庫無事ナリ。日頃番人ニ対スル教育ヨロシキニ依ルト雖、単身最後迄頑張りタル根来辰之助ノ責任感ニ負フコロ多シ。

※奉天紡紗廠…奉天紡紗廠股份有限公司、1921年9月設立（開業は1923年10月）。中国資本の官商合弁企業だったが、満州事変後に日本資本が接収した。本社は大和区厚生街、工場は商埠地の満人街にあった。

※工業大学…満州国立奉天工業大学。1939年度開校の奉天工鉱技術院を1941年度から奉天工業大学に改称。鉄西区南部に位置する。

※白面…中国語、小麦粉を意味する。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

淀町社宅居住者

谷口長次郎	妻	子女	2	
高崎彌	〃	〃	2	
安倍昌任	〃	〃	2	妹 2
井上新				
遺家族				
鎌谷	〃	〃	2	妻ノ母 1
桂（錦県）	〃	〃	3	
大西	〃	〃	2	
上村	〃	〃	1	母 1
全人妹家族		〃	3	
森本（哈）	〃	〃	2	
林（〃）	〃	〃	1	
田畑	〃			
合計			38	名
男子			4	名
婦女子			34	名

橋立町社宅居住者

高田	妻	満千代	千代子	
廣瀬		崑子		
近森		元了 ^{▽▽}	英一	
岸原		時子		
石川静枝	母	トミ		
山路	妻	初代	千恵子	恵子
田中愛子	母	長男		
合計				
男子			3	名
婦女子			14	名

八幡町社宅居住者

大津
川野

女子寮

ナシ

十条社宅居住者

田中一正	玲子	渥子
白木		
同 長男		
後藤良雄（鞍山駐在員）		
寮母		
浅野イサミ		
全 政子		
合計		
男子	4	名
婦女子	4	名

散宿者

緒方正男	妻子	4名
寄金	妻子	3名
扇原	妻子	4名
清田	妻子	1名
波多野	妻子	
本多	妻子	2名
松宮	妻子	4名
合計		
男子		

清友荘

中沢母娘 2名

◎8月22日

【裏門閉鎖】1.00、銃声浪花町方面ニ繁ク、喚声盛ンニ起ル。MOBノ如シ。本日裏門ヲ封ジ寮表玄関ヲ唯一ノ出入口トス。

【自動車】本日ソ士官再ビ来タリ。Fiatヲ修理スベキヲ命令セリ。若シ六時迄完成セヌ場合ハコレダトピストルヲ擬シタリ。応待セル中川、高橋要之助蒼然タリ。偶々滞在セル軍工作班及ピ工大学生熱心ニ修理スルモ遂ニ成ラズ。兩名支店長ニ相談、特ニ社宅預り中ノ住友自動車ヲ提供セント議一決シタリ。

然乍ラ当社ガ本車ノ身代り品ヲ提供スレバ必ず第二第三ノ隠匿車有リト想ハル、ニ於テハ更ニ後難アルベシト考ヘ、香川之ニ反対セリ。

六時ニ至ルモ自動車受取りニ来タラズ。兎モ角一難去リタル態ナリ。

【高木維常】高木維〔惟カ〕常君来訪。

曰ハク新京ハ極メテ平静ニシテ、本日原氏ト全行。当地ブリトラ少将ト会見スベク来奉セリ。同少将ハ前省次長其ノ他有力者ニ面会セザレバ是非吾々（高木）ニテ打診シタキモノナリ。

【各事務所有様】ヤマトホテル、三菱、東拓、兵事部、何レモ占拠セラル。大広場ニ残サレタルハ正金、興銀、当社、公安局ナルガ全然Freeナルハ全ク当社ノミトナル。

此ノ夜奉天駅西倉庫火災ヲ起シ時余盛ンニ燃続キタリ。

【S.M.R】昨夜海辺ノ知己S.M.R社員仙田、七田来舎シ、当店石川ノ実兄橋立町へ入ル。

※ブリトラ少将…アレクサンダー・プリトゥラ（Александр Дорофеевич Пригула）、1906年生-1997年没。ソ連軍奉天衛戍司令官。

※東拓…東洋拓殖株式会社、1908年12月京城に本社設立。朝鮮における拓殖事業を目的とし設立されたが、1917年に本社を東京に移し奉天、大連、ハルビン、間島に支店を置いて満州での事業投資を展開した。

※S.M.R…South Manchuria Railway Company、南満州鉄道株式会社。

◎8月23日

【銃器公安局】廿日付ヲ以テ銃器火器ハ届出ズベシト布告アリタルヲ以テ、小室班長ヲ通シ公安局陳以下ノ出張ヲ求め、ピストル十二挺、手留弾其ノ他持去ル様希望セリ。

以上ハ全然当方無干係ノ事ナルモ部隊引揚ニ隊遺棄セルモノナレバ寔ニ迷惑千万ノ話ナリ。陳氏以下ハ果シテ役所へ押収スルモノカ各人ノ所有ニ歸スルガ疑問ナルモ、兎モ角持帰りタリ。

【食糧公安局】公安局ニ宿泊中ナリシ宮崎氏ハ立去ルニ当リ部隊食糧ハ挙ゲテ公安

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

局へ寄贈セル由ニテ局長秘書閣、經理股長馬乗風来訪セリ。現品香川立会ヒチツクシ改メテ当方ヨリ預リ証ヲ出ス。爾後馬乗風氏発行ノ領収証引換エニ荷渡スル定メナリ。

MOB 二対シテ絶対責任ヲ持ツト。以後公安局トノ干係特ニ良好ナリ。

【橋立町社宅】橋立町附近奪略ノ報告アリ。応援ノタメ浅井以下三名宿泊セシム。

【四階掃除】四階清掃ヲ開始シ全員ニテ約一日ヲ費ス。大陸科学榊原ハ三井寮宿泊ヲ断ラレテ以来社宅四階ニ起居シー歩モ出ズ。終始当方ノ被リタル迷惑ハ枚挙ニ遑アラザリキ。

【鉄西ノ惨状】鉄西各倉庫ハ何レモ MOB ノ襲撃ヲ受ケ慘々タル光景ナリ。

【自動車】ソ聯女士官兵、通釈各一名ニテ来訪。再ビ自動車ヲ調べタルモ故障ノ故ヲ以テ又坐シテ帰ル。

【橋立町】橋立町社宅附近ノ MOB 愈々勢加ハリ形勢甚ダ危険ナルヲ以テ田中愛子母子三名、男子ヲ残シ11名避難シ来タリ。旧高橋秀雄室へ収容セリ。

附添役ノ浅井等帰舎。菅口森ハ出発ス。

【ソ兵】15.00 三名店長社宅へ来タリ。自動車ヲ強要シテ帰リタリ。

※大陸科学…大陸化学工業株式会社、1944年3月29日設立。満州重工業開発、満州国、関東軍が三井物産に総合化学工業への進出を慫慂し設立。持株率50%の三井化学工業が経営を担った。

◎8月24日

【支店長社宅歴訪】小野、中川、薄井ノ三名、8.30ヨリ支店長社宅、橋立町、淀町ヲ見廻ル。

【淀町社宅】昨夜某地ヨリ到着セルソ兵三名、疲労ノ極淀町社宅へ至リ一泊ヲ求ム。谷口夫妻応待シテ結局三階ノ空室へ案内。男子三名ニテ徹夜警戒ニ当ル。谷口夫人蒸パンナドシテ接待。之レカメタル故カ気〔機〕嫌良ク帰リタリ。然ルトコロ同夜更二十名ノ宿泊ヲ申込マル。茲ニ於テ女子寮ヲ提供シ三井寮ヨリ小沢、橋本、高橋ノ三名ヲ応援ニ出発セシメタリ。

【野菜売】此ノ日野菜売り初メテ来タリ。約1000^円ヲ買入レ、自炊者ニモ無償配布セリ。

小野、薄井ト共ニ居留民会へ初出席。種々情報ヲ得テ帰ル。当支店長モ委員ノ一人トシテ出席スル次第ナルガ民会ハ正式ニ認メラレタル訳デモナク、司令官ニモ面会セズ結局分区長達ノ茶呑話ニ終ルガ如シ。

【社宅】支店長社宅ヘソ兵侵入シ、シューバー、現金ナド持去リタリ。同時ニ住友ヨリノ預リ自動車ハ動かヌタメニ番人韓蹴ラレタリト落涙シテ語ル。満系雇員何レモ逃走セル中ニ韓ノ如キハ稀ニ見ル仁ナリト言フベシ。

【水道】水道ノ出悪ク、ガスハ既ニ停止シテ久シ。

【橋立町】MOB 近接シ全社宅又危殆ニ頻シタルヲ以テ居住者 11 名ハ三井寮ニ引取リタリ。浅井等ノ附添又還ル。

300 pm、社宅ニ三名再訪シ自動車ヲ強要シテ帰ル。

營口森ハ本日出発セリ。

【当店】三村、高田、中村、中山、早瀬等弗々帰来ス。

※居留民会…終戦前ノ日本人会（親睦団体）を母体に、各都市に組織された公的組織。当初は自衛を、のちに生活支援や衛生対策、救済金ノ募集・管理などを行なつた。居留民団ともいう。

※分区長…満州国ノ市では、市域を区に、さらに区域を分区に画し、それぞれに区長、分区長を置いた。いずれも原則として名誉職。

※シューバー…ロシア語、шуба。毛皮製ノ外套。

◎8月25日

【八幡寮】八幡寮宿泊中ノ大津、川野ト共ニ初メテ来訪セリ。徒歩七分ヲ出ザルトコロ乍ラ今日ニ至リ連絡付ク。以テ人心ノ不安推知スベキナリ。

野菜購入 500⁻。

【倉庫満系】倉庫満系来訪、現状ヲ報告ス。目下ノトコロ MOB 圏ヨリハ脱シツ、アルモ不安去難キ模様ナリ。入庫品ハ纖維公社品、Rubber、各社ノ機械等ナリ。清友荘、田中、緒方等来訪。各地区ノ情況報告ス。

社屋ヲ再ヒ整理シ衛生材料ナド取纏ム。

【各方面経済】干係者動静未詳ニ付キ楊ヲ十条へ、薄井ハ神代宅へ。小野、香川、社宅へ。

【支店長訓辞】小野夕食後一同ヲ集メ籠城生活ニ干シ訓辞スルトコロアリタリ。隣家中館ハ将校ノ居所ト成リタルガ如ク、娘子軍二名ヲ交へ終夜喧噪ヲ極ム。

【營口森】森到底出発不能ナリトテ再ヒ還ル。

【ニュース】McArthur 8/28 東京入城ノ由。

※纖維公社…満州纖維公社、1944 年 5 月設立。満州国ノ纖維流通を統制することを目的に設立された。

◎8月26日 Sun

【勤勞報仕】大広場防空壕埋メノタメ根来以下 12 名使役。8 時/12 時迄汗ダクニテ帰ル。

【本溪湖】本溪湖ヨリ鮮系一名来舎。同地ノ情況ヲ語ル。ソ兵ノ駐屯スルモノ僅少ニテ治安良好ナリシモ、1500 ノ囚徒ヲ釈放セルト失業苦力ノ MOB ヲ懸念サル、

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

奉天ノ乱脈ニハ一驚セリト謂フ。

【倉庫苦力】 当店倉庫苦力ハ厭迄現場ニ止マリタルヲ以テ幸ヒ MOB ヲ脱シツ、アリタルタメ特ニ慰勞ノ意味ヨリ過日一万円ヲ贈リタルガ、本日来社シテ八月分ノ給料ヲ請求セリ。中川、根来応待。幾分色ヲ付ケタル模様ナリ。

【火災】 満鉄総局裏ノ倉庫ニ火災発生。三ノ四時間燃続ク。MOB ノ被害頗々ト伝ハルモ更ニ鎮圧ノ模様ナシ。

【大隈】 正午洋車曳一名来社。竜江酒精大隈ノ婦奉ヲ報ズ。洮南勤務員ハ何レモ無事帰還セル次第ナリ。真ニ同慶ニ堪エズ。

【女子寮】 女子寮宿泊中ノソ将校以下十名ハ日中勤務有り。食事ハ“シベリヤ”ニテ炊ヒツ、アレバ食事ノ心配モナク、殆ト無関心ノ風ニテ先ツ先ツ安堵セリ。

【S.M.R】 本日ヨリソ当局ノ命令ニテ SMR 一部運行開始セラレ、新京、安東、大石橋各一本アル由ナリ。

【東洋セ粉】 鉄西東洋セ粉ハソ聯ノ命令ノ下ニ操業開始セリ。製品ドンドン貨車積シツ、アルガ行先不明ナリ。

【緒方】 機械課緒方、遼東闊アパートへ居住中ノトコロ（北市場附近）情勢逼迫セルヲ以テ家族四名ト共ニ三井寮へ移ル。

◎8月27日 C

【食糧公安局】 早朝ヨリ公安局警務科長、經理股長、局長秘書閣ノ三名、苦力四名ヲ伴ヒ来タリ。部隊ノ食糧ヲ Register スルト謂フ。宮崎部隊長宮崎中佐ガ部隊食糧ハ公安局へ提供スル旨明言セル由ナシ。当方断ル理由モナキ故香川立会ヒノ上、車庫、地下室所在ノ内容ヲ check シ

酢 15 醤油 86 味噌 33 干蕎麦 27 米 65 高粱 7 乾パン 54 干野菜 19
豆類 1 塩 10 白麵 172 白糖 3½

ヲ得タルヲ以テ当社ヨリ保管証ヲ提出セリ。

今後ハ經理股長馬乗風氏ノ領収証引替エニ出庫スル様打合ハス。右ハ保安隊ノ食糧ニシテ多量ニ運出スハ却テ危険ナリトテ当方ノ善処ヲ期待シ、談甚ダ町重ナリ。MOB ニ対シテハ先方絶対ニ責任ヲ持ツモ大鼻子ニハ手モ足モ出ズト言フ。此ノ折衝ハ爾後香川担当セルガ、同局トノ干係ハ種々便宜ヲ与へラレタリ。

【保管馬】 高宮崎部隊ヨリノ預リ馬モ公安局へ引取ラシメタリ。

【十条】 十条組田中代理、三村、中村、後藤来訪セリ。初ノ連絡ナリ。共ニ無事ヲ歎ビタルガ、同社宅ハ附近宿営中ノ戦車隊連日ノ侵入ニテ一同全ク閉口シツ、アルガ、空家ニスルハ MOB ヲ招来スルコトニナリ近所隣ノ迷惑ヲ慮リ今暫クソ兵ノ相手ヲシ乍ラ頑張ル。極メテ悲壯ナルモノアリ。

【宮崎】 宮崎部隊ハ未タ武葬〔装〕解除サレズ近郊ニ在ルガ本日関沢軍尉以下十二

名来社。衛生材料、食糧ヲ搬出ニ来タル。先発ノ軍医及兵士二名ハトラック共何レカヘ連行セラレ夜半ニ至ルモ帰ラズ、佐藤見習士官以下一泊ス。日本軍司令部ヘ交渉セルトコロ、偶々侵入セルソ兵三名ノ暴状ニ堪ヘ兼ネ衛兵発砲シ内二名ヲ射殺セル事件発生、前後処置ニ忙殺セラレツ、アリタルヲ以テ要領ヲ得ザシ由ナリ。邦人ノ悩ミノ種又突発セル次第ナリ。

【中安】中安ト呼ブ三名、食糧ヲ check シタシト来舎セルガ公安局干係ノ事情説明、断ル。結局大陸科学榊原君勝手ニ宿泊セシメタル模様ナリ。

【民団情報】小野、薄井、民団ヨリ情報ヲ得テ帰ル。治安未ダ安定セズ。尚明日ヨリ生業ヲ開始セヌ者ハ怠業ト看做ス旨布告アリタルヲ以テ、兎モ角表玄関ヲ open スベク社内清掃ヲ開始シタリ。全員大車輪ナリ。

SMR 千田君、本日隣組ヘ復帰ス。

※隣組…総動員体制の末端組織として、1940年9月より内地では町内会・部落会の下に、満州国では協和会（本日記 11/14 条参照）の下に隣組が設置された。

◎8月28日

【Door Open】10.00、社屋表玄関ノ Shutter ヲ開ク。正ニ八日振りナリ。但シ全員門衛トナリ立哨、出入ヲ嚴重ニ看視ス。正午 close シテ兎モ角無事ナリシヲ歡ブ。

【協和烟草勝矢氏横死】12.30、奉信ビル扇原宅ニ宿泊中ノ解除者二名、勝矢氏ノ横死ヲ報告セリ。此ノ日全氏ハ隣組長トシテ立哨中、10.30 頃ソ兵、満系各一名、満系子供数名ヲ伴ヒ侵入セリ。同〔動〕哨ノ一名、子供達ノ暴状ニ堪兼ネ一名ヲ撲リ付ケタルトコロ八路ト称スル満人ハ直ニ発砲、勝矢氏ハ即死、他一名ハ腰ニ被弾セルモ生命ニ別状ナシ。当社干係者中初ノ犠牲者ナリ。寔ニ恨事ト言フベシ。筆者ノ如キ昵懇者ハ特ニ痛憤ヲ禁シ得ズ。

【宮崎】昨日羅〔拉〕致セラレタル軍医、11.00 悄然トシテ帰ル。トラック積載品共ニ押収セラレタリ。同僚軍医ノ家族三名、昨日公安局宿泊中ノソ兵ノ侵入ヲ受ケケタ再来ノ怖アレバ当寮ヘ引取ツテ呉レト依頼ス。情ニ於テ忍ビザルモ前例ニ基キ謝絶セリ。偶然来訪セル小室氏宅ヘ引取ラル。

斯ル突発事故ノタメ佐藤以下十一名本日モ宿泊スルコト、ナリ、同君又発熱臥床セリ。

昨日来話題ニ上リタル民団ヘ事務所貸与ノコトハ暫ク見合ハス意向ナリ。奉ビルホテル、3.00 pm 退出ヲ命ゼラル。疎開者殺倒ノ折柄又問題ナリ。

【満蒙天産】沖氏来訪。本社倉庫共ニ無事ナルモ倉庫事務所其ノ他一ノ二被害ヲ報告セリ。

【大隈】竜江酒精大隈氏ハ十三日軍ト共ニ洮南脱出、五日目ニ大賓〔賓〕ヘ出テ新京、四平ヲ経テ昨日帰奉セルガ、途中ノ苦難詳細報告スルトコロアリタリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【満配】岡本君初メテ来訪。帰奉途次蘇家屯へ一泊セルガ、同地ノ情報ニヨレバ同工場ハ極メテ平穩ナリ。

【新民】新民ヨリノ避難者又全地同胞 2,700 名ノ苦難ヲ語ル。実ニ暗澹タル一日ナリキ。

【新来者】錦県木下英香、鈴木幸一良、遠藤。

8/27 山海関 寺内敏夫

※満蒙天産…満蒙天産株式会社、1939年7月6日設立（本店新京）。設立時の商号は満蒙天産開発株式会社。薬用植物事業の統制機関として満州国により設立された。

◎8月29日

【Door Open】10.00-12.00

【中安】中安部隊要以下十一名来社。物品 check ノ上不足ニ対シツベコベト言出シ室谷、香川応答セルガ閉口セリ。四階ニ一泊ス。

【宮崎】佐藤マラリヤノ如ク従兵ト共ニ引続キ宿泊。扇原、中山等何レモ除隊サレテ帰ル。時ニ小島、大西、沖、三名ハ平壤ニテ無事ナル由某氏ヨリ電話アリ。

【勝矢】勝矢氏葬儀執行サル。中川、寄金、扇原等参列。10.00-1200 ニ完了セリ。遺骸ハ血ダラケノマ、納棺。当社員四名ニテ担グ。僧侶モ浮足ニテ随ハズ出棺ニ当リ母娘相擁シテ号泣スルニ、会スル者落涙セザルハナシ。高野山ニ至レドモ門扉固クシテ開カズ、漸クニシテ仮埋葬地ヲ求メ三尺程度へ埋メ煉瓦ヲ以テ標識トス。

【十条】十条組附近宿営ノ戦車隊風規悪ク危険ナレバ、田中代理ノ令嬢二名ヲ当寮ニ避難セシムベク田中、三村、後藤等設衛〔営〕シ来タル。

【疎開者】大石橋ヘノ疎開家族、橋立町組十一名、十条組出九名、帰奉セルヲ以テ收容ス。疎開先ニテハ各人毛布一枚、握飯二ヶ（1ヶ50g）ノ生活ナリシヲ以テ下痢患者続出シツ、アリ。

【供出】印刷機、タイプライター、写真器及フィルムノ供出ヲ命ゼラル。高橋庶務課長謄写版タイプノ調査ニ多忙ヲ極ム。各自又愛用ノカメラ供出ス。

【民団情報】電話②③開通。新京ハ新聞紙一日休刊セルノミニテ続刊シツ、アリ、タメニ治安良好ナル由。

【警戒嚴重】昨夜半ヨリソ兵ノ門扉ヲタ、クモノ多シ。恐ラク相当ノ新入部隊アリタルベシ。婦女子ノ警戒ヲ厳トスベク、社宅三階へ此等ヲ就眠セシムベク種々協議スルトコロアリタリ。同時ニ裏門、表門ノ防備ヲ強化スベク、

【大工雇入】大工二名雇入レ門其ノ他早速染手スル。

※高野山…金剛宝寺（藤浪町）のことか。

※g…満州国円の単位、円、角、分、厘のうち角（Chiao）。1円=10角=100分=1000厘。

◎8月30日

【下痢患者続出病死者出ヅ】昨夜到着セル十条、橋立町ノ疎開者何レモ疲労困憊、下痢患者続出セリ。幼児ヲ抱クモ母乳上リ人口營養ヲ要スル者九名、正二生地獄ノ觀アリ。早朝浅野令ニノ第二児遂ニ死亡セリ。哀悼ニ堪エズ。直接原因ハ胃腸障害ニヨル營養不良ナリ。友人等相寄り新規採用ノ大工ヲシテ空箱ヲ以テ棺ヲ作ラシメ、僧侶ヲ迎エテ読経ス。社屋裏庭ニ仮埋葬セリ。同夫人亦極度ノ神經衰弱ニテ四圍ノ者蔽戒中ナリ。

中安部隊要來り帰ル。行違ヒニ除隊兵二名來タリ、食糧ヲ求ム。公安局引渡ノ故ヲ以テ断リタルモ各方面共食糧問題漸ク深刻化シツアリ。当方ハ此ノ点処置ノ良シキト天祐ニヨリ恵レタリト言フベシ。

【來訪者】扇原、寄金、神代、安藤等來訪。情報ヲ交換ス。蘇家屯満配工場ヨリ太田、井舟等列車ニテ來奉。同地ノ情況報告ス。目下ノトコロ平穩ナルモ軍用列車、倉庫、多数掠奪セラレ鉄路上雜穀類山積セリト。

【三井寮】各方面ヨリノ避難者ヲ収容、満腹状態ノ上、下痢患者続出セルヲ以テ婦人達ヲ動員、便所掃除ヲナサシメ伝染病ニ備フ。

【新京組】新京店ノ五名、ハルピン浅井、明後日帰宅ト相談一決シテ夫々手続キヲナス。形勢最モ不安ナル折柄、同君等ノ労ハ寔ニ深謝ニ堪エザルトコロ一同別ヲ惜ムヤ切ナリ。

【營口店社員】營口全市街邦人立退キヲ命ゼラレ臨時列車ニテ奉天ニ着クトノ情報アリ。夕刻ニ至リ營口森、塚本、吉田等ノ家族続々ト到着ス。伊東陽之助ヲ最後トシテ合計24名ナリ。三井寮現在員137名満腹状態ナレバ淀町社宅四軒ニ収容セリ。当分ノ食糧当方ヨリ供給ス。

【支店長社宅】其後三回ノ侵入ニテ私物殆ド持帰りタルガ如シ。

【食糧事情】帰還兵弗々ト多数ノ避難者ヲ迎エタレバ当方食糧モ再検討ノ必要アリ。香川全食糧ノ点検ヲナス。米20俵、白面250俵、外ニ醬油、味噌、塩ハ相当量アリ。何レニシテモ白面ノ利用必要ナレバ有志（小野以下）六名ニテうどんヲ打始ム。

【笹山店長】營口笹山氏ヨリ電話アリ、手荷物多キ故馬車ニテ迎エ頼ムト言フ。斯ル方法ナキ故断ル。夜半ニ至ルモ來タラズ一同心痛セリ。

◎8月31日

【營口組】笹山夫妻來舎。昨夜天理布教所へ落付キタルモ、蘇兵注視セル風ナレバ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

更ニ某 Cafe ニ移リ一夜ヲ明シタル由ナリ。前記天理布教所ハ七名ノソ兵ニ犯サレタル由ナリ。全人特別ノ依頼ニテ東氏夫妻ヲ引取りタルモ、前例トセヌ様打合ハス。営口組合計 30 名トナリ。此ニ対シ

米一呎 白面五袋 醤油、味噌、梅干各一樽 毛布 60 枚 缶詰 30 ケ
其ノ他ヲ寄贈シタリ。

【民団ニュース】小野民団ニテ聴取セルニュース次ノ如シ

- 1) 8/24 ヨリ GAS 復旧スベク努力シツ、アリタルガ、今日以後 6.30-7.30、1700-1900 供給セラルベシ。但シ釜ハ二ヶ低圧ナレバ大和区、朝日区ニ限ラルベシ。
- 2) 工業倶楽部モ工場干係者ノミデハ弱体ナレバ三井、三菱、正金ヲ加ヘタリ。
- 3) 民会モ先方ノ取扱方如何ニヨルモノニシテ、現在ノ如ク果シテ真面目ニ協調スルヤ否ヤ不明ナル状態デハ積極的ニ approach スル価値ノ有無ハ問題ナリ。寧ろ来ルベキ重慶ヘ接触スベシトノ論者アリ。
- 4) 満系 MOB ハ一応解消セルガ如キモ、ソ兵ノ暴状ハ愈々募ルノミ、殆ト停止スルヲ知ラズ。G.P.U 又手不足ナレバ各自ノ防衛ニヨル外ナシトノ挨拶ナリ。

【婦女子】三井寮婦女子ハ社屋三階ヘ宿泊セシムルコト、シ、晝ヲ持込ミ準備シ今夜ヨリ実行ス。右ハ Steel Door 三ヶ所アレバ先ツ安全ナリト考ヘラル。

【Radio News】淀町ノ聴取セル Radio ニヨレバ関釜間ハ米船 7000 ton 3000 ton ノ二艘ニテ日日 8000 人ヲ輸送シツ、アル由ナリ。

【下病患者】本日医師ヲ招キ診察ノ結果危険ナル福永家族ハ満鉄病院ニ入院セシム。
※G.P.U…ゲーペーウー、Gosudarstvennoe politicheskoe upravlenie。ソ連の国家政治保安部。

※満鉄病院…満鉄大連医院奉天分院（当時は満州医科大学附属医院）。

◎9月1日

【死亡者】昨夕 6.00 pm、福永道子（三才）死亡。三村、薄井ニテ死体ヲ引取り、型ノ如ク棺ヲ作りテ納メ浄土宗僧侶ヲ求ムレ共来タラズ。三村会計課長ノ読経ヲ以テ前回全様社屋裏庭ニ仮埋葬ス。

【新京組】新京組 5 名、ハルピン浅井、11.50 ニテ出発ス。砂糖、堅パンヲ贈リ道中ノ無事ヲ祈ル。石川、大連へ、SMR 七田又勤務先へ帰ル。

現在男子 21 名、100 名以上ノ婦女子ヲ守り事ム所ヲ警戒スルハ仲々ノ難事ニシテ、農場課白地先ツ過勞ニ倒ル。

【営口組】営口組ハ当店ノ厚意ヲ深謝シツ、アリシガ、尚毛布及ビ現金五万円ノ借用ヲ申込ム。現金ヲ引出シハ全然皆無ナリシト言フ。

【淀町】昨夜隣組長ノ案内ニテソ、満人各一名侵入セリ。谷口ハ附近遺家族ニ累ノ及ブラ怖レ、時計類ニ追払ハン自宅ニ引返シタルトコロ、追尾シテ乱入。背広、

万年筆、靴等ヲ奪ヒテ立去ル。他ノ一ソ兵、屋外ニ張番シツ、アリタリ。

【本日相場】野菜

胡瓜 小 400 大 200 茄子 3.50/4.00 南瓜 3.50/4⁻ ネギ牛蒡 5⁻ トマト 8⁻
砂糖 25⁻/35⁻ 白面 420⁻

【十条】疎開婦リノ十条組ニ下痢患者半数以上、本日更ニ医師招ヘイ、診察ヲ受ケタリ。各自ノ自覚足ラズ好転ノ模様ナシ。今後食糧委員香川ヲシテ重湯、粥食ヲ励行セシム。

同時ニ再ヒ部屋操リシテ重軽患者室ヲ設ク。

【防備強化】当寮出入口全テ板張りトナシニ三重三重ノ戸締リトナス。夜警者激減セルヲ以テ男子又漸ク疲労ノ徴アリ。

銃声少ナク静寂ナリ。

【除隊者】宮崎ノ除隊者七ノ八名来訪。食糧不足ヲ訴フ。

【民団ニュース】

○食糧対策 二就テハ市公署当局ト交渉中ニテ、今後邦人ニハ毎日午後連絡ニ出向ク予定ナリ。全市民ハ八月下半分ノ配給ヲ受ケザル故出来レバ満系全様高粱5キロ程度ヲ配給シタシ。

○満系奪略 最近ノ支那人ノ便乗奪略ニ付イテハ嚴重取締ルカラ公安局ヘ連絡シテ呉レ。但シソ兵ノ分ハ手出し致シ兼ねル。

○鉄西 工場ハソ軍ト交渉ノ結果、将校以下 30 名ノ警備ノ下ニ日系ヲ以テ操業ノ外ナシト言フ。

○不逞將兵ノ処分 カラワイフ少將、某少佐ハ満州棉花ニテ射殺セラレタル由ナリ。極悪分子ハ処分セル模様ナルガ更ニ其ノ効現ハレズ。

白系夫人ニ対スル暴行者 18 名逮捕セラレ一部射殺セラル。白系中ノ主腦者 150 名ハ本国ヘ輸送セラレタル由。

○奉天人口 平時邦人々口十四万ノ内四万人疎開転出シ、同数ノ四万人ノ避難者在住中ト判断セラル。

疎開者ノ復歸セル者 5,000、軍人軍属 2 万ト推定サル。

○営口 ヨリノ避難者ハ 8/31 6,700 名（地区割当 1,700 名、縁故者ヘ 5,000 名）。本日 700 名来着セリ。

○燃料 九月ニ入り冬期暖房用ノ燃料見透シ付カズ所要量 60 万屯ヲ如何ニスベキヤ苦心中ナリ。（昨年度入荷 45 万屯）

○国際運輸 SMR 全様接収サルベシトノ見方濃厚ナレバ既ニ合同ヲ決議セル奉天運送ヲ据置キ日本人ノ小運送機関トスベク民団ニテ協キ中ナリ。

〔欄外〕奉天省自体ノ不足食料三十万屯ニ付イテハ当局食糧委員ニテ考究中。

※満州棉花…満州棉花株式会社。満州棉花股份有限公司（1934 年 4 月設立、本店

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

奉天）が特殊会社に改組される際に商号変更したもの。日本法人の満州棉花株式会社（1926年10月設立、本店大連）とは別会社。

※奉天運送…奉天運送株式会社。運送統制を目的に設立された法人。

◎9月2日

【大陸科学】錦州工場ノ除隊者五名、榊原へ面接スルモ仲々運バズ。同人事務所へ籠城中ニテ此ノ種トラブル絶エズ。

【出産】当店沖妻女出産迫リタルヲ以テ昨日入院セシメタルトコロ、女子安産セリ。同時ニ産院ノ立退キトナリタルタメ太田、広岡等担架ニテ引取りニ向フ。寔ニ多事ナリ。

【食糧】食糧委員香川、淀町其ノ他ノ保有米ヲ調査中ナリシガ、綜合シテ十一月末迄ノ喰延シ策ヲ樹立ス。

不取敢今後各社宅へハ米ヲ分与セヌコト、定メ、白面ヲ充当ス。更ニ本日ヨリ饅頭ヲ製作シ中食トシテ社宅全部、営口組へ配給シ始ム。

【営口】笹山氏来訪。月給引当金 48,000^円 借用申込ムモ当方モ必要ナレバ中二万円ヲ貸与ス。全氏等ヨリ電気コンロ其ノ他ノ要求アリタルモ自費ニテ購入セラル、様頼ム。

【隠岐氏】旧軍需局隠岐氏来社々屋ヲ視テ後、室谷宅ニテ幹部ト会談セリ。全氏ハ今回ノ急変ニ当リ逸早くヤマトホテルノ一室ヲ予約シ、ソ将ニ接近シ居留民団ト別個ニ時局ノ収拾ニ当ル。小野支店長トハ従来ヨリ干係アリ、カメテ approach シツ、アル仁ナリ。

【present】本日三井トシテ某少将ヘノ土産ヲ作ル。女物長襦袢、羽織等社宅夫人ヨリ供出セシム。

戸締完璧ニ近ク、夜間ハ静寂ナリ

※隠岐氏…奉天軍需局次長・隠岐猛夫か。

◎9月3日

【新来者】燃料部山口邦彦、大連ノ近藤、当中村猛、来店、収容ス。

【赤痢発生】疎開復帰者ノ中、白土妻女ハ赤痢ト判明セルヲ以テ消毒ヲナシ同居者ヲ移転セシムルナド大多忙ナリ。

【十条】田中代理掠奪ノ状態ヲ語る。

【橋立町】橋立町ハ満系約 100 名ノ襲撃ヲ受ク。廣瀬、田中、他一軒ハ奪略サル。駅方面ヲ襲ヒタル満系ハ漸次東方ヘ移動シ、目下全所附近ノ満鉄社宅ヲ窺ヒツ、

アル風ナリ。

彼等ハ常ニ目覚シキ場所ニ屯シソ兵ノ侵入スルヤ此ニ追尾シテ侵入ス。呼子等ヲ用ヒ同志ヲ糾合スルヤ妙ナリ。

【民団情報】

○東京湾調印

重光、梅津対 McArthur、Mimmit、Frazer

重慶、ソ、仏、和、Newzealand

U.S.A 本土、南鮮 38°以南、フィリッピン、太平洋 Is.

英 アンダマン、ニューバル、マライ、ジャバ、タイ、ニューギニヤ、仏印南部

和 ボルネオ、ソロモン

ソ 満州、北鮮

支 台湾、仏印北部

○各地状況

揮春 師団長、参謀長、自殺

トンガ 相当ノ損害

朝鮮 治安良カラズ

鉄嶺 掠奪中

四平 非常ニ良シ

公主嶺 現在良好

○ソ司令部

残幣ハ五日迄待テ。石炭ニ干シテハ全然考慮セヌ模様ナリ。

○新京情報

新京居留民会ハ東拓ニアリ。日本総領事ヲ通シ折衝中。

ソ兵 1500/2000名 治安ハ奉天ニ比シ良好ナリ。

外出時間ハ 5.00-22.00

日系警官ハ日本人街ヲ警備中。

G.P.U. 相当ニ入込ミツ、アルモ日系ニ対シテモ嚴重ナル取扱ヲナシツ、アリ。

糧食ハ今後十日分ヲ残スノミナリ。配給ハ月高粱 10 kilo、十三才以下 7 kilo。

疎開者ハ一日 300 GRAM ノ給与ナリ。

現在高 米 3,000 高粱 1600 大豆 8000

人口 5 万ナレバ相当悲惨ナル状態ヲ呈シ居レリ。

○公使館ノ日ハク

年内ニ引揚不能ナルベシ、結局金ナレバ各自用意シ買物ナト慎ムベシ。学校干係ハ全然見込立タ、ツ。無職者ハ至急就職セヨ。

○ソ聯配備

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ワシデフスキー元帥（新京）

第一方面軍 ハルピン メンニーフ元帥 第二方面軍 奉天 マリノフスキー元帥

○8/25 支ソ条約

ソ聯ハ支那ニ対シ政治的支援ヲナス。

三十年以内ニ日本ヨリ攻撃ヲ受ケタル場合ハ兩國之ニ当ル。

兩國ハ相互ニ干渉セズ。ソ聯ハ3週間以内ニ撤兵ヲ始メ概ネ三ヶ月ニ了ル。

SMRハ共同監理トシ、三年後ニ無償ニテ支那へ渡ス。

大連ハFree Portトシテ兩國監理シ、港湾局長ハソ、副局長ハ支トス。

旅順ハ兩國ニテ使用ス。

○在満邦人

在満邦人ハ約200万中自活可能者70万ナリ。

兵士43万、傷病兵3万、疎開者41万、官庁、特殊会社、家族共50万。

○結語

邦人ハ如何ナル職業デモ兎モ角揚テ決死的越冬必要ナリ。

※東京湾調印…9月2日、日本は降伏文書に調印した。重光葵外務大臣、梅津美治郎参謀総長、マッカーサー（連合国最高司令官）、ニミッツ（Nimitz、米代表）、フレーザー（Fraser、英代表）ほか中国、ソ連、オーストラリア、カナダ、フランス、オランダ、ニュージーランド代表が署名。

※ワシデフスキー元帥…アレクサンドル・ワシレフスキー（Александр Михайлович Василевский）、1895年生-1977年没。極東ソ連軍総司令官。

※メンニーフ元帥…キリル・メレツコフ（Кирилл Афанасьевич Мерецков）、1897年生-1968年没か。第一極東方面軍司令官。

※マリノフスキー元帥…ロディオ・マリノフスキー（Родион Малиновский）、1898年生-1967年没。ザバイカル方面軍司令官。

※支ソ条約…1945年8月14日に中華民国とソ連が調印した中ソ友好同盟条約。対日戦争における相互協力と、戦後の日本の再侵略防止が定められると同時に、中国東北におけるソ連の一定の利権が認められた。

◎9月4日

【除隊者食糧】当社屋ニ食糧在ルヲ知ル除隊者次々ト来社、分配ヲ懇願スルモ何レモ断ル。相当苦境ニ在ルガ如シ。

【饅頭配給】谷口氏淀町ヨリ連絡ニ来タル。営口組散宿者ヲ含メ全部ニ饅頭ノ配給ヲナス。営口伊東要之助ノ暴状ニ対シテハ各方面ヨリ苦情出ズ。

【橋立町】橋立町社宅附近ニ多数満系集合。邦人家屋ヲ睨ヒツ、アリ。廣瀬、高田

等少量ノ荷物ヲカツギ来タル。此日保安隊二名袋叩ニ合ヒ銃ヲ掠ル。応援十名ニテ漸ク鎮圧セルガ相当ノ負傷者有リタル模様ニテ慰労会アリタリ。末輩連中牛缶ヲ貰ヒニ来ル。

公安局朱氏、例ニヨリテ苦カヲ伴ヒ食糧受領ニ来タリ。正ニ帰庁セントセシ折柄、ソ兵二名、満系一名侵入セリ。直ニ look up シテ男子ハ全員待機セリ。一名扉ヲ乗越エタルモ Double Door ニ断メテ帰レリ。此ノ間朱氏電話室ニ震エツ、アリタルハ寧ロ哀レナリキ。

【司令部】安藤、コワレンコト共ニ来タリ。洋紙、鉛筆ナド持帰ル。海辺、昨夜婦人達供出セル衣類ヲ持ッテ司令部ニ至リ安藤ニ手交ス。

【小島代理】小島代理、平壤ヨリ帰ル。元気ナリ。平壤店ニテ旅費立替ヲ断ラレ相当苦心セルモノノ如シ。

【朝鮮情報】平壤店ハ朝鮮平安人民政府委員会ナルモノノ乗取ラレ鮮系店限支店長ニナル。一同支店長社宅ニ集結中ナルガ金庫及 Cash 共ニ押収セラレタル由ナリ。

現在新義州ヨリ車リ院〔沙里院カ〕迄列車アルモ治安極メテ不良ナリ。京城以南ハ良シ。小島代理ハ奉天駅ヨリ当舎迄ノ間ニ剃刀ヲ奪ハレタルノミ。

【選鉱剤】中村氏ノ書状ヲ以テ荒木修理工場長来訪。旧国軍兵士二名護衛シツ、アリ。兼テ約束通り万代一箱ヲ呈ス。

来状ニヨレバ、ソ聯ノ申出ヲ頑強ニ断リ重慶側ト協力シテ工場ヲ運転シツ、アリ。現ニ支那軍（旧国軍ノ改編セルモノ）一ヶ中隊工場内ニ駐屯シツ、アレバ極メテ安全ナリ。万一ノ場合ハ支店長以下引取ルモ差支エナシトノ申出デナリ。

【清友荘】清友荘留守番中沢母娘、共ニ丸坊主トナリ死守シツ、アルガ不安ナレバ大工二名宿直トシテ派遣ス。

◎9月5日

【營口組】營口ノ黒田、土屋兩名昨夕帰還シ淀町へ合流ス。

【春日町】炊事係本日ヨリ春日町へ買出シニ出掛ケ、買手ハ全テ邦人ナリ。豚肉 35^斤、ニラ 20 斤購入。売品ハ殆ト奪略品ノミ。

純毛防寒シヤツ 250^斤、胯下 200^斤、靴下 30^斤、手套 15^斤。

【十条、橋立町】十条組ハ昨夜附近宿泊中ノ戦車兵多数侵入シ一部殴打セラレ、到底居住ニ堪エザレバ全員来舎ス。夜間ハ火災ノ危険アル故一部ニテ当直ヲ続行スベク勇士再ヒ出発。田中代理以下十条組ノ敢闘ハ蓋シ讚嘆ノ外ナシ。

橋立町モ昨夜滅茶苦茶ニサレ田中愛子母子来リテ訴フ。

【日満鋼材】谷口氏来舎。日満鋼材ハ満重分未払込ニツキ、従来通り日満鋼材ニテ押進ミ簡単ナル運搬車ヲ作ル方針ニテ明日日塔、渋谷氏相談ニ来ルト言フ。至極妙業ナルガ果シテ職工其ノ他 Smooth ニ集ルヤ否ヤ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【清友荘】中江澄江、丸坊主姿ニテ遂ニ避難シ来タル。昨夜来大工二名派遣、更ニ戸締強化シツ、アルガ、隣家峰氏ノ物持ハ定評アルタメ次々ト侵入ス。

【公安局】昨夜暴徒鎮圧中負傷者アリ。赤十字ニテ手当セリ。此ノ謝礼トシテ味噌醬油類ヲ贈ル由ニテ黄副局長等来タル。同人ハ仲々親日家トテ当方ニモ非常ナ厚意ヲ示シツ、アリ。満系 MOB ニ対シテハ当寮ハ心配ナシト再言セリ。

【満配】蘇家屯ヨリ植田、太田君連絡ニ来タル。同地ハ一般ニ平静ナリ。SMR 家屋ヲ提供シ、邦人衣裳ヲ持寄り□□境ヲ設備セルタメソ兵ノ暴行少ナシト言フ。数日銃声稀ニテ平静ナリ。

相場 茄子 2.00 モヤシ 3.00 人参 4.00 ネギ 3.00 芋 6.00 卵子 4.00

※日満鋼材…日満鋼材工業株式会社、1934年5月設立。三井物産の子会社である三機工業の子会社であったが、1945年7月に満州牽引車製造株式会社に商号を変更した。奉天に二工場、鞍山に一工場を有した。

※満重…満州重工業開発株式会社。日本産業が1937年11月に本店を新京に移し、同12月に商号を変更したもの。満州国の特殊会社として満州の鉱工業、製造業に広く出資した。略称・満業。

◎9月6日

【新入者】新京服部道夫（元当店）ノ実兄杉山正夫、間島ニテ解除後文字通り野ニ臥シ山ニ寝テ辻〔辻〕着ク。苦カト更ニ変ラズ。香川、保護ヲ加エ旅費ヲ惠授。二ノ三日中新京へ出発セシムル筈。

【営口組】営口組食糧、電熱器、冬服ナド要求セリ。出来得ル限り満足セシメ度キモ共倒レノ恐レアレバ極力自給スベキ様要請ス。白米一俵、白面五ノ六袋、セーター類ヲ分与ス。

【十条、橋立町】十条、橋立町ノ被奪略組ハ残品ヲ整理、弗々持来タル。橋立町組布団ナキハ寒サニ向ヒ心配ナリ。

【新京ノ奉天】杉山ノ報告ニヨレバ、新京ニ於テハソ聯ハ専ラ駅前ヲ占據シ邦人官舎街ハ目下ノトコロ安全ナリ。但シ新京駅構内ノ満系ハ悪質ニシテ吉野町方面ヨリ左側ハ余リ良好ナラズ。来奉ノ邦人ハ先ツ文官屯停車中ソ兵ノ奪略ヲ受ケ、奉天駅到着ト共ニ再ヒ繰返シ、更ニ駅頭ニテ満系暴徒ノ集団ニ押ヘラレ、全ク丸裸ニナル状態ナリ。何時ノ日ニ真ニ治安回復スルヤ全ク前途暗澹タリト謂フベシ。

【日満鋼材】日塔氏等来舎。小野ト将来ノ方針ニ就キ協議ヲ重ヌ。結局重慶側ト最初ニ approach セル選鉱剤中村氏ノ意見ヲ参照スルニ決シ、不日往訪スル様打合ス。

- 【支店長社宅】社宅留守番ノミニテハ近所不安ナリト隣家ヨリ抗議アリ。白地、高崎ヲ派遣ス。
- 【ソ兵】夕食後ソ兵一名戸ヲタ、キタル故全員直ニ入室、戸縮り蔽ニシテ鐘ヲ乱打待機セルニ間モナク退去ス。
- 【八路】今夕約 3000 城内ニ進駐ス。

◎9月7日

- 【治安悪化】八路昨夜城内へ進駐セルタメカ治安急速ニ悪化シ、満系 MOB 千代田通、駅附近ニ多数集合。棒ヲ以テ屯ス。邦人ノ袋叩キニ遭フモノ多シ。
- 【杉山正夫】前掲杉山、朝食後奉天駅ニ向ヒタルニ直ニ襲撃ヲ受ケ血ミドロニテ社宅前通りニ至タリ昏倒セリ。一同担込ムニ、頭部ニ裂傷三ヶ所何レモロヲ開キ、顔面張ヒッテ余程ノ重傷ト見受ケラレタルヲ以テ担架ニテ赤十字ヘ運ビ応急処置ヲ受ケ、香川宅ニ横臥セシム。
- 駅前ハ勿論、カード寄りハ邦人絶対通行不能ナリ。比較的安全ト思ハレタル春日町筋ヨリ千代田通モ不安ナリ。
- 今曉不審ノモノ裏門柵ヲ乗越エテ侵入。office 裏口、ボイラー室等約二時間ニ亙リ徘徊セリ。治安ノ急転ニ一同憂色深シ。
- 【山口邦彦】山口邦彦、安東行ヲ志シ全員不安ノ裡ニ出発セルガ、千代田通りニテ約三十名ノ暴徒ニ襲ハレ全テヲ放棄シテ帰ル。
- 【各方面情況】大正海上北川氏来訪。同氏宅ハ既二十回ノ侵入ヲ受ケ夫人達何レモ丸坊主ナリ。衣類其ノ他防寒用具ナク、今冬ハ凍死者続出センナド、言フ。東粉加賀林氏事情報告。
- 【日満鋼材】谷口、扇原兩名、選鉱剤中村氏往訪。日満鋼材ノ行キ方ニ付キ意見ヲ徴シ種々情報ヲ交換シ帰ル。帰途鮮系数名ニ身体検査サル、モ被害ナシ。
- 【鉄西】三菱機器、東洋タイヤハ機械設備多数ヲ発送セラレツ、アリ。技術者又彼地ヘ護送セラレツ、アル由ナリ。
- 【朝鮮】全鮮ハソ聯占領下ニ帰シ、邦人ノ通過許サヌ方針ナリト云フ。ソ聯ハ当地正金ヲ通シ上海ヘ送金。全地ニテ \$ 貨買入中ナリト聞ク。
- 【重慶放送】重慶放送ニヨレバ邦人ノ生命、財産ハ絶対ニ保証スト言フ。斯ル News ガ唯一ノ明朗話トハ寔ニ敗戦国民ハ哀レナル哉。
- 【十条社宅火災】夕刻ニ至リ一老翁連絡ニ来タリ、十条社宅三井荘出火ヲ報ズ。田中、沖等ノ二棟四軒消失セリ。原因不明ナルモ恐ラクハ昨日 G.P.U ヲ呼ヒ来レルヲ憤慨セル戦車兵ノ仕業ナルベシ。
- 【橋立町】七時 pm、橋立町男子一同、田中母娘ニ附添引揚ゲ来タル。今朝来ニ回ノ襲撃ニテ全ク居住シ得ザル状態ナリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

籠城以来最悪ノ状態ナリ。加フルニ終日停電シー同暗澹裡ニ越夜セリ。邦人ノ辛棒何時迄続クカ。除隊兵其ノ他爆発セバ正ニ通州事件ノ再現ヲ見ルベシ。

夜半ニ至ルモ銃声更ニナク却テ不気味ナリ。

【公安局】顔馴染ノ朱氏、昨日新四軍入城セル故心配ナリト背広ニテ来タル。彼等ニハ彼等ノデマアルガ如シ。

相場 葱 4[〃] トマト 8[〃] ナス 3[〃] 胡瓜・人参 各 4[〃]

※大正海上…大正海上火災保険株式会社、1918年10月設立。第一次世界大戦により保険業務を拡大した三井物産が、東京海上保険と連携して設立した。「北川」は奉天出張所長・喜多川登（1905年生）と思われる。同氏は戦後、同社専務取締役を務めた。

※三菱機器…満州三菱機器株式会社。満州機器股份有限公司（1935年11月設立、本店奉天）が満州機器株式会社を経て1941年1月に商号変更したもの。

※東洋タイヤ…東洋タイヤ工業株式会社、1938年6月設立（本店奉天）。東洋紡績と横浜護謨製造の提携事業。

※通州事件…1937年7月29日、北京近郊の通州において、日本の傀儡政府である冀東防共自治政府の保安隊が冀東政府関係者、日本軍人、日本人居留民を殺害した事件。

※新四軍…日中戦争期に華中・華南で活動した中国共産党の軍隊。毛沢東の命令により新四軍の一部は8月下旬から東北への進軍を開始した。

◎9月8日

【MOB】夜半ヨリノ豪雨納マリ快晴ノ裡ニ明ク。MOBノ被害ト伝ハリ更ニ鎮静ノ模様ナシ。春日町方面モ棒ヲ持テルモノ、煉瓦ヲ砕キテ投石ヲ用意スル者三々五々アリ、日系ノ通行不能ナリ。

支店長社宅ヨリ三名、清友荘ヨリ二名、何レモ帰り昨夜ノ不安ヲ報告ス。

【豚毛会社】豚毛社神代、後藤来訪。支店長ニ被害状況報告ス。再度ノ侵撃ニテ凡ソ取り得ルモノハ根コソギ奪略セリ。ベヤリング、ベルト、鋸類、其ノ他ノ重量品又ナシ。現金七万円金庫ト共ニナシ。治安回復スルモ当分復旧ノ見込ナカルベシ。

【橋立町】橋立町社宅ヲ死守セル者総引揚ニ至リ三井寮手狭トナリタルタメ、同等ヲ一括淀町社宅ヘ移シ、営口組ヲ女子寮ヘ移転セシムル様定メタリ。

【十条】十条社宅一部焼失ノタメ全男子引揚ゲタルトコロ、附近ヨリ抗議有リタルヲ以テ田中代理指導ノ下ニ六ノ七名派遣。当分三村宅ニテ寝泊リスルコト・セリ。

- 【司令部】司令部通釈コワレンコ来タリ。NOTE BOOK、PEN ナド貰受ケテ帰ル。
安藤道雄来訪。昨夜ソタンクニ便乗、MOB 鎮庄ニ向ヒタル模様ナド語ル。
- 【公安局】中川代理、公安局副局長黄氏往訪。情報蒐集ニカメタルモ会議中ナリシ
タメ後日ヲ約シテ帰ル。
- 【八路軍】新四軍（又ハ八路軍）ハ3,500 名ニシテ駅ニテ武装解除セラレ、城内ヨ
リ東陵ニ向ヒ全地ニ集結セル模様ナリ。
- 【新入者】大連中岡初夫、来舎。当分滞在ノ予定。

◎9月9日

【八路司令部へ社宅提供ノコト】小野、民団有志佐々木孝三郎ヨリ当ビルヲ八路司
令部へ提供ノ命令アリタル旨ヲ内聞。全男子ニ報告、前後処置ヲ計ル。右ハ正式
ナラザルモ、公安局石外事科長ガソ司令部ヨリノ命令ニテ当ビル接收ト決定セル
モノニテ全氏ノ厚意ニテ内報アリタリト言フ。退去期間ハ三日間ナリ。

全員参集セルモ名案トテナク、結局三日以内ニ撤収スルモノトシテ婦女子ノ疎
開先、食糧ノ搬出先ヲ決定ス。併セテ男子ハ当寮ノ追立テ迄頑張ルコト、セリ。

【交渉開始】尚正式通知アル前ニ下記ノ件ヲ再交渉スベク一決ス。

- (1) ビルノ一部ヲ当社 office トシテ借用致度キコト。
- (2) 移転期限ヲ一週間程度ニシテ呉レ。
- (3) 三井寮ハ現状ノマ、置イテ呉レ。
- (4) 食糧貯積ノタメ地下室ヲ借用シタシ。
- (5) 移転ニ付キトラック借用致度ク出来得レバ兵士ニ護衛サシテ呉レ。

【婦女子引揚先】三井寮引揚ノ場合、婦女子80名ハ、A 淀町社宅、B 八幡寮、C 支
店長社宅、D 清友荘、E 選鉱剤、ノ五ヶ所ナルガ、目下ノ治安状態デハC、Dハ
共ニ使用不可能ナリ。依テ熟議ノ結果婦人モ被害少ナキモノハ（例ヘハ老人）八
幡寮へ、二家族ハ女子寮へ、独身女子三名ハ小島代理宅へ、残余ハ拳ゲテ淀町へ
収容ト定ム。

【食糧一部搬出】兎毛角食糧ノ一部ハ今夕迄ニ淀町へ搬出セリ。各自荷物ハ一家族
一ヶヲ優先トシ各人持出シハ無制限トス。

【日本人保護】本日衛城司令官スタンコウツチ少将ノ布告：“日本人ヲ殺傷、略奪ス
ル者ハ銃殺ス”ル旨放送再三ナリ。然乍ラ俺公自ラノ奪略日ニ多キハ更ニ言及セ
ズ。

一同一応訣別ノ宴ヲ張ル。冷酒、牛缶ノ豪華版ナルモ更ニ楽シカラズ。

※佐々木孝三郎…1892年生。東京外国語大学蒙古語科卒業後、奉天の南満州製糖
会社に入社。満蒙毛織を経て、奉天興信所所長、奉天新聞社社長、奉天銀行取締役
役をつとめる。1940年に『奉天経済三十年史』を編纂。戦後は東北放送取締役。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

※スタンコウツチ…コフトゥン・スタンケヴィッチ（Ковтун-Станкевич, Андрей Игнатьевич）、1900年生-1986年没。ソ連軍奉天衛戍司令官（プリトラ少将の後任）。

◎9月10日

【情報蒐集ト交渉】 早朝ヨリ淀町社宅へ収容力調査ニ出向ク。小野、香川、公安局副局長、外事科長及ビヤマトホテル連絡部ヲ往訪。数回ニ及ビビル接收命令ノ実体ヲ捕捉セント努力セルモ明白ナラズ。

八方打診ノ結果察知シ得タルトコロハ、石外事科長ハソ聯ヨリ受命セルニ非ラズシテ勝手ニ八路ヨリ引受ケタルガ如ク、未ダ交渉ノ余地存スルガ如シ。勿論当三井寮ガ含ル、ヤ否ヤノ如キハ問題外ナリ。

隠岐氏ノ意見デハ石氏ハ寧ロ当ビルヲ推薦セルニ非ラズヤ、今後モ公安局ヘ積極的ニ approach スルハ考ヘ物タリト。

尚真疑〔偽〕追求ノタメタ刻、小野、海辺、香川ノ三名ニテ佐々木孝三郎氏訪問セルモ留守ナリ。柳家氏ヘ伝言シテ帰ル。

途中乱酔セル一兵士、時計ヲ出セテテ乱射シツ、アルニ出喰シ道ヲ変ヘテ逃帰ル。

【大陸科学】 大陸科学ハ引越ノタメナリトテソ士官ヲ伴ヒ来タリ。三往復ニテ完了セルガ、此ノ運搬代ニソ士官ニ Datson ヲ呈シタリ。全社ハ夫レデ ok ナルモソ士官ノ立入、Datson ノ搬出其ノ他当方ノ被リタル被害ハ枚挙ニ遑非ラズ。榊原氏ノ行動ニハ終始遺憾多カリキ。

【鈴木要】 鈴木要ナル仁、当方ヘ雇入方ヲ泣込ミ来タル。火急ノ際ニテ余猶ナキモ数日間ニ出来ル限り就職口ヲ捜スコトニスル。

【ソ主脳部】 当市衛戍司令部長官ハスタンコウツチ少将、経済方面ハカラワイフ少将、プリトラ少将ハ軍司令官ノ如シ。

【波多野】 保険課波多野ハ過日満毛奪略ノ波ニ捲込マレ大和署ヘ引致セラル。爾後生死全ク不明ナル由同人妻ヨリ伝言アリタルヲ以テ中川、香川両名公安局往訪。局長秘書閻氏ニ面談セルニ此ノ事件ハ大和署所管ナレバ其方ヘ照会サレ度シト言フ。

此ノ日局内ニテ邦人五名捕縛セラレタルヲ見ル。暗然タリ。

【共産党】 中国共産党宣伝放送サル。

※満毛…満蒙毛織株式会社、1918年12月設立（本店奉天）。1942年時点では東拓が持株比率82.1%で経営権を掌握していた。宇佐美喬爾の回想によると、社長椎名義雄は初代居留民会長を務めたが8月21日にソ連兵に射殺されたという（本日記9/24も参照のこと）。

◎9月11日

【板垣ヒ】ビルノ接取ニ干シ、三井寮ヲ別個ノ独立家屋トシテ主張スベク、此ノ体裁ヲ整エルタメ板扉ヲ拡大シテ裏口ヲ Cover シ別ニ木戸ナド設ク。若手全員、大工二名必死ノ活動ナリ。

【問題解消】十時佐々木氏来訪シ、“今回ハ当ビルニ触レヌコトニシタ”トノ石氏ノ伝言ヲ聞ク。マヅヤレヤレノ態ナリ。結局当方提案ノ如ク商工公会ノ旧軍需局跡ヲ使用スル決定セリ。真相不明ナルモ石氏ノ勞ヲ謝ススルベク朋友佐々木ノ意向打診スベシ。

同時ニ連絡部隠岐氏ニ事情報告ノタメ香川ヤマトホテルニ出向キ、種々懇談スルトコロアリタリ。

夕刻海辺、香川、予定通り佐々木宅へ出向キタルモ、折悪シクソ兵侵入シ来タリ。要領ヲ得ズシテ帰ル。隣家淀町社宅ナレバ警告ヲ与ヘタリ。

【市中】若干平静ノ如キモ満系ノ通行減少セルニヨルナルベク、ソ兵ノ帰還近キカ盛ニ土産物ヲ稼廻ル。被害少ナカラズ。重慶軍八十五日入城ノ噂ナリ。ソ兵退去ノ時期ハ油断ナリ難カルベシ。

【選鉱剤】扇原宅ヘノ電話ニヨレバ、選鉱剤ヘハ張少将外来社シ今後共ニ重慶下ニ協力セント話合ヒタル由ナリ。

夕食後警備方法及ビ食事代ニ付キ協議ス。

※商工公会…奉天商工公会。満州国では1937年12月に「商工公会法」により一都市一組織を原則として商工公会を組織した（日本人商工業者も中国人商工業者も含まれる）。戦時下では国策遂行支援が主な役割となり、配給や統制に動員された。

◎9月12日 本日記ハ疲労ノ極十三日ニ記入シタリ。於清友荘。

【死亡者】沖修一（3才）死亡。

【ソ聯将校来ル】午飯ヲ了シタル時、ソ聯将校四名、少年通積ヲ伴ヒテ来タル。ビルヲ案内セト言フ。香川、中川、根来等案内セルガ、貸事務所ハ鍵ナシ。通積少年鍵ヲ出セ、各室ヲ開ケトワメキ閉口セリ。然ラバ窓、扉ヲ破ラント言フニ其ノ必要ナシト言フ。

一部ハ早速連絡部ヘ飛ビ、安藤及通積油谷氏ヲ招キ来タリ。漸ク話通ズ。要ハ三十室斗ノ小室ガ要ルトノ様子ナリ。ビルノ残部ハ吾々使用差支エナキヤ、寮ハ如何ト問合スモ全然分ラズ。

地下室ノ一部ニ公安局食糧アリ。諒解ヲ求メタルモ相手ニセズ、三機倉庫ハハ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ンマーニテゴチ開ク。当方倉庫ノ疎開荷物在中分ハ余程気ニ入りタル模様ニテ、鍵ヲ取上ゲタリ。本庫ニハ疎開荷物ノミナラズ一同ヲ養フ大金アルナリ。一同憂色濃厚ナリ。特ニ積〔責〕任者薄井蒼白タリ。

司令部ヨリコワレンコ通釈ヲ招キ、右八個人ノ所有ナレバ一部取出シ度シト言フモ態ヨク追払ハル。全人ハ司令官ニ報告スルトテ引返シタリ。当地ニ新来ノ少将ヲ伴ヒ来タリ。各室ヲ案内。結局気ニ入りタル様子ナリ。但シ問題ノ地下室ハ見セズ。忽チ一階土裏ニ搬出ノ使役ヲ命ゼラレ若手全員活動ス。

【婦女子避難】何レニシテモ婦女子ヲ置クハ危険ナレバ一部淀町へ疎開セシム。夕刻再ビ香川、司令部ニコワレンコ氏ヲ往訪。面接セルガ接收ノ有無未定ナルモ問題ノ金円ハ決シテ取上ゲマイト語ル。

【其ノ夜】夜ニ入り従兵二名、少年通釈ト共ニ立哨シ、寮出口ヨリ出タモノハ射殺スト明言セリ。全員交互ニ夜警セルモ特ニ嚴重ヲ期シタリ。

少年通釈ノ口吻ヨリ見ルニ、G.P.U 又ハ憲兵 30 名（or 22 名）約一ヶ月間駐屯スルト言フガ如シ。

一難去ッテ又一難。全員不安ノ裡ニ夜ヲ徹ス。

【通釈ヲ求ム】本日来社ノ油谷氏ヲ是非招聘セント海辺、高橋、香川ノ三名ニテ聞及ビノ地区ヲ捜シ歩キタルモ判ラズ。

歩行者少ナクソ兵目立ツ。関沢君自転車ヲ没収サル、ヲ見ル。

◎9月13日 ビル、寮共ニ接收サル

【清掃使役】ビル一ノ二階ヲ午前九時迄ニ清掃セヨト命ゼラル。小島代理以下全員汗ミドロノ敢斗ヲナスモ小休止ナク中食迄酷使到ラザルハナシ。

地下疎開荷物庫ニ在ル金円ハ昨日来隠岐、コワレンコニ依頼セルモ結果不明ナリ。主脳部一同焦慮シツ、アルガ室熱心ニ交渉ヲ続ケタル結果、地下室ヨリ物品取出ス際ニノ三ヶノ持出シハ許可スルト頭目ノ少将ハ謂フ。然ラ部下ノ將校ハ故意カ？鍵ノ所有者見当ラズ分ラヌナト逃ゲ、結局回収不能ト想ハル。出納課長責任ヲ感ジテカ顔色悪シ。

【婦女子】婦女子ハ別動隊ヲシテ 8.00-10.00 ノ間ニ淀町へ逃避セシム。

【寮点検】各將校揃ッテ寮ヲ点検シ来タル。室谷、香川附添ヒ白土ノ室ヲ案内。既ニ伝染病患者多数ニ上リ死者三名ヲ出シタル旨墓標ヲ示シテ説明セルモ、果シテ彼等ノ考フルトコロ如何。

【使役更ニ続行】使役ハ更ニ続行、三階ニ及ブ。將校達ハ少将以下各部屋点検ス。

小部屋ハ全部机ノ配置ヲ了シタリ。大体机ニケニテ取調べ室ノ如シ。大部屋ハ物置ノ如クニシテ立入レヲ禁ズ。此ノ時既ニ各机ノ引出シヲ点検シツ、アリ。各種臓〔蔵〕品ハ大部屋へ搬入シツ、アリタリ。

【退去命令】 全員終日ノ使役ニヘトヘトナル中、少年通積、支店長ヲ求メ来タル。支店長ニ対シ高級将校ハ三時間以内当寮ノ立退ヲ命ズ。セメテ一日ト個願セルモ及バズ。全員涙ノ裡ニ奮起シ営口組、淀町組ノ応援ヲ得テ最善ノ手配ヲ定ム。

【移転】 First one hour ヲ以テ個人荷物ノ処理、Second one hour ハ食糧ノ運搬、Last ハ出来ルダケ何ンデモ運ブ定メナリ。

幸ニシテ表門前ノ警察官舎ニ空家有リタルヲ以テ此レヲ借受ケタリ。同所某氏ニハ兼テ食糧ヲ補給セル干係モ有リ、早速快諾、応援セラタルヲ以テ六尺余ノ煉瓦屏ヲ越シテドンドン投込ム。正ニ必死ノ活動ナリ。

【支店長社宅】 大部分ハ淀町社宅へ、支店長以下六名ハ支店長社宅へ向ヒタルトコロ、二台目出発シテ間モナク同社宅モソ聯將校ノ宿舍トシテ使用サル、旨急報アリ。再ヒ清友荘へ向フ。最後ニ小野、香川、各室ヲ廻リ重要品ノ残レルヲ点検シ、通積ニ怒鳴レ乍ラ去ル。正ニ切齒ノ境地ナリ。

【途中ノ強盗】 淀町社宅へハ軍取残シノ太車、消防ポンプ台車ヲ以テ運搬セルガ井上ハ途中、能ク渾車二台ヲツカミ此ニ保安隊二名ヲ雇入レ三回ノ往復ヲナサシメタルガ、応急ノ奇智正ニ絶賞ニ値スベシ。

最後ハ既ニ九時ニ近ク真暗トナリタルガ、支店長社宅組第二回ノ一行ハ北通ノ守衛病院番兵ニ掠ヘラレ荷物及ビ現金強奪セラル。幸ニシテ杉山正夫ニ持參セシメタル五万円ハ助リタリ。正ニ神助ト言フベシ。

淀町組一行モ途中二ノ三回ノホールドアップニテ此ノ日合計一万円以上ヲ失ヒタリ。

家ヲ家財ヲ失ヒタル避難者ヲ更ニ強盗セントハ、然モ尚忍バザルヲ得ザルカ。

【搬出荷物】 警察官舎へ搬入セル荷物ハ五名ノ宿直ヲ以テ監視シ、爾後弗々ト運出シタルガ被害極メテ僅少ナリキ。目覚キモノハ大体運ビ出シタルヲ以テ三時間ノ行動トシテハ大成功ナルベシ。大体 75% 程度カ。

【最後ノ交渉】 公安局経理股長馬乗風、通積ト共ニ来タリ。同局食糧ニ干シ是非將校ト交渉シ度シトテ香川ヲ引張ッテ放サズ。ヨッテ種々交渉セルモ彼等ハ既ニ各部屋点検中ニシテ全然話ニナラズ、明日ヲ約シテ帰ル。公安局員等大ニ同情シテ食ヲ馳走スナド申出デアリタルモ、暗夜ノ通行危険ナレバ辞シテ去ル。

【重要物件】 前掲ノ現金卅万円及ビ食糧（自動車々庫所在）、烟草類全部、軍ヨリ預リタル被服類ハ大物ナリ。中川氏所有ノ債券類又置忘ル。

【弊履ノ弁】 吾等ハ彼モ人ナリ吾モ人ナリ、人情ニ又変ルトコロナカラント考ヘタルガ、両日ノ使役後斯ク追出サレントハ。実ニ考ヘ方ノ甘サヨ。共ニ天ヲ戴キ得ザルハ彼等ナルベシ。百年ノ荊妻弊履ノ如キモノ初メテ之ノ心境ヲ察シ得ベシ。

既ニ毎日ノ希望ヲ失ヒタルモ唯祈ル本日ヲ以テ最悪日タレト。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

白地君 1400^一 ダバイ。

※ダバイ…ロシア語、**давай**。様々な意味を持つが、ソ連兵は略奪の際に「ダバイ、ダバイ（よこせ）」と叫んだという。以下、本日記では「ダバイ」「Dabai」が略奪を指す言葉として使われる。

◎9月14日 清友荘ニテ日記続行

清友荘ハ既ニ再三ノ来客土足ノマ、乱舞セル跡トテ殆ド居住ニ堪エザルヲ清掃シテ就寝セルガ、蚊多クシテ全員不眠ノ裡ニ明渡ル。

【通行禁止】 浪花通、加茂町共ニ通行禁止トナリ八路軍警備中ナリ。朱総入場トノ噂ナリ。

【淀町行】 支店長、香川同伴、淀町社宅ニ到リ住居ノ再分配ニ就キ協議ス。決定スルコト次ノ如シ。

- 営口組ハ八幡町社宅ニ移シ
- 旧三井寮組ハ室谷ヲ残シ女子寮ヘ
- 其ノ他淀町社宅ヘ割込マシム
- 清友荘ハ男子五名ト中沢母娘

民団委員佐々木宅へ挨拶ニ向フ。同氏宅ニハソ聯將校三名、大和撫子三名ニ従兵二名宿泊中ナリ。

【清友荘】 防備ノ強化、隣組へ挨拶ナドスル（500^一 寄附）。

当荘ノ家主ニシテ隣家ノ峰夫妻ハ十一回目ノ来訪ニ神経衰弱トナリ同方当荘ニ起居中ナルガ、男手ノ増エタルニ安心ノ様子。

【淀町ボーイ】 淀町社宅ボーイハ“八路軍ヨリ日本人ノ使用人タルヲ禁ズ”ノ故ヲ以テ辞職ス。

【八路】 八路中ニハ邦人有ルタメ秩序大ニ回復セリト言フ噂ナリ。

◎9月15日

【除隊者調べ】 朝ラジオニテ下記ノ如キ布告放送サル。国民手帳ヲ有スル者モ焼却、紛失ニテ殆ド現有スル者ナシ。除隊者ハ特ニ深刻ナル不安ニ陥ル。

【公安局】 香川、約束通り公安局往訪。経理股長、外事科長ト面談シ、食糧引継ニ付キ懇談ス。同局ハ当方提出ノ預り証ニヨリソ司令部ヨリ証明証取付ケ得ベシト言フ。

【移転略々完了】 警察官舎へ預ケ中ノ荷物ハ終日若手諸君ノ努力ニヨリ淀町へ運込ミニ^二/三台ヲ剩スノミトナル。中若干ハ途中掠奪セラレタルモ先ツ成功ト申スベキナリ。

【300,000】扇原引継キ安藤、コワレンコト tie up シテ取出シニ奔走中ナルモ見込薄シ。

【朝鮮事情】中川次男ノ友人、平壤ヨリ帰奉。途中ノ事情詳細ニ報告セリ。南鮮ハ極テ平穩ナル由ナリ。山口邦彦外七ノ八名万難ヲ排シテ帰国セント申出デアリタルモ、時機ニ非ラズトシテ慰留ス。

【満人強盗】奉天駅地下道、蘇家屯ノ渾河間ノ如キハ未ダ満人暴徒横行シツ、アリ。当地ノ治安ハ正ニ世界一ナルベシ。

【食糧分配】搬出食糧ノ分配ニ付キ紛議アリタルヲ以テ香川暫ク淀町ヘ滞在処理スルコト、ナル。

○布告

日本政府及日本軍代表ノ無条件降伏調印ニ際シ徴集適齡者ハ凡テ除隊セラレ濫ニ帰宅セリ又現役勤務者ニシテ逃亡シ奉天市内外ニ潜伏セリト認ム。奉天市内外ノ市民中徴集適齡〔齡〕者ノ登録ヲ行フタメ命令スルコト次ノ如シ

1. 1893 ヨリ 1925 (明治 26～大正 14) ノ間ニ出生セル凡テノ日系男子ハ国民手帳又ハ之ニ代ルベキ証明書又ハ軍隊手帖ヲ携行シソ聯司令部派出所ヘ出頭登録スベシ。
2. 各警察署ト協力シツ、アル余ノ代理者ニ対シテハ日系男子ノ登録ニ関スル余ノ命令ノ執行ヲ嚴重ニ監視スベク命令ヲ発シタリ。登録ハ 9/15 9.45 pm ヨリ 9/18 9.45 am 迄ニ行フベシ。
3. 登録該当事者ニシテ登録ヲ回避スル者ハ抑留セラレ戦争裁判ニ附セラルベシ。

コフトン、スタンコウッチ

※国民手帳…満州国では身分証として氏名や本籍、居住地、職業などを記載した国民手帳を所持させた。対象は、現役軍人・軍属を除いた 15 歳以上の男子、未入営者、指定事業の労働者など。

※軍隊手帖…日本軍軍人の身分証明書。

◎9月16日

【居住方式】支店長、淀町社宅へ。課長以上集合ノ上新生活様式ニ就キ熟議ノ結果、爾今淀町寮ハ谷口、女子寮ハ海辺ヲ寮長トシ各寮単位ニ経営スベキコト、定ム。俸給其ノ他ノ支給ハ現有現金ニテ六ヶ月喰延ス方針ヲ定メ、従業員ノ本俸ニ対シ 150%、家族一名当り 50%ヲ加給スベク、此レニテ一ヶ月経費 30,000ト押ヘ度シトス。

【中村選鉦剤】選鉦剤中村氏八路軍一名、通積一名ニ伴ハレテ来舎。小野、香川ト

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

鼎談ス。事変以来最初ノ面接ナリ。

八路軍ノ整然タル秩序其ノ他教ヘラル、トコロ多シ。

【登録問題】登録問題ニ関シ相談アリ。小野、香川帰荘ノ途中、ソ兵ニ呼止メラルモ逃去ッテ無難ナリキ。

◎9月17日

女子寮清掃、明日ヨリ移転ノ予定ナリ。

【波多野】波多野貫ヒ下ゲノタメ渡辺、中川、公安局へ出頭。副局長ト懇談ス。結局海辺身元引受人トシテ一札入レ再出頭ノ上引連レ帰ル。相当衰弱セリ。

◎9月18日

【淀町附近】淀町社宅附近ハソ兵ノ宿泊スルモノ多シ。特ニ隣家満系洋服店ハ主人露語ニ堪能ナルタメ繁忙ヲ極メツ、アリ。ソ兵ノ出入又頻リナルモ社宅ハ却テ安全ナルハ妙ナリ。

尤モ右洋服屋主人ヲ鎌谷ノ宅ヲ仕切ッテ住込マシメタル干係上、大体同人ガ処理シ間接ニ守マレツ、アルモ事実ナリ。本日一ソ兵入り勝手ニ部屋ヲ窺ヒ一騒動持上リタルガ、概〔該〕満人ヲ呼ヒテ片付ケタリ。此ノ兵士ハ洋服屋ヲ捜シツ、アリタルモノニテ、言語ノ不通ハスル不便ヲ招ク。是非通釈ヲ雇入ル要アリ。

【十条ヨリ】井上、太田ノ兩名活躍シテ十条社宅ノ残材、タ、ミ、家財等ヲ運搬シ来タル。

此ノ日918ノ記念日ナレバ一騒動予想セルモ案外ノ平静ナリキ。飛行機ヨリ伝単配布セルガソ聯ノ宣伝ニテ新味更ニナシ。

【食糧】所有食糧ハ大人一人5点、小供ハ12-5才ヲ3点、以下2点トシテ各家庭ノ点数ヲ算出。総数840点ヲ分母トシテ平等ニ配給シタリ。本日略々完了セリ。配給品、米、味噌、醤油、砂糖、白面、小女子、牛缶、ミルク缶、赤小豆、干魚、アメ、豆麺、黒パン、茶、塩、マッチ、ローソク等ナリ。

【女子寮】女子寮一部荷物持込ミタルトコロ、夕刻ニ至リソ兵四名宿泊スル由ナレバ再ヒ淀町へ搬入セリ。万一ヲ慮リ香川、佐々木宅ヘ到リソ将校ヘ連絡ス。

【町会】当淀町々会長染谷氏ハ仲々ノ遣手ニテ、通釈ヲ雇入レ此ヲ宿泊セシメテ間接ニ女子寮ヲ援助セラル。

【錦県組】錦県組三名、天津ノ大阪、明日帰店ヲ申出ゲタルヲ以テ旅費若干ト弁当、米ヲ与フルコト、ス。全地行ハ既ニ二回出発、何レモ安着ノ由。

※918ノ記念日…中華民国は、満州事変の発端となった柳条湖事件が起きた1931年9月18日を国恥記念日に指定していた。

◎9月19日

【警察官舎】警察官舎ニ残置セル荷物ハ山口邦彦外数名ニテ警備シツ、アリタルガ、本朝早ク同人等ヲ世話セル御仁三名何ヘカヘ逃走シ、同時ニソ聯將校兵、通積各一名ニテ取調べニ来タレルヲ以テ荷物不安ナリト急報セリ。

同所ハ三井寮監視ニモ便ナレバ荷物搬出後モ一部宿泊セシメ度シト考ヘタルガ、スル情勢デハ出来難シトテ早急ニ運搬ヲ開始ス。此レ又途中ニテ Boston Bag (白土)、Suit Case (白木)ヲ奪取セラル。

【錦県組】錦県木下、鈴木、遠藤、天津大阪、何レモ民会ヘ出頭。今夕列車有ルベシトノ暗示ニ従ヒ旅費各自300、弁当三食分、米一升余ヲ持参シ出発ス。

【各方面ヨリ】岡本、藤原、連絡ニ来タル。被害ナシ。寄金、田中、白土、小島、松宮等食糧受領ニ来舎。

【社宅ヘ】薄井、近森兩名、電業社員トナリ全社員ト共ニ三井ビルニ至ル。電話修理ノタメナリ。殆ト終日歩キ廻リタルガ、地下室ハ留置所ト化シ、各室ハ其ノ取調べ室ニテ憲兵本部ハ事実ナリ。

寮モ住宅トナリ、5.00 pm ニハ士官連中何レモ帰り、平服ニテ何レカヘ出向ク様子ナリ。各階ノ大部屋ハ何レモ物置小屋ト化シ全ク使用サレズ。二階出納室ハソノマ、ナリ。疎開荷物ハ所在不明ナリ。斯クテ金円ノ取出シハ略々絶望ト想ハル、ニ至ル。

【天津】兼ネテ行方不明ナリシ天津ハ波多野ト共ニ公安局ヘ留置セラレツ、アルコト判明セルヲ以テ海辺、中川、再ヒ出頭。貫下ゲニ関シ懇談セルモ、同人ハ満系ト連繫シテ毛布ノ整理ニ当リツ、アリタルヲ自供セルタメ速刻釈放致難シトノ挨拶ナリ。何分ノ援助ヲ申入レ引下ル。

【市中】春日町、平安広場方面ノ路店愈大繁生ナリ。営口大竹〔嶽〕ハバリカン一挺ニテ簡易床屋ヲ開業セリ。剃刀ナシノ素人床屋ナレバ一日十五円ハ大成ナリト大笑シツ、アリ。

【除隊兵】夕刻ニ至リ分区ヨリ、過日ノ登録者ヲソ聯当局ヨリマーク付キニテ返却セラレタルガ(マーク付ノ者ハ奉天ニテ合計6,900人)全人等ハ明朝9.00分区ヘ集合、区长ノ教導ニテ大和、敷島、朝日ノ各署ヘ出頭、ソ將校ノ取調べヲ受クルコト、通達アリタリ。

当方ハ淀町社宅、中村、緒方、廣瀬兄、高田、久保川、錦県ノ三名、天津大阪、鬼頭等全部ナリ。特ニ氣ノ毒ナリシハ大東亞戦争ニ全ク無干係ナル井上、廣瀬弟ノ兩名ニシテ、階級ヲ記入セルタメ出頭ヲ命ゼラル。右ハ世話役安倍、高崎ガ正直ニト書直シタル結果ナルベシト相当物議ヲ醸シタリ。

十条ハ三村、中山、早瀬ノ帰還組全員ナリ。当方雇入ノ大工二名又同ジ。

錦県組ノ二名、天津大阪、大連中村猛ハ前日離奉シ夫々帰宅セルヲ以テ連絡ノ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

方法ナシ。

※電業…満州電業株式会社。満州電業股份有限公司（1934年設立）を1940年に改組した特殊会社。

◎9月20日

【除隊者北陵へ】除隊組本日分区長ノ指揮ニテ大和署へ出頭スル。何レモ妻子ニ訣別セルガ九死ニ一生ヲ得タル者再ヒ還ラントハ同情禁シ得ザルモノアリ。

高橋、香川、之ノ様子ヲ見ルタメ神代氏宅ヘ到リ、隣組某家ヨリ窺ヒタリ。厚着ノ要ナシ、中食不要ナリトテ何レモ軽装。総数約2000人余リト見受ラレタルガ、程ナク保安隊警護ノ下ニ北陵行ヲ確認シテ帰ル。

【市中】中秋節ナレバ満系ノ外出寥々タリ。野菜又來ラズ。支店長再ヒ淀町へ出向キ、今後ノ方針ニ尽キ協ギス。除隊者申告ニ干シ安部、高崎ニ遺憾ノ点アリタルヲ以テ特ニ兩名ヲ訓戒スルトコロアリタリ。

【選鉦剤】全社中秋節ノ宴会ニ小野、海辺へ案内アリタルヲ以テ護衛（八路）付キニテ出発ス。

※中秋節…旧暦の8月15日にあたる中国の節句。

〔満洲選鉦剤株式会社奉天工場野紙〕

〔欄外〕平和区萩町四三号

九月二十日 選鉦剤 中村岳義

三井物産 小野支店長殿

冠省 先般突然參上にて而失礼仕り候。本日御約速〔束〕通り八路軍の警備兵一名、当社員山崎君一名を警備の爲め差向け候間、是非工場に御越し被下度御願申上候。当社の将来に対する株組織に関する点に於て打合せ申度に付、特に御都合被下御來場の様御願申上候。本日は中秋節にして午后二時迄しか隊長殿は在隊申されずそれに間に合ふ様に御出発される様御願申上候。海邊次長も御一緒に願上候。

右御願々上候

匆々

◎9月21日

小野、海辺、鉄西へ宿泊ス。北陵へ向ヒタル除隊者遂ニ帰ラズ。何レ使役ナルベシ。

【満系強盜】9.00-11.00、隣家峰氏宅へ満系強盜二名押入ル。3,250^円ヲ強奪セルガ不幸留守番不在、当方又全然氣付カザリキ。老夫妻当方へ宿泊シタシト言フ。

【淀町】女子寮へソ将校一名、石外事科長ヲ伴ヒ来タリ。トランクーケ貰受ケ度シテ
取りテ帰ル。女子寮組移転更ニ捗ラズ再ビ形勢ヲ見ルト云フ。

淀町々会事務所女子寮内ニ開設セラレタリ。柳家氏ヨリ一ノ二名ノ手使二人差
出サレタシト依頼アリタリ。明日ヨリ人選ノ上派遣セシメ度シ。

満系ノ外出スルモノ尠ナシ。

◎9月22日

【附近】春日小学校へ戦車兵30台来タリ。昨日同校ノ避難者暴行ヲ受ク。吾等又
動哨シテ警戒セリ。

扇原出発セルヲ以テ同人保管中ノ品、廣岡、高橋ヲシテ持帰ラシメ更ニ此レヲ
適宜処理セリ。

【日満鋼材】正午日塔氏来訪。日満鋼材ノ事情説明ス。偶々谷口、室谷、落合ヒタ
リ。談下記ノ通り。

【コワレンコ】コワレンコ通積、十八日ヨリ行方不明ナリ。

【俸給】俸給ヲ旧レートニテ支払フコトハ事実上不可能ナレバ、各自ノ生活ヲ最低
限度ニ引下ゲルノ外ナシ。而シテ現有現金ヲ標準トシテ次ノ如ク定メタリ。

(1) 本人在社中ノ者ハ本俸ノ二ヶ月分+家族手当一名50[〃]ヲ加フ。

(2) 本人応召中ノ者ハ本俸ノ一ヶ月半 全上

(3) 他店勤務者ハ一率ニ一ヶ月150[〃]

(4) 他店勤務者ノ家族ニ対シテハ150[〃]

物価ハ漸次上向ノ風アリ。

【高見監督】高見監督ヨリ連絡アリタリ。

1. 婦女子ハ可及的速カニ帰国セシムルコト。

2. 現在ハ不能ナレバ食料、燃料ヲ確保シテ越冬スルコト。

3. 銀行再開ノ見込ナケレバ貴方ハ貴方デ賄フ様ニスルコト。

4. 新京 office 社宅ハ用ヲナサヌモ、二ノ三ヶ所ニ集結至極元氣ナリ。

【新市長】八路入城ニヨリ廿日新市長焦若愚ヲ任命セリ。從テ重慶入城セバ再ヒ変
更ヲ見ルベク三者何レニ対シテモ深く commit スルハ危険ナルベシトノ意見濃厚
ナリ。

【SMR】命ニヨリ運行シツ、アルモノ新京、大連、安東、撫順(2)、合計五本ナリ。

新京ノ哈市間ハ貨物輻輳シテ technically 二動カスト言フガ本当ナルベシ。

〔欄外〕日塔治郎氏談

【日満鋼材】廿日、兼ネテ来訪セルソ技術将校ハ当社ノ機械ヲ解体シテソ聯ヘ持帰

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ル旨ヲ申渡ス。爾来ソ兵 40 名、当社約 40 名出勤シテ取外シ作業中ナリ。該機械ハ 69 台ニシテ相当ノボロ品モ含ム。（以上 20 日）

廿一日ヨリソ兵 20 名、当方 20 名（20 名ハ除隊兵ナレバ北陵へ）之レニ使役 100 名ヲ加工作業渉ル。約三週間ニテ完了ノ予定。

過日来 office 占領中ノモノハ他ノ一団ニシテ目下専務室ト会議室ニ四名アリ。一ハ余程ノ高級者ラシク妻及ビ犬ヲ伴ヒツ、アリ。不日レニングラードへ帰ルト話ツ、アリ。

三菱モ既ニ 200 台、四十車ヲ送出シタル模様ナルガ、技術員ノモスコー行ハ中止トナリタルガ如シ。満州電線ハ 220 車、在庫品、材料一切ナク、東洋タイヤ製品一切、満自ノ機械ハ一部飛行機ニテ運搬セリ。結局満州ノ重工業ハ全部根絶サル、ニ至ルベシ。

【民団情報】新民団幹部

宇佐美喬爾、押川一郎、篠田頼、隠岐武男、山田忍三、鈴木長明、河村竜男
民団経費ハ 130-160 万円ニテ、此ノ中臨時救済費及ビソ、八路ヘノ貢物代 80 万円、人件費 15 万円ハ主要ナルモノナリ。

警備区域ハ城内及国際道路ヨリ以東八路、其他ハソ軍ナリ。奉天ノ疎開者ハ 14,000 人ニシテ集固セルモノハ中 8,500 名ナルガ曾テノ 40,000 人ヨリ急激ニ減少セリ。

奉天市ノ銀行預金額ハ合計 12 億（払出 7 億）ナルガ、残幣ノ現在高 19 日現在ニテ 2 億ナリ。

※焦若愚…1915 年生-2020 年没。中国共産党の政治家。当時は中共瀋陽市委副書記兼中共冀熱遼第十八地区委員会書記。

※満州電線…満州電線股份有限公司、1937 年 3 月設立（本店奉天市鉄西区）。住友電気工業、古河電気工業、藤倉電線が設立を主導し、満州における電線の製造・販売を独占した。

※満自…満州自動車製造株式会社、1939 年 5 月設立（本店新京、1943 年 1 月から奉天）。満業が全額出資した。

※宇佐美喬爾…1892 年生。東京帝大法科大学卒業後、三井鉱山、関東庁を経て 1926 年に南鉄入社。満鉄奉天鉄道局長など歴任し、終戦時は満鉄理事参与および奉天満州車両社長。回想録あり。

※押川一郎…1899 年生-1970 年没。東京帝大法科大学経済学科卒業後、十五銀行を経て 1927 年に満鉄入社。満鉄北支経済調査所長、満鉄参事、満州電業理事などを務めた。

※篠田頼…1889 年生。旅順工科大学卒業後、漢口製粉会社に入社。1921 年、奉天

に河村工務所を創業。満州各都市に支店・出張所を有する大会社となり、篠田本人は奉天市大和区長などを務めた。

※山田忍三…1885年生。白木屋専務取締役を務めたのち、1943年より満州重工業開発専務理事。回想録多数。

※鈴木長明…1892年生-1968年没。東京帝大工科大学卒業後、1918年に満鉄入社。奉天鉄道局副局長、錦州鉄道局長などを経て1942年より満鉄理事。終戦後は在外財産調査会で満鉄の残務処理にあたる。

※河村竜男…河村龍夫、1893年生。東京帝大法学部商学卒業後、1920年に住友伸鋼所入社。満州住友金属工業専務を経て終戦時には住友金属工業取締役。

◎9月23日

【田沢宅】香川、店長ノ命令ニ基キ田沢宅ヲ往訪。全社整理ノ実情ヲ聴取セントス。全氏早速同行ヲ申出タルヲ以テ引返シタル処、ソ兵自動車隊ノ使役ヲ命ゼラレ、田沢氏共々約六時間ノ苦役ナリ。兩名夫々自宅へ帰り明日ヲ約ス。

康德社ハ社員ニ対シ解散手当トシテ5 m/s ヲ支払ヒタリ。未払三名アルモ中二名ハ内地送金ナレバ事実上支払不能ナリ。在奉天ノ粟田分1900^円ハ安倍ニ於テ調達(布地売揚ゲ)、支払ヒタリ。

依テ安倍保管中ノ残品ハ当社ニテ引継ギ当社ニ対スルDr ヲ cover スルコトニ打合ハス。

【協和烟草小沢来訪】協和小沢氏来訪ス。全社 Stock 3000 c/s ハソ兵押収シ、最近ハ Belt 類ヲ取引シツ、アリ、公安局へ交渉致シ度キガ如何ニスベキヤトノ相談ナリ。岩見氏丹毒再発シテ出社不能ナリ。全社ハ勝矢没シテ全ク首脳部ヲ失ヒタリ。

中央、満州ノ両社ハ何レモソ聯ヘ没収サレ残存セルハ協和、太陽ノミナレバ、此ヲ中国へ保存スル様全満烟草事情ト共ニ八路へ話シテ tie up シテハ如何、何レニシテ今少シ研究セヨト回答セリ。

【満糖中村】満糖中村氏来往。全社ハ精糖用機械ヲ既ニ新京へ移駐セルタメ持出サル、モノナシ。アルコール装置モ鈴木へ肩代り済ナレバ損害少ナシトノコト。

【洮南事情】大隈来訪。全人ハ甘酒セ造ヲ開始セリ。種々計画ヲ語りタルガ此ノ種ノ仁ハ斯ル非常時ニハ打テツケノ人物ナルベシ。洮南ヨリ莫来奉。報告次ノ如シ。

八月十三日洮南ニ侵入セルソ兵ハ残留セル同胞七名ヲ速時射殺。満系女子13才-60才迄全部被害アリタリ。

食糧ハ至ッテ豊富ニテ苞米ノ如キハ無代ニ等シ。豚肉一斤3円程度。牛、馬、羊ナド何レモソ兵持去リ白酒一升ト交換スル結果、最近ハ白酒半升対羊一頭ノ割合ナリト云フ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【大広場】司令部、東拓ビル玄関前ニスターリンノ大肖像掲ゲラル。

【高チホ】同方面ハソ兵ノ駐屯スルモノ多ク、住宅ノ接収セラル、モノ多シ。春日町ハ正ニ戦前以上ノ賑ヒナリ。

※c/s…ケース

※中央…中央煙公司、1930年11月設立（本店奉天）。ロシア資本だが経営は日本人に委任されていた。

※満州…満州烟草株式会社。1944年1月、満州烟草（1934年12月設立、本店新京）が満州東亜烟草株式会社（1937年11月設立、本店奉天）を吸収合併したものの。

※太陽…太陽烟草株式会社、1937年7月設立（本店奉天）。代表・陳子和。

※満糖…満州製糖株式会社、1935年12月設立。本社は奉天市鉄西区にあり、三井物産も主要株主のひとつであった。

※苞米…中国語、とうもろこしを意味する。

◎9月24日

【死亡】支店長淀町へ。福永玉静四才死亡（SMR Hospital）。医大前浄土寺ニテ葬儀相営ミ仮埋葬セリ。満蒙毛織椎名氏外三十基ヲ数エタルガ同氏ノ射殺モ亦確實ナリ。

【康徳被服】田沢専務来訪。全社ノ会計報告アリタリ。同社ヨリ持出シタル布地類ハ高橋課長ニ保管セシメ随時売却ノ上現金化ノ予定ナリ。

【橋立町】香川、近森ト共ニ橋立町社宅清掃ニ向フ。文字通ノ廢墟ニシテ徹底セル掠奪振りナリ。現ニ数名 Radiator ヲ取外ス者、板類ヲ持出スモノアリ。追立ツルモ仲々去ラズ、何レモリヤカーナド持チテ吾等ノ退去ヲ待チツ、アリ。“中国人接収”ノ張札ヲハガシタルガ、此等小盗ノ口吻ヨリ察スルニ既ニ接収者ト称スルジャングイ在ルガ如シ。

保安隊附近巡察中ニテ盛ニニ発砲シツ、アルガ何レモ空ニ向ケテ威嚇スルノミナレバ暴民全ク平氣ノ態ナリ。彼等ニ果シテ興亜ノ力アリヤ。

【布告】“奉天市民及ビ日本人ニシテソ聯將兵及ヒ公民ニ対シ危害ヲ加エントシタル者ハ其ノ場ニ於テ銃殺セラルベシ”

支那側ヨリ刀劍ノ届出ヲ求メラレタル由ナルガ実情不明ナリ。

【倉庫】倉庫苦力ハソ兵ト共ニ車庫品ヲ弗々処分シツ、アルタメカ俸給請求セズ。苦力頭ノミハ城内ニ居住セル故ニ錢ナシトテ来タル。

此等満系職員及ヒ女子事ム員ノ俸給ニ関シテ改メテ協議善処シタシ。

※医大…満州医科大学。1922年5月、満鉄大連病院奉天分院内にあった南満医学堂を組織変更して設置された。

※康徳被服…康徳被服株式会社、1941年6月設立。1943年7月以降、三井が持株率100%となる。専務取締役田沢義一は三井本社社員。

※ジャングイ…中国語、掌柜。店主、主人、支配人などを意味する。

◎9月25日

【淀町】旧三井寮組、女子寮へ移転完了。漸クニシテ淀町ノ整備ニ入ル。

【清友荘】白地ヲ主班ニ終日ニテ板屏ヲ改装ス。薪割、立哨、平日ノ通りナリ。附近吉田質店へハソ兵満系屢々訪レル模様ナリ。米100斤6.50ニテ買入ル。当家主峯氏十数回目ノ強盗ニ全ク半病人ナリシガ頃日来臥床セリ。

【田中、薄井】田中、薄井、会計報告ノタメ清友荘ニ至ル。

【保安隊補助】高橋正司、春日分会ヨリノ割当ニヨリ保安隊補助員トシテ派出所出頭セルガ結局ソ兵ニ利用（案内役）サル、怖レアル故ヲ以テ中止トナリ。20.00帰宅ス。

【日本刀届出】日本刀届出ノ件ハ大東区ノ任意手配ニシテ強制的ノモノニ非ラズ。以上ヲ confirm シテ広岡帰ル。

【新京来状】手塚庄三郎一小野宛

何処モ全ジト存シマスガ御地ハ最近ヒドイ様ナ話デ心配シテイマス。

当地ハ室町、朝日寮、新興荘以外全部トラレテ寄合世帯テヤッテオリマスガ奪取サレルモノハ毎日毎夜デス。通積ハ一人雇入レマシタモノノアッチデモコッチデモ引張帆。新関君ハ水沢トイフ親戚ノ御医者サンノ所ニ全居シテ居マス。銀行カ開ク迄現金カナクテハドウスルコトモ出来ナイノデ当地正金、興銀ノ預金者カラ東京返還条件デ借入レテ当分持チコタヘルデセウカ、ソチラハドウデスカ。

右御見舞旁々申上ケマス。九月十六日

◎9月26日

【疎開費用】大石橋へ疎開セル者ハ殆ト十条社宅組ナレバ、田中、三村ヲ除キ薄給者多ク帰奉以来社宅ノ火災有リ、橋立町組ト共ニ奪略ヲ受クルコト再三ナルノミナラズ更ニ移転セルナド甚ダ不運ナリ。

同人等ニ対シテハ出発前大人1000^円、小人500^円ノ割ニテ費用ヲ貸与シ俸給五ヶ月分ハ支給セザリシモ、一ノ二ヲ除イテハ後者ヨリ仮払金ガ多額ニシテ殆ト返済不能ノ実状ナリ。依テ疎開費用ノ若干ヲ見舞金トシテ支給シ、俸給五ヶ月分ヲ合シ此レト仮渡金ヲ相殺スル事トセリ。

前夜来香川作成セル五案ヲ以テ小野、淀町へ至リ、海辺、谷口ト協議ノ結果、大人375^円、13-5ノ子供275、4-1才150ノ見舞金ヲ支出スル事ニ定メタリ。本案ニ依レバ約8,500^円会社負担トナル。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【満系女子】更ニ満系雇員、女子事ム員ノ給料乃至解雇ニ付キ協議スルトコロアリタリ。

久シク痼疾ニ臥床セル堀田誠一ニ対シテハ毎月 500 円ヲ支出シ、附添平田ヨシノ善処ヲ希望シタリ。

【女子寮】女子寮組移転セルヲ以テ部屋ノ再編制ヲ行ヒ、着々半永久的施設ナル。

【三九合名】寄金、路上ニテ三九合名李君ニ面会。ハルピンノ事情ヲ聴取セリ。当方買付ノトラクター五台ハ現在迄ノトコロ安全ナルモ、不安ナレバ至急引取ラレタシ。徐ハ依然ハルピン滞在中ニシテ李ハ同人姓名ヲ偽称セル者アリタルタメ三井ビルニ出頭ヲ命ゼラレ種々取調べヲ受ケタル由ナシ。廿八日再出頭ノ後來訪スル予定ナリ。

【ソ兵】附近自動隊多ク不安ナリ。夜間銃声頻々タリ。昼間ノ自動小銃ハソ兵ガ犬ヲ殺シタルナリト言フ。

【北陵】大工ヨリ来状アリ。同人等ハ再ビ軍隊生活ニ入りタル由、三村、鬼頭共元氣ナリト言フ。

※三九合名…三九合名会社、1939年5月設立（奉天市瀋陽区）。社員は徐尊三、李春實。中古自動車や発動機、部品等を売買。

◎9月27日

【小野以下住友へ】小野、谷口、田中、室谷ノ四名、鉄西住友へ挨拶ノタメ 10.00 出発。住友社モ予想ニ反シ機械類持出サレツ、アリ、操業開始ノ意向ナキモノノ如シ。帰途日滿鋼材へ立寄りタリ。解体、搬出作業進捗中ナリキ。

【橋立町】橋立町社宅跡、引続キ不良満人ノ持出シアルタメ学生外数名ニテ寧ロ可及的ニ当方ガ取り出スベク車ヲ以テ出掛ク。前後二回ニテ取止ム。

【社宅】店長社宅ハ昨夜モソ兵椅子等持出シタルヲ以テ此レ又使用可能品ヲ取出サントセルガ、今朝来八路軍警備シツ、アリ断念セリ。

【協和烟草】岩見鉦作氏来訪。香川応接ス。柳家氏、挨拶ニ来訪。

【朝鮮】当店松宮、家族ヲ伴ヒテ新義州ニ至リ昨日帰奉セリ。安東ハ治安極メテ良好ニテ板張ノ窓ナド見受ケズ。鴨緑江ハ邦人ノ通行ヲ許サヌモ安東ニテ停滞セル邦人ヲ見ザリキ。

米ソ境介〔界〕約 8 里ハ徒歩連絡ナルガ、此ノ間ハ鮮系モ裸ニサル、所謂悪ノ関所ナリ。南鮮行キヲ希ムモノ多シ。

【ソ兵】夕刻満系、ソ兵、各一名ニテ峯氏宅ノ裏ヲ押破ラントス。老夫妻当方へ避難シ来タル。当方女子モ準備シ待機セルモ遂ニ断メタル模様ナリ。今夕某所ヨリ金円取出シタル由ニテ兩名震エツ、アリ。

寔ニ悲惨ト申スベキナリ。何人ガ連絡スルニ非スカナド、言フ。老人焦衰〔憔悴

悴] 甚シ。仏間ニ寝セル。

銃声近隣ニ繁ク。余り近イノデ吃驚スルコト再三ナリ。夜半ニ至リ漸ク落付ク。
【橋立町】 全社宅ヲ是非借受ケ度シ、場合ニ依ッテハ買取モ可ナリト過日飄然ト現
ハレタル満系再ヒ現ハル。山口邦彦連絡ニ来タル。

【三井ビル】 原口、三井寮附近通行中ノトコロ旧警察官石原氏ト出遭ヒ、同寮宿泊
中ノソ軍ハ出発準備開始セル模様ナリトノ情報アリタリ。立話途中ニテ同氏保安
隊ニ引致セラレタルヲ以テ原口急ギ帰ル。

【香川、峯協定】 香川、峯ト面談。一種ノ協定ニ達シタリ。

○協和烟草

操業 同社ハルピンヨリ常務楊連三、四ノ五日ニ来奉。衛城司令部ト交渉ノ結果明
二十八日ヨリ一部操業ノ運ビトナリタリ。

就動機械ハ三台。一台一日 30 万本ニテ約 100 万本ナリ。内 25% ハ無償提供シ残
75% ハ自由販売トス。ソ聯側ハ工場警備ニ当ル管ニテ現在三名駐屯中ナリ。

八路トハ太陽烟草専務陳子和ノ紹介ニテ交渉セルモ、ソ管下ヲ更ニ警備スル訳ニ
ハ参ラスガソ兵徹収ノ際ハ早速警備スル旨言質ヲ得タリ。

現在ノトコロ機械ハ安全ト思惟セラル。

原料 満州葉烟草 (20000 万円) ハ 8/28 役員ノ改選ニ当リ解散、改組シ中国東北
菸葉有限股份公司ト改称セリ。

暫定の一董事長 長谷川、常務董事 陳子和、薫子 楊連三

原料烟草ハ同社ヨリ供給サル、モ従来ノ outstanding ハ据置ノ条件ナリ。Riu
paper ハ多少盗難ニカ、リタルモ目先不安ナシ。Endless tape ハ城内ニテ買入レ可
能ナリ。

他社 中央及ビ満州烟草ハ何レモソ聯ノ接収下ニアリ。中央 5000 c/s、満州 3000
c/s ノ在庫品ハ既ニ持去ラル。協和ハ 9/18 1600 c/s ナリ。同時ニ中央 80 c/s、満州
20 c/s、日産ハ一日置キニ積出サレツ、アリ。

ハルピン 楊ノ報告ニヨレバ、バルピン工場ハ 8/15 mob ノ侵入ヲ受ケ間ナク火災
発生全焼ス。Boiler 二基ヲ残シタルノミ。目下ソ聯ノ看視下ニ在リ touch 不能ナリ。
天野氏トハ 8/16 道路上ニテ面談セルノミ、爾後行来不明ナリ。露司令部ヘ交渉セ
ルモ依然未詳。工場長千原同断ナリ。一般ニ日系ニ対シ極メテ苛酷ニシテ奉天ヲ見
テ驚キタリ。

今後 楊ノ意向モ付度シ同人ニ全権委託シタシ。全人ハ本日ヨリ工場ヘ宿泊スル予
定ナリ。同時ニ岩見ノ Brain Trust 強化ノ要アレバ是非当社ヨリ人ヲ欲シトノ事
ナリ。

◎9月28日

【峯老夫妻】昨夜ソ兵ノ侵入未遂ヨリ老人再ヒ発熱、憔悴甚敷シ。頭髮ニ触ル、モ激痛ヲ覚エ極度ノ神経衰弱ナリ。香川ヲ枕頭ニ再三招キ種々伝言スルトコロアリタリ。同夫婦ヲ安住セシムルタメニモ、全隣組ノタメニモ、峯家板屏ノ改装必要ナリト考へ、清友荘全員、隣組ヨリ四名ノ応援ヲ得テ終日之レニ没頭ス。

夕刻慰勞ノタメ入浴及ヒ夕食ヲ呈ス。G昨夜持参セルヲ納メ明日淀町へ届ケル予定ナリ。夜間老人発熱、親籍〔戚〕、久保夫妻等枕頭ニ在リ。明日ヨリ学生ヲ宿泊セシムル様諒解ヲ得タリ。

当分当荘ニ臥床セシメル積リナリ。

夜間銃声間近カニ響クコト昨日ニ変ラズ。

【北陵】北陵生活ニ就キ入報アリタルガ、相当ノ労働ニテ給与甚ダ悪シ。殆ト10.00 pm 頃迄使役セシムト言フ。

【春日町】隣組長久保夫人、オハギ屋本日開業。売揚200⁻、略々元価ヲ回収セリ。仕入ニ当リ満系ノ計量巧ミニシテ全ク分ラズト言フ。平均20% 見当日減リアル由ナリ。

【支店長社宅】社宅宿泊中ノ八路ハ二泊ニシテ本日出発セリ。主食ノ米持参シ副食物ノミヲ求ム。持出シタルモノナシ。明日又ハ明後日必要品取出シ度シ。

【慰勞会】費用峰氏出費。米其ノ他、当方ニテ賄フ。

◎9月29日

【峯老人医師談】峯氏睡眠不能、衰弱甚敷シキタメ石川博士ノ来診ヲ乞フ。生命ニ別状ナキガ如シ。同博士ノ談話ニ依レバ、八路軍薬品類押収ニ病院ニ入り最近ハ開業医ニ及ビ閉口ナリ。ソ兵又淋病多クシテ薬ヲ強要スルモノ多ク、薬局ニピストルヲ擬シテ強奪スルモノアルハ閉口ナリ。医師モ亦難キ哉。

北陵組一部ハ北上セルモノノ如ク私宅へ通信アリタリ。

【淀町女子寮】小野、香川、女子寮訪問。種々情報交換ス。本願寺、奉天寺ノ疎開者再三侵入ヲ受ケ強姦サル。寔ニ悪質トナリタル模様ニテ表面平静ナルモ油断ナリ難シ。

香川、峰ノ契約品約半数無事ニ届得タリ。米代5020⁻、此レヨリ支払フ。木炭購入一斤1.70ナリト。春日町方面モ物価漸次下落ノ徴アリ。但シ砂糖類ハ再び暴騰、現在相場35⁻ 見当。

【布団】橋立町組、營口組、共ニ布団ナク此レガ蒐集ニ苦勞シツ、アル様子ナレバ、余分ノ所有者ヨリ敷200⁻、掛300⁻ニテ一度買求メ此レヲ売渡スコト、セリ。田中、室谷、此レガ斡旋ニ当ル。

【公安局】香川、中川ニテ公安局黄副局長往訪。天津ノ件ヲ頼込ム。偶々臨席ノ司

法主任ハ同人事実ヲ承認セルタメ検事局へ送ル意向ナリト言フ。如何トモ為難シ。当社屋占拠中ノソ兵退去ノ模様ナキヤト質セルモ“情報ナシ、斯ル際ハ通知スル旨挨拶アリタリ。

三井寮前ニトラック横付ケシ椅子其ノ他持出ス様子ナリ。

【興信所】小野、香川、前民団副会長佐々木孝三郎氏往訪、挨拶ス。特ニ注意スベキ情報ナシ。

【独身者商内】淀町独身寮ニテドーナツ製造。山口、寺内ニテ大道ニ出テ売ル。時余ニシテ帰ル。保安隊ニ追散サレタルタメ半数ヲ残シタルモ、ソ兵五ヶニテ40^分 払ヒ呉レタルタメ約85^分 ヲ売揚ゲタリ。大成功ナリ。

【久保】隣組長久保夫人、今日オハギニ日目ニテ全部売抜キタル由ナリ。追々各方面へ速成商人出ヅルモ、同業者過多ニテ何レモ新戦術ヲ用ヒザレハ共倒レノ怖アルベシ。

【各方】藤原技師ニ依頼中ノ鑑出来セルヲ以テ甘酒ヲ作りツ、アリ。成功セバ同様大道へ進出ノ積ナリ。

【Radio】奉天ニュースニ依レバ

①联合国ハ日本ニ対シトラックノ製造ヲ許可ス、motor 同断。

②日本ニ残りタル船舶ハ35隻中500 ton 以上ハ少数ナリ。何レモ満州、南方、支那ヨリノ邦人引揚ニ用ヒラルベシ。

前日来ノニュースニ依レバ

①岡村大将以下30万ハ支那軍ニ正式納入セラレタル由。

②東京、大阪ノ大都市ハバラック以上ノ建築ヲ許サズ。道路副〔幅〕員最小6メートルシ都市計画完了後疎開者ヲ収容スベシ。

【コワレンコ】通積ハ東拓裏ニ軟禁セラレツ、アリタリ。強盗頻々ト起ル。

【鮮系義勇隊】“朝鮮義勇隊”タル腕章ヲセル者四ツ筋ニ立チ始メタリ。保安隊ノ補助ナルカ。

【聯銀券】春日町へ聯銀券現ハレタルガ、満券ノ1/2ニテ大道商人受取りツ、アリ。一般物価頭打チナルハ銀行閉鎖ニヨルナルベシ。

【ソ兵】深夜ニ犬盛ンニ吠エ、曉莊（隣家三菱社宅）ノ窓ヲ破リテ一兵押入ラントセシモ、警護員還リ憲兵へ通報、事ナキヲ得タリ。

※興信所…奉天興信所、1917年6月設立。佐々木孝三郎は所長。

※岡村大将…岡村寧次、1884年生-1966年没。終戦時ノ支那派遣軍総司令官。

※聯銀券…中国聯合準備銀行（1938年3月～）ノ発行銀行券。

◎9月30日

【勝矢五十七日】協和烟草勝矢氏ノ卅五日忌ナルヲ以テ小野、香川列ス。会スルモ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

廿名、蕭然ト読経ス。協和干係者ノ外神代、後藤等、故人ノ慰徳ヲ忍ブ。当奉信ビルハ二十五ノ六間四方ノアパートナルガ、警戒厳重ヲ極メ出入口ハーケ所ニシテ一人一人 cheque シツ、アリ。宛然小要塞ノ感アリ。

式後、来客ノ被害話出テタルガ依然各地区共猛烈ノ如シ。最近ハ窓ヲ破ッテ這入ル（従来殆ドナシ）モノ多ク、何レモ悪質ナリト言フニ一致セルヲ以テ帰宅後表玄関ヲ強化シタリ（清友荘）。

【支店長社宅】留守居番来タリ。月給ヲ請求セルヲ以テ 500、兎モ角貸与フ。同時ニ八路帰りタル由ナレバ至急品物取出サント清友荘同人出掛ケタルトコロ、折返シソ兵侵入シ本日ヨリ宿泊スルト言フ。又断メテ帰ル。社宅前春日女学校ハソ兵多数宿泊シテ全ク通行出来ズ。

【八幡寮】笹山君、風邪ニテ臥床中。営口組ハ満服ヲ仕立テ、販売ノ意向ナルガ、到底商内ニナラスベシ（木綿物 300^ト云フ）ト現品（香川着用）ヲ以テ説明シ置キタリ。肺ヲ病ム堀田誠一、幸ニ小康ヲ得ツ、アリ。隣家教会ハ毎度ノ侵入ナルモ八幡寮ハ安全ナル風ナリ。

【峯】老人今日一日泊マルト言ヒ居リシモ、老妻ヒステリー一気味ニテ八時迄背負ヒ帰ル。或ハ寿命尠ナキカ。

【ソ兵】当宅南隣家（空家）へ押入りタルカ、Door 開キツ、アリタルヲ以テ更ニ釘付ケス。一兵五時頃ヨリ四ツ角ニ泥酔横臥中ナリシガピストル何人カニ奪ハレ case ノミ。白地立哨中ナリシモ後難ヲ怖レ何人モ近寄ラヌ様警戒セリ。

【デマ】「土耳其トソ聯開戦シ米国ノ原子弾ニソ聯無条件降復セルヲ以テ近々引揚ゲル筈」ト話歩ク仁有リ。果シテ如何。

【新聞】昨日「日本新聞」四号 9/22 日付ヲ見ル。今夕遼寧新聞第一号アリ。千島ノソ聯領有ニ対シ U.S.A 不認ノ態度ヲ表明セリト。

十時犬又吠エスル。銃声弗々ナリ。

日本酒 35^ト 5 升

◎10月1日

【日満鋼材】日満鋼材（社長渋谷氏）ヲ一時満系ノ名義ニシテ置ク案ヲ渋谷氏ヨリ提出セラレ、本件ガ株主タル三井、三機ニ容ラレヌ場合ハ辞職スル旨申出アリタリ。谷口、田中、室谷、香川ニテ凝議セルモ結論トシテスル小細工ハ不要ナリト断ジ、同氏慰留不成功ノ場合ハ辞職又止ムナシトセリ。現在ソ聯側ト協同ニテ機械ノ取外シヨナシツ、アルガ、日給ハ ¥30^ト, 25^ト, 20^ト, 15^ト, 10^ト ト階級ニ応シ支払フ由ナリ。

【市況】一般諸物価下落シツ、アリ。同時ニ満系ノ換物旺盛ナレバ、此ノ際更ニ俸

給ヲ前渡シ食糧類、特ニ米及燃料ヲ買溜メシムルコト、致度ク、十月分給料一ノ二日中ニ支払フ様手配ス。

【ニュース】 殖民地ノ金融機関、特殊会社ニシテ東京ニ支社ヲ有スルモノハ聯合國側ニ接收サル。例ヘハ台湾、朝鮮銀行、滿業、滿拓、東拓、SMR ノ如シ。

聯合國側ハトラック工場ヲ許可シタリ。日本ニ残サレタル船舶ハ 35 ニシテ 500 ton ハ中僅少ナルガ右ヲ以テ南方、支那ヨリノ邦人運送ニ當テルナラン。

【選鉱剤】 (十月三日記) 根来ヨリ情報

選鉱剤ニ駐屯セル八路軍ハ本日突如トシテ引揚グ。行キガケニ 6000^トヲ奪ヒタリ。早速入代リニソ兵来タリ。現在ノ手持品ヲ引渡セト要求セルガ、中華民国ノ来ル迄手ヲ染メ得ズト断リ小康ヲ得ツ、アリ。

婦女子ハ避難セシメタルガ中村以下戦々兢々ナリ。

中村ノ情報ニヨレバ近々重慶側 23 ケ師、約 50 万ガ来滿シ奉天ニハ 10 万程度駐屯ノ筈ナリ。ソハ 11/18 ヲ最後トシテ撤兵スルト思ハル、ガ支ソ間ノ開戦ハ必至ナルベシ。

※滿拓…滿州拓殖公社、1937 年 8 月に設立された特殊会社。1936 年 1 月設立の滿州拓殖股份有限公司は滿州拓殖公社に吸収された。

◎10 月 2 日

【民団】 支店長、民団ヨリノ招キニ依リ出向ク。曰ハク、邦人救済ノタメ約五千万円ヲ必要シ此レヲ当地方富豪ヨリ供出セシムル故日本払ノ条件ニテ三井、三菱、住友、正金ノ四社ニテ guarantee セラレタシ。四名協議ノ結果、何レモ権限ナキモ止ムナシト承諾セリ。

民団ニハ依然服地等ヲ強要ニソ兵屢々来タル。

【速成商人】 当社干係者ノ速成商人弗々現ハル。

- (1) 康德被服ノキャンバスニテ淀町組夫人達リックサック作成。近森、春日町ニテ売捌ク。原価 53^ト、売値 100^ト。
- (2) 淀町社宅ノ不用品、太田、近森、岸原夫人、平安広場ニテ売ル。二時間ニテ 400^ト。
- (3) 伊東要之助ノ姪、白土ノ息等、饅頭ノ行商。仕入 1.60、売値 2.00。但シ売残りヲ社宅デ引受ケルハ閉口ナリ。

【峰】 夜九時頃峯宅ノ表ヨリ民団通釈ト号スルモノ“ソ憲兵三名ヲ伴ヒ貴家隱匿セラル、ト言フ。ピストル搜索ノタメ”開門ヲセマル。留守番早速八方ニ飛ビ警戒。同時ニ西村裏口ヨリ出テ保安隊三名ヲ伴ヒ来ル。同人等ハ一応事情ヲ聞キ、タル後酒ヲ強要ス。

隣保一統相当ノ混乱ナリシガ漸ク無難ニ夜ヲ徹シタリ。当方女子二名屋根ヘ避

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

退セリ。

同家ハ近隣有名ノ物持ナルタメ既二十四回ノ御見舞ニテ峰氏ハ既ニ病床ニ久シク、寔ニ気毒ナル状態ナルガ当方其ノ都度通り道トナリ迷惑至極ナリ。

【噂】 米国艦隊一部大連ニ上陸シ、ソ聯ノ暴状ヲ訴ルトコロアリタルヲ以テソ聯側大ニ改良シツ、アル由ナリ。旅順港ハ総立退キナリト。

◎10月3日

【北安猪狩ノ新京事情】 北安勤ム員タリシ猪狩秀丸君、過日杉山同道、新京へ向ヒタルガ本日帰奉シ、手塚氏出状及ビ彼地情報ヲ齎シテ来訪セリ。

- ・新京ハ最近治安良好。強姦ノ噂ナシ。
- ・会社ハ現在員 250 名中男子 75 名ナリ。四ヶ所ニ分宿シツ、アリ。
- ・全員ノ食事ヲ会社 a/c ニテ賄ヒツ、アルガ一日一人 ¥15[〃] 弱ナリ。
- ・物価ハ下リ足。野菜類ハ当地ヨリ高シ。石炭モ入手可能ナリ。
- ・大韓国防衛本部ト称スル不逞鮮人ノサバル。
- ・除隊兵ノ調査ナシ。奉天ノミノコトナリ。

【ハルピン】 ハルピンニテハ当社干係ノ Internee 十九名中 M.B.K 七名ナリ。赤松文子、西田、青谷等ナリ。行方不明ヲ伝ヘラレタル天野又全ジ。

【克山】 岩崎、大椽両氏ハ克山ニテ入獄中ナリ。

何レニシテモハルピン以北ハ取扱ヒ別途ノ如ク見受ケラレ、寔ニ同情ニ堪エズ。然乍ラ生命ニ別状ナケレバ寧ロ Internee ガ望シキカ。

【大連来状】 大連渡辺金吾氏ヨリ来状。同地事情詳細ニ通知アリタリ。別紙ノ通り。

【市中】 情勢些カ平静ニテ殆ト銃声ヲ聞カザルモ、ソ兵ノ情報ハ区々タリ。南方々面ヨリノ帰国兵アル模様ニテ、此等ハ数日乃至十日程度当市ニテ慰勞休暇ヲ与ヘラル、ガ如シ。帰り支度ハ事実ラシク、買物スルモノ多シ。春日町繁華街ノ Two Block ハ昨日ヨリ交通シャ断シ出入ヲ禁止シツ、アルガ内側ハ静寂林ノ如シ。干係者一同如何ナル事情ニヨルモノカト痛心深シ。強姦カ強盗カ或ハ単ナル調査カ。

猪狩へ 200[〃]、社宅隣組 37.80。

【News】 陛下 McArthur ト懇談。日本船舶残存総数 59 万トン。既ニ一部天津、上海ニ向ケ出航（当地ノ如キ治安下ニ在ル同胞ヲ最初ニシテ呉レヌモノカ）。日本石油操業。

【三村来状】（廿五日付）廿六日列車輸送ノ予定。多分北鮮經由内地送還ナルベシ。家族ハ頼ム。

高岡市源平町 廣上清次郎方

〔欄外〕 猪狩 c/o、鈴木実 2-8195

※a/c…account、勘定、勘定科目。

※M.B.K…Mitsui Bussan Kaisha.

※日本石油…日本石油株式会社、1888年5月創業（当初は日本石油会社）。終戦時、日本最大の石油製錬業者。

◎10月4日

〔欄外〕Radio：山下大将裁判。在鮮邦人一日5000名。在支米軍援支経〔継〕続。

【布地】淀町ヨリ鈴木要、山口、高山、布地持参セリ。早速隣組へ持参セルガ巾違ヒニテ売却出来ヌト隣組長持来タル。

【千葉耀胤氏】周杖子水銀社長千葉氏来訪セラル。見ルカラニ尾羽打枯レタル風ナリ。種々苦難ノ実情ヲ聞キ御同情ニ堪エズ。別紙出状ヲ示サレタルガ略々諒解可能ナルベシ。不日新京へ廻附スベキヲ約ス。一昨日五十才以上ノ老人六名（水銀社）銃剣ニテ護送セラレ、大和小学校ニ至リ釈放セラレタリ。早速岩見氏へ電ヲ連絡シテ同氏宅へ宿泊、今日出頭セラル。辺境ニ於ケル惨状ハ更ニ吾等ノ想像ヲ絶スルモノ有ルガ如シ。

今後ノ生活、特ニ退職資金問題ニ干聯シ当方へ借入金ノ依頼アリタリ。香川奔走ノ結果、何トカ都合スベク明日ヲ期シテ一先ツ辞去セラル。

八月廿日ノ午前二時突如就縛シテ以来廿四日ノ釈放ナレバ白髪頓ニ加ハリタリ。中十二日間ハ北稜鐵路学院ニ収容セラレタル由ナリ。

古崎以下若手職員ハ兵士並ミノ待遇トテ何レカヘ連行サレ行方不明ナリ。更ニ心痛セルハ婦女子ノ七十五名ナルガ多分一兩日中ニ奉天へ送ラル、モノト想像サル。三井差入レノ社員ハ千葉、古崎、松本、稲垣ノ四名ニシテ他ハ現地雇入レノ者ナレバ、綏中官吏連ニ倣ヒ三ヶ月分ノ退職手当ニテ解散致度シト謂フ。

現在在奉中ノ五名ハ月俸1000^円、500^円、350^円各一名、800^円二名ナレバ三月分ニテ10,350^円。千葉氏ノ分相当額ヲ要スル理ナリ。

【資金調達】前記事情其ノ他ニテ資金調達ニ奔走シツ、アルガ、日本払条件ノ借入金ノ外、当地受取り新京払ノ条件ニテ簡易為替業モヨロシト某氏ニ話置キタリ。

【日満鋼材】日満鋼材ノ採ル可キ道ニ干シ役員会開催セラル。株主トシテ支店長モ出席シ谷口共々兼ネノ方針通り進ムベク渋谷宅ニ出向ク。会議中、役員宅ヘソ兵ニヶ所侵入、停屯勝ちナリ。青葉町附近ハ文字通応接ニ違アラズ。渋谷氏ノ言フ日満鋼材ノ唯一ノ途ハ更ニ研究ヲ約シテ散会ス。

春日町附近ハ集団掠奪盛シナリ。重慶側愈々近ク進駐ノ管ニテ八路ハ二十五キロ以内ヨリ撤退セルモノナリ。

【錦県】錦県全市立退キヲ命ゼラレタル由入報アリタリ。当社干係ハ十五ノ六名ト想ハル、ガ何レニ収容スルカ事前ニ考慮ヲ要ス。支店長社宅以外ナキカ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

周杖子水銀会社長 千葉耀胤氏 九月二十二日付出状 奉天三井物産支店長宛
拜啓 非常善後処置愈々御多忙ノ御事ト拝察仕候。別シテ御健斗御祈申上候。御多
忙中甚ダ恐縮乍左記事項ハ弊社実情ノ要領ニ有之、何等カノ方法ヲ以テ在新京三
井物産満関監督役へ御連絡ノ上同監督ヨリ弊社新京支店長へ伝達御配慮願度御依頼
申上候。

- ①熱河省所在ノ当社鉱業所（紅龍鉱山）ノ引揚ゲハ八月十四日以後悪天候ノタメ交
通々信杜絶セシタメ連絡不能トナリ、所員一同八月十九日引揚出発。全二十三日
綏中ニ到着。苦難ヲ味ヒ武器ノ一部ヲ喪失セシモ幸ニシテ日系従業員全部綏中ニ
収容スルコトヲ得タリ。十六名。
- ②綏中ニ於テハ八月三十日未明ヨリ突如トシテ行ハレタルソ軍ノ日本人男子全部抑
留ニハ当社々長以下四十一名モ家族婦女子ト離隔シテ旧日本軍飛行場兵舎ニ抑留
セラル。
- ③右抑留ノ跡ハ水銀会社工場、工場事ム所、倉庫、社宅、凡テ九月一日以降数回ニ
亘リ満人、八路、蘇軍ニヨリ反覆行ハレタル掠奪ニヨリ惨状目モ当テラレズ。留
守宅家族ハ身ニツケタル物迄剥取ラレ日々戦々兢兢タリ。
- ④抑留者ノ内九月十二日、古崎、松本等ヲ含ム岬名、九月十四日二名、合計廿二名
ハ他ノ一般抑留者ト共ニ他へ連行サル。錦州方面ナラントノ噂有リ。
社長外五名ハ老人及ヒ病者ノ故ヲ以テ九月二十日迄旧日本軍守備隊兵舎ニ抑留
セラレタルガ同日一般ノ老病者組ト共ニ綏中ヨリ汽車ニ乗セラレ本二十日奉天
ニ到着。前記ノ所ニ収容サル。同所ハ熱河承德ヨリ疎開シ来レル婦女子約五百四
十名アリテ本館ニ居リ、我等ノ綏中組ハ百七十一名平家ニ在リ。
- ⑤水銀会社々員ニシテ此所ニ在ルモノ千葉耀胤、中田為治、西島四郎、川口崑代治、
五島伝、浅田一雄ノ六名ナリ。
- ⑥古崎常務以下三十二名ノ連行セラレシ者ノ行先キハ錦州方面ト称セラル、モ、確
カナルコトハ分ラズ。外ニ従業員一名ハ鮮系トテ綏中ニテ抑留解除セラル。
- ⑦綏中製鍊所内社宅ニ残留セル家族及ビ当社干係ノ社外人家族計七十三名ハ、ソ軍
ニテ近々別ニ日本へ送還スルト称シ居リタルモ果シテ如何ナル経路、時期トナル
カ不明。
- ⑧抑留ハ八月廿日午前二時ニ行ハレ其後交通遮断セラレタルタメ夏服一枚ノ着ノミ
着ノマ、ニテ金錢モ書類モ何一ツナク、日常ノ不便ハ当然ナルガ会社事務ノ善後
処置ハ非常ナル困難ニ逢着セリ。
- ⑨社金、社印、社状一切失ヒタリ。コノマ、ソ軍ノ言フ通り日本人全部ヲ日本へ送
還スルナレバ会社ハ事実上消滅トナリ。法律的ノ会社解散モ清算モナシ難キ情態
ナリ。
- ⑩現状ヲ以テ推察スルニ、社長以下六名ハ十月下旬頃日本へ送還トナルベク社ノ善

後始末ハ日本到着後トナルベシ。

- ⑪社長ハ内地送還トナラバ善後措置ノ事務ヲ一時家族疎開先ナル長野市中越五〇宮下忠男方ニ置ク予定。尚東京自宅ガ被害ナケレバ東京淀橋区下落合三丁目一七三六。
- ⑫崎村支店長ハ自身及ビ支店長外各位ノ内地ニ於ケル通信先ヲ可及的速カニ前記宛通知アリタシ。
- ⑬周杖子水銀会社ハ非常ノ際ノ措置トシテ九月一日以降停業ノ旨宣告ス。事実此レヨリ先八月三十日ニ於テ運行不能トナリタルノミナラズ八月十八日満州国解消セルヲ以テ満州国法人タル当社ハ其ノ日ヨリ解散整理ニ入ルベキナリ。
- ⑭会社従業員ハ停業ト同時ニ職ヲ離ル、訳ナルモ内地ヘ引揚ゲニ協力共助一団トナリテ結束スルコト必要ナレバ、尚社長外役員ノ指導ニ従テ行動セラル、コトヲ切望ス。単独ニテ身ノ振り方ヲナシ得ル者ニ対シテハ役員ハ別ニ拘束ヲ加ヘズ。
- ⑮各員ニ解散手当ヲ多少ナリトモ支給致度キ考ヘナリ。依テ社長ハ内地帰還ノ上、株主方面ノ説得ヲナサントス。
- ⑯右事情ハ錦州、奉天、新京ノ三井ハ勿論、東京ノ三井本社、M.B.K ニモ通信不能ニシテ日々焦慮ヲ続ケ居レリ。
- ⑰錦州事ム所、五日市氏外二名、青電中田氏ノ動静不明。
- ⑱小野寺鋳業所長ハ八月十二日^マ新京^マヘ出張セルマ、動静不明。留守家ハ他社員全様掠略サル。茲ニ私事ヲ誌スルハ遺憾乍ラ愚息禎(タマシ)今年四月ヨリ新京工業大学ニ在リ。南嶺ノ蘭桜寮ニアル筈。本人ニ極力内地ヘ帰還スル様御伝言ヲ乞フ。誤而緩中ヘ向フガ如キコトナキ様致度シ。小生今直接連絡ノ方途ナシ。

以上連絡ノタメ。

※山下大将…陸軍大将・山下奉文、1885年生-1946年没。第14方面軍司令官だった山下は、終戦後フィリピン・マニラにおける軍事裁判にて虐待の罪を問われ死刑となった。

※周杖子水銀…周杖子水銀株式会社、1942年9月26日設立。水銀は軍需用希少資源であり、三井物産は関東軍への配慮から同社を設立し、周杖子(熱河省)に鋳業所を、綏中に製錬所を設置した。代表取締役・千葉燿胤、取締役・古崎博ともに三井物産出身。

※鉄路学院…1934年3月に奉天北陵付近に設置された満鉄の従業員養成機関。

◎10月5日

〔欄外〕軽金属清原氏 弥生町23 3-3916

【千葉燿胤氏】同氏外中田為治、西島四郎、川口崑代治、五島傳、浅田一雄在奉ナルコト前記ノ通りナルガ、全員無一物ナル為此レガ救済資金ノ貸出シヲ惻願セ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ラル。千葉／小野種々懇談ノ結果、大体一人前 1,000[〃] 程度ニテ我慢シテ貰フコト、シ合計 6,000[〃] ヲ貸与シタリ。

中田為治 1,200[〃]、西島四郎 1050[〃]、川口崑代治 1,000[〃]、五島伝 840[〃]、浅田一雄 460[〃] ノ割合ニテ手交スル筈ナリ。何レモ五十才以上ナルガ当地雇入レノ者多ク中ニハゴロツキ風モ有ル由ナリ。

【軽金属】清原氏ヨリ電話アリ。

9/26 ヨリ解体作業中。二週間ト言フモ十月一杯カ、ルベシ。アルミ process ハ見込ナキモカーバイトハ助カルカト想ハル。従業員ノ 1/3 ハ挺進隊トシテ撫順ニ在リ。従業員及家族 860 名無事。小寿屯 50 戸ノ社宅ハ MOB ニ襲ハレタリ。理事長、山田理事又ソ兵乱入レセルモ現在宿舍ニ使用中。池内理事ハ撫順松岡町ニ建在。本俸 10 m/s 外ニ積立金、保証金ハ支払ヒタリ。重慶入城セハ早速仕事ニ掛リ度シ。

撫順炭、日産 44/5% ton。一般ニ平静ナリ。

【協和烟草】寄金君、岩見／楊ノ会见ニ立会ヒ模様報告ス。

二十八日ヨリ操業開始セルモ、ソ聯側トノ諒解ハ必ズシモ過日岩見氏ノ報告セルガ如キモノニ非ラザル様子ナリ。即製品無償ニテ持運バレ、自由販売ノ見込全ク立タズ。従テ楊トシテハ作業ヲシサービスヲ続ケレバ行キ掛ケノ駄賃ニ機械ヲ持去ルコトハアルマイト言フノガ頼ミノ綱ナレバ、出来ダケ入念ニ少量ヲ作りツ、アル次第ナリ。日産 5/6 c/s (14、40,000 pis)。

【峯】石川博士来訪ノ結果疎開取止メトナル。一日ニシテ白髪トナルトハ同氏ノコトナルベシ。

新京店出状ニ没頭ス。

【藤原】

※軽金属…満州軽金属製造株式会社、1936 年 11 月に設立された特殊会社（本店撫順、アルミ製錬事業）。1938 年以降はほぼ満業の出資となり、それ以外の出資者は住友系と昭和電工。

◎10 月 6 日

〔欄外〕幣原内閣成立

【燃料】支店長、香川、淀町行。谷口氏ト燃料問題ニ就キ協議。

【徐、李】三九合名、徐、李来訪。

各地情況

ハルピン ソ入城ニ対シ一部執銃抵抗セルタメ 5/600 人射殺サル。

チチハル 入城後反抗セルタメ相当ノ被害アリ。

城内 八路退散セルモ物価安カラズ。ソ、八路素質ハ同ジナリ。

農具 同社ノ分5台ハ再ビ解体セル故無事。八区モ又同ジ。

紙幣交換 満人所有紙幣ヲ登録シテ交換ノ筈ナル由。

三井 三井、三菱ハ外国資本ヲ入レテ存続セシムト言フ。

北支 日本軍整備ノタメ治安悪シ。

※幣原内閣成立…この日、天皇は前日に総辞職した東久迩宮内閣の後継として幣原喜重郎に組閣を命じた。

◎10月7日

【古着屋】香川、近森、太田、山口ニテ古着屋営業。帰国兵士及ビ満系ノミ。過日使役ニ使ヒタル技術将校ニ出遭フ。

春日町ノ賑ヒ物凄シ。聯銀券、軍票ナド雑多ナリ。

【岩見、千葉】両社来訪セラル、モ支店長民団ニテ不在。

【藤原】全君過日ノ話転宅シ来リタシト言フ。承知ノ外ナカルベシ。

【民団】5000万円保証ノ件。

(返済期明年六月以降日本政府ノ許可アリ次第)

◎10月8日

【峯】峰夫人当荘へ貯へ中ノ薪ヲ自宅へ搬出セシム。当方使用スルヲ恐ル、ナリ。

【唐】社宅唐来タル。未ダソ兵宿泊中ノ由。

西村サン終日勝レズ。

稀ニ見ル静カナル日ナリ。

◎10月9日

【淀町】神代氏宅ヲ廻リ淀町へ。古着屋愈々繁盛ニテ本日売揚1375^円。然シ相当ノ紛失物アリタリ。満系ハ避難者ヨリ尚且小盗ヲ働カントス。婦人ノ一人売りナド見ルモ哀レニテ遂ニ五十円程ヲ求メテヤル。淀町独身寮へ寄附ス。

【燃料】木材ヲ持出サント焦リタルモ結局満系ノ監視厳重ナレバG.P.Uヲ頼ミ北稜分会へ売却シツ、アリト一神代談

石炭ハ誠ニ運搬セルモ second trip ハ license ナシトテ公安局へ没収サレタル次第ナレバ此レモ仲々携ラズー谷口談

【中川、根来、司令部】小島氏へ電話アリ、司令部ヨリ当方倉庫ニ就キ説明ヲ求メ度シト言フ。中川、根来君往訪ノ筈。

【八幡寮事件】八幡寮及ビ隣ノ教会ノ男居住者全員公安局へ拉致サレタル由。8.00 AM 通知アリタリ。理由ハ同地附近ニピストル発見サレタル故ナリトモ旧警察官

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ヲ搜索シツ、アリトモ謂ハル。何レニシテモ營口組ハ氣ノ毒ナ次第ナレバー一応公安局へ行ッテ見ヨウト話居レリ。

【満蒙天産】高橋正司君ヲ使者トシテ□ヲ貰ヒテ出掛ケタルガ沖氏腫物ニテクシク苦惱セリト。

【峰】老人ノ容態急変ス。

【北稜】北稜へ集詰〔結〕セラレタルハ合計8,000名中大東亜戦争無干係者2,500名ナリ。右ハ五ヶ大隊トナッテ既ニ北進シ、2500名モ一方的解釈ニ依ッテ従軍者ト見做サレ約700名ノ病者ヲ残シテ出発セル由ナリ。

◎10月10日 峯氏死去 双十郎

【鈴木要、日塔宅】同人紹介ノタメ平安通日塔宅へ同行。途中平安通ノ大混雑ヲ過ギ民会南側ヨリソ聯軍ノ宿舍多ク人通り激減ス。過般使役セラレタル辺リヲ左手ニ日塔宅へ向フ。同邸モ来訪ナルモ未ダ家具什器類充分ナリ。中食後全君身廻品ヲ持ッテ向フ。柳家氏ヲ本日同底〔邸〕へ移転ノ筈。

【藤原技師】本日ハ箱造り、大豆煮ナド味噌、ソノ他大活動ナリ。

【司令部（中川、根来）】昨日中川、根来兩名司令部出頭ノ結果ヲ報告ス。経済係ノ某中佐ニ面談。鉄西倉庫ノ内容ニ付キ説明ス。既ニ鍵ヲ取り勝手ニ持出シツ、アルニ変ナ話ナルモ横連絡ナキガ如シ。

再度申請書提出ノ要アル由ニテ根来君 Note シテ歸ル。

【営口組】笹山氏来訪。おでんや新開業ノ由報告アリ。済南及営口組各一名新来者アリタル模様ナレ共、住宅狭ク何レモ他へ宿泊ト手配セリ。吉田家族ノ一員タル某女モ至急退去セシメムル様頼ム。同氏へ布地一卷売却スル。

公安局ヨリ昨夜六時極テ町重ナル挨拶ノ後釈放セラル。

【唐料理店】唐君開業ノ店舗借受ケニ平田ノ姿〔婆〕サント交渉シタルモ、場所ハ江島町ナレバ果シテ怎フカト。婦リニ社宅へ寄ル。怎フモ気乗薄ノ模様ナリ。

【高橋】同君所有ノ食器類売捌キノタメ路店ヲ開ク。満人依然買氣旺盛ナリ。

【峯郎翁氏死亡】本夕四時峰郎翁氏死亡ス。店長ト共ニ弔詞ヲ述へ香川改メテ香奠ヲ送ル。想ヘバ彼モ又ソ聯ノ犠牲トナリタルカ。当方特ニ個人トシテ信頼セラレタルダケ感慨深キモノアリ。

九州、中国、颱風ノNews有リ。

重慶軍入城風評専ラナルモ判然タラズ。

市中平静ノ如シ。

◎10月11日

【峯葬儀】終日葬儀ノ手使ヒヲナス。

【千葉氏】周枝子千葉氏来訪。手紙ノ委托ヲ受ク。同氏ノ言ハ従来通り再三ノ繰返シニ些カ食傷気味ナリ。

【入江氏】会葬者入江氏二話セルトコロ大体 OK ノ口吻ナルガ、尚詳細ニ条件承度シトテ別レタリ。本件成立セバ略々充分ナル見込ナリ。

【母国ニュース】食糧事情 極メテ逼迫ニテ本年来穀ハ5千万石ヲ割ル予想ニテ仏印(米)、台湾(塩)、満州(雑穀)ノ輸入ナクバ凌難カルベク、目下ノ早狩米、甘藷ヲ食潰シタル。明年四ノ五月頃實際ノ端境到着スベシト言フ。

【火事】駅附近火事ニテドラムノ瀑発カ追撃砲ノ音ノ如キ頻々タリ。

◎10月12日

【峯】午前十一日ヨリ峯宅ニテ告別式執行。午後二時一切終了。

【来訪 徐】三九合名徐尊三、寄金ト共ニ来訪。日本局報情ヲ交換ス。国幣発行高ハ300億中250億ハ日系手許ニ在ルガ、新中国紙幣ト如何ナル Rate デ交換サル、ヤ疑問ナリ。新中国貨幣ハ弗2円ノ Rate ナル由。從テ北京ニ於テハ100^マニ50^マニテ交換サレタル由ナリ。城内ハ退去、八路軍潛入シテ依然騒ギツ、アル模様ナリ。中国側ヨリノ幹部ハ何レモ新京ヘ向ヒタルモノノ如シ。

【神代】石炭780^マニテ撫順斡旋ノ話有リ。100 ton 斗リ御願スル。各方面ヨリ話有ルモ実現セルヲ聞カズ。同時ニ藤原君ノ話1000^マモ offer スルコト、ス。

【避難民】全氏宅ハ過日來奉セル避難民(東寧方面)2000名ノ中4名ヲ引取り、本日ヨリ同宿セシムルコト、セル由ナリ。此ノ連中ハ古麻袋ヲマトヒ乞食ニ劣ル様相ニテ、途中死亡セル幼児ヲ窓ヨリ投ゲ全ク生キル気力モ失セテ到着セリ。満人、日系ノ路店商人ナド食物ヲ与ヘタルモ既〔既〕ニ受取ル元氣スラナシ。宿舍ニ落付キテ直ニ九名ノ死亡者ヲ出シタリ。強姦、暴行ノ如キハ正ニ通行税ノ如ク堪忍ビタリト言フニ至ッテハ悲惨ノ極ト言フ外ナシ。

【民団】民団庶務部長五十嵐氏来莊。5,000万円保証ノ件。本日支店長印ヲ以テ行フ。次々ニ入奉スル避難民相当ニ上ル見込ナリ。

【日塔氏、谷口氏】同氏知己本郷氏ヨリ5万円融資ノ話アリタリトテ来莊セラル。同時来訪ノ谷口氏ヨリ別口(一岡氏ヨリ内地魚崎町橋本氏渡)35万円ノ話アリタルヲ以テ一先ツ断リ、此レニ申込ム様打合ス。

夕刻ニ至リ、明日公安局保安隊來レバ若手ヨリ50才位迄使役ヘ連レル由ナレバ留守ニセラレ度シト隣長ヨリ注意アリタリ。斯様ナ馬鹿ナコトガアルモノカト言フモ二ノ三実例アリタリトテ真面目ナリ。ヨッテ公安局ヘ行キ問合ハスコト、ス。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【除隊者調べ】 以上ハ脱党者ノ調査ナルベク、本日ハ淀町社宅へ取調べニ来タリ。一同ノ生年月日ヲ書入レ極メテアッサリト帰りタル由ナリ。尤モ一名ハ田中氏宅ニ来タリ。銃刀ナキヤト一部戸棚、押入等窺ヒタル由ナリ。一部悪辣ナル者アリ。調査ニ籍口シテ掠奪スル者アリ。一般ニ満系ノ毎日態度表面化セリ。

◎10月13日

【田澤氏】 康德田澤氏来訪。手許金欠乏ニ付キ過般引渡シタル布地ヲ販売シテ此ニ充当致度キ旨申入レアリタルモ、一応相談シテトテ帰ス。

【大隈氏】 早朝来訪シテ、某分区ニ於テハ九月十八日調査（兵役者）以後ノ転入者ヲ調査スルト称シ健康ナル男子ヲ使役ニ拉致シタレバ、速ニ調査完了区へ逃避セヨト忠告ス。

支店長ハ民団へ。其ノ他全員朝ヨリ外出ス。

【淀町】 香川、淀町へ至リ谷口氏等ト燃料問題ニ付キ協議。各方面ヨリ話アルモ未ダ具体化セルモノナシ。些カ焦リ気味ナリ。

布団ノ融通ヲ計ルベク上 300⁻、下 200⁻ ニテ斡旋シツ、アルガ、下給者ハ手ガ出セズ所有者ハ売渡リノ状況ナリ。

【生活問題】 現在ノ給与ニテハ到底食フコト不可能ナレバ新規立案ノ要アリ。

◎10月14日

【協和烟草】 寄金、報告ニ来タル。

【生活問題】 香川、谷口ニテ再検討ス。新京店ノ全員会社賄ヒニ比シ、当店方ハ月給プラス家族手当デハ現実ニ飢餓ニ直進スルノミナリ。

旧配給制度ノ生必品次ノ如シ
大人一人

		普通相場		最低相場	
米	8 kilo=16 kin	5 ⁻	80 ⁻	4 ⁻	64 ⁻
味噌	1 kilo=2 kin	5 ⁻	10 ⁻	4 ⁻	8 ⁻
正油	1/2 升	20 ⁻	10 ⁻	10 ⁻	5 ⁻
砂糖	100 gram	50 ⁻	10 ⁻	40 ⁻	8 ⁻
塩	100 "	5 ⁻	1 ⁻	5 ⁻	1 ⁻
野菜	30 斤	30 ⁻	60 ⁻	2 ⁻	60 ⁻
肉	1 斤	25 ⁻	25 ⁻	25 ⁻	25 ⁻
油	2 合	60 ⁻	12 ⁻	60 ⁻	12 ⁻
燃料	15 斤	1 ⁻	15 ⁻	1	15 ⁻
			223 ⁻		198 ⁻

◎10月15日

【寄金】同君来訪。香川、淀町ニテ家計調査。

【燃料問題】燃料、特ニ石炭ハ各方面ヨリ話アルモ何レモ具体化セズ。

搬出許可証ニヨル日満鋼材ノ貯炭搬出一日塔氏

撫炭ノ積未品ヲ買付ク。so called one ton - 1150[〃] 安倍

日満鋼材炭ヲ某氏ニ搬出セシメ半分同人ニ無償提供一谷口氏

【ハルピン情報】目下人口六万人内三万人ハ疎開乃至避難者ニシテ燃料問題一切見透シ付カヌ由ナリ。

【北安】日系二万人何レモ南行ヲ希望シツ、アル模様ナリ。概観シテ北部ハ治安不良ノ如シ。

【避難者】奉天地区ニ来ルモノ二十万ニモ達スベク、殊ニ北安、東寧方面ヨリ麻袋ヲ被ル者ナド悲惨、見^マヲ蔽ハシムルモノアリ。此レ為当地ニ於テハ一戸一点ノ檢シユ品供出ト定ル。

【司令官巡視】ソ聯司令官市内巡視。十月廿五日ノ予定ナレバ各戸清掃ヲ嚴ニスベク、然ラザレバ拘留又ハ罰金ニ処ス旨佈告アリタリ。

◎10月16日

【来訪者 海辺、中川、大隈】海辺、中川氏来訪。

要旨：遼寧通商公司（ソ聯經濟機關）ヲ通ジ倉庫内ノ小女子瓶詰、其ノ他ノ処分ヲ計ッテハ如何トノ事ナリ。此ノ本態ハ未タ明白ナラズ且ハ重慶軍ノ入城後怎フ変ルカモ不明ニ付キ今 commit セズ。寧ロ倉庫衛兵等ト直接交渉ニヨルガ宜敷シカラント申置ケリ。

【電熱】淀町及清友莊ノ電熱工事ヲ依頼セルトコロ旧高橋商会ノ吉本氏来舎。淀町二万円、清友莊九千円ノ見積ナリ。電熱風呂其ノ他便宜ナルハ勿論ナルモ支出嵩ム際如何ニスベキカ問題ナリ。

【大和区立退ノ噂】尚電線手持ヲ選鉱剤ニ借入レ申込ミタルトコロ中村氏ハ満漢放送ニヨリ“重要工業従業員以外ハ大和区居住ヲ認メズ”事ヲ知りタレハ至急鉄西ニ移ルベキヲ忠告セラル。更ニ加言シテ“日本人ハ四ヶ年間帰国セシメヌ”由ナリ。真疑〔偽〕不明ナルモ更ニ苦難ニ遭迫セザルベカラザルカ。

【千葉、岩見】両氏来訪。情報交換ニ止マル。

【下級者救済】現給与ニテハ到底賄得ザルニヨリ此レガ救済策ヲ立案スルモ、非常支出ヲ以テ一括給与スル案ハ支店長不賛成ナリ。

【高橋君就職】高橋正司ハ平田ヨリ縁籍〔戚〕ノ酒屋ニ奉公スル約束ヲナセリ。月給九百円ノ由ナリ。生活難ノ沖等ナドハ是非左様ナロニ向ケ度シト交渉ヲス、ム。

【出水盜難】隣家出水ヘアキス狙ヒ這入り根コソギ持サラル。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【内地放送】内地復員本日完了。

◎10月17日

夜来ノ豪雨一過シテ日本晴トナル。本日来客ナシ。

【各方面往訪】香川、中野酒店へ向ヒ借家ノ交渉ヲナス。更ニ進涉〔拂〕セズ。

大隈商行ニ立寄レハ満州桜銘酒販売ノ準備中ナリ。

寄金宅へ向ヒ徐トノ連絡ヲ頼ム。

営口組往訪。引続キ一杯屋盛業中ナリ。伊東ハウドン屋営業中ノ模様。

堀田君元気ナリ。

社宅ニヨリ唐ト懇談。

下痢ニテ四／五回通フ。昨日淀町ノテンプラ味噌汁カ。

峯ヨリ風呂桶買求メヲ約ス。

◎10月18日

【満系情報】徐尊三氏来荘。情報次ノ如シ。

上海在留邦人ハ八年前来海セル者ハ財産ヲ認め、帰国後再渡支ヲ認め。其ノ他手持物以外ハ没収シテ帰国セシム。日人不動産ハ全様戦費償金ノ引当トスル由ナリ。平和区居住不認ノ件ハ流言ナルベシ。

前記ノ例ニ依レバ満州ハ満州国成立前即チ十四ヶ年前ヨリノ居住者ハ全様ノ取扱ヲ受ケ、他ハ没収セラルベシ。

【淀町事情】一部家族ノ生計調査ヲナシツ、アルガ、二／三百円程度ノ俸給者ハ全ク収支償ハザルハ確実ナリ。普通大人一人 250[〃]ハ最少限度ノ如シ。

◎10月19日

【北陵組一部除隊】神代氏来訪。同宅ノ本多君昨日除隊セラレタリ。其ノ報告ヲ聴クニ大東亜戦争ニ干係ナキ者ノ中病弱者 325 名ハ一中検ニテ解散ス。一同相抱イテ歎混セル由。

【石炭】目下購入済ノ撫順炭ハ女子 1、清友 1、淀町 3 ナルガ、本日東洋タイヤー分 9 ton 到着セリ。明日 6 ton、女子 5 ton ニテ合計 20 ton ニテ一先打切ル。

撫順ハ 1,100[〃]、本京〔溪〕ハ 800[〃]ナルガ炭質ヨリ見テ出来ル限り前者ヲ相当量買込ム積リナリ。

目下ノ所要量ハ清友 6 ton、女子 15 ton、淀町 48 ton ナリ。Total 70 ton ナレバ@1100 ニテ七万七千円トナリ、一方 stove 23 台@600[〃]、13,800[〃]ナリ。他ニ電気ストーブ設備二万円ノ計画アル次第ナリ。

【分会情報】脱走者ニ対スル北陵残留組ガ一致シテ反感ヲ有シツ、アルヲ以テ此ノ取扱ハ内外共ニ警戒ヲ要ス。

ソ聯側ヨリ各商店ノ Open ヲ要求セラレ、若シ掠略ヲ受クル場合ハ犯人ヲ銃殺スト言フモ果シテ実行セラル、ヤ否ヤ、従来ノ例ニ徴シテ疑問ナルベシ。

【風呂】淀町社宅ハ四十日目ノ入浴ヲスルトテ朝来小沢、安倍等大騒ギナリ。入浴者六／七名十名ニテ大人七円、子供五円ノ費用トナル。本日六／四／二円ト定メタリ。

【倉庫業者】奉天市内倉庫業者十二社ノ中八社司令部ニ呼バル。当社ハ中川代理出向キタルガ、八月二十五日以来ソ聯ノ監視下ニ在ルタメニ無難ナリシモ、入城以來全然搬出セザリシモノヲ除キ相当辛拉〔辣〕ナル取調ベヲ受クル模様ナリ。

◎10月20日

【課長会議】小野、海辺、谷口、田中、室谷、薄井、高橋、香川ニテ会議。決定事項次ノ如シ。

1. 女子事務員ハ十月末ヲ以テ退社セシムルコト。退職資金ハ既金払。百円以下ハ切上ゲノ事。
2. 新田、柴田、中沢母子ハ新ニ寮母トシテ雇入レル事。
3. 現在毎月給与シツ、アルモノハ事情ニ依リ明三月末迄救済金ヲ支給シ得。
4. 北陵行ノ留守家族ニ対シテハ応召者並ニ取扱フ（十一月分ヨリ）。
5. 下給者ニ就イテハ特ニ要求乃至嘆願アル迄別段ノ考慮ヲセヌコト。
6. 浅野令ニノ家族ニ対シテハ当社職員並ノ手当ヲ九月分ヨリ支給ノコト。
7. 藤原ニ対シテハ十一月ヨリ毎月 450^円 支給ノコト。
8. ストープハ淀町 16、女子 5、清友 3、八幡 3-4、其ノ他合計 30 ヲ以内据付ケルコト。全額一万八千円以内。
9. 石炭ハ谷口、室谷、高橋、香川ニテ各寮ノ割当ヲ決定。予定額八万円ヲ分配、各寮自治ニテ賄〔購〕入セシム。
10. 電熱工事ハ予算二万円トシ半額会社補助、半額各石炭代ヨリ節約ノコト。但電熱器ハ各人 a/c。
11. 自由就職者ハ 30% ヲ general a/c, 70% ヲ当人取得トス。

【加賀林】全氏淀橋へ来訪。支店長以下ト懇談セリ。

【一岡安孫子】日満鋼材齊藤課長、一岡、安孫子氏、合計五名ニテ清友荘ニ立寄りタル由ニテ香川、支店長印ヲ持ッテ再度淀町へ向ヒ谷口氏邸ニテ Del ヲ済マス。日鋼分ハ十二ヶトシ当方ハ十八ナリ。後者ノ中一ツハ選剤へ、二ツハ三キへ、夫々分配スル予定ナリ。

【強盗】各方面へ日系ヲ交エタル強盗ノ被害ヲ多く、昨夜ハ暁荘へソ兵侵入ノ様子

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ニテ大騒ギトナリ、夜半隣家へ満系三人組押入ラントシテ子供大声ニ助ケヲ求ムルナド終夜騒シカリタリ。

◎10月21日

【輸送】香川、谷口、安倍、山口ニテ清友荘ニ至ル。谷^{ママ}氏囲基ノ後帰舎。

【白面】白面、杉本宅へ八袋分譲ス。一袋ハ Labor（風呂場）代トシテ無償提供。後ハ 770^トトシテ打切ル。

小野、広岡、西村、風気味ナリ。

【八幡町】八幡町社宅、川野病勢進行シテ自炊不如意ノ如シ。依テ一部々屋更へノ上、堀田君ト同居セシメ古田女子ヲシテ看護セシメル方針ナリ。堀野ハ六千円程ノ木炭思惑ヲスルトテ現物六十袋ヲ一室へ搬入済ナルガ、無断ハ困ルノミナラズ同人ノ出入ハ後難ノ怖レアレバ嚴重戒告セリ。

【柳家氏】芝浦柳家氏来訪。

全社職員 150 名ノ給与引当金ノ借入方依頼アリタルガ、当方モ手許資金限り有レバ何レ考慮スベキ旨回答セリ。年内五万円、明春五万円ナリ。

【情報】全氏情報ニ依レバ民団沖氏ハ四ノ五日前ヨリ抑留セラレツ、アリ。原因不明ナルモ、ソ中兩國ヨリ全氏ノ sharpness ヲ嫌ハレタル結果ナルベシト。遼寧通商公司ノラヒム氏ハ去ル十五日以来取調ベヲ受ケツ、アル由ナリ。全社ハソ軍撤退後モ活動スルモノト見做レタルガ愈々不可解ナリ。ハルピン正金及新京正金ハソノマ、ニテ別段ノ被害ナキ由。但シハルピンニテハ青年男子ハ随所随時ニ使役トシテ使ハル、タメ男子ノ影ヲ見ズト謂ハル。

民団ノ借入金ハ更ニ進捗〔搦〕セザルノミナラズ篠田氏ハ臥床中（ソ兵ニ扨〔扨〕打サル）。沖氏抑留、宇佐美氏又“民団攻撃ニ嫌気ノ模様ナリ。

【治安】日系、満系、鮮系ノ強盗、各所ニ出没シテ市民ノ不安濃厚ナリ。

【八路軍】同軍一部再ビ入市ツ、アリ。本夕社宅前ヲ通行、南進ツ、アリタリ。

【限度】当社名義乃至保証ニ依ル借入金ノ依頼ハ方ヨリ来ルガ、平素ノ干係モ有り一概ニ断ル訳ニモ不參。干係各社ノ限度ヲ査定シテ或ル程度ノ満足ハ与へ度キモノナリ。

◎10月22日

【料理屋準備】江ノ島町中野洋服店跡ヲ借入レー膳めし屋開業すべく、香川、下検見ニ出掛ク。大略五千円ノ予算ナルガ到底賄ヒ得ザル模様ナリ。不取敢大工ヲ廿四日ニ寄越シ見積ラシムル筈ナリ。

【八路軍】今朝約一ヶ大隊ノ八路軍駅ヘ向ッテ行進ツ、アリタリ。平服ノモノ、鳥打帽ノモノ、十七ノ八オノモノ多数ニテ正ニ雜軍ト見受ケラレタリ。

【八幡寮営口組】 営口組八目下街頭料理屋ヲ営業シツ、アルガ、一日平均売揚 500^〇、利益三割程度ナリ。此レヲ 40% 吉田義母、15% 黒田、15% 塚本、30% ハ応召家族ノ生活補助トシテ積立ツ。其ノ他田中ノ床屋、饅頭屋等々ナルガ一般ニ先行ヲ考ヘズ無駄使ヒ多シト笹山氏ノ話ナリ。

営口全員ニ対シ更ニ一万円ノ借込〔款〕申込アリ。従来ノ二万円ハ最低一家族 2400^〇 ツマシ七家族ニ分配、残金ヨリ毎月大人 41^〇、子供 18^〇、幼児 2-1 才 10^〇ノ家計補助ヲ与ヘツ、アル由。

【高橋課長】 女子事務員ノ解雇ニ伴ヒ同課長申渡シノ後各方面訪問中ナリ。親籍〔戚〕縁類ナク早速路頭ニ迷フ者ハ柴田、細川、古田、西村ナルガ就中杉原ノ如キハ家族ヲ扶養シツツアレバ相当深刻ナル問題ヲ惹起スベシ。

【ソ兵侵入】 夕食後間モナク峯夫人飛込ミ目下ソ兵侵入セル旨急報セルニヨリ、全員戸締シテ待機セルニ表ドーア迄来タリ。高橋ト顔ヲ合ハス。何レモ飛出セル用意ヲシテ敵状ヲ視察スルニ峯家屏ヲ乗越エテ当荘ヨリ脱出セリ。

峯家ニ侵入中、久保君一家ニテトタンヲタ、キ騒立テタルタメ周章テ飛出シ早く逃ガシテ呉レトノ態ナリシタメ西村外一名ニテ押上ゲ屏ヨリ逃カシタト言フ。若キ兵士一人、被害ハモ、ヒキノミナルガ最近再ヒ頻々ト起ル。

【商店開業令】 日満系ヲ不問、来ル廿九日迄ニ開店セザルモノハ銃殺ニ処ス、但シ生命、財産ハ各ソ部隊長厳重ニ守護ス、トアルガ実情斯ノ如ク不安ナリ。極力開校、開店ヲ求メツ、アルハ当地治安ガ余程ノ評判トナリタルモノナルベシ。

◎10月23日

【来訪者】 三機工業田中、協和岩見、千葉、薄井、室谷、神代、続々来訪。各方面ノ情報ヲ聴取ス。協和烟草ハ製品全部ソ軍ニ納入シツ、アルガ未ダニ代金ノ支払ナシ。従テ増産モ躊躇セラル、ハ開業以來変ラズ。一同ニ中食ヲ提供セルガ、当荘居住者トシテハ此ノ程負担相当ナレバ何トカシテ貰ハネバト考ヘ居レリ。

【古着販売】 女子寮ハ一回 1300^〇 ニテ stop、淀町ハ継続シテ今日迄 13000^〇 ヲ突破セリ。当寮ハ 4000^〇 程度ナルガ、ソ軍ノ撤収ニ伴ヒ古着類ハ漸落セリ。白地君ノ皮ジャンパー 1900^〇 ガ top ナルベシ。

【三機工業融金】 三機工業ニ対シ金二万円融資シ、本日田中氏ヘ手交シタリ。同氏ハ野菜籠ト靴下裏ニテ搬送セルガ果シテ無事ナリシヤ否ヤ。

【鮮系】 鮮系ノノサバル者多ク日本軍人ノ服装ナド颯爽トシテ闊歩シツ、アルモノアリ。日系ヲ脅カツル者、強盗スル者アリ。寔ニ吾等コソ敗戦ノ苦痛ヲ如実ニ味フモノナルカ。本日モ薄井氏被害アリタリ。

◎10月24日

【平和食堂】中野洋服店跡ヲ食堂化スル計画カ着々進行。“開業準備中 平和食堂”ト張紙スルニ至レリ。本日ハ学生、原口、山口ノ六名ノ来援アリ、煉瓦五百枚、砂三俵、セメントナド運搬ス。他方満系洋服店ニ残品ノ処理ヲ行ヒ、大工、左官、ペンキ屋ナド契約セリ。満系大工ハ日給 150[〃]-200[〃]ナリ。予算五千元ヲ以テ開業迄ノ費用一切ヲ賄フ予定ナルガ造作ノミニテ消費スルヤモ知レズ。只商内ハ“飽キナイ”ニ通ズルヲ以テネバル以外活路ナカルベシ。

本日学生諸君中食費 218.60。但シ勤務者全件ニ及ボシタル影響ハ甚大ナリ。蓋シ働くベキ者ノ働カザルモノノ如何ニ多キカ。他社ニ比較シ再考ノ要アリト信ズ。

【燃料問題】石炭ハ漸次低下スベシト想ハレタルガ、寒気ニ向ヒ輸送料漸騰ノ気配アリ。寧ロ買進ミノ時期カト考ヘラル。撫順極上 1300[〃]見当。

【一般物価】砂糖一斤 40[〃]ヨリ 55.00ト奔騰。木炭 2[〃]、野菜類区々ナルガ大体保合、古着類ハ暴落セリ。路店モ昨日今日ノ寒サニ余日幾程モナシト危ブル。

◎10月25日

【清田】運転士清田来荘。同人ハ清酒一樽@20[〃]ニテ買付ケタルガ、此レヲ@25[〃]ニテ引取ッテ呉レヌカトノ話デ、淀町ヘ行ッテ頼メトテ帰ス。清酒卸値 20[〃]ハ通り相場ノ如シ。

【食糧会議】民団ニテ食糧会議開催。当方、寄金ヲ出席セシム。其ノ結果、当市全体トシテ民食引当三十万トンノ買付ケ必要ナリ、1キロ@2[〃]トシテ所要資金六億円ナリ、此ヲ以テソ聯当局ヘ貨車配送ヲ要求セントスルモノナリ。中米 3万トンナルガ特ニ日人用トセズ一括雑穀ニテ処理セリ。糧棧其ノ他ノ思惑筋ノ活動アルベキモ、一般ニ資金不足ナルト運送干係ニテ相当量ノ買付ケモ容易ナルベシトノ意見ナリ。要ハソ聯次第ナリ。

【淀町社宅貸与】淀町社宅ハ天井、床ニ至ル迄掠略セラレタルガ、昨日旧警察官吏ノ紹介ニテ王某ナル満系来訪。同社宅ヲ改装シテ旅舎ヲ経営シタシトテ借家ノ申出デアリタリ。条件ハ先方修理ノ上使料シ明年三月無条件返還ノ事。当方モ別ニ異議ナシ。王ノ信用ヲ調査ノ上適当ナレバ貸与差支エナシト回答セリ（海辺、高橋来訪）。

【家賃補助】従来散宿者ニ対シテハ一定ノ補助ヲ与ヘツ、アリシガ、更ニ此ヲ継続スル様取極メタリ。（海辺、高橋提案、支店長保留）

【女事務員】女子事務員ノ一整備備ニ伴ヒ各方面トモ心痛シツ、アルガ、本日柴田姉妹身ノ振方相談ニ来ル。新規開業ノ平和食堂ニテ働カシテ貰度シトノ意向ナルガ、右ハ香川個人ノ経営トハ謂ヘ実務担当者平田ヨシノ意向モアリ、旁々今後続

出スベキ救済必要者ヲ考慮ノ上、出来ル限り自活スベク最悪ノ場合ノミ引取ル旨答ヘ置ケリ。同人ハ喫茶店青イ鳥ナド探ネ廻リタルガ遂ニ何物モ得ズ歸リタリ。

【治安】江ノ島町ニテハソソ兵三名侵入、夫人ヲ拉致セル事件アリ。依然トシテ油断ナリ難シ。一方公安隊カ情□検査ニ名ヲ借り奪略ノ噂アリ。新京其ノ他ニ比シ旧態依然タルハ困リモノナリ。

【官吏交換】遼寧省主席、副主席、市長、公安局長来。何レモ交佚セリ。公安局長ハ民団ニ新任挨拶ニ来レル由。首脳部色彩ハ重慶三分愉安七分ナリ。

※中米…粒の小さな規格外の米。

※糧棧…リャンゼン。中国東北部で生産された大豆など農産物の保管、販売を行う穀物問屋。

◎10月26日

【燃料補助】燃料及ストーブハ全額十万円ヲ以テ賄フ事トシ、本日谷口、田中、高橋、香川、小野、小委員会ニテ決定ス。ストーブ台数及ピ頭数ヨリ算定シテ、淀町42,280⁻、女子寮13,600、清友荘5745⁻、八幡寮6,600⁻、散宿者ハ一家族平均四名トシテ1600⁻見当ナリ。

【営口組】営口組ニ対シ本日更ニ一万円貸与セリ。外ニ一千元笹山個人ノ分ガアル筈ナルガ、追而支店長ノ諒解ヲ求ムルコト、スル。

【中村氏】遼寧通商公司ラヒムハ本月十五日ヨリ司令部ヘ軟禁ノ様子ナルガ、同氏ハ某氏ヲ通ジ此レト好干係ニ有ルモノノ如ク、過半来高級品ノ処分ヲ斡旋シツ、アリ。本日モ室谷氏所有ノダイヤ入リング7500⁻ニテ売却セリトテ代金持参セリ。其ノ節ノ話ニ上記公司ハソソ軍ノ御用一切ヲ勤メツ、アルガ、先般利益金一千万円ヲ計上セルトコロ此レヲ没収セラレタル由ナリ。資本ヲ貸シ營業ヲ助ケ而シテ利益ヲ取用スルハ共産主義ノ真面目カハ知ラネド兎ニ角面白シキ事ナリ。

【春日町】殷賑例ノ如クナルガ弗々寒氣ニ向ヒ何レモ転業方法ニ悩ミオル様子ナリ。最近ニ至リ相当大掛リナ屋台ノ売物見受ケラレ結局其ノ辺ニ落付クモノナルカ、新手ノスリ、強盜現ハレ邦人ノ苦難又容易ナラズ。

強姦ノ例モ此ノ盛場ニ二ノ三有リ。邦人特ニ婦人モヤケ半分カ漸次品質低下ヲ免レ難シ。

【母国ニュース】香シカラズ、満州ノ在留邦人ニ対シ一言モナキハ毎度ノコト乍ラ迷惑ナリ。北、中支ノ俘虜モ又使役トシテ使ハレツ、アリ。

〔無印一枚紙〕

九月二十日

御苦労ノコト、拝察ス

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

方針

- 一、少クトモ婦女子ハ可及的早ク内地へ返スコト
- 二、右ハ現況ヨリ見テ殆ンド不可能ニツキ越冬ノ準備ヲ為シ食料及ビ燃料ノ確保ニ
努力スルコト、シ帰還ノ時機ヲ待ツコト
- 三、営業ハ四ヶ国会議ノ結果決定スルモノナルベク局地的解決ハ不可能ト思ハル
- 四、銀行ハヒラカズ、貴方分ハ貴方ニテ工面スル必要アリ

以上

当地事務所、店長社宅、次長社宅、代理社宅、倉庫等モハヤ用ヲ為サズ。一同二／
三ヶ所ニ集結シテモ一同元気ナリ

御健在ヲ祈ル

内地、大連等トノ連絡ナシ

ハルピントハ本使ニヨリ連絡トレタリ

以上 記

[無印一枚紙]

何処も全じと存じますが御地は最近ひどい様な話で心配してゐます

当地は室町、朝日寮、新興荘以外全部とられて寄合世帯でやっていますか奪取される
ものは毎日毎夜です

通訳は一人雇い入れましたのであっちでもこっちでも引張り尻

新関君は水沢といふ親戚の御医者さんの所に全居して居ます

銀行が開く迄現金がなくてはどうすることも出来ないので当地正金興銀の預金者から
東京返還条件（銀行が開イテキルノカ？）で借入れて当分持ちこたへるでせうか
そちらはどうですか

右御見舞旁々申上げます

九月十六日 手塚庄三郎

小野支店長殿

日記帳 II : 1945 年 10 月 27 日～1946 年 2 月 3 日

十月二十七日現在

氏名	家族			現在 給与額	氏名	家族			現在 給与額	氏名	家族			現在 給与額
	13才以上	4-12才	1-3才			13才以上	4-12才	1-3才			13才以上	4-12才	1-3才	
海辺	3			980	堀安	2			290	小野			960	
谷小	4			1,000	中村正	1	1		440	井川	1		740	
中	3			880	早瀬	11			350	香澤	1		650	
田	4	1		880	田畑	1			320	小澤			550	
室大	3	1		850	准田	1	1		210	根米			370	
扇	1	1		880	根市	1			250	高橋			290	
高	1	2	1	950	古賀	1			450	白地			450	
今	4	1	1	570	清田	2			210	後藤			270	
鎌三	2	1	1	820	升久	2			300	高山			260	
吉波	2	3	1	800	崎	1	2		290	山野			250	
多野	1	2		550	近森	2			700	川永			250	
高橋	2			1,100	沖	2	1		330	益永			240	
寄高	2			650	石川	2	2		260	女子事△員				
橋永	1	2		900	高田	2			700	田中			290	
福太	2	2	1	620	白土	4	1		230	古田			210	
神原	1		1	390	松宮	2			340	細川			210	
岸原	2	2		580	他店勤務查	2	2		440	杉原			190	
緒	2	1	1	900	林	1			1,000	松本			180	
中久	1	1	2	390	森本	1				柴田			130	
大上	1	1	2	800	桂	1	1		200	田田			130	
本	1	1	1	450	羅後	1			210	新田			240	
山	2	1	1	330	浅野	1			200	浅野			170	
多路	1	1	2	270	廣瀬	1	4		200	西村			220	
	1	1	1	430	藤原	1				他店			170	
	1	1	2	600	廣瀬	1			220	廣岡			150	
	1	1	2	420	藤原	1				廣岡			250	
	1	1	1	280	藤原	1				原口			150	
	1	1	1	270	藤原	1				寺内			250	
	1	1	1	280	藤原	1				山口			250	
	1	1	1	450	藤原	1				山口			250	
	1	1	1	270	藤原	1				山口			250	
	1	1	1	280	藤原	1				山口			250	
	1	1	1	450	藤原	1				山口			250	
	1	1	1	270	藤原	1				山口			250	
	1	1	1	280	藤原	1				山口			250	

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

◎10月27日 F 暖

【林君ハルピンヨリ帰奉】林、哈市ヨリ軍用列車ニ投シ新京着、全地ニ廿五日滞在ノ後帰奉セリ。懸念セラレタル哈爾寶支店モ赤松氏放免セラレ幾分明朗性ヲ加ヘタルモノ、如シ。天野氏モ同様ナルガ老体ノタメ恢復ニ相当ノ時日ヲ要スル様子ナリ。全市治安又当方ト大差ナカラシカ。

新京高見監督ヨリ来状有リ、同人繼リテ持来タル。四平附近ニテハ満系麻袋ヲ抱エテ乗車シ何レモ充シテ下車スルト言ウ。以テ掠奪ノ徹底ヲ知ルベシ。

高見来状ノ要旨：

- ①非常時ニ際シ各人ノ本然ヲ識リ得タルガ、満州店ニ特、上クラスノ殆ドナキコトヲ知りタリ。
- ②従業員及ヒ妻君連ニ負ケタ認識ナク唯安逸ナル生活ヲ追ハントスル風多シ。
- ③日系ハ全員ヲ食ハシツ、アルガ、日下一人一ヶ月三百五十円ヲ要シ、種々縁故者迄強制的ニ入り込ミツ、アリ。
- ④満系ハ大体整理済、日本人モ又人員整理ヲ希望スルモ種々困難アリ。
- ⑤関係会社ノ現状ハ充分調べ後日交渉ノ材料ヲ整備シタシ。
- ⑥新聞人事ハ此ノ際物産へ復帰シタモノト見做ス。

別ニ新聞氏ヨリ小生宛名刺ニヨレバ、

何ヨリ無事御息災ノ義珍重。一度御来京、御相談御高見承度ク、交通状態平穩仕候節ハ御来齊願ハレ間敷哉。当方一同無事。 10/10

【平和食堂】食堂開業準備ノタメ朝来大工ヲ入レ香川督励中ナルガ、連中需要多キタメ仲々働カズ、一般人心悪化ノ風各所ニ見受ケラル。参考ノタメ各簡単食堂ヲ見廻リタルガ、何モ内容貧弱ナリ。

【生必品】白米新 4.30~4.50 程度保合、特ニ下落ノ材料モナシ。野菜品ハ弗々反騰ノ気配アリ。路店商人モ特ニ饅頭、烟草ノ呼売類ハ共喰状態ト見受ケラル。

〔書簡切り抜き〕

- (一) 其後いろ／＼と御辛勞のことゝ思ひます。今度こそ各人の性質もよくわかり、全時に満州の店には特や上は殆んど居ないこともわかりました。御全感と存じます。それだけ大兄の御苦勞も一方ならぬことゝ思ひます。どうか今暫らく辛棒して下さい。お互に廻り会はせた因果と考へて元気でやりませう。
- (二) こちらの事情は林君より御きゝ下さい。大体奉天と大差ないと思ひますが、まだ安心の域は遠いようです。従業員や妻君達には敗けた認識がまだないのが多く、時局に便乗して楽な暮らしをしたいと云ふ不心得な者も多いようです。一方、会社は金は全く無くなり、借金で皆んなを食はしてゐます（尤も月給はやら

- (三) めと云ふ条件としました。止むを得ぬ人は或程度、会社から貸金すると云ふ制度です。但し食はずで目下一人三百五十円を要します上に色々の縁故者まで強制的に入り込むと云ふ状態です。会社の借金は無利息で、本店で返へす、日本円と国幣とパー、又はその時の為替相場によるなど、
- (四) 云ふ条件で各方面から借りてゐます。貴店もこの方法をとるの外はなからうと思ひます。いづれにしても足手まといは早く日本へかへしたいものですが当地ではまだ見込がありません。尚、出来るなら人員整理をして解雇したいと思ひます。満人は大体この方法をとりましたが日系の方はまだ
- (五) 手をつけてゐません。退職金はこの際規則づくでは行かず他の全じような会社のやり方も参考にせねばならぬと思ひます。今後の目算がつかぬ際整理にハ一寸頭を悩ましますが、今後俄かに女事務員や準職員がいることハあるまいと思ひます。満州で整理出来る人間は満州で整理したい
- (六) と思ひますが、内地へかへると云ふ人を規則づくめで手を切って仕舞ふわけにも行かぬ現状であります。』仕事についてハ重慶の勢力がハッキリした後のことでせう。この際、関係会社の仕事は現状丈けハ充分調べておき、交渉の材料を作っておきたいと思ひます。
- (七) ハルピンは赤松支店長以下が釈放せられたので稍々明朗性を加へてきました。岩崎と大上とハ克山の監獄に居るようです。尚罷役に松花江へ行つた人はこの際物産へ復歸したものを見倣して万事取扱つてゐます。』当地は高級に属する住宅ハ皆駄目で私は雇員社宅の六畳の間に家族四人暮らしをしてゐます。』御機嫌よろしく御健闘を祈ります。了

〔哈爾濱三井物産株式会社罫紙〕

昭和二十年十月 日

新京 満関監督殿

大連支店長殿

奉天支店長殿

安東支店長殿

哈爾濱支店長 印 (赤松)

一、高田良作殿御紹介ノ事

本状御持参ノ方ハ平素当方御呢懇ニ願居候王子製紙株式会社理事、満洲造紙株式会社専務取締役高田良作殿ニ有之此度佳木斯ヨリ御避難南下被遊候ニ就キ貴地ニ御立寄りノ際ハ御本人御病身ニテモ有之尚且土地不案内ノ由ニ付御多用中乍恐縮同氏以下七名ノ宿舍其他万端御世話被成下度此段御紹介旁々御願申上候。

匆々

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

※高田良作…1882年生-1968年没。1907年に東京高等工業学校（現：東京工業大学）を卒業し、王子製紙に入社。1931年より苫小牧工場長に就任し、北海道大学工学部講師や北海道鉄道専務をその間務めた。1942年には王子製紙理事に、翌年には満州造紙常務となった。戦後、1947年に東北パルプの社長に就任し、退任後は没するまで同社の会長を務めた。著書に『欧米万華鏡』（ダイヤモンド社、1955年）があり、東北パルプ社史に「十年の標石に立ちて」という回想録を残している。

◎10月28日 暖

【平和食堂】準備中ノ食堂モ毎夕刻ニハソ兵ノ乱打其ノ他ニテ毎夜騒シ。民団ヘ佐官二名頼ミタルモ全然素人ニテ“大抵出来ルダラウ”程度ノ凄シキ連中ナレバ、一応断リ大倉土木ノ干係ヲ煩ハスコト、セリ。

【靛島技佐】元洮南県ノ靛島技佐ニ遭フ。同人ハ筆者ガ農場処置ヲ相談セル時怒鳴ツケタ漢ナルガ、正ニ尾羽打枯シ些カ同情ヲ禁シ得ズ。八月十二日婦女子満載ノ避難列車ハ釜山ニ直行、偶々在港ノ軍艦ニテ帰国セル由ナリ。

【ソ兵掠略品売却】本日食堂ニ軍用石鹼ヲ満載セルトラック二台アリ。各一名ノソ兵看視セルガ何時トハナシニ満系密集シ売却ヲ乞フ。一ノニ売却セルガ勝手ニ持去ラントスル者、盗ム者アリ、遂ニ收拾ツカズピストルニテ威脅シ乍ラ立去リタルガ如何ニモ国民性ヲ現ハシ愉快ナリキ。

【王子製紙】夕刻王子セ紙ノ理事、満洲造紙ノ常務高田良作氏、池田某氏ト共ニ来荘シ哈爾寶支店長ノ紹介状ヲ示シテ住宅ノ斡旋ヲ依頼サル。“同氏以下七名ノ宿舍其ノ他万端御世話被下度云々”ト平常通りノ紹介ニ些カ驚キタルガ、香川、白地奔走シテ江島町巴旅館ニ落付カシム。旅館ノ有リタルハ実ニ稀有ノコトニテ双方仕合せセルガ、後日知合ヒノ座敷デモト相当厚顔ナル申出ニ兩名啞然タリ。

尚全氏ハ赤松氏ヘ三万円貸与セシタメ、同氏発行ノ支払依頼ヲ持参シツ、アリタリ。

【来訪者】水銀千葉、大陸科学榊原、当社海辺、高橋、田中、室谷等来タル。千葉氏ハ緩中行キノ意見ヲ求メタルガ途中不安、然モ何等具体的救済モ出来ヌニ南下モ不要ナルベシト回答シ置ケリ。尤モ之ハ同氏ノ期待セル回答ノ如ク見受ケタリ。

榊原ハ附近八路军ノ乱行ニ些カ閉口シテ近ク寮ヲ解散シ十数名分宿スルニツキ同人ノ宿泊所ノ相談ト察シタルガ、従来ノ経緯ニ鑑ミ敢テ発言セザリキ。

【清掃検査】毎日来ル来ルトテ未ダニ来タラズ。食堂ハ今日実施セルガ分区役員ニテ適宜処理セルタメカ個別ノ検査ナシ。怎フヤラ検査員ヘボーナス代リノ計画カト推定サル。街灯ノ点火ヲ命ゼラレ兎モ角責ヲフサグ。当地明日ナルベシト言フ。

【内地放送】ハルピン奉天間ノ列車運転中。奉天ノ大連ハ来月十四日ヨリナド言フ

モ人殺シノ強盜列車ヲ内地ハ知ルヤ知ラズヤ。近衛公拜辞ノニュース有ルモ吾等ニハ縁遠シ。

【生活難】下級社員ノ生活問題ハ現下ノ緊急事ナルガ幹部間ニ説ヲ為スモノナシ。近ク発言セントテ再度愚案作成中ナリ。

※王子製紙…王子製紙株式会社。1873年2月に設立された抄紙会社の後身で、三井の傍系会社であったが1930年代にはその傘下から抜け出す。満州で多額の企業に投資した。

※満州造紙…満州造紙株式会社。1943年12月設立。新聞用紙の供給のため満州国政府が王子製紙に工場建設を要請したことから設立されたが、佳木斯の工場が完成する前に敗戦を迎えた。

※近衛公拜辞ノニュース…この日、内大臣府御用掛を務めていた近衛文麿が公爵拜辞を決意した旨が各社より報道され、11月22日に正式に栄爵の拜辞がなされた。

〔無印野紙〕

証

一、満州国幣 貳阡圓也

右正ニ拝借候上は精々早目御返却可申上候也

右

昭和廿年十月卅日 小野碩介〔サイン〕

香川様

◎10月29日 暖

【営口伊東借入金ノ事】伊東要之助ハ其ノ性質ニヨルモノカ、淀町、女子寮、今回ノ八幡寮ニテモ折合悪シク営口組ト全然別個ノ独立世帯ヲ営ミツ、アルガ、本日越冬準備トシテ五千円ノ借用方申出デアリタリ。同人ハ目下支那ソバ屋ヲ経営シツ、アリ、相当ノ収入アル故店舗ヲ借入レ半バ本格的ニ営業ノ意向ノ如シ。所要資金ヲ一括貸与スルカ又ハ一定ノ月給ヲ与フルカハ一応相談ノ決定シタシ。

【営口組】笹山氏来荘。冬仕度ノ為被衣其ノ他防寒具類申受ケ度シトノ希望ナリ。同所々属ノ準職員家族依然時局ノ認識足ラズト嘆シ居レリ。

【来客】谷口、高橋、後藤外ニ前記二名来荘。夫々情況報告アリ。谷口氏ニハ別途借入金ノ事打合ハス。

【橋立町社宅貸与ノ事】橋立町社宅跡ヲ改造シテ旅舎トスベク兼テ満系ヨリ借入方交渉アリタルガ、二ノ三身許調査ノ結果承認スルコト、セリ。松島町十三王玉泉（裕勝東）、十五杜省田（春盛公）ノ兩名ナリ。条件ハ期間一ヶ年半年無償、残半年八月五百円ノ契約ナリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【支店長社宅ノ前後策】社宅ハ未ダニソ士官ノ表札アリ。時々婦人ヲ連込ミツ、アルガ来月中ニハ撤収ノ見込ニ付キ、其後ハ学生四名ヲ駐屯セシメテハ如何ト申川、根来ヨリ申出デアリタリ。右ハ兼テ当方ノ腹案通りナレバ可然手配スル様指示シタリ。

【民団】 明日日十時ヨリ参与会、二時ヨリ実行委員会開催ニ付キ小野出席スル様依頼アリタリ。

【清掃検査】 待望ノ検査員来班シ、野崎班長六百円斗リニテ追返シ結局各戸ノ検査セスニ帰ル。当方モ百円ヲ野崎氏迄贈ル。

【八路军】 十時頃八路军多数ト保安隊多数玄関前ニ蟄集、騒然タリ。近所ノ若手連何レモ待避セルトコロ、右ハ昨夜入城シ薪炭類欠乏セル故之ノ微発ニ来タレル者ナリト言フ。杉本宅ノ満系日本人ハ丸裸ノ由ヲ告ゲ引取ラシメタルガ、一時ハ何ガ始ルカト兢々タルモノアリタリ。

【平和食堂】 更ニ進捗セズ些カ周章気味ナルガ、愈大倉土木干係者ニヨリ明日ヨリ一揃ニ工事ヲ始ムルコト、ナリタリ。同社ハハルピンニソ兵忠霊塔ヲ建設スル由ナリ。予算 150 万円。

【小野支店長へ貸与】 支店長小使私底ノタメ諸品売揚ノ中ヨリ 2000 ヲ貸与ス。

※参与会…この時期、奉天市の日本人居留民会では 1 名の代表委員（宇佐美喬爾）と 6 名の委員から構成される委員会のもと、守中清を筆頭とする 28 名の参与が、中田卯吉郎を筆頭とする 21 名の実行委員が、それぞれ有志でおかれた。

◎10 月 30 日 土砂降り 6.00 am ニ止ム。

【民団情報】 小野支店長民団参与ニ就任シ本日参与会ニ出席セリ。

【難民救済資金】 ○新京居留民会ハ高崎前満業総裁ヲ委員長トシテ難民救済資金三千万円ノ借入方ヲソ軍元帥ヨリ許可セラレタリ。借入保証者ハ当地全様三井、三菱、住友、正金ノ外ニ公使モ加ハリオレリ。此ノ中一千万円ハ奉天ノ限度トシテ分与ヲセルヲ以テ此レニテ賄ヒ過日保証セル五千万円ハ一応保留スルコト、ナリタリ。四囲ノ事情止ムナシトハ謂へ、当方トシテ些カ荷ヲ下シタル感アリ。

【民会経費・難民実数】 民団経費ハ役員整理ニヨリ（最初 600 人~400 人~更 300 人迄減少ノ見込）毎月 90~100 万円程度ニシテ中救済資金ハ 60 万円ナリ。既ニ入奉セル避難民ハ四万人ナルガ、此ノ外数日前新京ヨリ割当テラレタル者二万人中五千人ハ既ニ続々入市シツ、アリ。斯クテ将来共多数ノ避難者ガ当市入りヲ希望スル次第ナルガ、地元民ノ救済力乃至寝具ニモ限度アリ参与会ニ於テモ論議ノ的トナリタリ。

一方新京ノ状況ハ総人口十五万ノ中四万ハ疎開シタルガ、各地ヨリ入春セルモノ十万以上ニ達シ尚間島鏡泊湖其ノ他周辺ニ在ル者十万以上ニ及ブ様子ナリ。

【ソ司令部トノ干係】コットン司令官ハ最近日本人ニ対シ同情シ民団ヲ以テ正式交渉団体ト認メ一元的ニ命令受達ヲ命ジツ、アル由ナレバ、幾分仕事モヤリ易キ風ナリ。今更同情モ変ナ話ナルモ無キニ若カズ哉。

【隠岐委員】兼テ逮捕セラレタル隠岐委員ハ釈放セラレタリ。同氏ハ元官吏ナル故ニ民団委員ニ在ルコトハ当局ヨリ疑惑ヲ持タレ且ハ支那側ヨリノ招聘モ有ルタメ支那側某機関ヘ転出スル風評アリ。

【食糧委員会報告】過日食糧委員ニテ決議セル30万トンノ雜穀確保ノ件ハ支那側当局ヘ申出デタルモ、従来ノ統制理念ナリトテ全然相手ニナラス由報告アリタリ。一般物価特ニ食糧品ハ依然弱保合ナリ。

【政府当局】省、市、公安局方面ハ重慶官吏ニ配スルニ八路系補佐官アリ、仲々兩者ノ連繫モ目下ノトコロ困難ノ如キモ双方共ニ何トカ纏メネバトノ氣運ナレバ成七割否三割ノ見方ナランカ。

【一般ノ日和見】一般ノ視方ハ重慶ガ本格的ニ入城スル迄ハ何レニモ積極的 approach ヲ避け、静視シツ、アル様子ナルモ、事情前記ノ如クナレバ当社モ八路ニ弗々接近シテハト考ヘラル。現在ノ俸給問題、食堂問題目鼻ツケバー博打ヤツテミル事ニ決意ス。

【支店長社宅】社宅ヘ盗人入りソ将校ノ荷物ヲ盗マレ留守番者怒鳴ラレ泣顔ニテ報告ニ来ル。

※鏡泊湖…中国の黒竜江省南東部、松花江支流の牡丹江の上中流部にある湖。満洲国時代に水力発電所が建設された。

※高崎前満業総裁…高碓達之助。1885年生-1964年没。1917年に東洋製缶を設立し支配人として活動したのち、1941年に満洲重工業総裁・鮎川義介の要請で同社の副総裁に就任し、翌年鮎川の後をうけ総裁となった。敗戦後、在満日本人の引揚げに尽力するとともに、中国国民政府の東北行營顧問となって日本企業の接収に協力した。1947年に帰国し、公職追放を経て衆議院議員となり、第二次岸内閣の通産大臣などを歴任した。

◎10月31日 暖

【淀町】淀町社宅ニ赴クニ、本日保安隊通行人ノ身体検査ヲ行ヒツ、アリ。大広場方面ニテ四ノ五ヶ所有リ。銃器所持ヲ調査セル由ナルガ、人通り稀ナルトコロデハ金銭ヲ没収セラレタル例モアリ。旧警察官舎ハ保安隊本部トナリタリ。淀町社宅ハ目下ストーブ取付ノタメ日満鋼材ヨリ多数来荘シツ、アリ。井上新君ノ妻子、新台子ヨリ来タリテ谷口宅ニ仮泊ス。ハルビン林全上。

【八幡寮営口組】笹山氏ニ預カリタル毛皮、指値ニテ売抜不能ナレバー先ツ返還セルトコロ、今一応尽力頼ムト話アリタリ。蒙古テンノ分ハTRYスベク借用シ、

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

谷口氏經由中村局長ニ依頼セリ。営口ニテハ親籍〔戚〕縁者ニ寄居スル者ニ対シテハ一千円支給スト宣言セルニ希望者二ノ三有ル模様ナリ。堀田、川野ノ兩人ハ共ニ肺ヲ患ヒ静養中ニシテ、目下女子職員古田看護ニ当タリツ、アリ。当荘西村ヲ手使ハシメツ、アルガ適任者ヲ分置スル要アルベシ。

【ハルピン情報】ハルピン林君ノ報告ニヨレバ、ハルピン支店ハ事変直前ニ所有セル現金ハ33万5千円ナリシガ、協和烟草、三泰ニ各十万円ヲ貸与、残ノ十万円ハ金庫共ソ兵押収セラレ結局残金35000⁻ニテ賄ヒツ、アリタル由ナリ。今日於テハ金融ノ見透シモツキ、赤松氏ノ活動モ期待スルトコロナルガ、当時ハ極メテ暗澹タルモノト想像サル。

【給与ト生活問題・三菱商事ノ例】旧橋立町組ヲ代表シテ高田、松宮ノ兩名、下級者ノ生活難ヲ訴ヘ谷口氏ヘ援助方依頼アリタリ。本寮ノ居住者ハ従前モ豊ナラズ。然モ打続ク災難ニテ窮状同情ニ値スルモノ多シ。当方モ兼テ研究中ナリシモ略成業ヲ得タルヲ以テ明日会議ニ上程スル意向ナリ。三菱商事、戦前ノ全取入ノ75%ヲ支給シ別ニ米ノ日配給量ヲ実物ニテ給与シツ、アル由ナリ。此ニ比スレバ些カ劣ルモ、所有金ト照合シ最低限度ノ生活ヲ確保セシメタシト考ヘ居レリ。

【東亜農産宮下氏】東亜農産工場長宮下宇一来荘セリ。全人ハ岩崎、大塚、湯地氏等ト克山監獄ヨリ釈放後南下ヲ志シ、一同新京ヘ落付キ、同人ノミハ家族在奉ト想像シテ更ニ南下セルモノナリ。目下加茂小学校ニテ起居シツ、アルガ、家族新京ニ在ルラシク再ヒ上京スルタメ旅費貸与方申出有リタリ。岩崎社長ヨリ「懐中無一物ナレバ」トテ特ニ依頼状所持セルニツキ金參百円ヲ貸与ヘタリ。

※三泰…三泰産業株式会社。三井物産が中国人と合併で設立した三泰油房が設置した長春、ハルピン、四平街の糧棧を起源とする三会社が1939年11月に合併、商号変更したもの（全額三井物産出資）。満州において強力な集荷網を形成した。

◎11月1日 暖

【一般給与問題協議】支店長、香川、淀町ヘ参集。各課長以上ト現行給与問題ニ就キ協議ス。兩名作成ノ具体案ノ外種々協議ヲ重ネタル結果次ノ通り決定ス。

①罹災見舞金 橋立町ニテ暴徒ニ襲ハレタルモノ、十條ニテ焼出サレタルモノノハ、真ニ同情スベキ点多クアリ。夜具類、冬着ノ用意ナク、寧ろ良品ハ会社疎開荷物倉庫ニテ押収セラル、ナド惨々ノ体ナリ。親子二名ニテ毛布三枚ノ例ナドアルガ、前記両組ヲNo1トシテ2000⁻/1000⁻、三井荘組ヲ1000⁻/500⁻ノNo2クラストシテ罹災見舞金ヲ与フル件ヲ可決セリ。

②毎月給与金 現在給与方法ハ本人在奉ノモノハ本俸×2+家族手当、応召中ノモノハ本俸×1/2+家族手当、他店者ハ一率ニ150⁻+家族手当×70%ナルガ、当店者ハ家族手当ノ現行50⁻, 35⁻, 25⁻, 10⁻ヲ100⁻, 80⁻, 60⁻, 40⁻ニ増額シ、

他店勤務者ハ本俸×2+改正家族手当70%ト定ム。

尚営口組ハ据置合計三万円ニテ明春迄賄フコト。

③伊東へ貸金 10/29 伊東ヨリ依頼タル5000^円貸与ノコトハ明年三月迄ノ引当金トシテ一人1000^円、家族四人ニ対シ4000^円ヲ承認シ、低当物ハ申受ケヌコト、ス。同人ヲ他店勤ム者並ミノ待遇トモ考ヘタルモ、今回飲食店開業ノ予定デモアリ且ツハ自活能力モ有リト想ハレタルタメ、彼此勤考ノタメ例外トシテ斯様取定ム。

④女子従業員 女子従業員解雇手当ハ正式計算ノ上百円未満ハ切上ゲ、以上50^円Baseニテ何レモ切上支給ノ結果、合計10,700^円トナル。請求アリ次第早速支払フ様手配済。

⑤清友荘増員 最近避難民ノ来奉者激増ニ鑑ミ、此レガ割当必至ナレバ当荘モ増員ノ必要アリ。之ノ人員検定ヲ開始セリ。

【王子製紙】王子製紙高田理事一行七名ノ住宅各方面へ斡旋ノ結果、高田氏及ビ女中ハ安達ブローカー仲介ニ依リ附近ニ借り池田氏以下五名ハ近藤ビルニ落付キタリ。

【橋立町社宅】満系王外一名ニ貸与ノ事ハ先方申出ヲ承認シ、結局期間ヲ一ヶ年半ニ延長、承認ス。中半年無償、一ヶ年八月額500^円ハ不変。

【社宅豚ノ処分】三井寮共同炊事ノ残飯ヲ以テ飼育ノ目的ニ以テ仔豚二頭1600^円ヲ購入セルガ、事情急変セル故之ヲ社宅ノ唐ニ依頼シ本日ニ至レリ。唐ニ之ヲ与へ、唐所有ノ中豚ト相殺スル積リナリシトコロ同人ハ承認セザルニヨリ中豚ノミ@21^斤ニテ買取リタリ。

社宅ハツ兵朝ヨリ来タリ風呂ヲ要求シ唐転手古舞ナリ。

【日塔氏情報】日満鋼材日塔氏来宅。過日渋谷社長外鉄西工業家ニ対スル八路軍ノ談話次ノ如シ。

〈八路軍方針〉

○満州国政府ノ息ノ掛ツタモノ、鉄道、電信、電話、郵便、電気、鉱山ハ接收ス。中国側経営ス。

○軍干係工場ハ接收ス。

○財閥所有ノ各工場、接收ス。但シ従業員ハ其ノ俸引継ギ給料及ビ賞与ハ支給ス。

○財閥経営ノ平和産業ハ(質問ニ答へ)個別ニ審議決定ス。

○個人ノ生命財産ハ保証スルノミナラズ中日両国ハ将来共緊密ナル提携ヲ希望スル。

○商業貿易ハ自由ニ行ハシム。

〈内地放送〉

(1) 帝国軍艦159艘ハ過日内地ニ帰還セルガ、内100艘ハ修理ヲ要シ残59ハ健

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

在ナルヲ以テ、之レヲ以テ在外邦人ノ引揚ニ利用スル。而マクアサーハ在外邦人ノ総引揚ヲ希望スル由ナリ。

(2) 帝国在外公館ハ総テ引揚グベシトノ命令ニ接シタリ。

(3) 内地食糧ハ極テ逼迫シテニ合三勺ノ配給確保ハ至難ナリ。

【隣保変更】 当荘ハ大大班四組ナリシトコロ、今般曉荘組へ編入セラレタリ。

【ソ兵侵入】 夕食後隣家峯老夫人以下逃出シ来タリ。ソ兵三名久保宅ヲ掘〔扣〕キテ開扉セズ。次ニ峯家へ廻リ乱打シツ、アリト。直ニ全員滅灯シテ待機ス。約半分ニシテ退去セリ。

【資金借入】 所要資金借入レニ干シ再協議ノ結果、LIMIT 50 トシテ更ニ干係者尽力スルコト、セリ。尚傍系干係会社ヨリノ依頼ニ対シテハ或ル程度ノ涙金ハ支店長ニ一任トス。

【奉天製作所】 奉天製作所理事長、総務部長ノ兩名資金借入レニ付キ種々依頼アリタリ。当方田中代理ヲシテ応待セシメタリ。同社ハ芝浦系統ナルガ、当方トノ干係モ昔日ノ如クナラズ平素又兎角疎遠ナリシ干係モアリ、斯ル case ハ全面的ニ断ル様打合セタリ。

【本日風呂有】

【工場譲渡】 高崎元満業総裁ハソ軍将校ト飛来シ、満業傘下四十社ヲソ聯へ譲渡スル書類ニ調印セシメツ、アル由ナリ。日満鋼材社ハ渋谷社長ノ申出ノ通り満業資本加入前ニ新事態発生セルタメ全然無干係ノ故ヲ以テ調印拒絶セリ。

※奉天製作所…股份有限公司奉天製作所。1937年に芝浦製作所（三井傍系）と東京石川島造船所の共同出資により設立された。産業機械・鉄鋼構造物。電気機器などの製造・販売をおこなった。1944年10月に機械部を分離して満州石川島重工業を設立した。

◎11月2日 寒

【平和食堂】 近ク開業ノ予定ニテ造作改造ヲ依頼中ナルガ、仲々請負方動カズ完成予測ツカズ。依テ香川、白地ニテ萩町 41 大倉土木ノ松村氏宅ヲ往訪セリ。同氏不在。兩名ロストルナド買求メ帰ル。白菜平和広場方面ニテ一斤@ 80¢ニテ一車購入ス。春日町ニ比シ一般ニ安ク活気アリ。後刻松村氏来荘シ、当方実情説明ノ上極力節費ノコト依頼。早速午後ヨリ取掛ル筈ナリ。日系大工日当 100¢ハ止ム得ザルトコロナルベシ。

【来客】 千葉、寄金、廣瀬、伊東、岩見。

千葉氏ハ新京ニュース取りニ淀町へ。廣瀬ハ北陵ヨリ釈放セサレタル報告ニ、伊東ハ貸与資金ニ就キ、他ハ情報ノ交換ナリ。夕刻ニ近ク女子事ム員二名相談ニ来ル。姉代リニ住込ム件ナリ。先方身元調査ノ上再度来ル様話置ケリ。

【ソ兵ノ強奪】柴田姉妹ノ伝言ノタメ廣岡跡ヲ追ヒタルトコロ、門前10米斗リニテソ兵ニツカマリ600円余強奪セラル。香川モ追尾セントセシモ直ニ逃込ミlockセリ。他ニ一ノ二名ヤラレタリ。白昼ノ強盜スノ如ク、然モ開店開業ヲ追ルニ至ツテハ安住地ハナキモ同然ナリ。

【market】

烟草類二級品	4-5円	電球	20w	20 ⁻	
米 新米	3.80-4.80		60 [〃]	55 ⁻	
味噌	4.00-3.50		100 [〃]	80 ⁻	日々奔騰
正油	15.00-20.00				
石炭撫順硯	1200 ⁻ -1000 ⁻	木炭	35斤	100 ⁻	
切込	1000 ⁻ -800 ⁻				
砂糖	55 ⁻				

◎11月3日

【清友荘人員増加】当荘炊事婦中江母子辞職ノ申出アリタルト避難民割当問題ニ鑑ミ、増員ノ必要ヲ生ジタリ。淀町社宅モ寿司詰ノ状態ナレバ此ヨリ数人ヲ移住セシメント香川下相談ニ赴ク。中川家族纏ラズ、結局山口、後藤ノ独身者、久保川、岸原両夫人ト定ム。

【食料品店ノ計画】淀町社宅ノ一間ヲ目下満系洋服商ニ貸与シツ、アルガ近々立退ノ模様ニ付キ、此レヲ改造シテ味噌、正油其ノ他生必物資ノ販売ヲ致サントシテ実地見聞セルトコロ、淀町有志ニテヤリ度キ旨話アリ。小生ハ仕入 route ヲ担当シテ外部ヨリ援助スベク約束ス。

【営口組路店】路傍飲食店ハ寒氣加ハリ一般ニ客モ激減セルヲ以テ本日ヲ以テ閉店セリ。

【戸口調査】公安局ヨリ十一月五日現在ヲ以テ戸口調査ノ達アリタリ。今回ノ分ハ虚偽ノ申立テ又ハ忌避ハ嚴重ニ処分セラルベク、組長其ノ他連帯責任トアリ。逃亡者其ノ他再ヒ不安濃厚ナリ。尚実地照合ノ事過記シアリタレバ此ノ際又若干ノ被害アルベシ。

【避難民続来】北部ヨリノ避難者続々入市シツ、アリタルガ、満系乞食ニ劣ルコト数等ニテ到底正視ニ忍ビザルモノ多シ。途中絶食セルタメカ歩行ノ力ナク、麻袋一枚ニテ震エツ、遊ぶカ如ク黙々列ヲ追フハ果シテ何人ノ罪ゾ。満系各キャンプニ黒山ニテ見物シ、時ニ300⁻、400⁻ニテ買ハル、婦女アリ。彼女等又進ンデ赴クト聞イテハ寧ロ民族ノ絶滅ヲ選ブベカリシカ。

【中学校女子中等学校再開】両校トモ綜合シ各一校ヲ開校スル話アリ。授業料20円ト決定セル由ナルガ、暖房期ニハ自然閉校サルベシトノ意見濃厚ナリ。

◎11月4日

【周杖子】水銀会社千葉氏、星田某ヲ伴ヒテ来タル。星田ハ壮年組ナリシタメ綏中ニテ逮捕セラレ北行セルガ、途中露領へ押送ト判明セルヲ以テジャライノールニテ列車ヨリ脱出、九死一生ヲ得テチ、ハル、ハルピン、新京ヲ経テ昨夕岩見氏宅ヲ訪問セルモノナリ。ソ聯側ハ綏中所在ノ銃器数ト在留男子邦人ノ数ガ一致セル故ヲ以テ全テヲ兵士ト見做シ俘虜トセルモノナリ。一行ニハ古崎外当方罷役者モアルガ、古崎ノ如キハ若干変調ヲ来タシタル由ニテ寔ニ同情ニ堪エズ。星田ハ現地採用者ノゴロニテ坐リ込マレテハ困ルト考へ、支店長ヲ遠ザケ筆者応侍セルガ千葉氏モ無力ナレバ今後共スル case 多カルベシ。同人ハ当荘ノ余裕アルヲ言外ニ引取り方依頼シ、千葉氏又本人ヲ前ニ兎々角申出デラル。甚ダ迷惑ナリ。偶々白地君帰リ江ノ島町西村方ニテハ畳二間三井干係へ貸シ度キ意向洩ラセルニヨリ早速兩人ニ実地ヲ見ル様態憑シタリ。

列車輸送中ノ脱走者ノ銃殺ハ勿論、連帯責任者乃至本人家族モ銃殺スル旨厳重言渡シアリタル由ナリ。戦争無干係中周杖子ハ最悪ノ事態ニ当面シタルハ率直ニ認ムルモ、何レモ余裕ナキ折柄無制限ノ収容ハ共倒ヲ招来スベク筆者ノ心痛又深シ。

【撫順情況】満州中村氏ノ談ニヨレバ撫順公安局ハ大会社、富豪ヲ個別ニ招致シテ現金ヲ供出セシメタル由ナリ。銀行ヨリ引出セルモノ乃至纏リタル入金アリタルモノハ先方篤ト承知ニテ突込ミ来ルタメ、結局相当ノ被害アリタル由ナリ。

【来客】廣瀬、松宮兩人ハ高田ノ説明書入手ノ事、米ノ呼売り計画ヲタヅサエテ相談ニ来ル。此ノ一店舗ヲ拠点トスルニ若カズト考へ筆者計画中ノ消費組合へ合流セヨト回答。支店長縁籍〔戚〕二名来訪。日立セ作所員ナルガ此レハ俸給十一日一杯ニテ打切ル旨言渡サル。当社ノ如キハ正ニ珠玉ニ等シキカ。

本日ハ合計七名ナルガ、連日ノコトニテ若干勝手許ニ影響アレバ支店長接待費若干別途支出セヨト各代理ヨリ発言アリタリ。

【ソ兵】最近土産稼キ再□シ各所ニ出没。当町内モ本日一名各戸ニ門扉ヲタ、キ来訪者ヲ粧フモノアリ。附近ニヒソミ人ノ出入ヲ待ツテ侵入スル者アリ、油断ナラズ。

【三工学院】中村選鋳劑氏ノ計画セル工業学校ハ、明日ヨリ全工場内ニテ開校スル由来状アリタリ。中等部、高等部各二年終了、採鋳冶金、電気機械、応用化学ノ三科ニシテ、号シテ三工学院、相当物々シク学則ヲ並ベタルガ、現在ノ生徒数、中等科男子一年6名、二年6名、女子16名。工業科ハ男子一年十一名、二年二名ノ有様ナリ。

※日立セ作所…株式会社満州日立製作所か。1938年3月、日立製作所が奉天に設立した会社。

◎11月5日

【一部移出】清友荘在住者増員ト下級者救済ヲ兼ネ本日淀町ヨリ三名移転セシム。三名分ノ荷物僅ニ手押車ニ一杯ナリ。山口邦彦、岸原、久保川ノ両夫ナリ。途中幸ニ無事ナリキ。

【女子事務員】全然身寄りナキ者ハ三月迄当方從來ノ補助ヲ経〔継〕続スル旨申渡シタルコト既報ノ通りナルガ、幸ニ各自活方法ヲ攻究シツ、アリ。本日迄転出希望者次ノ通り。中沢母子、新田、柴田姉妹ノ五名。中沢母子ハ洋裁、新田ハ炊事乃至料理人、柴田姉妹ハ独身寮（他社ノ）ノ家政婦ナリ。

【ソ聯革命記念日】11/7ハ革命記念日ニテ、ソ聯ニテハ無礼講ナル由ナリ。司令部ヨリ店舗ハ装飾ヲセヨトノ要求アリ。此ノ上無礼講トアツテハ如何ナル珍事勃発スルヤモ不知、一同憂慮シツ、アルガ、此ノ前後ノ両日ハ又独歩キセヌ様要望セラレタリ。満系洋服屋ハ戦車隊約二万入奉セシ確報アリ、暫ク蔽戒セヨト注意シテ呉レタリ。

【日満鋼材】日塔氏来荘。十月廿六日ヲ以テ蘇軍ノ機械搬出作業終了セリ。間モナク八路軍將校来社シテ会社内容ノ取調べヲ為セリ。同社ハ前期ノ考課状ヲ示シ株主其ノ他詳細説明セシ結果、先方之ヲ諒トシ、本社ハ撤収セヌ故事業計画乃至目録書ヲ提出セヨトテ帰りタリ。尤モ資材、副資材ノ持出ハ全然不可能ナルガ、作業ノ安全ヲ確保スルタメ第一、第二工場共各二名保安隊ヲ駐屯セシムル由ナリ。

【来客】日塔、千葉、田中、室谷、薄井、高橋、南羽、寄金、徐、柴田姉妹。

【満系情報】三九合名徐ノ情報ニヨレバ、城内ノ八路被宮〔害〕相当ナモノニテ大店ハ何レモ門扉ヲ閉シツ、アリ。大体八路軍ハ2000人ニ過ギザシモ近来現地ニテ徵募ヲ重ネタル結果、今日デハ20万ニ及ビ、本来ノ八路軍ハ軍規厳重ナルモ近入組ハ大鼻子イーヤンナリト言フ。

同人ノ友人李君子供ナク、日系避難者ガ子供ヲ売ル由ナレバトテ通積ニ寄金ヲ伴ヒ春日小学校へ赴キタルガ売人ナカリキト話居レリ。何レモ女ノ子ナルガ頃来手放スモノアルラシク五ノ六オナレバ500円～1000円トカ、真疑〔偽〕不明ナルモ一ノ事実はアリタルカ。

Radioノ報ズル如ク国共ノ内戦ハ未ダ終息ノ見込ナク、当初共產側京漢線ヲ取外シタルニ発シ到底国民党単独デハ納ル筈ナク、結局ソ、中国（u.s.ノ尻押ニテ）戦ニ発展シテ中国側即美国ノ勝利ニ依テ終ラントノ見方強ク、現ニループノ間値ハ暴落25-30シツ、アル由アリ。彼等満系ハ結局重慶側ノ入城ヲ見越シ、夫レ迄ハ拱手スル意向ナリ。

【平和食堂】工事進捗シ、クド、Door大半完了セシタメ、松村氏ヨリ頭金ノ交付方依頼アリタリ。当方2/3,000ノ見積リナリシガ4,000ヲoverスル様子ニテ些カ閉口ナリ。兎モ角2000ヲ手交セリ。食堂ニ軒先ノ印刷屋ニ八路兵三名馬車ニ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

テ乗付ケ、印刷機及ヒ用紙搬出、去レリ。弗々ソ聯ノ Repeat ヲ始メルラシク一同憂色深カリキ。

※革命記念日…ソ連における十月革命記念日のこと。ソ連では国全体が休日とされ、モスクワでは赤の広場で祝賀パレードが行われた。

※京漢線…北京-漢口間を結ぶ鉄道。ベルギーのシンジケートからの借款により1905年に開通し、借款の償還により1909年より国有鉄道となっていた。

※美国…中国におけるアメリカ合衆国の呼称。

〔欄外〕十月二十八日渋谷社長来状

拜啓漸ク寒冷ヲ加ヘ候処其後錦地ノ情勢如何ニ候成御伺申上候。

次ニ会社其後ノ状況ニ関シ概要御報告申上候。

(1) 9/18 ソ軍総司令部付大佐某外佐官五名来荘シ工場設備等ヲ詳細調査シ、十九日ヨリ少佐ヲ長トスル作業隊会社構内ニ宿泊シ、司令部ノ命ニ依リ機械設備ヲ供出スベキコト並ニ会社従業員ヲシテ此等ノ作業ニ協力セシムベキコトヲ正式ニ通告セラレ、二十日ヨリ作業ヲ開始シ爾來連日作業ヲ続ケ、10/5 頃迄ニ会社第一工場（本工場）ノ重要機械大部ノ分解、梱包、貨車搭載ヲ終リ、引続キ附近ノ他工場ノ機械搬出及ビ梱包ヲ命ゼラレ、10/26 一切ヲ終了仕候。作業隊ハ尚尙三日社内ニ宿泊スル由ナルモ、監督佐官等ハ10/27 某地ニ向ケ出発シ当会社従業員ハ同日約40日振りニ休務致候。

此間ソ軍將兵トノ間ハ最モ親善ニシテ、同様ノ情勢ニアル他工場ノ羨望ノ的トナリタルヤニ存セラレ候。

(2) 供出機械ハ当社第一工場現存機械ノ大部ニシテ、其ノ数66台及モーター46台、此ノ評価額106万円ニ相当致候。残余ノ機械ハ概ネ老朽ノモノ或ハ修理ヲ要スルモノ其ノ大部ヲ占候ヘ共、此等ヲ合セテ旋盤34台、ボール盤22台ヲ始メトシ、合計92台ヲ算シ微力ナガラ Local ノ工場トシテ一応ノ作業ハ可能ノ状態ニ有之候。殊ニ変電所、動力室、Boiler 室、機械修理工場、電動起重機等ハ完全ニ被害ヲ免除セラレタルコト不幸中ノ幸ト可申候。

勿論此方屢々総司令部ヨリ上級將校ノ巡視アリ、此等設備モ供出ヲ要望セラレタルモ、監督佐官ハ当社従業員ノ長期ニ亘ル善意ノ作業振リニ対スル感謝ノ意味ニテ之ヲ免除シ、其ノ代品ハ他ノ工場ヨリ供出シテ之ヲ補ヒタル実情ニ候。

(3) 資材ハ梱包作業ニ必要ナルモノヲ一部使用セル外、大部ノモノハ免カレ現存致居候。以上ノ被害ハ警備ヲ断念セル他ノ工場ニ比較セバ多大ノ相異有之、是レニ従業員ガ危険ヲ冒シテ勤務ニ服シタル結果ト存シ感謝ニ堪エズ候。

(4) 第二工場（鋳物工場）ハ幸ニソ軍ノ供出ハ免レ得タルモ、隣接工場ニ駐屯セルソ兵屢々侵入シ、苦力之レニ和シテモーター約十個、コークス、石炭等ノ

大部ヲ失ヒタルモ、変電所、キューボラ等ハ其ノ俣ニ有之候。目下中国人従業員ノ有志ニシテ警備ヲ担任セシメ居候。

- (5) 従業員ニ対シテハ先ニ疎開手当3月分ヲ支給セル外、十日分迄給料ヲ支払ヒ、此ノ際自活ノ途アルモノ及ビ殆ト出勤セザルモノハ退社セシメ、其ノ他ハ給与規定ヲ改メ平素ノ給与ヨリ多少減額シタルモノヲ出勤状態ニ応ジテ支給スルコトニ致候。役員モ社員ニ準シ減額ノ予定ニ御座候。

目下社員給与ノ一助トシテ市中ニ店舗ニ／＼ヲ設ケ營業ヲ始メ候。

- (6) ソ軍撤退後市中ノ動揺モ予想セラル、ニ付、今後ハ残レル従業員ヲ以テ警備ヲ嚴ニスル外一部可能ノ作業ヲ開始シ度準備中ナルモノノ点後報可申上候。

以上十月中旬迄ノ情況御報告申上候。

民国 34.10.28

◎11月6日 暖

【課長會議】罹災者見舞金及ビ一般事項ニ就キ會議開催。見舞金ハ貸金トシ後日ノ精算アル場合ハ返却セシムルモノトス。尚余剩金米程モナキ実情説明ノ上各個ニ借入金確得ニ奔走ヲ為ス。

田中一正 1800 ⁻	中村正知 600	広瀬保雄 1000 ⁻
福永和光 2000 ⁻	早瀬誠一 600	久保川大武 1000 ⁻
伊原三郎 1500 ⁻	沖勇 2000	古賀栄典 1500 ⁻
三村政治 1000 ⁻	高田米雄 1000	升崎幸雄 2000 ⁻
浅野令二 1500 ⁻	山路守 2000	岸原吉之 1000 ⁻
白土高寿 600 ⁻	准田利夫 1500	近森源一郎 750 ⁻
中山公一 750 ⁻	石川光雄 600	松宮秀夫 750 ⁻
久保富雄 750 ⁻	榊原徳三 1700	井上新 1500 ⁻
後藤良雄 600 ⁻		

grandTotal 30,000⁻

【八路軍】先般鉄西ニ来タリ同地帯工場復興ノ件ニ就キ指示セル八路幹部ハ博物館ニ事務所ヲ有スルモノナルガ、其以外ニ八路ト称シ工場ノ取調ベヲナスモノ有リ。結局当市内ニ八路司令部ガ四ヶ所アリ、何レガ真正ノモノカ不明ナリ。ソ聯ノ外ニスル主権者ヲ存在シ、而モ横ノ連絡ナキコトトテ些カ怯懦ナルモ成行静視、殻ヲ被ル積リナリ。一般有力満系モ又全様ノ如シ。

【革命記念日】明日ノ記念日ニ備へ、大広場司令部前ハスターリンノ大肖像ヲ始メ種々 Decoration アリ。公安局ニモレニン、トロツキー等四名ノ大肖像ナド前景氣相当ナルガ、一般ハパツタリ淋シク、一般商店ハ勿論、路店モ休業スル者多シ。分区廻報ニテ此ノ三日間ノ外出注意、特ニ婦女子ハ嚴禁ノ事、満系子供売買ハ公

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

当局へ申出ノ事ナド注意有リタリ。

◎11月7日 寒 革命記念日

【革命記念日行事】 記念日行事参加ノタメ分区ヨリ五十名指令セラレタリ。ソ聯手旗ノ上民団へ集合ナレバ、多分旗行列ナルベシ。中学生モ一部参加セリ。満系又ゾロゾロ門前ヲ南下セリ。昼頃ヨリ号砲盛ニ響ク。

【避難民】 今朝又相当量入市シ当荘前ニ集結シツ、アリタルガ、春日小学校へ向ヒタリ。弗々ストーブ欲シキ此ノ数日、難民ニ想到スレバ現状ハ正ニ感謝アルノミ。

【整理】 外出不能ナレバ虫乾ナド始ム。三名ニテ三行季極メテ簡単ナレドモ日本ヨリ持来レルハ殆ドナク、偶然ニ入手セル軍服類一ノニアルノミ。布団、靴、何レモナシ。留守宅又被爆セル故、此レ又一物モナシ。北米ニテ然リ。今回又然リ。寔ニ不思議ナル廻合せト謂フベシ。

【中澤】 母子、杉本ノ家族ヲ入レテ隣家清掃シツ、アリ。呑屋開業ノ意ナルカ、スル水商売上リハ到底真面目ニハ働ケヌモノカ。此ノ際峯ヨリノ預リ品ハ一切返却セリ。

【Big News】 内地放送ニ、満州ヨリ六名程帰国シ当地ノ実情ヲ報告スル由報ゼラル。此ノ窮状ヲ知ラバ何レ帰国可能ナルベシト一同歓ブ。

中共ノ内戦ハ依然終ラズ、米国ノ駐支 marine ハ不干涉主義ニテ退去スル由ナルガ、此ノマ、デハ一月頃相当ノ grave consequence ヲ生ズベシト言フ。鮮満支同胞 600 万ハ又此レニ引掛ルノカト又憂色深シ。

【家計簿】 九月十三日以降ノ共同炊事ハ結局 12,000 ヲ要シタリ。尤モ此ノ中石炭 3 ton、ストーブ 3 ヶ Dabai、什器等ニテ約 5,500⁻ 余ヲ費シ、Nett 6500⁻ ナルガ、借入金嵩ムタメ会社ヨリ支給サルベキ石炭及ヒストーブ 9000⁻、支店長費（今日ヨリ）500⁻ ヲ加ヘ新ニ start スル。

Regular member

十一月十日ヨリ

小野碩介	1010 ⁻ (707 ⁻)	岸原	320 ⁻ (192 ⁻)
田中一正及妻子四名	1190 ⁻ (833 ⁻)	久保川	250 ⁻ (150 ⁻)
香川	700 ⁻ (490 ⁻)	西村	170 ⁻ (102 ⁻)
藤原	500 ⁻ (350 ⁻)	後藤	320 ⁻ (224 ⁻)
白地	500 ⁻ (350 ⁻)	_____	
高橋	340 ⁻ (238 ⁻)	合計男子九名女子七名	5,810 ⁻ (4003 ⁻)
広岡	290 ⁻ (203 ⁻)	一日	133.40
山口	220 ⁻ (154 ⁻)	perhead	8.30

◎11月8日 暖

【淀町ノ出来事】今朝脱走兵(?)調査ノタメソ将校、女通訳、保安隊各一名ニテ来宅セルトコロ、門衛升橋ソ兵ト見テ開門セズシテ地下貯炭場へ逃去ル。保安隊業ヲヤシ飛越エテ這入ル。ヤガテ升橋ヲ捕へ同人着用ノ広巾軍用バンドヲ以テ脱走兵ナルベシト詰問ス。同人ハ春日町ニテ買入レタルコト又鮮系タルコトヲ言葉ニテ証明、事ナキヲ得タルモ一時ハ全寮騒然タリキ。結局名簿ヲ提出シ人員点呼シ不審者ナク其ノ假婦リタルガ心□ヲ害シタルタメカ大部要ラザル手間ヲ取りタリ。

【来客】田中、薄井氏来荘。上記ヲ報シ会計報ヲナス。

【転居】中澤母子、隣家へ転宅。十日田中一正家族、後藤ヲ迎エテ16人新陣容トナル次第ナリ。

杉本宅ノ職人(満系)一名昨夜泥酔セルソ兵ノ流弾ニテ死亡ス。全クノ犬死ト言フベシ。

【平和食堂】ペンキ職人入り四囲天井迄塗ラス。費用600^円ナルガ、中野主人酒店解散ノ上(資金少ク)当方へjointスル意向ノ如ク、從テ入念ヲ期スル意ハ困リ者ナリ。

【市中】極メテ閑散。

【Big News】重慶軍營口へ上陸セリ。

◎11月9日 暖

【平和食堂】ペンキヲ残スノミニテ大体完成セリ。日央ニハ開店出来ル予定ナリ。

【丸中商店ト淀町売店】高橋正司君ノ勤務先丸中商店解散ニ伴ヒ、筆者ニ対シ残品引取方依頼アリタルヲ以テ淀町売店ヲ急速ニ具体化スベク淀町へ出向キ谷口氏ニ面接ス。今後ハストーブ其ノ他ノ設備必要ニテ之ノ費用ヲ加算スレバ到底収支償ハヌ云々ト異見有リタルモ、全負45,000^円ノ大部分ハ食費ナレバ此レヲ卸値ニテ賄フノミニテモ相当ノ効果アル次第ナリ。兎モ角実行ニ移シテ批判スル様説得、早速民団ニ届出ヲナス様依頼ス。

【選鉱剤ト工業復興委員会】中村氏来荘一泊。同氏ハ民国ノ推選〔薦〕ニテ工業復興委員会傘下ノ計画委員長ニ就任セリ。右ハ八路军ノ命令ニテ結成セルモノナルガ、工業復活ハ唯工場ヲ動かスト言フ八路式ト、中村氏ノ言フ鉱山ヨリstartスル永久性ト合致セズ、此ノ為ニ中村氏ニ日許リ抑留生活ヲ営ミタル由ナリ。捕縄ノタメニ寝ルト首カ締ルタメ睡眠不足トナシ相当疲労ノ模様ナレバ入浴シテ就眠セシム。

【中村情報】八路军ハ総数約15万、内5000ハ本場物ニテ残ハ地場ニテ採用セルモノナリ。ソ聯トハ密接ニtie upシツ、アリ。本部ハ博物館ニ在リ、此レガ全軍ヲ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

統轄シ相当睨モキ、ツ、アリ。營ハ大隊、聯（連）ハ聯隊ニ相当スルモ階級ナシ。各隊長ガ兵士ヲ養フタメニ資金ヲ集ムルハ土匪ト変ラザル模様ナリ。新京ニハ八路ナク蔣経国ガ大使トシテ滞在中ナルモ、全人ハソ聯ヘ留学セル干係モアリ好干係ニ在ルモノノ如シ。中国軍ハ營口、大連、コロ島等ヨリ侵入ノ噂アルモ、何レモ中共ハ妥協シテ入城スルナラントノ観方（八路側ノ）ナリト謂フ。

【衛城司令官ノ認識】 ソ聯ニ於ケル日本人観ハ極テ野蛮ナル殺人鬼ノ如キナリシモ、司令官ハ現実ニ見テ極メテ高度ナル教養ヲ有スル文化人ナリ。但シ此レヨリ教養ヲ除ケハ猶太人ニ等シト洩シタリト言フ。全般的ニ看テ教養ナキ結果敗戦セリトノ吾人ノ見解ト表裏スルモ、ソ聯將兵ニ比シテノ事カ。

【陛下】 陛下マ元帥ノ会見ニ於テ、行幸時ニ従兵ノナカリシ事乃至英語ニ応待セラレタル事等ナドヨリ元帥ハ陛下ノ神格ニ傾倒セル模様ニテ、此レガ聯合國ノ心証ヲ良化セリトノ話有リタリ。母国ハ本年食糧問題等ヨリ考ヘ到底持久戦ニ堪ヘザリシナラント想像セラル。後世ノ史家、或ハ原子爆弾ニノミ因ヲ求ムルヤ不知。

【日系避難民】 更ニ漸増シツ、アリ。最近ハ夫々仲介者アリテソ兵相手ノ淫売モ相当賑フ模様ナリ。五人ノ子供ヲ全テ喪ヒタル母親アリケリ。何レニシテ強制割当ハ家庭生活ヲ破壊スル故何トカ考慮シテ貫ヒ度キモノナリ。

【錦県】 八路ノ話デハ錦県ニ比スレバ奉天ノ邦人ハ楽天地ナリト言ヒ居リシガ、愈々出發シ二分シテ 5/6000 人ハ来奉スベシトノ噂専ラナリ。家屋ニ就キ一段ノ研究ヲ要スルコト、ナリタリ。

【川口家族着奉】 康徳被服川口常務（罷役）ノ家族在京中ナリシトコロ、本日着奉、女子寮ニ仮泊セリ。各社宅共満腹状態ナルガ新京ヨリ怎シテ来タカトモ言ハレズ大周章ナリ。他ニ佳木斯南羽又同寮ニ仮泊セリ。

※蔣経国…1910年生～1988年没。蔣介石の長男。1925年からモスクワに留学し、1937年に中国に帰国したのち政治家として活動した。

※猶太人…ユダヤ人。

◎11月10日

【大倉土木】 平和食堂造作漸ク完了。松村、田中氏ニ対シ合計 3700^円 支払ヒタリ。

同時ニ清友荘ノ座敷窓ノ板戸ヲ開閉自在ニスル様見積依頼セリ。

【廣瀬高田組】 米穀商開業ノ三人組、本日仕入ノ為資金借用方申出アリタリ。各人流〔洗〕ヒ浚ヒ 4000^円 ヲ調達シ渡ス。

【満配】 満配岡本君来訪。蘇家屯ヘ十日前満人ヲ派遣シ、麻袋及ヒ製品一部販売ヲ企テタルモ、苦力頭相手ニセズ。奉天トハ無干係ニテ自分ガ支配人ナリト潜〔僭〕称シツ、アリタル由ナリ。工場ヲ乗取ラレタカト心痛セルモ、日系ハ又安全テ居住シツ、アル様子ナレバ先ツ先ヅト安堵セリ。同人ハ会計出身ナル為カ無

闇ニ現金化ヲ焦ル風アルモ、今時苞米粉ヲ取寄セテモ怎フニモナラヌ故、寧ロ現地ニテ処分ノ上自活セシムルニ若カズ。尚同人ハ事変後 3000^円ヲ支給セルノミナレバ、燃料費トシテ 1500^円程度与へ度シト考ヘツ、アリ。志賀君ノ社宅ハ家族 Harbin へ疎開シ、跡ハカルピス社ノ社員ニ留守ヲ依頼シ現在ハ若イ連中二名ニテ守リツ、アル由ナルガ、錦県來奉ノ折ニ利用出来ルカト更ニ取調中。

【充員完了】清友荘充員計画ハ本日田中、後藤、早セノ七名移転完了シテ合計十七名トナル。此ノ引越中、避難民一名際会シ何か患投セラレ度シト執拗ニ迫リタリ。

【邦人強盗】邦人強盗ノ被害頻々ト伝ハル。前記大倉土木社員ニ侵入セルハ三人組、北陵台湾人医師宅へ侵入セルハ二人組ナリ。

【在滿同胞救出委員会内地ニュース】内地ニュースニヨレバ、当地ヨリ脱出セル満業岩井氏初メ三名ハ本日比谷公会堂ニテ講演会ヲ開催、同氏等ノ現地報告ハ相当深刻ナル印象ヲ与ヘタル模様ナリ。此レハ朗報ナリ。

此度東久迩宮殿下臣籍降下ノ意向ヲ表明セラレタリ。皇族全般延ヒテハ華族制度ノ撤廃ニ及ブベシト言ハル。

【來客一束】社員 広セ、高田、松宮、中川、西川、沖、高山、寺内、小沢。

中村、岡本、松村、田中。

※カルピス社…滿州カルピス製造株式会社、1939年7月設立。本店を奉天に置いた。

◎11月11日

【通釈大塚八郎】神代夫人ノ遠縁ナル大塚八郎氏ハ、北安国際ニ勤務中ナリシトコロ今般神代宅へ落付カレタリト聞キ、本日香川雇入交渉ニ出向ク。同人ハ京大出身ニシテ軍隊ニテ露語研究セル由ナリ。尤モ在滿中ハ軍干係ナシ。人柄良好且ツ真面目ナル仁ナレバ是非当社員ニト考ヘタルモ、家族が大連ニ在リ何レ南下ノ意向ト聞キ、当方用件有ル都度一回 200^円程度ニテ願度シト承諾ヲ受ク。何レモ筆者独断ナルガ将来ヲ想ヘバ斯ル堪能者二ノ三名ハ宜敷シカルベシ。

【來客】海辺、高橋、千葉、谷口、寄金。

会社干係ハ川口家族ノ件ノミ。康德被服ニテ住宅斡旋当方ニテ給料ノ賄ヲスル筈ナリ。外ニ当店ヨリ北京へ転任セル山内君家族モ仮ニ 300^円手交セルガ面倒ヲ見ル積リナリ。

【財閥解消】内地放送ニヨレバ四大財閥ノ Holding Co ハ解散ヲ命ゼラレ三井、岩崎、住友、安田ハ株ヲ公債ニ肩替リセラレタル由ナリ。而シテ此ノ公債ハ 10年間据置ニシテ担保物件トナシ得ズ且ツ財界ニ将来共干係禁止ヲ条件付キナリト。従而当社トシテハ寧ロ存立ガ confirm セラレタリト一同安堵セリ。

【撫順炭気強シ】撫順炭ハ現地ノ需要減少ニテ先安ヲ見込マレツ、アリタルトコロ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

最近 1300[〃] 程度強保合商状ナリ。此ノ理由ハ撫順火力変電所ノ搬出ニヨリ排水能力減シ採炭量ノ減少ニヨルハ謂ハル。

野菜類又沸騰模様。

※財閥解消…11月6日、連合国最高司令官総司令部（GHQ）が財閥解体を指令した。その主な内容は、①4大財閥の本拠である各持株会社は持株整理委員会に全ての所有証券を移管するとともに傘下の企業に対する指令権・管理権を喪失すること、②持株会社の移管財産に対する弁済は10年間換価譲渡禁止の日本政府公債で充当すること、③財閥各家は関係会社から去るとともに、各持株会社の重役も資産を引き渡した後に退任すること、であった。

◎11月12日 寒

【選鉱剤】中村氏淀町へ来宅シ兼テ諒解済ノ一万円借用シテ持ル。薄井出納課長報告旁々来荘ス。

【八路軍情報】

1. 選鉱剤ハ三井財閥ノ資本下ニ在ル故ヲ以テ中国政府没収スト八路ヨリ申渡シアリタリ。9/10
2. 中村氏ハ右ハ誤リニテ株主ハ中村、小野、田中ノ三名ナリ。元ヨリ重工業ニ非ラズ現ニ三工学院ヲ経営シツ、アリト陳辨之カメタリ。
3. 資本金一千万円払込三百万円ト申告セリ。
4. 以上ノ申入レガ果シテ聴カレ得ルヤ否ヤ不明ナルモ、十四ノ五日ノ正式決定迄凡百ノ手段ヲ尽ス積リナレバ全権ハ中村ヘ一任セラレ度シ。
5. 運動ノ方法トシテハ王実業科長下ニ在ル鉄西区主任馬氏、瀋陽区主任楊ヲ動カシ握談ス様ニ努力セシムルト言フ。

尚八路側ハ民団今日ノ親露政策ニ対シ快カラヌ由、及ビ新紙幣発行ノ場合一人当り1000[〃]ヲ限り兌換シ残余ハ不換紙幣トスル意向トカ、種々情報ノ提供アリタルモ果シ何程ノ真ヲ置クベキカ。

【設計委員会】鉄西工業復興委員会傘下ノ設計委員会ハ11/12、復興委員会ハ11/13ニ開催ノ予定ナリ。

【柴田姉妹立退】女子事務員柴田姉妹、過日新ニ就職口ヲ得テ転出セルトコロ、同住宅本日八路軍ニ接収セラレ立退ヲ命ゼラレタリトシテ泣込ミニ来タル。同人等ハ全然縁故ナク且ツ雇主モ又去就ニ迷フ実情ナレバ一先ツ淀町ヘ引取り度シト考ヘ山口ヲ同行セシム。結局立退期日ノ件民団經由折衝中ナリトテ一兩日形勢観望。

【峰家七七忌】隣家七七忌ニ出席セルニ各方面ヨリ有力者参会シ真疑不詳ノ情報有リタリ。重慶軍5000ノ入城アリ中1500ハ日系ナリト言フモノアリ。山海関ニテ中共激戦中ノ説ヲナスモノ、特ニ注目ニ値スベキハ八路ヨリ正油一升4.50、

味噌 1.50 ノ徴税告知セラレタル事ナリ。他面醸造家ニ対シ 1000 万円ノ出錢要求ノ噂アルニ合セ真ニ近シト推定サル。八路ノ総參謀長ハ林彪トテ有数ノ將軍駐奉ナリト。

【支店長廻訪】各干係者ヲ一応歴訪シタシトテ本朝寄金同行出掛ラル。扇原、小島、神代、日塔、田中春吉、岩見ノ諸氏ナリ。帰路 500 pm。満系ニ帽子ヲ掠取セラル。白地君ノ品ナリ。更ニ当莊近クニテ Hold up ヲ見テ逃ゲ歸リタルガ依然此ノ時間ハ注意ヲ要ス。

【来客】特ニナン。社内干係、高田、松宮一食料品開業ニ就キ。笹山、黒田-津久田煮売り。高橋要之助-川口家族ハ幡寮ヘ収容ノ件。ナド何レモ香川ヘ報告、相談ナリ。

【電球、砂糖】値上り間違ヒナシト想ハル、モノ二品アリ。電球ハ製造中止ニテ目下 1w1 円ノ割合、砂糖ハ市価 20⁻ヲ底値トシテ現在 60-75⁻、大口ニテ 40-47⁻見当ナルモ話許リ多ク実物ハ不明ナリ。

※林彪…1907 年生～1971 年没。中国共産党の軍人、政治家。10 月 31 日に編成された東北人民自治軍の総司令を務めた。

◎11 月 13 日

【中共戦争ノ噂】十一月五日付東北日報ニ曰ハク“何応欽指揮日軍 大挙進攻山東解放区”

津浦沿線日軍在何應欽、李延年指揮命令下、連續向我津浦前線 X 部瘋狂進攻。本月十九日、由大汶口出動日軍一一一步兵旅團杉浦大隊、於拂曉共突然向我扞〔控〕制大汶口至白天城〔坡〕間鐵路線上之部隊進攻。猛烈發砲、攻陷我雲亭山、石榴山、奶々廟等高地。云々

次ニ“國民黨九十二軍侵佔我香山防地——平郊形勢甚為緊張”

根拠不明ナレドモ中共ノ戰波ハ当地迄波及スベク、而モ来ル二十日前後最モ警戒ヲ要ト言フ。吾人ハ奉天ニ於テハ戦争ナシト見ルモ敗慘兵ノ乱行ヲ怖ル、モノナリ。現ニ八路軍ノ略奪漸増ノ氣配ニテ可成リ徹底セルモノナレバ全市ニ普及シテハ愈々凍餓死ノ続出ヲ見ルナラン。

【新貨幣ノ発行】Radio ニテ東北銀行十五日ヨリ開業ノ事。新紙幣 1.510 元ノ発行報ゼラル。国幣 10 ニ対シ 1 ヲ以テ交換スルト言フ。斯クテハ物価コノ Defle ニ伴ハズ購買力ハ更ニ減少スルカト想像セラレ憂慮ニ堪エズ。此ノ際円円パーノ借入金ハ出来ル限り返却シテ来ルベキ為替率ニ依ルガ良案ナリト考ヘラル。但シ現在ノ印刷機械乃至紙材ヨリ視テ短期間ニ交換完了スルヤ否ヤ疑問ナレバ、一応旧紙幣ノマ、保持スルヲ可トスルヤナド思迷ヒツ、アリ。

【日滿鋼材】全社重役会開催ノ結果、谷口氏ヨリ報告アリタリ。即チ満系ト tie up

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

其ノ他ノ小細エヲ中止シ一切静観主義ヲ守リ、同時ニ社員ハ一整二十一月末ヲ以テ解雇スル、経理部長庶務課長ノ如キ残務整理ニ必要ナル者ハ更ニ新規雇入レノ形式ヲ採ツテ現状ニ据置ク故含置カレ度シトノ事ナリ。

【神代氏】 同氏来訪。附近宿泊中ノソ聯軍ハ昨日全員引揚ゲタルガ残務整理ノ下級兵士少数残留ノタメ却テ治安悪化セリト言フ。各方面共移動相当ニ激シ。

【大隈氏】 大隈干係ノ（同人ノ経営ニ非ズ）パーハ愈々繁昌ニテ値上日ニ一万円ヲ下ラズ。ソ兵ノ女ヲ出セニハ附近ノ白水ト契約シテ案内スル由ナルガ、ボーイ、女給達モ難民ノ身分ヲ忘レ賢沢三昧ニ耽〔耽〕リ、果ハ主人ニ盾ヲツク有様ナリト嘆ジ居レリ。同人ノ娘ハレコードニテ舞フ度ニ数十百円ノチップアリナド景氣ノ良キ話ナリケリ。

【淀町売店】 若手連中熱心ナルモ大家連中批判許リニテ、更ニ捗ラザレバ明日ヨリ小生積極ノ乗出ス積ナリ。食堂ハ十六日頃ヨリ開始シテハト引続キ白地君大車輪ノ奮斗ナリ。

【烟草】 最近 Three Castle, Ruby Queen 等ノ高級品続々 market ニ現ハル。従来ノ商標品モ夥シキ市販ナルガ、何レモ手捲品ヲ詰メタルモノ許リニテ油断ナリ難シ。式級品ト称スモノハ卸 3.00 見当、小売 5⁻ ナリ。Westminster 10⁻、其ノ他外国モノ略同様。

（高橋、林宿泊）

※東北日報…1945年11月に奉天で創刊された、中国共産党中央東北局の機関紙。

※Three Castle, Ruby Queen, Westminster…啓東煙草が製造した煙草の銘柄。中国大陸で高級煙草として広く親しまれた。啓東煙草はイギリスの英米煙草会社（British American Tobacco Co., Ltd.）より1931年に分離して設立された会社で、奉天に大工場を有していた。

◎11月14日

【日満鋼材】 日塔、田中春吉、両氏来訪。八路系ハ財閥所有工場ハ没収スル意向ナルノミナラズ、満重干係モアリ軍人出身ナルト協和会ニ干係者ナリトノ理由ニ依テ、渋谷社長ニ此ノ際引退願ヒ三井色モ払拭スルタメニ谷口、小野兩人モ引退セラレ度シ、但シ此レヲ日塔自身ヨリ申出ルハ具合悪キ故何トカ自発ノ願度シトノ申出ナリ。即チ旧株主名簿ニヨリ大株主ハ三機工業ナル PRIVATE CO トシテ類被ルト言フ話ナリ。

当方谷口ヲ呼寄セ日塔ヲ除外シテ懇談ヲ重ネタルガ、日塔氏ノ公私混済〔濁〕ハ従来トモ不変ラズ現在モ宅費二千円、石炭其他モ全テ社費ニテ賄フ状態ナリ。

斯クテ経費ノ節減ヲ主張シ得ザル立場ナルベク、渋谷氏ハ老齡ナリ、從來ノ経歴モ既ニ取ル足ラヌモノナリ。町工場ニ墮シタル同社ノ重役ヲ強イテ変更スル必要モナカルベシ。重役無報酬トシテ据ハル分ニハ大シテ障碍ナカン、寧ロ経費ノ検討ニヨリ極度ニ節費シ渋谷氏ニ意向ナケレバ現状ニ宜敷シカラント意見一致シ、改メテ役員会開催決定トセシトテ散会。

【平和食堂】造作全テ完成セルニヨリ拙速ニテ 17 日ヨリ開業スル方針ナリ。本日出資者谷口 1000、海辺 500、高橋要之助 500 ナリ。附近ニ連日八路ノ Dabai 有り、本日ハ西村家其ノ他二／三アリタリ。

【淀町売店】高田、広瀬、兩名ヲ伴ヒ中野酒店ニ至リ愈々仕入レヲ開始ス。不取敢味噌、正油各二樽ヲ引取ル筈。資金干係ハ淀町ニテ自給シテ貰フ積リナリ。

【ソ聯引揚】ソ兵ハ十七日□廿日迄ニ全面的ニ引揚ゲル故、此ノ期間ハ特ニ注意アリタシ、ト分区ヨリ回報アリタリ。支店長社宅ニハ透サズ学生ヲ入レル積リナルガ社屋及ビ三井寮ハ司令部ト共ニ更ニ後レルカト想ハル。

【資金調達】調達ニ香川、入江洋服店ニ出向キ主人ニ面接シ急談ス。同家ハ満蒙百貨店ノ隣ナルガ mob ノ跡其假ニテ実ニ悲惨ナル状況ナリ。目下ノ手許金ナシト謂フモ、条件其ノ他ヲ沸々訊ヌルトコロヨリ見テ全然絶望ニハ非ザルベシ。田中春吉氏ニモ依頼セリ。

【東北日報】東北日報ニハ依然各地ノ中共戦況アリ。蔣介石ヲ断護スル声又多シ。

【來客】日塔、田中、神代、谷口、寄金、林、高橋、室谷、岡本

【中川浩ニ帰ル】兼ネテ平壤ニ滞在、爾來消息不明ナリシ中川代理ノ次男浩二君、同輩二名ヲ伴ヒテ帰ル。父親ハ欣毘雀、一同又死者ノ甦リタル悦ビヲ感ジタリ。同人ハ某重役ノ世話ニテ安東ニ約一ヶ月滞在セル由ナリ。同地治安ハ良好ナリト。

※協和会…1932年7月に発足した満洲国唯一の政治団体。名誉総裁に溥儀、会長に國務總理鄭孝胥、役員に各部大臣や日系高級官吏が就任した。住民全員を会員とし、国民動員の組織として役割を果たした。

◎11月15日

【日滿鋼材】渋谷社長ハ元來本店ノ許可ヲ得テ決定シタコトデモアリ昨日日塔氏申出デノ理由デハ簡單ニ退社ヲ求ムル訳ニハ不參、三井色払拭ハ良シトスルモ（谷口後退）同氏ハ一応モ二応モ留任ヲ求ムルガ至当ナレバ、本日谷口ヲシテ当方意向ヲ伝ヘタルトコロ、同氏モ感激シテ無給ニテモ将来変ラヌ尽力ヲナス決意表明セラレタレバ、三井ノ意向ハ現役員留任経費ノ極度ノ節減ヲ以テ進ム事ニ取纏メ、來ル役員会ニ望ムコト、ス。谷口引退ノ後ハ支店長代理トシテ引続キ最重方針ニ參割セシムル方針ナリ。機械類搬出ニ当ツテ渋谷氏独リニテ活躍セラレタルヲ思ヘバ、日塔氏ノ如ク漠然ト顔出スルヨリハ難局型ナルハ言ヲ俟タズ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【ソ聯撤退】ソ軍ハ漸次撤退シツ、アルガ、後釜ノ八路軍ヲ想ヒ少ナクトモ日系ハ寧ロ残留ヲ希フモノアリ。満系ハ特ニ其ノ意向強キガ如シ。三井社屋ノ撤退モ近々ナルベシトノ噂アリ。恐ラクソ聯ヨリ八路へ switch サル、想ハルモノ、先ヅ男子数名ニテ這入り度キモノナリ。明日公安局ヲ訪ネテ見テ黄副局長乃至馬服長ニデモ頼ミ込ム積リナリ。

【避難結婚ト満系ノ求婚】避難者ノ中、主人ノ応召セルモノ或ハ行来不明ノ婦人ニシテ避難中ノ男子ト temporary ニ結婚セルモノ多シ。同時ニ満系ニテ妻ニ之等婦人ヲ求ムルモノ又想像外ニ多数ニシテ、其ノ斡旋ヲ依頼サル、場合多シ。現ニ小島代理ノ如キハ染物商人ニ熱心ニ口説カレタル仲間ナリ。建物ハ欧米、食事ハ支那、女ハ日本トハ彼等ノ理想ニテ、此ノ際ニ物ヲ具備セントスルモノナルカ。何レニシテモ避難者ノ集団スル学校附近ハ品定メノ満系終日黒山ナリ。

来客 谷口

◎11月16日

【社宅八路軍占領】本日ハ多事ナリキ。兼テ懸念セル如ク社宅使用中ノソ軍ハ本日引揚ゲタルガ、全テ八路へ switch セラル。初メ中村氏附近通行セルトコロ、留置所ノ目隠シ除去セラレ満系盛ンニ出入セルヲ目撃シ通報シ来タル。中川、根来兩名 watch ニセルニ正シテ引揚ゲタリトノ報告アリタリ。少時シテ高橋庶務課長セメテ察ナリトモ見度シト出向キタルモ、軍人多数現ハレ不気味ナルタメ引返シタリ。

昨日支店長ト予想セル最悪ノ事態発出セル次第ナリ。

【錦県支店引揚】錦県支店員家族、遂ニ引揚ゲ来タル。馴染ノ木下、廣瀬、六角ノ男子三名ニ婦女子23名、計26名ナリ。大部分応召者家族ニテ、既ニ何度カノ掠奪ヲ受ケ恵投品ヲ以テ辛シテ寒ヲ凌ギタリト言フ。幸ニ列車中ニ被害ナカリキ。一先ツハ幡寮ニ落付キ木下、廣瀬兩名来荘、宿舍其ノ他万般ノ配慮願ヒタシトノ申出デアルモ、既ニ夕闇モ迫リタレバ兎モ角本日ハ八幡寮二間ニ仮伯シ明日全寮長合議ノ上決定スルコト、セリ。

横原氏ヨリハ別紙ノ通来状有り。実ニ十三名、合計四十名ニ近キ大家族ナレバ今日ノ如キ逼迫下デハ仲々住居スラ満足ニ手配致難シ。不取敢支店長社宅ト考ヘ早速出向キタルガ、偶々ソ將校在宿中ニテ空シク帰りタリ。

【日滿鋼材・八路軍情報】渋谷、谷口兩氏来荘。先般ノ当方申出デニ対シ（日系所有品没収）渋谷氏欣然トシテ留任ヲ承諾、当方ノ厚意の申出テ対シ挨拶ノタメナリ。全氏ノ情報デハ何レモ悲観的ニテ、特ニ八路軍ハ日系ニ対シ最少限ノ生活必需品タル鍋釜ノ炊事道具及ヒ寝具、衣類以外ハ一切押収スル意向ナリト言フ。他

方満系側モ最近実施ノ戸別調査ニ基キ 18~100 才迄（又ハ 45 オトモ謂フ）ノ男子ヲ徴集スル予定ナリトノ噂有リ。此又戦々兢々然タリ。

（軍用品没収）日系ノ所有スル軍用品一切ハ此レヲ没収スルトテ先般来各方面ヲ家宅搜索シツ、アリ。笹山氏ノ隣組デハ自発ノ二供出スル故待ツテ呉レト目下大至急整理中ナリトテ夫妻繁忙ヲ極メツ、アリタリ。神代宅ニテハ誤解ヲ避ケルタメ kaki ハ黒色ニ染更ヘツ、アリタリ。

吾々トシテハ襦衣、靴下其ノ他ノ防寒品ハ春日町ニテ満系ヨリ買求メタル品ナリ。且ハ現在堂々ト販売中ノモノナルガ此ヲモ又供出セシメラレテハ真ニ一大影響ト言ハザルヲ不得。

【レニングラード】一ツ將校ノ談ニ依レバ、レニングラードノ攻防ハ真ニ苛烈ヲ極メ六才以下六十才以上ノ幼老ハ何レモ自ラノ手ニテ殺害、全テヲ戦場ニタ、キ込ミタルモノナリ。之レニ比スレバ現在日系ニ対スルソ聯ノ待遇ハ極メテ優遇ト言ハザルベカラズト。被待遇者トシテ吾人ノ見方ハ別トシ、以上ガ事実トセバ能ク人類ノナシ得ザルヲナス。彼等ニ既ニ勝機ハ在リタリト謂フベシ。

【平和食堂】明日開店披露、明後日ヨリ正式開業ト定ム。

【来客】満糖中村、渋谷、中川、薄井、谷口、高橋。中食

香川、後藤、神代氏宅一泊。

〔無印書簡箋〕

昭和二十年拾壹月拾貳日

奉天支店長 小野硝介殿 羽原義雄〔赤字サインカ〕

拝啓 時下貴台益々御勇健ノ段奉賀候。扱々

当地情勢ヨリ推移シ此程当社関係第一次引揚者式拾貳名（内青島店関係者小川君家族參名、張家口関係者諏訪君家族貳名、選鉱社関係者広瀬君家族六名）木下、広瀬ノ兩名ヘ引率致サセ、不取敢御地向ケ本朝出發致サセ可申、貴店御関係家族御統帥ニ御腐心中ノ折柄甚ダ迷惑千万ノ儀トハ存候得共何卒貴店御関係者全様御保護御指示等万端宜敷ク奉懇願候。

当地事情等ニ関シテハ広瀬、木下ヨリ御聴取被成下度小生ハ後便ニテ残留全関係者拾參名引纏メ引揚ケ度所存ニ有之候間其節ハ此亦宜敷□御願申上候。

尚新京店トノ御連絡相付キ候節ハ高見監督殿ヘモ右当方事情可然御伝言願フレハ幸甚ニ存候。

先ハ不取敢御依頼申上度無判ニ御座候。 匆々

◎11月17日

【錦組収容ノ打合】淀町谷口、薄井、女子寮海辺、高橋、八幡寮笹山、錦組二名ヲ召集、打合セヨ行フ。此レヨリ香川、江ノ島町西村家ヲ早朝訪レ借屋ノ交渉ヲナス。千葉氏以来ノ事ナレバ既ニ医師ニ借ス様子ナレバ断メテ八幡寮ニ向フ。営口組全員ニテ炊出シノ最中ナリ。何レモ旅ノ疲レトヨゴレニテ見ル影モナシ。人員名簿ヲ貰受ケテ帰ル。

（支店長社宅）支店長社宅ニ立寄りソ将校ノ立退キ模様如何ト見レバ、既ニ出発間近キカビールヲ少数残セルノミ。大塚通積活用ノ好機ト思ヒ、早速同将校ニ会见ヲ申込マシム。午後二ノ三時来宅トテ大塚氏ヲ出迎ヘニ来タルモ留守。結局要領ヲ得ザリシモ十八ノ九日頃ノ如シ。

（満配社宅）満配滋賀ノ留守宅ハ家族ハルピン疎開中ニテ目下G.P.U.居住中ナルガ、此ノ方モ引揚ヲ視ヒ満系ノウロウロスル者多シ。岡本君心配シ隔日位ニ様子ヲ見ニ行クガ、幸ニ留守番ト当局好干係ナレバ何トカ巧ク行クナラントノ事ナリ。此レモ学生連デモ派遣ノ要アルベシ。

（分宿）会議ノ結果決定セル事項

- 1) 一括収容出来ヌ場合ハ一部ヲ淀町ノ桂家ヘ、他ハ八幡寮ヘ収容ス。
- 2) 支店長社宅OKノ場合ハ追而全員ヲ移ス。
- 3) 北川氏ヨリ申出アリタル大正海上社宅ハ目下明〔空〕屋ナルガ一度懇談スルコト。

（大正海上宅）中川、根来ニテ北川氏宅往訪セル結果、ソレハ結構ナリ、早速這入ツテ呉レトノ話ナレバ、此レニ一括住込ミ営口組同様自治セシメテハト大体意見ノ一致ヲ見タリ。

（布団）早速必要ノ布団ハ清友荘、女子寮、淀町ニテ座布団ヲ供出シ、2、3、5、ノ割合ニテ至急敷布団ヲ作成、寄贈スル。掛布団ハ現金ヲ支給シ同人等ニ造ラシム。

（炊事其他）炊事ハ不取敢共同炊事トスルコト。Cashハ支店長来奉迄笹山氏ニ監督セシム。

【平和食堂】平和食堂開始ノタメ披露ヲ兼ネ干係者顔合セヨナス。根市、今泉何レモ断リ、結局久保川、西村二手伝ハス。日系ノ乞食アリ、物売アリ、初日ハ相当多忙ナルベシト話シタリ。

【来客】多数。食事七ノ八名。

◎11月18日

【錦組移転】大正海上社宅ヘ移転完了シ、淀町、女子寮ヨリ座布団ヲ届ク。当荘ヨリハ支店長、田中、見舞ニ出向キ現物少ナキタメ現金ニテ寄附シテ帰ル。一同

当店ノ連中ト異リ自活ノ経験モアリ確信モ有り。而テ小供達モ何レモ明朗ニ育チツ、アルハ感ズベキナリ。

【平和食堂】愈開業ノ段取りトナル。支店長初メ各方面ノ干係者続々ト来店。相当ノ賑ヒナリシモ一般ノ客ハ僅七ノ八名ノミ。西村ガ主トシテ Service ニ当ルモ手不足ニ付キ国際ノ疎開者ヲ二名雇入ル。大塚八郎ノ紹介ナリ。ソ兵二組來レルモ酒ナキタメ帰ル。何レモ体〔態〕度不安ナシ。店頭ニコリントゲールヲ出シタルガ此レハ成功ニテ一時間平均出五円ノ収益ナリ。

【八路紙幣】東北銀行ハ各方面ニ開店シ、修幣（国幣）10円ニ対シ1元ニテ交換シツ、アリ。且布告セラレタルモ何人モ交換ニ応ゼザルガ如シ。錦県辺リニテモ全然信用ナシ。change ヲ出スヨリハ品物ヲ取ラレルニ不然ト無料進呈ノ有様ナリ。民会ニ対シテモ本日七十万円ヲ差上シ、難民救済費トシテ使用セヨ、依ツテ国幣三十五万円ヲ逆ニ供出シテ呉レトノ依頼ナリ。即チ七百万円ニ三十五万円ノ取引ナルモ実情ハ斯ノ如キモノナルベシ。八路ハ一円程度ノ小額紙幣ヲ使用シツ、アリ。何レヨリ入手セルカ疑問ナルモ面白キ現象ナリ。除隊兵ノ応募セルモノモ相当アリト漸次各方面ヨリ確報アリ。

【中共干係】奉天 Radio ニ曰ハク、国民軍 100 万、国民政府軍 15 万、其ノ他合計 175 万ニ対シ、共産軍 260 万ヲ以テ各方面ニテ戦斗中ナリ。共産軍ハ内戦反対、美国ハ干涉、日軍使用反対ト宣伝シツ、アルガ、京漢線、津浦線ヲ沿ツテ中国軍ハ北上シツ、アリ。右ハ共産独特ノ宣伝ヲ加味シツ、アルガ、何レニテモ両者ノ妥協ハ至難ノモノ、如シ。

【味ノキ】中江母子、隣家ニ一杯屋開業。支店長ヨリ金一封ニ対シ夜食ニオデン多量ニ返礼アリタリ。仲々繁賑ノ様子ナリ。

【来客】神代、高橋、寄金（夕食、朝食）

【対案】中村氏ノ話ヲ参考トシテ、八路軍來訪ノ場合ハ家内ノ搜索ヲ断リ、現金ガ要ルノナラ集メルカラト男子全員ヲ集メ各自ノポケットヲ全部ヲ集メ寄附スルガヨロシ。左スレバ他ニ波及セズ感謝シテ帰ルガ普通ナリト。此ノタメニハ通常ヨリ適当額ヲ用意シ置クガ望シキ次第ナリ。

※東北銀行…1945年10月に中国共産党がハルビンに設立した銀行。

※津浦線…津浦鉄道のこと。1912年に全線開通し、天津と南京対岸の浦口を結んだ。

◎11月19日

【平和食堂】第二日ハ会社干係激減セルモ、満系其ノ他一般人ヲ併セテ昨日ト略同数。実質本位ニテ好評ヲ博シツ、アリ。赤十字マークヲ附セル日本兵三名來タリ、二人前ヅ、平ゲタリ。日常ハ高粱粥ヲ常食シツ、アル由ナリ。海辺次長、酩酊氣

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

味ニテ食事シ不払ヒニテ帰ラレタルハ初メテノ喰逃ゲナリト呵々ス。

【選鉱剤】 接收セラレタルモ此レハ没収ト異ルト言フ。結局中国ノ Super pize ノ下ニ経営スルト言フモノノ如シ。錦阜歸リノ廣瀨ハ工場警備ニ当ルナラバ工場へ、商内希望ナラバ英町ノ中村宅一部ヲ提供スルト言フ。

【蘇家屯満配ヨリノ連絡】 太田、井船、植田ノ三名連絡ノタメ来堂。一応事情聴取ノ上、太田ハ岡本宅へ、他ハ当荘ニ泊ル。蘇家屯方面ハソ兵侵入当時ハ相当ノ乱行ナリシモ漸次平静ニ歸シツ、アリ。目下ソ兵極少数ニテ八路軍多シ。此等モ現地召集兵ガ主トナツテ掠奪スル程度ナリ。尤モ mob 時代ハ当地ト更ニ変ラズ。幸ニシテ満配工場ハ未ダ被害ナシ。目下手持原料 1000 屯程度ヲ以テ製品トナシ一袋 40-50 程度ニテ売却シ、苦力頭ト協力シツ、比較的円満ニ運営シツ、アリ。

苦力頭ハ製品ノ売揚金ハ日系ニ渡ス必要ナシト公安局員ガ公言セリトカ、今後ハ日系ハ苞米ヲ、吾々ハ米ヲ喰フトカ、種々暴言ヲハキタリシモ幸ニ太田ノ指導宜敷ヲ得テ大過ナシ。常備苦力四名、請負苦力十二名、日系四名、応召者家族宇部三名、浜矢四名、合計二十七名。此ノ賄ヒハ容易ナラザルモ現在迄ノトコロ食糧全然不安ナシ。明春ハ両名ニテ五ノ六反歩米作シタシト言フ。

滋賀、特ニ岡本ノ遣リ口ニ甚ダ迷惑ノ点アリ、為ニ苦力頭ハ岡本ヲ相手ニセズ。勿論同人ヘ仕送り、其ノ他援助ヲ好マズ。何レニシテモ現在迄運行シツ、アル唯一ノ子会社ナリト謂フベシ。

【瀋陽保安隊公布】 日本国民ニ告グトシテ例ノ通り軍、財閥ヲ敵トスルノミ。汝等ハ戦争犯罪人ヲ摘発セヨ、軍用品ヲ供出セヨ、此ヲ避難民ニ与フベシトアリタリ。

【豊数調査】 分区ヨリ豊数ノ調査アリタリ。当荘ハ三十六豊トシテ糶工室四豊及ビ事務室八豊ヲ扣除シテ申告セリ。

【華北日本兵】 本日ノ Radio ニヨレバ華北ヨリ隔日ニ 1500 名ヅ、内地帰還中ノ由。

【来客】 千葉、中村、寄金、薄井、室谷、寄金、寺内、植田、井船。

〔タイプ印刷物〕

日本居留民諸君！

瀋陽市を保衛し、治安維持の責任を有する我が瀋陽保安隊は日本人に対する態度並に其の政策を茲に表明す。

日本帝国主義者は過去に於て狂人的侵略行為を我が中国に加へ、中国人民を屠殺して来た。

是れは吾々の凶悪な敵である。然し我々は決して日本人民を敵としては居ない。我々の敵は日本軍部、大財閥即ち現在の日本戦争犯罪人である。彼等は自己の私欲慾と野望のために、此の凶悪な戦争をひき起したのだ。日本人民と中国人民との間には何等の戦ふべき理由、原因もなかつたが故に日本人民は中国人民を仇敵として

憎悪してゐたのではなく、亦戦争を喜んでゐたのではない事を吾々は知つてゐる。日本人民は軍部及政府の命令でやむなく、軍隊に入れられ、戦場に送られ、強制的に闘はされてゐたのであり、莫大な犠牲を払はされてゐたのである。故に我々は日本人民が負はされたこの犠牲と苦痛に対して大きな同情と理解を抱いてゐる。現在瀋陽市には数千数万の日本避難民が食糧も衣類もなく、亦燃料もなく、寒さと飢に苦んでゐる。是は戦争がもたらした。具体的な苦痛の一例である。この戦争がなかつたなら、日本人民は決して今日の様な悲惨^マ目に遭ふ事はなかつたのだ。諸君も今身を通して痛切にその事を体験しつつあらう。

日本居留民諸君！

諸君が我が人民の政府の法律政策を遵奉し新たらしき東北人民社会の建設に協力するならば、我が人民の軍隊は亦、其の民族の如何を問はず諸君の生命、正当なる個人財産を保護し、正当なる各種工・鉱・農・商業の営業を保証するものである。それがために日本居留民は目前何をなすべきか？ 諸君は齊心協力、我が治安維持を補助し、隠匿せるあらゆる武器軍用品を軍に献納して、始めて不逞の徒が時に乘じて破壊を企てむのを防ぎ、全人民の安全を保つ事が出来るのである。

同時に諸君は徹底的に日本ファシストの残存勢力消滅に協力し、亦戦争犯罪人の調査をなす責任を何人もの負ふべきであり、亦其の財産を没収し、日本避難民の救済に充つべきである。戦争犯罪人の財産は略奪から得たものである。是中国人民の血と汗であり、亦日本人民の血と汗である。故に是を没収し、彼等の犠牲となつた日本避難民を救ふ事は当然である。現在遼寧省政府は既に多額の金銭と多量の糧穀を提供し、日本避難民の救済に努力してゐる。然し日本人諸君自身も努力し、積極的に戦争犯罪人が隠してゐる^マ多量の財産の発見没収に協力するならば、更に充分な救済がなし得るのである。我々は人民のために服務する軍隊である。我々は日本人民の民主的政府建立の一日も速ならん事を希望し、亦日本人民と密接且堅固なる^マ友誼を保持せん事を切望するものである。

- 日本軍部ファシストの残滓を撲滅せる
- 武器と軍用品と供出せよ
- 戦争犯罪人の財産を彼等の犠牲者、日本避難民に与へる！

瀋陽保安隊司令部・政治部

◎11月20日 薄井、室谷、来荘。用件ニ就キ懇談。

【平和食堂】第三日ハ愈々会社干係ナシ。朝食用意ノ都合モアリ当荘デ仕度ハ時間区々トナル干係上、今日ヨリ食堂出勤者及ビ高橋、田中長女（訓導）ハ食堂ニテ朝食ヲトル事ニ定ム。経済トモ桜トモナル次第ナリ。珈琲ノ希望者弗々表ハルモ、一杯五円ノ採算トナリ些カ氣ガトガメ本日モ二／三断リタリ。

【米価暴騰】 中共戦況ノ白熱化ニ伴ヒ八路軍ノ移動激シキタメカ、太車払底シ米価ハ暴騰シツ、アリ。昨日迄4.40~4.70見当ナルガ今朝ハ7、北陵方面ハ8ト強張り小口需要家殺到ニテ愈々天井不知ナリ。軍用手袋モ25~30ヨリ50ト跳躍、啞然タル有様ナリ。所謂換物思想ノ顯現ナルカ。

【コリントゲーム】 淀町ヨリ山海関寺内ノ応援ヲ求メコリントゲームヲ営業セシメタルトコロ、満人小仔ノ巧者現ハレ大分ノ損害トナリタリ。此ノ中不逞ノモノ代金不払ナリシタメ詰問セシトコロ、遂ニ捻込ミ来レルニハ吃驚。全ク彼等ノ逆上振りニハ啞然タルノミ。

【飲食店組合】 住吉町銀館ニテ飲食店組合ノ総会アリ。一同先ヅ公安局ニ対スル寄付金ヲ持寄り、訓辞セル公安局長代理ニ贈呈、議事ニ入ル。本日ノ特記事項ハ右代理ノ施政方針ナリシガ、結論トシテ現在日系400、満系400、合計800軒ノ業者アリ、尚続出ノ勢ナルガスル多数ヲ必要スルトハ考ヘザル故何レハ整理ヲ求ムルヤモ不計、從テ多額ノ資金ヲ投入シテ新現営業スルコトハ差支エヲ希望スル。以上同氏個人ノ意見トシテ述ベラレタルガ恐ラク当局ノ意見ヲ代表スルト見ラル。

【公安局派出所】 開店挨拶ノタメ金一封ヲ以テ白地ト共ニ出向ク。所長ラシキミツ星“吾々ハ人民保護ノタメ働イテキルノダ”ガ“此レハ貰ツテ置ク”トテ上機嫌ナリキ。仲々楽ニハ非ラズ。

【太田、井舟、植田】 三名出發、徒歩ニテ蘇家屯ニ向フ。出發前太田、岡本、支店長ト更ニ懇談セルモ結局現状ノ如ク苦力頭ヲ奉ツテ進ムヨリ他方法ナキ次第ナレバ、何レ機ヲ見テ苦力頭ヲ伴ヒ来タリ、支店長ヨリ良ク話置クガ最良ナルベシトシ、兩名ノ感情ハ一切水ニ流セト話シタリ。菅野雇員^{マツ}ニ行跡ハ些カ見兼ネルモノアルニヨリ、本日筆者ヨリ出状シ苦言ヲ提〔呈〕シタリ。

【強盜】 日系大人組ノ強盜1.00AM(11/21)峯家ニ押入ル。隣家ヨリ逃出シタル除隊兵一名、女教師一名、早速当方ニ急報セシ模様ナリシモ、開ケル訳ニモ不參、岸原夫人ハ最初ノ音ニ石鹼ノマ、風呂ヨリ飛出ス騒ギナリ。此ノ連中ハ余程悪質ラシク特大ノ釘抜ニテトタンヲ破リ侵入セリ。西村君外飛出シタル連中モ見張りニ捕ヘラレ、“一人位バラセバラセ”トカ“ドコヘ逃グタ”ト太刀ヲ振廻ス連中ニハ震エ上リ、斯様ニ御難続キデハ命ニ懸ハルト転宅ノ意向ノ如シ。女主人ハ刀ニテ肩ニ負傷セルモ頑トシテ金ハ出サズ、従妹ニ口説カレテ漸ク二千円程出シタリト言フ。慾モ茲ヘ来ルト恐シキモノナリ。

【大内夫人出産】 大内夫人去ル十六日医大病院ニテ男子分晩、母子共ニ元気ナリ。見舞ニ出向キタルトコロ、附添モ手不足ニテ炊事モ自分デスル有様ナリ。且ハ戦況懸念ヨリ病院モ至急退院ヲ望ム故ヲ以テ明日ヨリ帰寮シタシト言フ。早速手配スル。淀町一泊。

◎11月21日 峯へ返金

【諸物価奔騰】小運送機関ノ払底ヲ転機トシテ諸品暴騰ヲ続ケツ、アリ。就中米価八十円突破ノ勢ナリ。当方モ相当節米ノ必要アリ。一同鳩議シツ、アリ。

【淀町】浅野イサミ母子本日退寮申出アリ。規定外若干ノ涙金ヲ追加シ井上、寺内、高山ノ諸君引越ニ応援ス。同全人モ寮母トシテ就職スルモノ、如シ。ステ炊事師其ノ他中老年ニシテ当方足手纏ヒノ者殆ト片付ク。案ズルヨリ安キ例ニ洩レズ。

【中共情報一束】重慶側要人モ弗々潜入シツ、アリトノ噂ニシテ、中国側接近セバ一挙ニ内応旗上ゲシテ八路ヲタ、キ潰スト言フ中々勇シキ希望談アルモ、ソ聯又続々引返シ茲数日一万二千名ニ達シタル程ナレバ此又簡單ニ參ラザルベシ。何レニシテモ戦歌〔禍〕ノ波及ハ市民焦眉ノ心痛ナリ。

一部ノ伝フル処ハ市内散在ノ旧日軍ハ一部八路ニ編入セラレツ、アリ。同時ニ重慶側ト結束シ此レガ原動力トナツテ或ハ一擲ニヤルノデハアルマイカ、然モ今日明日ノコトナルベシ、成功スレバ日系ニ対スル考ヘ方モ取計ヒ方モ変ルベク失敗セバ更ニ苛酷ナル情況下ニ入ルベシト。此ノ成功ハ新京、鞍山、失敗ハ安東ト夫々前例アリト言ハル。真疑元ヨリ不明ナレ共、過般来廿日頃ニハ何かアルト專ラノ噂ナルハ此ノ辺カ出所カト想ハル。

八路ノ主力ハ十五ノ六日ニ北陵ニ集結南下シ一部警備部隊ガ駐奉スルノミナルガ、昨今再ビ入込ミツ、アルナド全般ノ情況ハ一切不明ナリ。唯中央軍ガ北上中ナルコト、中共妥協ニ干シ兩者間ハ勿論重慶、モスコニーテ会谈続行中ニテ何レ折合フベシト考ヘラル。

【淀町売店】淀町ノ売店引当ニ正油二樽、味噌一樽ヲ仕入れ、広瀬、高田、松宮ノ三人組搬入シ来タル。現物整エバ御用間商内ニ進ム積リ。

【相談】田中、室谷、中川、谷口ト種々懇談。警備員トシテ毎日男子ヲ門ニ立哨セシムルコトハ屋外ニ働クチャンスヲ奪フカラ、寧ロベル代用品ヲ作ルカ専門〔門〕警備員ヲ設クルニ若カザルベシト提言セリ。室谷氏ノ意見ハ雇員級モ弗々解雇ノ言渡シヲシテハ如何ト言フ。各人ノ計画具体化ノ状況ニ伴ヒ一段ノ決意ヲ促ス意味ニ於テ一ノ二ニ表現スルハ又止ムヲ得ザルカ。

【神代宅將校】神代宅附近ニソ聯將校多数夜宿ヲ開始セリ。同氏宅ニハ大尉二名、一ハ四十才ナリ。飛行干係ニテ新蘇州、安東ニ駐屯セルガ婦国ノ途中下車シ暫ク滞奉ノ命ヲ受ケタリ。(アメリカガグズグズ言フノデ)兩名共帰心矢ノ如キモノアリ。何レモ召集將校ノ如ク技術員ナレバ極メテ紳士的ナリ。幸ヒ大塚八郎氏アレバ此ノ通釈ニテ充分ニ意思ガ伝ハリ仕合せナリ。同氏工場主ナリシモ MOBニテ全テヲ失ヒ失業者ナレバ待遇ハ出来ヌコト、寢具其他ノ面倒モハ不十分ナリト申出タルトコロ万事自分ニテ処分スル、ストーブ用ノ石炭モ持ツテ来ルトテ、早速三屯程積来セリ。万事好都合ナリト同氏愈々満悦ノ態ナリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

情報一束

十一月十一日付高見氏ヨリノ来状ニヨレバ大塚清三郎氏ハ同日朝日寮ニテ死去、哀悼ノ至リト言フ。

○邦人財産制限ノ噂

ラヂオ放送サレタトノ前置^{ママ}ニテ”在留邦人ノ財産ハ5000^円ヲ限度トシ余リハ戦債引当トシテ没収シ此ニ対シ^{ママ}帰国後日本ニテ領収スル様中国政府ノ領収証ヲ発行スル。

○各所ヘソ兵駐屯

ソ兵再入ニヨリ中学、商業其ノ他学校ノ開渡ヲ要求サル、モノ多く、再ヒ閉校スルニ至タル。個人ノ住宅モ又全様ニテ神代、日塔宅ナド新規ニ泊込マレタルトコロ多シ。

○八路新紙幣ニ就キ

新紙幣ハ弗々市場ニ現ハレツ、アルモ依然信用ナシ。八路軍自身モ殆ト使用セズ、一般ニ視ルトコロデハ彼等モ真面目ニ通用セシムル意思ナキモノノ如ク、既述民団ヘノ寄附金ノ如ク昨今ハ鉄西工場地帯ニ於テ運転資金ト称シ五萬元ヲ交付セルガ、間モナク八路兵（別派）来タリ此ヲ強奪シ去リ、而シテ後半金ノ二万五千元ノ国幣ヲ差出セト強要セシ例アリ。交付派ト強奪派トノ連絡ノ有無ハ別トシ、八路ハ工場ニ対シテ資金ヲ出シタリト称シ工場ヲ買取スル積リナルカ、無償没収ノ形式ヲ避ケル積リナルカ。

○安達ノ災難

保険ブローカー安達宅ニ某公安局官吏過日來閱。メリケン粉ナド親切ヲシテ持来リツ、アリシガ其後泊り度シト泊込ミ、アゲクノ果一人子供アレバ夫人ニ吾ガ子同様ニ育テト此ノ迄引込ミタリ。ウツカリ物ヲ貰フナドハ考ヘ物ト沁々話居リタリ。

○新京物価

11/11 米 2.50 アワ 1.50 高粱 90-1.20 日本酒 120^円 白酒 60^円 白糖 51^円 赤糖 47^円 豆腐 2^円 烟草南風 20^円 前門 11-12^円 ラクダ 11-12^円 石炭 1200^円-1500^円

○ソ聯ノ八路干係

ソ聯ノ歸奉ハ八路ヲ応援スルタメカ、逆ニアメリカ乃至支那側ヨリノ要求ニテ重慶側ト引渡シ完了迄駐屯セヨトノ依頼ニヨルモノカ不明ナルモ、今日辺リハ八路軍ヲ市外 25 キロニ撤退セシメタリトノ噂アレバ、扱テハ重慶側（米国）ニ遠慮シタノカト推定サル。

○スターリン死去ノ噂

満大ノ満系教授ヨリノ噂ニヨレバ、スターリンハ突然死去シ再ヒ革命ヲ予想セラル。従ツテ軍票類ハ早速使用シテハト。随分飛ンダ話ヲ室谷氏ハ早速軍票ヲ使ヒ

始メタリ。

○子供売買

日係子供売買ノ標準ハ1斤30^マナリト難民ノ話ソマ^マ。婦人モ五ノ六人グルニナリ一回50^マ程度ニテ出張中ナリ。

※中央軍…蔣介石直系の軍隊。

〔満洲選鉱剤株式会社野紙〕

十一月十一日

小野様 高見

其後いろノ^ノと御奉勞のこと、存じ候。お互に生活問題に頭をなやますことに有之候。当地無事なれど何等の展開を見ず焦慮致し居り候。

克山より岩崎、大上帰着仕り候。大上は疲労とその他にて病気の為め本日朝日寮に於て死去仕り候。誠に御気の毒に候。

末筆ながら御元気の程祈上候。

◎11月22日

【平和食堂】早朝八路十名来タリ。廿名分ヲ注文セルヲ初メ仲々ノ賑ヒニテ朝食ハ売切レタリ。午後公安局員ト称スル男、調査ノタメト称シ威張り散ラシタルガ公安局派出所へ挨拶セル故内容御承知ノ筈ナリト答ヘタルニ、周章テ、走ルガ如ク去リタリ。鮮人カト思ハレタルガスル手合漸増ノ様子ナリ。

【来客】神代、千葉、寄金、中食ヲ喫シテ帰ル。高橋要之助家族、原口、廣瀬兄弟、高田、松宮、久保、伊原ノ二夫人。

【女子寮立退】夕刻海辺、根来来訪。本日ソ聯将校通積ト共ニ来タリ、兵士50名ノ宿舍ニスル予定ナレバ五日以内ニ立退ケト言渡シタリ。根来応待シ当団体ハ三井寮ヨリ退去セシメラレタルモノナレバ再考ヲ願出タル処、ソレデハ暫ク待ち追テ返事スルトテ保留ノマ、帰リタリ。

兩名ノ報告ニヨリ早速相談シ落付ク先ヲ決定スルコト、セルモ、不取敢淀町社宅一室ヲ明ケ、貴重品類ノ移転ヲスル様、石炭其ノ他ノ stock モ同様淀町へ搬入スルガ宜敷シカラント話シタル次第ナリ。

候ホ家屋ハ淀町ノ一間、八幡寮、大正海上社宅ナルモ、成ル可ク一括移転ガ良シカラン。支店長社宅ハ現状デハ益々望薄ナルベシ。

【峯へ返金】峯家ニ対シ返金セリ。中沢ヲ証人ニシテ同家へ趣キ返金セリ。証書ハ焼却セリ。

◎11月23日

【女子寮立退ノ件】当荘ヨリ小野、田中、香川、淀町へ出向ク。先ツ佐々木氏宅ニ立寄ル。偶々同家へ士官六名宿泊ノ申込有リ、家財道具取付ケ中ナリ。女子寮ノ家主タル同氏トシテモ三井及ビ三菱ヲ失ツテハ家賃ノ入ル見込モナシ、本住宅以外ニ家賃ヲ納ムルモノ皆無ノ実情ナレバ既ニ友人ノ一露人ニ頼ミ女子寮反対側ノミニテ納メ度シト話有リ。午前九時ニ再会ノ約束ナルガ未ダ来タラズ何トカ善処シタシトノ事ナリ。

谷口宅ニテ協議ノ結果、立退ノ有無ニ不拘

(1) 中川家族、今泉家族ハ長野氏宅ニ階へ移転ノ事（長野令嬢ハ当受渡田畑夫人ナリ）。

長野家ハ精々五ノ六人トノコトナレバ、中川令息ハ後廻シトスルモ可ナラン。何レニシテ確保ノ意味ヨリ本夕迄ニ断行ノ打合せナリ。

(2) 高橋要之助、大内、高橋、ノ各家族ハ八幡寮へ。

原口及学生一名ヲ加附スル。

(3) 海辺、吉田ニ学生一名ヲ付ケ之レヲ女子寮一戸ニ収容スル。

今後モ同様ノ問題発生ヲ考慮シ、此ノ際借入可能ノ借家ハ不透借入レ、要スレバ挺身隊ヲ派遣シテ居住セシムルコトナド打合せナシ。今回ノ申出ハ退去完了迄相当ノ余裕アル模様ナルモ、万一ノ場合ハ淀町へ引移スノ外ナシ。且ツ石炭類、野菜ナドハ明日ヨリ早速搬入スル要アリ。

【淀町住宅ヘソ士官】以上相談中、衛城司令部付ト称スル少尉二名淀町へ来訪ス。

早速満系洋服屋ヲ通積ニテ応待セルトコロ、当社宅ニ居住シタシトノコトナリ。極メテ穏和ナル青年紳士ナリシモ女子寮立退ノ問題モ有リ、現在迄追ハレ追ハレノ事情ヲ話シ他ニ適所ヲ求ムル様懇談セリ。通積モ兼テヨリ当方ニ好意ヲ有スル男ナレバ、八方奔走結果附近古賀宅へ決定。ヤレヤレノ態ナリ。

【学生二名】籠城以来世話シタル工大生四名ノ中西川、野田ハ、今日某方面ノ求メニ応ジ就職シ不日離寮スルコト、ナリタリ。旧特務機関干係ト重慶系ノ便衣隊ハ一連ノ干係アルモノノ如ク、当地区ヨリ八路ヲ追放スベク暗々裡ニ計画セル模様ナリ。

【ソ中共ノ干係】中共内戦ノ状況ハ、共産軍到ル所敗戦ニテ当市ニ至ル迄ニハ全滅ナラントノ見透ナリ。ソ聯側トシテハ此ヲ援助シテ米国ニ対抗スルヲ避ケ、寧ロ政治的折衝ニ依ツテ自國ノ權益ヲ保持シ、併セテ八路ノ生クル途モ見出シ度シトノ意向ヨリ、去ル廿日ニ八路ニ市中ヨリ撤退ヲ命ジタルモノナリト言フ。諸般ノ情勢ヲ考ヘ之レガ最モ真ニ近キカ。

【三井社宅】社屋及ビ社宅ハ再び旧状ニ復シ、ソ聯將兵ノ出入アリ。留置場ノ目隠シ再ビ備ハリ、八路ノ姿全然見エズ。

※便衣隊…日中戦争に際して中国軍が組織した、地域住民と区別できない服装で謀略・ゲリラ活動を行う部隊。

◎11月24日 暖

【退去問題】 女子寮立退問題ハ佐々木氏尽力中ナルガ、連絡ノ方法ナク確答ハ得難シ。先方ヨリ照会ノ際ハ出来得ル限り尽力スルト言フノガ同氏ノ回答ナリ。中川氏ハ更ニ移転ノ様子モナク、今泉夫人ハ家屋確保ノ為ナラ自分ハ移転セヌ、現状ニテ差支ナイノニ狭イトハ聞エヌトカ、何時乍ラ寮長ノ無力、各人ノ氣儘ニハ困リ者ナリ。中川氏ニ至ツテハ取極メニ從ヒ早速手配スルト欣然承諾セシニ不拘、誰モ動カヌニ俺ガ先ニ出ルコトモアルマイナド啞然タルモノアリ。

最初七日以内ノ立退命令アリ。当方申出デニテソレデハト帰リタルガ、応待ノ根来君ノ話デハ通積不十分ナリトコト故先方ハ既ニ発令シ期日ニ来訪ノ際ハ15分デ Notice スルヤモ不計。斯様ナ例ハ一再ニ止マラスハ日々見聞シツ、アルトコロナレバ、今少真剣ニナツテ貰ヒ度キモノナリ。後日周章ヲ笑ハル、ハ仕合セナレバ、明日会社全体ノ利益ノタメ石炭類ヲ運ヒ出サント建言セルガ、支店長左程迄当方ヨリ世話スル必要ナシ、打合通りセヌハ寮長ノ責任也ト言ハル。何レニシテモヤルダケヤル積リガヨロシカラン。

【米価漸落】 八路ノ引揚ケニ伴ヒ、弗々小運送機関ノ回復セル観カ反落シツ、アリ。満系ノ米売り急増セリ。5.50-8- 迄区々ナルガ兎ニ角落付模様ナリ。本日公安局春日町ニテ米ヲ没収シ邦人避難民ニ恵与セル事件アリタリ。一般ニ重慶入市セバ日本人多数アリトノ噂カ、邦人ニ対スル強盗追搦〔剝〕ナド減ジタル風ナリ。

【味噌醬油店】 淀町売店依然抄ラヌタメ、本日味噌樽一本消防車ニテ搬送シ広瀬宅ヘ入レル。相当ノ労働ナリシモ車ノ有リタルタメカ使役ヲ免レタルガ如シ。同地同時刻通行ノ岡本、高田何レモ清掃ニ酷使ニセラル。

【中村選鉱剤】 中村氏、八路ノ人質ニ取ラレ金ニ万円ニテ釈放セラル。此レハ既ニ一兩日前ノ出来事ナルモ本日聴取セリ。

【強盗】 日系強盗愈々物凄ク、萩町方面ハ毎夜ノ如ク十人組位ニテ、内ニ四人、室外六／七人ノ張番ナリト。大倉組田中氏宅デハ一人死亡、一人重傷ニテ本夕ヨリ立哨スル由ナリ。当地附近モ頻出ノ様子ニテ、本日峯家ヨリ張針等ニヨル各個連絡警戒ノ方法提議アリタリ。工大生ハ結局三名転出セルガ此ノ一味トナラザレバ幸甚ナリ。

【新京情報】 岩見、千葉、神代来訪。寒気強ク支店長ヨリ一杯振舞フ。ソノ情報ニ新京モ当地ト略々同様ニテ邦人強盗ハ此レ又漸増ノ模様ナリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

◎11月25日 暖

【治安悪化】昨夜来各方向ニ銃声頻々タリ。女子寮移転促進ノタメ香川、淀町ニ出向ヒタルトコロ、女子寮入口ニトラックアリ、兵卒ノ出入アリ。淀町社宅へ曲ラントセルニ、立哨突如ピンタヲ喰ハシ腰下ヲ蹴上ゲラル。浪速通りヨリ社宅ニ入ラントセモ果サズ帰ル。

【ソ将校惨死】此ノ日、ソ聯将校ノ惨殺セラレタルモノ三名。其ノ一ハ不幸ニシテ女子寮入口ニ斃レツ、アリタリ。

【身体検査】室谷君モ同様扱〔扣〕打セラレタル由。藤波町附近ニモ死体アリ。公安隊員モ相当被害アリタル模様ニテ、平安広場ヲ中心トシテ服装検査厳重ヲ極ム。公安隊及ヒソ兵ノ合作ナリ。重慶側又ハ日系除隊兵ノ仕業ナルカ。何レニシテ良民ニ及ブ。迷惑至極ナリ。

【支店長社宅】社宅ヨリ淀町へ電話セントセリ。偶々多数ノソ聯将兵多数来宅、長期滞在ノ如シ。唐モ腕捲キナド貰ヒ忙シク立廻リ居レリ。

【石川島】石川島重工業ノ松田、田代外二名来訪。柳家氏（東京芝浦）ノ話ニヨリ、当社ノ手持資金ヲ貸与セヨト申出アリタリ。懇談一刻ニ及ビタルモ、当方手許ハ四苦八苦ニテ到底他社へ融通スル余地ナシ。更ニ各方向打診中ナル実情申述へ断ハル。

【満配社宅明ク】雪見町社宅ハ一昨日ソ兵撤退セリ。此ノ日迄関根孝外三名留守番中ナリシトコロ、G.P.U 附添ノ運転手泥酔ノ後、同人ヲ伴ヒテ何レカへ去リ、既ニ二日間行方不明ナリ。八方手ヲ尽シツ、アルガ未ニ現ハレズ。残三名ハ別ニ家屋ヲ有スル人ナレバ、四ノ五日中ニ転居シタシト言フ。何トカ手繰リヨシテ確保セザルベカラズ。

【田中淀町へ】夕刻帰ル。高橋ハ既ニ八幡寮ニ一部移転、中川モ近ク移ル由ナリ。

【邦人強盗】到ルトコロニ出没スルタメカ、終夜ピストル自動小銃ノ音ノ頻ニテ油断ナリ難キ形勢ナリ。折悪シ当荘住人半数ハ風邪気味ナリ。

※石川島重工業…満州石川島重工業株式会社、1944年10月設立。奉天製作所機械部を分離して設立された。

◎11月26日 夕刻ヨリ初雪

【移転問題】小野、田中淀町へ出張。全員集合ノ上、女子寮移転ノ促進ニ就キ協議。結論トシテ中川、今泉ハ明日中ニ長野宅へ移転ノ事、期日迄ニ海辺、高橋程度ヲ残シ命令一退去シ得ル体制ヲ整へ、夫人連中ハ適当ニ配布スルコト、石炭野菜類ハ明日中ニ淀町へ搬入スルコト、セリ。

満配社宅ハ高橋、海辺ニテ実地見聞致シタル結果、家屋トシテハ至極快適ナルモ現在地ノ現状ヨリ見レバ家族連レニテ居住スルハ不適當ナリ。両氏共好マザル

場合ハ各寮ヨリ独身者一二人ヲ挺進セシメ事態ノ落付ク迄居住セシメタシ。

【春日町】重慶ノテロ団潜入、各方面ニテソ士官ノ殺害セラレアリ。春日町方面ハソ聯、公安局ノ共同警戒ニテ殆ド通行止メノ状態ナリ。

【内地行便船】民団ヨリ支店長ニ対シ呼出シ有リ。極秘事項トシテ伝ヘラル、トコロニヨレバ、兼テ計画中ノ機帆船ニヨル渡日某具体化セルノ如シ。在連中□隱岐氏ヨリ通知アリタリ。一名三万円見当。当方トシテモ連絡ヲ出スコトハ有意義ナルモ、現金不足ノ折柄ナリ。途中ノ危険モアレバ重慶入レバ其ノ必要モナカラシカ。

【治安】夜間ニ至タリ銃声弗々、日中ハ春日町方面ノ銃器検査厳重ヲ極ム。人通り又稀少ナリ。平和食堂モ閉扉シソ士官二名、SMR社員数名、斡旋ニ止マル。白地組売揚500㍍ヲ突破セリト欣ヒ居レリ。

大和署公安隊ハ、一昨日昨日ノ二晩襲撃ヲ受ケ27名ノ死亡者アリタリ。物情正ニ騒然タリ。

【平和食堂】本日初テソ聯將校及ヒ其ノ一徒ヲ迎フ。案外和カニ過シタルハ前記ノ如シ。売揚増加策ニ日本酒ヲ加ヘンカト白地ト合議ス。

風邪ニテ臥床。

◎11月27日 寒

【南羽君新京へ】南羽君、明朝新京へ出発スルタメ書状携行方申出アリタリ。高見氏、新関氏へ支店長ヨリ出状、小生ハ駄〔蛇〕足ヲ加ヘタリ。現在一日三車アル由ナリ。夕刻同君ニ手交ス。

【移転問題】女子寮ノ移転問題ハ、本日午前中中川、今泉引越シ、家族ノ足手纏ヒニハ淀町へ仮移転ノ筈ナリシモ依然其ノ気配ナシ。荷物丈ケハ堂ヤラ片付キタル風ナリ。一週間ノ解釈如何ナルモ、明日ハ果シテ鬼ガ出ルカ蛇ガ出ルカ。

【満配社宅】満配滋賀君、社宅ハ本日谷口、田中来荘。偶然ノ一致ニテ近森家族ヲ移シ、要スレバ同人ノ娘婿其ノ他モ特ニ許シテヤルコトニ致度シト申出アリ。当方考へ通りナレバ早速手配方頼ム。娘及婿、外ノ友人ノ三名ハ目下加茂小学校ニ避難民トシテ滞在中ナルガ、縁故者ノアル者ハ夫レニ頼レトノ民会ノ指示ナレバ是非同居頼ムトノ申出デナリ。当方モ無ゲニ断ルモ怎フカト考へ、両肉親ノミハ承知セシトコロナレバ万事好都合ト申スベシ。兎角会社ニ不必要ナ漢ガ厄介者ヲ背負ヒ込ミ、面倒見度キモノガ厄介ニナラヌハ妙ト言フベシ。

【薬種雑貨商】室谷主宰ノ雑貨商、薬種商ハ茲数日形勢観望、十二月朔日ヨリ開業ノ筈ナリ。相当物品仕入レタルモ何分数ガ多ク資金干係ニテ此ノ辺デ様子ヲ見ル積リトノ事ナリ。何ハ兎モ有レ弗々働ク気運見エタルハ重畳ナリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【寒気】 一時ニ来タリ。本日目張りヲナシタリ。薪一斤 1.20、石炭モ漸騰ノ見込。米価ハ反落歩調。

【中村選鉱剤】 中村氏ハソ聯当局ト共ニ撫順ニ赴キタリ。同地復興ノタメトアルガ散々荒シタ跡ノ復興モ妙ナモノナリ。中村氏モ余リ吹き過ギネバヨイガト一同心配顔ナリ。

【杉原元事務員】 元女事務員杉原コノエハ食堂ニ働キ度シトテ来荘セリ。現在母親、姉、弟ノ四名ナルガ生活費 1200[〚]ヲ要スト言フ。依然トシテ生活基準ヲ下ゲ得ザルガ如シ。稼手ハ十七才ノ第一名ニテ七福屋ノ大福ヲ売捌キツ、アルガ、一日 50-130[〚]ヲ上下シツ、アル由ナリ。寔ニ男子顔負ケナリ。而シテ妹モ近々職場再開スル故自分ハ食堂ニテ言フ次第ナリ。充分時局ヲ認識シテヤツテ呉レ、バ白地ヘ相談セヨトテ帰ス。

【便船】 便船ニハ隱岐氏便乗スル由ニテ、費用ノ点モ有り旁々淋シサモアリ、同乗者ヲ求メツ、アル模様ナリ。30 万小切手ハ住友ニテ切りタル由ナリ。

◎11 月 28 日

【錦県組】 廣瀬君来訪シ、兼テヨリ自活スベキニヨリ営業資金貸与方依頼アリタリ。営口組ニ比シ一層ノ困難ニ際会シ乍ラ日々ノ給与ヲ求メズ資金ノ貸与ヲ求ムルハ寔ニ我意ヲ得タルトコロナレバ、M.B.K proper ハ明春三月迄一人一千元程度、広瀬君ハ他社ナリ。男手モ有レバ六人家族ハ三千円ヲ給与スルコトニ決ス。木下英香続イテ来訪ス。同人ハ錦県十三人ノ代表ニシテ又唯一ノ男手ナリ。同人ニハ既ニ一万元ヲ貸与セルガ使途下記ノ通り。

布団	2000 [〚]	電热器	250 [〚]	毎月食費ヲ切詰メ換算スルニ per head
石炭	1/2 □ 1000 [〚]	炊事道具	150 [〚]	主食 3 [〚]
薪木炭	300 [〚]	味噌正油	300 [〚]	副食 2.50
ストーブ	800 [〚]	野葉類	300 [〚]	調味 .50
米	1200 [〚]			暖房 2 [〚]
営口・米代	200 [〚]			
			6,500	8.00

即チ一日一名 8 円、十三名（中一名幼児）ニテ一ヶ月三千円ナリ。此レ稼出サンタメ屋台店ヲ女子四名ニテ開店、木下ハ仕入レ及ヒ行商ニ従事シタシト言フ。屋台費用トシテ約五千円ヲ借用シタシト言フ。小生営業中ノ売店ハ此ニ三日寒氣加ハリ客足激増セルニ見テ屋台商内ノ永續性ニ多少疑ヒアリシモ、此ノ意気ヨリ判シ必ズ自活ニ成功スベク当店一般ノ志気ニモ関スル故、三千円程度加給スル様支店長ノ承認ヲ得タリ。

【撫順】 中村選鉱剤ガ昨日トラックニテ日帰り帰奉セリ。撫順ハ目下八路充滿シ治

安悪化ノ徴アリトテ沓〔勿〕々引揚ゲタリ。全氏ハ謝礼ニ毛布、烟草ナド給与サル。

【中央軍】中央軍四十名昨日入奉セル旨回報アリタリ。司令部ハ何ニ定ルヤ不明ナルモ、ヤマトホテルハ再ヒソ聯ニ、当社屋又全様ナレバ目覚シキ処ハ売切レナリ。何ニシテ回報ナレバ今度コソハ本当ナルベシト一同亦安心ノ態。但シ一般ニ交通ハ激減シタリ（錦県ニ進駐セルハ高田少将ノ率ヒル一隊ナリト）。

【日系巡查募集】全シク回報ニテ日系巡查ノ募集アリタリ。此数日派出所ノ襲ハル、モノ頻々タレバ満系モ落付カズ、結局中央テロ団ニ日系アリトテ些カ御機嫌取りニ変ジタルモノカ。

【中川組移転中止】中川代理、根来君来荘シテ曰ハク、引越先長野家八年來隣保内ニ孤立シ今回モ特ニ選ビタル疎開者ヲ収容セズ、三井干係者ヲ迎エルナラハ隣組ハ一切付合ハズ且ツ来ル者ニモ目ニ物見セルト附近空氣陰悪ナレバ自分ハ引越サヌ、何卒淀町ヘ収容シテ呉レトノ頼ミナリ。毎度ノコト乍ラ支店長ハ長野ヲ説キ金一封デモ出サシテ両者和解サシテハ如何、実行ハ他人ニヤラセ本人等ハ理屈ヲコネ廻シ代案モ何モ無イノハ感心出来ヌト回答セラレタルガ尤モナリ。

【近森移転渋滞】近森、岡本兩名ニテ来訪。此レ亦近森ヨリソ兵ノ悪評ヲ聞イタリトテ移転中止ヲ願出ス。斯ル輕輩ニシテ然モ娘ノ婿ダノ友人ダノ迄引取ラント言フニ尚斯ノ如シ。近所ハ皆露兵ト同居セルニ断ル理由ナシ。出来ネバ縁者迄引取レヌト厳重言渡シタリ。

【内地ニース】貿易省ヲ新設シテ此ノ傘下ニ民間商社ヲ集メ、聯合國司令部ノ監督下ニ置ク。

◎11月29日 寒氣漸ク強シ

【入江、石川】入江呉服店ヲ往訪ス。階下ハ旧雇人達集マリ雜貨商ヲ營ミツ、アルガ比較的廉価ナリ。此ノ階下ハ利用価値アリ、借用セント試ミタルガ手後レトナリタリ。小沢君ノ名刺モ有リタルガ同君モ適所見当ラヌ模様ナリ。融資ノ件ハ安全性ヲ云々シテ容易ニ動カズ。何レ良考ノ上現金所有セル知人ニ相談スルト逃ゲル。物分リノ悪キ仁ナルモ暫クネバルトシテ一応辞去ス。

帰途石川医博訪問。懇談セントセルモ往診間際ニテ其ノ意ヲ得ズ。昨今ハ避難民許リニテ収益相伴ハズ未ダ暖房モ取レヌ始末ナリト愚痴リタリ。先生早速帰ルカラト頻リト止メタルモ帰ル。

【春日町】食堂前巴旅館、大隈産業ヲ含ム一角ハ交通遮断シテソ兵多数入ル。昨夜手榴弾ヲ投ジタルモノ有リタル由ニテ手足ヲ負傷セル一邦人及ビ容疑者引致セラル。食堂モ自然休業シテ一同帰ル。

【水道、電気】電気ノ方ハ毎日ノコトナガラ此ノ附近ニテ経日断水セルハ珍事ナリ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

キ。女子寮ハ二階ナリ、淀町ハ三階ナレバ殆ト自宅ニテ給水可能ノ住居ナシ。冬期凍結セバー問題タルヲ失ハズ。

【神代氏ト選鉱剤住宅ノ事】神代氏ノ来訪ニ付キ支店長ノオーバー一着都合頼ム。森田鋭吉氏ノ所有品ニシューバー一着アリ、全氏モ此レカ保管ニハ相当心労セルトコトナレバ今冬使用願度シトノオ話ナリ。今日辺ハ老齡外套ナシデ御気毒ニテ仕合せナリ。

同氏、附近ノ公安局長ノ住宅ハ選鉱剤ガ三宅社長ノタメ買取セル住宅ナルガ全ク take care セザリタメ辺近ハ所有者ヲ知ラズ、今迄避難民ヲ露兵ヲト入レ結局右局長ヲ頼ンデ這入ツテ貰ツタと言フ。同氏ニ良ク頼ミ次回明渡シノ際ハ当方ヨリ早速差入レル旨申置キタリ。

【女子寮】未ダ安全ナリ。

【満配社宅】ハ改メテ別派来タリ。階下モ明渡シ要求セラレタリト岡本君通報ニ来タル。此レ又自然中止ナリタリ。

薪高騰 一斤 1.20

米漸落 5.50

本日回復。

◎11月30日 寒

【春日町】治安ノバロメータータル同地帯ハ再ヒ平生ニ復シタルガ露店、飲食店ハ激減セリ。砂糖ハ愈々奔騰、八十五円台ニ至タル。

【僑居証明】分区ニテ居住証明ノ手帖交付スル旨通知アリ。支店長以下出掛ク。田中ノ分ハ淀町ニテ発給サル、模様ナリ。手数料二円、左ノ母指ニテ写紋セリ。以前ノ国民手帖乃至良民手帖ニ類ス。

【日滿鋼材ノ新形態】日滿鋼材ノ新形態ニ干シ谷口、田中春吉来訪、支店長ヘ説明。渋谷氏ノ原案ヲ推稿〔敲〕スルトコロアタリ。合併原案右ノ如シ。

【淀町電熱工事】淀町、女子寮共トランス完成。本日ヨリ電化セリ。此レニテ室内炊事ハ勿論、暖房モ可能ニテ一同大満悦ノ態ナリ。併セテ燃料費ノ節約ヲ考慮セバ敢テ高価ト申難シ。

【協議ノ結果】渋谷氏原案ハ些カ拙劣ニシテ意ヲ尽サバルトコロアルモ、袁氏八年来渋谷氏ノ恩誼ニ感ズル報恩ノ念ヨリ発スル真情ヨリ、渋谷氏又当方ノ信頼ニ対スル感激ヨリ出發スル取做シナリ。従テ当社ハ同氏ノ人格ニ信頼シ日滿鋼材ノ残骸ヲ狙上ニ供シ同氏ノ腕ニ一任セント決シタリ。但シ別ニ口約トシテ必要時ハ随時分離スルコト。別状ニテ邦人ノミヲ以テ営業可能ナル場合ノ必要事項ハ洩ナク契約シツ、アリ。尚当方ハ合併前ノ債権債務ハ共ニ継承セザルコトヲ附記方ノミ

希望シタリ。日満鋼材ハ現在資本金 300 万円三機及福昌公司株主タリ。

袁氏ハ現二工場活動中ニテ月産約五十万円、純利二万円ヲ挙ゲツ、アリ。

※福昌公司…1909 年 12 月設立。満鉄の大連埠頭事務所所長であった相生由太郎が設立し、大連埠頭での労力供給を事業とした。

契約書

新国際情勢ニ順応シ中国産業ノ発展ニ貢献スルタメ東亜金属工業所（以下甲方ト称ス）經理袁玉声（以下甲ト称ス）ト日満鋼材工業 K.K（以下乙方ト称ス）社長渋谷安秋（以下乙ト称ス）トハ合意ノ上両社ヲ合併シ茲ニ中国法人タル新会社ヲ設立スルニ決シ協議スルコト左記各条項ノ如シ

第一条 合併ニヨリ設立スベキ会社ハ株式会社トシ名称ヲ永和工業股份有限公司（以下公司ト称ス）トス

第二条 公司ノ事業目的左ノ如シ

- 一、各種車輛ノ製造、輸入及ヒ販売
- 二、砒山、製鉄、化学工業、農業開発用諸機械及ビ一般機械ノ製造販売
- 三、土木建築用鋼鉄製品ノ製造販売及工事ノ設計並請負
- 四、鑄鉄、鑄鋼、鍛造品ノ製造販売
- 五、前記各項ニ附帯スル事業及投資

第三条 公司ノ公称資本金ハ満券五百万円整トシ之ヲ拾万株ニ分ケ壹株ハ満券五拾円整トス

第四条 公司ノ資本金ハ甲側満券貳万円ヲ乙側満券三百万円ヲ出資スルモノトス

第五条 甲ハ本市南市区東亜街二段二七号所在ノ甲方所有機械設備資材什器等ヲ又乙ハ本市鉄西区嘉工衛一段二七号及ヒ同区励工街一段一〇四号所在ノ乙方所有不動産、機械設備、資材什器等及乙方所有ノ社宅並借入社宅ヲ提供シ之ヲ継承スルモノトス

第六条 第五条記載ノ乙方財産ハ満券三百万円ニ評価シ之ヲ第四条乙側出資額ノ全額払込金ニ充当スルモノトス

第七条 第五条記載ノ甲方財産ハ満券七十万円ニ評価シ之ヲ第四条甲側出資額第一回二分ノ一払込金之一部ニ充当シ其ノ残三十万円ハ政情安定後速カニ現金ヲ以テ払込ヲナスモノトス

甲側第二回以後ノ払込ハ爾後事業上ノ必要ニ応シ之レヲナスモノトス

第八条 公司ニ董事長一名、副董事長一名、董事若干名、監事二名ヲ置ク

第九条 董事長ハ甲トシ副董事長ハ乙トス

董事及監事ハ甲乙協議ノ上之ヲ聘請スルモノトス

第十条 甲方及乙方所属ノ従業員ハ甲及乙ニ於テ夫々適當ノ者ヲ公司ニ推薦シ公司

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

之ヲ採用スルモノトス

第十一条 公司ノ従業員ハ董事長之ヲ任免スルモノトス

第十二条 公司ノ業務ハ本年十二月一日ヨリ此ヲ開始ス但シ特殊情勢ニ遭遇スルト
キハ甲乙協議ノ上之ヲ延期スルコトヲ得

第十三条 前条所載ノ公司業務開始迄ハ甲乙各々責ヲ以テ其ノ財産ヲ保管スルモノ
トス但シ時局千係ノ事由ヨリ損害ヲ蒙ルコトアルモ前記評価額ヲ変更セサル
モノトス

第十四条 本契約ハ中国政府或ハ主管官庁ノ命令ヲ遵行スル場合ノ外之ヲ変更シ又
違反セサルモノトス

第十五条 本契約ニシテ中国政府或ハ主管官庁ノ認可ヲ得ル能ハザル場合ニ在リテ
ハ命令ノ定ムル所ニ従ヒ当時ノ損益ヲ清算スルモノトス

第十六条 本契約ニ詳記セサル事項ハ甲乙協議ノ上之ヲ処理スルモノトス

第十七条 本契約ハ中日文各式部ヲ作成シ甲乙各一部ヲ保管スルモノトス

第十八条 本契約ハ甲乙ノ調印後直ニ効力ヲ有スルモノトス

十一月五日

◎12月1日

【俸給】十二月分俸給渡す。前月ノ通り。月末餅代一家庭 50[〃]程度支出シ、一月ヨ
リハ 10% 方引下ゲル予定ナリ。淀町ハ中村、三村夫人納豆売リナド開業、夫々
自活へ自活へト近付キツ、アリ。

【スターリン像引下ケ】東拓ビルノスターリン像ハエルミネーショント共ニ撤去セ
ラレタリ。

【米ソ干係】沖氏ノ情報ニヨレハ、ソ聯ニ対スル米國ノ圧迫相当激シキ故カモロト
フ一派ハ対米速時宣戦ヲ主張シ、スターリンハ此ニ対シ反対ニテ厭迄平和的ニ折
衝シタシト言フ模様ナリト。

◎12月2日

【重慶入城ノ事・日系不動産没収】小沢君干係ノ孫本恕氏ハ当市十指ニ入ル富豪ニ
テ、祖母某ハ日系ニシテ祖父ハ亦張作霖前ノ東亞督辦ナル有力者ナルガ、同氏ヨ
リ小沢君へノ直話ニテ次ノ事伝ヘラレタリ。

孫氏ノ伯父ハ今回進駐ノ重慶軍ノ大将ナルガ、今回同氏ニ対シ軍需局長就任方
ヲ慫慂シ遂ニ承諾セリ。重慶側ハ目下四ヶ中隊北陵ニ在リ。本軍ハ錦州ニ総司令
部ヲ置クモノナルガ、四日迄ニ周辺ニ集結シ五日正式入城ノ予定ナリ。自来干係
者（満系有力者十五名程）北陵ニテ参謀副長ヲ加へ協議シツ、アルガ、日系ニ対
スル不動産所有ハ禁止サル模様ニテ、全不動産ハ一括之ヲ没収シ政府必要ヲ拒

除シ残ハ満系ニ払下グル意向ナリ。詳細ハ迫テ判明スベモ小沢君へ approach 方頼置ケリ。

【ソ聯撤退ノ事】奉天 Radio ノ本日放送ニヨレバ、“十二月三日ヲ以テソ聯ノ撤退ハ約束セルトコロナルモ、重慶側ヨリ今暫ク駐屯ノ上治安維持ニ当ル様要請アリタルヲ以テ再度撤退ヲ延期セルモノナリ”。其ノ後無名軍ノ進駐有リ、若干ノ混乱ヲ来シタルモ重慶軍ノ進駐ハ近々ナルベシ。

目下大連、營口、コロ島ヨリ列車ニテ入奉ヲ希望セルガ、ソ聯ハ大連ハ高埠地ノ理由ヲ以テ断リ日列車ハソ聯側ニテ警戒致難キ旨回答セラレタルヲ以テ空挺隊ニテ来着ノ予定ナリト。

小沢ニュース。Radio News ニヨリ中央側ノ来着ハ事実目先ニ迫レルハ確實ナリ。同時ニ又ソ聯ノ撤退ノ時機ノ問題ナレバ家屋問題ハ再燃スベク、唐突ノ明渡シニ戸迷セヌ様夫々考慮中ナリ。

【平和食堂】漸次軌道ニ乗リタルガ、羨シキカ中野ヨリ家賃 1500[〃]トノ要求ニテ吃驚、愈馬脚ヲ現ハシタル態ナリ。当方頼被リニテ押通ス積リ。常連モ漸増、先ヅ此ノ分ナラ安心ナリ。本日渾河ノ農園主ニ向会シ貯蔵野菜ノ買入契約セルガ、馬鈴薯 1.65、人參 1.40、葱 1.40、赤丸 1.00 ニテ格安ナリ。

【物価】米価漸反落ニ転シ 5[〃]台弱保合ナルガ、中央軍入城セバ再ヒ小運送逼迫スベク買時ナランカ。雑貨類何レモ気配強シ。石炭ハ売物薄先安ヲ期待シ難シ。

肉類 一升 25.00

◎12月3日

【小宴】平素余ニ粗食ナレバ、本日食堂ニ支店長田中、高橋、選鉱剤中村氏ヲ招キ中食ヲ供ス。偶々ソ聯將校、従卒、通釈ヲ伴ヒテ来タリ。会食中ナリシタメ此ニ冷酒、乾盃ヲ強ラレ何レモ千鳥足ニテ帰荘ス。途中女ヲ出セバ相当ノ謝礼ヲスルト申出アリタルモ、何レモ夫人ナリトテ断リタルニ諒トシ何レカテ用ヲ満シ来タレルガ如シ。

【選鉱剤】中村氏ハ又ソ聯ノ参考人トシテ取調ヲ受ケタル由ナルガ、事ナク歸リタリ。大和公安局ノ暴徒事件ニ相当深刻ナルシヨツクヲ受ケタルガ如ク各方面ヲ取調ベツ、アリタリ。本件ヲ機トシテ司令部方向ハ親日の施政方針解消セリト言フ仁アルモ、ソ聯ハ深刻ニ脅エツ、アルモ事実ニシテ、ソ支交渉ニハ相当響クモノト思ハル。何レニシテモ立退際ハ弱腰トナルハ止ム得ヌトコロカ。

中村氏ハ科学技術協会ヲ拡充シテ各分科ヲ設置スルガ、貿易、商業方面ノ委員ニ支店長ヲ加エル積リニテ各方面諒解取付済ナレバ、十日ガスビルノ委員会へ出席セヨトテ分ル。

【俘虜】高橋健夫人ノ話ニヨレバ（医大短波）満州ニ於テ俘虜トナリタル者ハ明年

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

三日迄ニ、ソレ以外ノ地区ハ内地ヘ直接帰還セシムル旨発アリタル由。

寒気甚敷防寒帽ヲ要ス。日中晴天ナレバ室内ニテハストーブ不要。

高橋一泊。

◎12月4日

【今村君】 開通糧棧組合へ差入レノ三泰棧今村君突然来訪セリ。同君ハ開通三泰ヨリ転シ組合ヲ牛耳リツ、アリタルガ、本年七月太田君ノ紹介デ面会、筆者一夕御世話ニナリタリ。即三井農場ヘ勤務方希望アリタルヲ以テ種々懇願ノタメナリ。間モナク応召シ話ハ立消エトナリタルモ忘難キ好人物ナリキ。

【旅行目的】 同君ガ除隊セル時ハ妻女（子供ナシ）ハ既ニ八月十日満鉄疎開列車ニテ通化ヘ出発シテ後日連絡付キ新京ヘ来ル様申付ケタルガ九月中旬通化ヲ出発後消息ヲ立チ自來行方不明ナリ。心痛ノ余リ各方面ヲ搜索シ蘇家屯ヲ南端トシテ再ヒ新京ヘ向フ途中ナリト言フ。

開通ハ危険ニテ全然立寄り出来兼ヌルモ多少ナリ落付ケバ満系ニ友人モアル故一度再訪シタシト話居レリ。

【蘇家屯】 満配農場ニテ四泊セルガ同地治安ハ最近軍リ全ク不安ナシ。日系ニ銃器ノ所持ヲ許サレタルタメカ満系ガ脅エ寧ロ後難ヲ怖レツ、アル模様ナリ。噂ニヨレハ一大佐ガ公安局及ヒ八路ニ対シ日系ヲ虐待スルニ於テハ相当ノ覚悟アリト申出ダルトメナリトモ言フ。

【通化情報】 通化ニ於テハMOBノ襲撃ニ対シ皇軍徹底的ニ復仇セル由ニテ、タンク迄持出シ大量ニ片付ケタ模様ナリトテ此ノ時ノ事情ヲ知ル一満系語リタリト。ソ聯兵モ此ノ地方ヘハ危険ニテ寄付ケヌ模様ナリ。現在ハ日系モ殆ド居住セズ。

【物価一般ニ高シ】 米価ハ5.40/5.60程度ニ落付キタルモ砂糖ハ85⁺、尚統騰気配ナルヲ始メ調味料ハ輸送及ビ税金干係ニテ二ノ三割高。野菜類モ底固ク石炭、薪又同様。

【平和食堂】 歸際ニ自動小銃ヲ有スルソ聯兵一名西村ヲ拉致セントシテ暴レル。白地君ノ奇智ニテ漸ク難ナクシテ逃ル。

	卸	小売
清酒	28-	40-
正油	15-	20-
落花生油	38-	45-
砂糖	65-	80-
味噌	3-	4-

◎12月5日 暖、風強

【治安再ヒ悪化】中国軍入城ノ噂ハ更ニ実現セズ。近入ノソ聯兵ハ戦車隊ナルカ素質悪ク、各方面ニ無銭飲食、掠略散見セラル。邦人モ相当ノストックヲ藏スル模様ナルモ搬出出来ズ、手持現金ノ減少ニ極度ナル生活不安ニ陥リツ、アリ。

日系軍人上リノ強盗乃至満鮮系ヲ加エタルモノ各方面ニ出没シツ、アリ。昨未明ニハ大陸科学榊原宅ヘ十人組侵入、一二万円ヲ強奪セリ。日満鋼材ノ干係者安井氏宅ニモ同上ニテ此レ又相当ノ被害アリ。何レモ義賊張りノ連中ニテ軍資金ヲ稼グトノ言草ナリ。安井宅ノハ満服ノ裏ニ“中国先遣隊某”ノ名札ヲ示シ至極落付キタル三十台ノ青年ナリキト。

【各方面ノ情報】民会情報ニヨレバチ、ハル、ハルピン方面ハ再ヒ悪化シ日系殆ト丸裸ノ実情ニテ、ハルピンノ如キハ附近ニ待機中ノ開拓団約一万五千名危険ニテ入市出来ズ周辺ニ難民状態ヲ続ケツ、アリ。同地区ヨリ大体一月末迄ニ大体一万四ノ五千名入奉ノ予定ト聞ク。

北鮮方面ハ又一入甚敷ク、鮮人ニヨリ日系ハ全クノ難民ト化シ此レ又奉天ヘ避難セントシツ、アル由ナリ。營口附近又悪化シ寄付ケズ。此レニ比スレバ奉天ハ未ダ幾分増シナリト言フベキカ。

大連、撫順、新京ハ概シテ良好ナリ。

【外国人僑居証明書】住居証明書ハ近ク一整又ハ臨時ニ検査スベキニヨリ必携セヨト民団ヨリ注意アリタリ。尚添付ノ写真ハ速ニ撮影セヨトノ希望ナリ。過般テロ事変ノ際モ写真ヲ有セル者ハ即時釈放セラレタルモ、ナキモノハ留置セラレタル由ナリ。

【発疹チブス】発疹チブスハ各方面ニ慢延シテ、疎開者ヲ収容セル向ハ戦々兢兢タリ。当方小島代理ノ如キモ為ニ転居シツ、アルガ春日小学校ノ避難民モ二百名発生、既ニ五十名死亡セリ。ワクチン注射ノ希望者ハ速ニ申出デヨトノ事ナリ。料金十円。

【近藤薬種店】奉天神社前近藤薬種店貸家ノ希望アリ、田中代理ト同伴下見ニ向フ。二階住宅、倉庫アリ、至極頃合ナレバ利用シタシト家族其ノ他打診セルモ明答ヲ避ク。

【宇治薬局】室谷、高崎ノ合作タル宇治薬局ヲ視ク。商品ハ凌〔寥〕々タルモ近頃得難キ品揃ヘ居リ。高崎薬学士ノ調剤ト共ニ漸次附近ノ名物トナリツ、アリ。仕入商品代約二万円。

【森田鋭吉氏オーバー】神代宅ニ立寄り委託中ノ森田鋭吉氏ノオーバー、シューバー各一着支店長用ニ借用シテ帰ル。同氏宅デモキンツバノ製造ヲ開始シ、勿論道車〔者〕旁々乍ラ各方面ヘ卸スト大變ナ張切り方ナリ。

【平和食堂】再ヒレコードヲ破リ売揚ケ1,200〃ニ近シ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

◎12月6日 暖

【淀町社宅ノ活動】 淀町デハ若手組ノ米、味噌組、室谷、高崎ノ薬局、安倍ノ子供服毛、糸、小沢ノピアホール（計画中）等々活躍中ナルガ、最近三村、中村両夫人ノ納豆、コークスナド漸ク前途不安ヨリ夫人連ノ動キ出シタルハ結構ナリト悦ビツ、アリ。他ニ近森ノ味ハ味噌屋ナド皆勤精神横溢セリ。

【自家烟草】 女子寮組ハプチブルニテ其ノ気配ナキタメ中川、根来ノ来訪ヲ機ニ支店長ヨリ一席訓話アリタリ。偶々来荘ノ営口笹山ガ手製烟草ノ器具ヲ仕入レ目下夫人連製造中トノ話ヨリ、当荘ハ田中代理一家、女子寮ハ根来君、淀町ハ某トシテ各社宅ヘ一台ヲ備ヘ、此レガ製造ニ従事スルコト、定メ、明日両氏実習ノタメ器具店ヘ赴ク様打合セタリ。製造原価一本 12/2¢ ニシテ器具店デハ原料ノ供給ト製品ノ買上ゲ（20¢）ヲナス由ナリ。

【避難民】 奉天地区ニ在ル避難民ハ概算約十万名中、四万五千名ニハ給食シツ、アリ。各収容所共墓標日ニ増加シツ、アルハ惨ノ極ナリ。貧スレバ例ニ洩レズ若キ女モ人前ニテ用便スルナド程度ノ低下モ又甚シキモノ有リ。全市ニテ一日平均出名ノ死亡者ヲ出シツ、アリ。

【ソ聯ノ居住証明】 ソ聯側ノタメニ居住証明発行セラル。

外国人僑居証明書 NO. 31245

小野分 NO. 31244

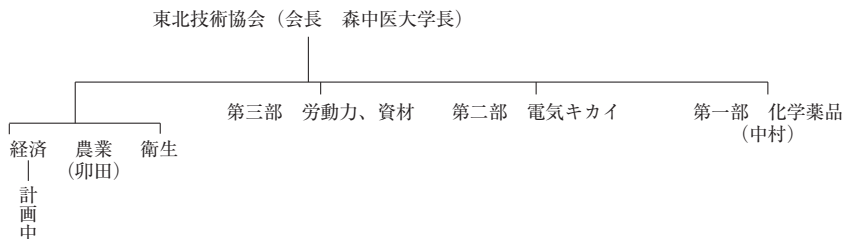
北春日分区登録完了証 ⑨ NO. 47

⑨ NO. 46

◎12月7日 暖

【塚本学長・友好同志会・中日ソ日友好協会—技術協会】 塚本工科大学長、柳家氏ノ案内ニテ来訪、小野及ヒ秘書トシテ小生面談。

篠田籟ヲ会長トスルソ中日友好同志会ハ八路干係ヲ清算シ、後日中国トノ関係ノ円滑ヲ期スル為此ヲ解体シ、中日友好協会、ソ日友好協会ヲ新設シ旧瓦斯ビルニ事ム所ヲ置ク。此ノ下部機構トシテ技術協会アリ。主トシテ鉄西復興策ノ諮問ニ対スル答申調査建策ヲ目的トセリ。



上記ノ工業三部ノ組方ハ既設ノモノニシテ八路軍ノ命ニヨリ一部活動センコト前日記述ノ通りナルガ、新ニ経済部門ヲ新設シテ金融、資金、保険、貿易、商業

ノ担当者ヲ定メタリ。此ニ小野支店長ヲ要請ニ学長ハ来賀セラレタルナリ。

經濟干係ニ於テスル答申機関ヲ設置タシト言フハ菊沢正金銀行支店長ノ發案ノ如ク、干係者ノ賛成ヲ得タルトコロ興亜銀行常ムノ玉井某ガ一役買フ様子ナリシタメ菊沢氏辭退ヲ申出タル由ナレバ、此ヲ廢シ菊沢氏ノ再起ノ希望方々是非面談シテ吳レトノ事ナリ。

【**当方意見**】要之、東北振興ノタメ調査研究、建策、答申ナルガ工場部門ニ於テ満系ハ全ク無力ナルニ反シ經濟方面ハ直接國民生活ニ關聯シ而モ政府ノ施策ヲ批判スルハ明カナリ。斯クテハ自然微發ノ型トナル故、寧ロ表面ニ立タズ答申ノミトシテ専ラ同人ノ研究機関ノ如ク内輪ニ行動スルガ可ナルベシ。菊沢氏ノフリーランサート異リ、支店長ハ社用モ有レバ常任ト申ス訳ニ不參ト答ヘタルモ、兎モ角トノ御希望ニテ卯〔字〕田農大學長、菊沢氏等ト懇談セリ。

【**結論**】鼎談ノ結果、菊沢氏ヲ主役トシテ小野此ヲ助け他ニ二名ヲ選ビ合計四名ヲ以テ經濟部門ヲ担当スルモ、明十時省主席張氏ヘ面会ノ場合ニハ全委員ノ顔振レヲ竝ベ一同ニテスル機関ヲ設立シテ切出ス様打合ハス。此ノ際中國側ヨリ参加希望セバ名誉委員トシテ加入セシメ度シトノ意見有リ、一同諒トス。

張主席ハ中國先遣隊ノ型ナルモ七十才ノ老命ナレバ入城後ハ辭退スベシトノ噂アリ。從來共比較の親日派ト見受ラル由ナリ。

【**春日町**】新入ソ聯兵各方面ニテ暴行、掠奪シ人通り又激減シ食堂モ客ノ出入少ナシ。

【**満糖中村氏**】中村氏ニ面談。同氏ヘノ新京來狀ニヨレバ、

在新京ノ重慶側機関ノ中東北行營ナルモノアリ。此レガ工場ノ接収ニ當リツ、アリ。同社ハ二週間程前広汎ナル必要書類ノ提出ヲ了シタリ。復興必要資金乃至損害程度等相当詳細ニ取調ベツ、アリ。邦系工場ハ一応全部沒收スル意向ノ如ク満糖ノアルコール設備ハ再ヒ Beef Sugar ノ製造及ヒ Cane ノ refinery ニ改変セラル、ナラント。

ソ聯搬出ノ機械類ノ中、既ニ荷造發送セルモノ以外ノモノ及ヒ電話器等ハ返却セラルトノ噂アリ。

【**内地情狀**】陛下ハ民草ノ苦境ヲ憫バサレー一日一食ノ由洩承ル。感激ノ至リト一同夕食ニ話合ヒタリ。本日内地ヨリ北京經由往復セル一有志ガ民会ニテ講演セル由ナリ。中村氏ハ此ノ話ガ昨日ノ参与会ニテ行ハレタリト情報蒐集ノタメ來訪セラレタルガ民会ヨリスル連絡ナカリキ。内地ニテハ満州ノ窮狀ハ充分承知セル筈ニテ政府モ極力努力スル旨確答セリト言ハル。

【**強盜**】強盜横行、依然甚數ク、角ノ田中家、吉田質店、飛ンデハ豚毛後藤氏宅ナド軒並ミナルニヨリ近日公安局ヨリ各分区事ム所ヘ三名ヅ、宿直セシメル故食料燃料等負担セヨト回報ニテ。田中家デハ主人短刀ニテ各所突サ、レ危篤、中ノ日

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

系ラシキ物相棒ニ“ソナ酷イコトスルナ”ト言ヒタル程ナリ。

【渾河農場】渾河農場経営者ト連絡トレ、本日二代表ト懇談ス。stock 20 万斤ノ米ノ処分方引受けル件ナリ。怎フヤラ話モ纏リ相ナルガ、途中輸送ガ危険ニテ納期ノ約束出来スト言フ。明日野菜搬入ノ際再ヒ懇談スル積リナリ。同人等ノ意見デハ産地事情ハ何レモ弱気ニテ四円台割必至ト言フ。一般ニハ値上リ必至トノ視方多ク正反対ナルガ、五円以下ハ買進ンデヨロシキカ。

【淀町ト避難民】東淀分区割当ノ 300 名ハ各戸ニ割当テズ一括収容セル結果、分区トシテ約 8000[〃]ノ支出ヲ要シタリ。此レヲ町内各有志ニ負担セシメル付当社モ 500[〃]程度臨時支出承認セリ。

岸本、中村、高橋夫妻、渾河農場主、薄井

※ソ中日友好同志会…ソ連、中共の民会への働きかけにより 1945 年 10 月に設立された団体。篠田が設立委員長を務めた。その後、中日友好同志会、ソ日友好同志会に区分される。

※塚本工科大学長…塚本玄門。1893 年生-1973 年没。福岡県出身。1919 年に東京帝国大学理学部化学科を卒業し、理化学研究所研究生やロンドン大学大学院への留学を経て、1924 年浜松高等工業学校教授に着任。1939 年に奉天工鑛技術院（1940 年に奉天工業大学に改称）に着任し終戦まで院長・学長を務めた。戦後は郷里に帰り福岡教育大学の初代学長となった。

※主席張氏…張公権（嘉璈）。1889 年生-1979 年没。上海広方言館の卒業後に慶應義塾大学へ留学し経済学を修めた。帰国後は銀行業に長く携わり中央銀行副総裁などを経て 1935 年に国民政府の鉄道部長に就任し、以後交通関係のポストを歴任した。戦後、1945 年に東北行営経済委員会主任委員に就任すると、1947 年から 1948 年にかけて中央銀行総裁を務めた。総裁辞任後は海外で研究生活に入りスタンフォード大学フーパー研究所の上席研究員となった。

※興亜銀行…1942 年 7 月、営口商業銀行、福順銀行、奉天匯業銀行、盛業銀行を統合して設立された銀行。

※興亜銀行常ムノ玉井…玉井静一。1892 年生-没年不明。1913 年に山口江東商業学校を卒業し、各地の商業学校に勤務したのち、1933 年に奉天商業学校長に着任。1942 年に興亜銀行が設立されると奉天駐在常務に就任した。

※卯〔字〕田農科大学長…字田一。1893 年生-1978 年没。1917 年に東京帝国大学農科大学農学科を卒業し、各地の農林学校教授を歴任したのち、1935 年に満州国立高等農学校長に就任。奉天農業大学が創設されると学長に就任。戦後、明治大学農学部長を務め、遺伝学についての著書を多数残した。

※東北行營…國民政府軍事委員會委員長東北行營。東北接收を目的として設置された軍事機関。

◎12月8日

【野菜配給】渾河農場ヨリ約千斤ノ野菜購入シ淀町ヘ搬入、各家庭ヘ配給ス。冬越シノ貯蔵野菜ナリ。価格次ノ如シ。馬鈴薯 1.90、葱 1.50、人參 1.70、赤丸 1.10。

【小沢孫情報】孫氏干係ヨリノ情報ニヨレバ、

中国側ハ入城式後レタルモ何レモ時機ノ問題ニテ続々周辺ニ集結ノ筈ナリ。此ノ連中ハ殆ト夏ノ装備ナレバ被服ハ当地ニテ賄フ必要アリ。此ノ資金二千五百万円ハ当市全部ニテ寄附ス筈ニテ、負担能力在ルモノニハ相当額ヲ要求セラルベシト言ハル。

【治安状態】連日夜間ニハ銃声頻リト起リ強盜各所ニ出没スルヤニ見受ケラル。新入ハソ聯重戦車隊ナルタメカ此ノ乱行モ各方面ニ見受ルハ迷惑ナリ。

【食堂へ強奪】此ノ日夕刻、食堂ヘ六角君リヤカー搬入ノ際ソ聯兵三名侵入シ、最初ハ酒ヲ要求セルニ既ニ閉店後ナリ且ツ手持モ売切レタル後ナレバ左様話シタルトコロ、果ハピストルヲ出シ白地ヲ主人ト思ヒ女ヲ、更ニ金ヲ強要、5000[〃]ヲ提供セヨト言フ。幸ニ同君ノ奇智ニヨリ所持金四百円ニテ引取りタルガ一時ハ相当心配セリ。西村女ハ逸早く裏側某家ノ二階ニ逃出シ事ナキヲ得タリ。

【火事場泥棒】食堂西側ヨリ放火ニテ発火、五軒ヲ焼失セルガ、避難セント飛出スモノヲ一人一人身体検査シ所持品ヲ強奪シ婦女ヲ何レカヘ引致、強姦セリ。此レ夜終日銃声響キタルガ火事泥ノ死体三名アリタリ。恐ラクソ聯ノ仕業ナルガ、家屋払底ノ際附近ノ同情ヲ蒐メ居レリ。

【兵役干係者】ソ聯ノ居住証明書発行ニ当たり兵役干係ヲ記載セル者ハ明朝再ヒ出頭ヲ命ゼラル。携帯食糧、二日分ノ米ヲ持ツテ午前九時大和署前ノ如シ。過般ノテロ干係者ガ兵役者ニアル見込ニテ一時抑留スルモノカ、或ハ再ヒ使役ニ當ツルモノカ、想像区々ナルガ実行要員ハ今更ツカマル筈モナシ。指名者ハ各方面ノ同情ヲ集メオレリ。

【烟草卷】田中、寄金ノ烟草卷始マル。風味甚タ良シ。要ハ商品化ノ問題ナリ。Riu Bapa ハ一函（メ方不明）従来 2000[〃]ノモノコノ程 4000[〃]ニ暴騰セリナド原料問題モアレバ、明日岩見氏宅ヘ相談ノタメ出向ク。

錦鼎木下、再度資金難ヲ訴フ。

淀町ヘ一泊。風引多シ、岸原夫人、後藤。

◎12月9日

【沖氏】満蒙沖氏来訪。同氏ノ談ニヨレバ旧日本軍ノ五／六百名ハ重慶側ノ援助ニ依リ各方面ニ散在シツ、アリ。先遣隊ノ取扱ヒヲ受ケツ、アル由ナリ。最近ノ強盗事件ハ此ノ連中トハ全然干係ナク此ヲ利用スル輩ノ業ナリ。資金其他必要ナラバ昼間ニ堂々来訪スベシト某主頭ノ言ナリ。（筆者ノ間違ヒ、上記ハ沖氏ノ話ニ非ラザリキ）

同氏ノ附近ニテ砂糖ヲ売捌ク仁アリ、一斤 63^丁ナル由。出来レバーノ二袋思惑シタシト考ヘ分与方頼ミ置キタリ。尚日本ヘ送金ノ希望者アリタルタメ何トカ手配出来ヌカトノ相談アリタルガ従来ノ慣例ヲオ話セリ。

【東棉森山氏（高見来状）】東棉森山氏初メテノ来訪ナリ。同社員新京ヨリ入奉セル者、別紙高見書状ヲ携行セリ。新京ハ依然落付キノ模様ニテ結構ナリ。京城支店ヘノ連絡者ガ婦ツタコト、選鉱剤、水銀会社ノ新京在任者ガ無事ニ処分ノツキタルコトナド珍シキ話ナリキ。新京店モ店限者及ビ女子事ム員ノ処分ヒハ相当悩ミ居ル模様ニテ、此レハ応召者帰還スレバ或ル程度ノ決断ヲ要スベシト考ヘラル。

東棉自体モ社員、家族共合計四十名ノ中、男子ハ森山氏共僅ニ二名ナリ。森山氏宅ニハソ聯少佐三名入代リ立代リノ来宿ニテ心身共ニ疲労セリト寔ニ御同情ニ堪エズ。

【中村氏】選鉱剤中村氏来宿。明日ノ技術委員会出席ノタメタ刻来訪。例ニ依リ種々情報ノ提供アリタリ。真疑不明ナレ共昨日孫氏ノ情報、二千五百万円ノ寄附ハ一致セリ。来奉ノ中国軍ハビルマヨリ移駐セル部隊ナリト言ハル。中蘇合議ニ対シ興味深キハ 1. ソ聯ハ一月三日迄ニ撤退ノ事（ソ聯承認）、2. 経済、工業方面ハソ聯暫ク担当スルニ対シ中国側強硬ニテ此レハ結局中国ヘ引継グ話ニ落付キタリ。此ノ理由トシテソ聯ハ中国ヨリ経済ノ担当者及ビ技術家ノ派遣ヲ求め、此ニ引渡スト申出タルモ中国側目下ノ人手難ニ左様ナコトハ出来ヌ、軍デヤルト突張りタル由ナリ。軍ハ速時引渡ト決定セリ。3. ソ聯ハ工場復興ハソ日両系ニヤルト言フニ対シ中国ハ米国ヨリ設備資本ニテ技術ハ中日人ニテヤルト主張スル。第二ト第三項ハ矛盾シ怎ツモ理屈ニ合ハヌ氣ガスルモ、両国共日本技術ニ対シ不可欠ノ必要ヲ感ズルハ事實ノ模様ナリ。又事實ナルベシ。第三項ハ目下続イテ交渉中ナリ。即ソ聯ノ破壊程度ヲ技術ヲ以テカモフラーゼセントスル故カ。同氏ノ学位論文通過セル由ナリ。

【朝鮮、台湾租借】頃来台湾、朝鮮ヲ六十六ヶ年日本ヘ租借セシムル事ヲ McArther 声明セリト噂頻々タリ。台湾ハ日本食糧問題ニ鑑ミ既ニ実現セリ。朝鮮モ現在ノ如ク南北半々ノ形態デハ北朝鮮ヨリ良民続々南下シ到底成リ立タ、スト言フ訴ヘニ対シ、McArther ハソレデハ一括日本ニトノ話ニナツタト言ハル。噂ノ出所ハ分ラヌモ一才吞込兼ヌル点アリ。

【ソ聯内紛】噂ト言ヘバ、ソ聯内部ハスターリン死亡(?)ニヨリ(十一月十六日頃)スターリン派トモロトフ派ト分カレ、後者ハ対米一戦ヲ辞セズト主張シ、前者ハ穩和派ニテ現ニ在滿セル部隊ハモロトフ派、スターリン派ハ既ニ引揚ゲタリト言ハル。丁度十一月十五/六日頃、ソ聯將校数名ソ紙ニ記載ノスターリン像ヲ中ニ落涙セルヲ見タト言フ人アリ。死亡ハ確實ニテ現委員長ハモロトフナリト。然シ此程ノ大事件ガ Broadcast サレヌ訳モナシ、疑ハシキ話ナリ。

【平和食堂】ウツカヲ買度シテ数名ノソ聯兵、印度人ラシキ通釈ヲ伴ヒ来タル。山口応待シテ四本 @20^テ 売却シタルニ、更ニ多量買入レノ話ヲシテ還ル。同人仕入先へ出向キタルガ結局強奪サレ、其ノ上保管場所迄荒サレルノデハナイカト懸念セラレ同人ニ注意セリ。精々一打位ヲ各方面ヨリ拾ヒ集メタガ残荷ナシト断ハレト advice セリ。

【太田原口大連行】太田、原口、明夕九時大連へ赴クト言ヒテ来タル。書状携行セシメ度シ。

〔満洲選鉱剤株式会社野紙〕

昭和二十年十二月四日

小野大兄 高見

其後御機嫌よく御暮らしのこと、思ひます。形勢は大體良い方に向つてゐるので崑んで居ります。色々御辛勞の程御察し致します。どうか御自愛の程を祈ります。婦女子帰還が今尚目鼻がつかぬので困ります。

京城支店へ出した使が使命を果して戻ってきました。京城も東京情勢は殆んど分からぬらしいです。その内厭成なしに皆帰還すること、なるだらうと云ふ報告です。83°^マ以北のことは京城でもよく分からずまだこの地方が誰も京城へこないと云つて居ります。

チチハルで襲撃を受けて重傷した吉雄君は目下ハルピン迄たどりついて療養中ですが既に元気だそうです。当店泉哲夫は北方で横死をとげた通知が参りました。

当地選鉱剤は一時社長逃避問題でゴテノ、してゐましたがそれもすみ此程新京在住社員丈には仮退職金を渡し三宅社長丈け残留すること、なりました。基本を六ヶ月の月取におき勤務年限の長いものには相当のエキストラを出しました。皆不平はないようです。

水銀会社の方は当地はうまく解決がついてゐますが綏中の方は今の処一寸思案にあまります。千葉氏の云ふようにも参らぬ点もありますと思ひます。今更ら法律問題の解決でもなく又親会社の体面(こんなものがあるかないか知らぬが)など、云ふことも考へる必要はないと思ひます。

兎も角万事相談にのつてやって下さい。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

社内近頃ボツノと病人が出て参りました。八／九／十月の月給は支払ひ十一月からは月給手当は一応支払ふが誰も全部会社の共同炊事の方へ提供すると云ふ方法をとってゐます。散宿の身寄りのある女子事務員は大体解雇しました（大体五百円程度をやつて）が当店は籠城組の女事務員、店限が多くて一寸処置に困つてゐます。お米は貴地よりは安かつたがボツノと高くなりつゝあります。酒は百二十円、貴地の三十円見当に比して大きな相違です。

その内よくなるでせう。元気でやつて下さい。

◎12月10日 極寒

【技術委員会】技術委員会ニ小野支店長出席ス。同会ノ発足ハ別紙会則ノ通りトシ、種々懇談ノ結果、経営部会ハ厭迄消極的ニ終始シ答申機関ニ止ムルコトシ、小野ハ委員兼監事ニ就任セリ。省政府モ非常ナル束縛ニテ速刻5000^円ノ寄附ヲ行ヒタル程ナリ。尚政府出入ノパスヲ要求セルニ対シ、先方承認セルガ有効期限ヲ十日ト言ヒ一週間ト言ヒ極短期間ニ区切りタルハ、恐ク新政府ノ入奉ト彼等ノ後退ヲ予期セルモノカト想像セラル。

中国軍入城ニ際シテハ既ニ二千万円程度ノ歓迎費計ヒツ、アル由ナリ。

【大連出状】太田、原口南下ニ付キ小野（一部小生代筆）ヨリ本宿宛へ出状セリ。同地ハ治安良好ニテ夜間モ十時頃迄開店通行モ出来ルト言フ。全ク夢ノ様ナ話ナリ。当地ハ四時半頃ハ物凄〔騒〕極マリ到底歩行ニ絶〔堪〕エズ。

【烟草卷】原料恒久性ヲ確保スルタメ田中、岩見宅へ赴キ相談ス。当方仕入価格ハ工場原価ノ約100倍ナル由。此レデハ錦県其ノ他へ普及セシムル訳ニモ不参、且協和ノ日系モ全然恩恵ヲ与ラヌ故、目下手巻研究中ノ由ナレバ工場ノ巻損ジヲ無償払下ゲナド懇談セリ。

【満系コソ泥】満系ノ三四人組ノコソ泥多シ。本日モ白地食器買入レタルニ三人計リ“ソレヲ売ルノカ”トガヤガヤ押掛、其ノ中一名ハpocketヨリ擲銃ヲ拔取り遁去シ相棒ハ之ヲ助ケルガ如キ行動ニ出ズ。

東北技術協会々則（案）

第一章 総則

第一条 本会ハ東北技術協会ト称ス。

第二条 本会ハ事ム所ヲ遼寧省瀋陽市ニオク。

第三条 本会ハ在東北日本人ノ有スル科学技術ヲ綜合結果シテ新東北急速ナル經濟建設ニ協力シ生産力ノ發展並ニ民生ノ向上ニ寄与センガタメ

1. 政府ノ政策ヘノ協力
2. 技術向上發展
3. 技術研究ノ自由
4. 東北在住各民族技術者トノ友好提携ヲ達成スル。

ヲ以テ目的トス。

第二章 組織

第四条 本会ハ左ノ事業ヲ行フ。

1. 経済建設及民生向上ニ干スル調査、立案ニ献策並ニ答申。
2. 技術者ノ配置並ニ養成ニ干スル協力。
3. 科学技術者ノ相互研究及研究成案ノ公開。
4. 科学智識ノ普及。
5. 科学技術者ノ親睦。

第三章 組織

第五条 本会ハ在東北日本人科学技術者ニシテ本会ノ趣旨ニ賛成スルモノヲ以テ
会員トス。

第六条 本会ハ左ノ大部会ヲ置ク。但シ必要アル場合ハ之ヲ増減スルコトトシ得。

1. 第一工業部会（電キ、キカイ）
2. 第二工業部会（化学）
3. 第三 “ （通信、交通、土木、建築）
4. 保健部会
5. 農業部会
6. 経営部会（会計、商業、金融、貿易、保険）

第七条 部会ハ必要アル場合ハ更ニ数種ノ分科ニ分ツコトヲ得。

第八条 部会及ヒ分科会ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム。

第四章 機関

第九条 本会ニ左ノ機関ヲ置ク。

1. 総会
2. 委員会
3. 常任委員会

第十条 総会ハ本会ノ最高決議機関ニシテ年一回開催ス。但シ委員会ニ於テ必要
アリト認メタル時ハ臨時総会ヲ開催スル事ヲ得。

第十一条 委員会ハ本会ノ最高機関ニシテ委員ヲ以テ構成ス。委員ハ総会ニ於テ
選出セラレ任期ハ一年トス。但シ再選ヲ妨ゲズ。

第十二条 委員長ハ委員中ヨリ委員長、副委員長、書記長各一名、監事二名及常
任委員若干名ヲ互選ス。

第十三条 常任委員長ハ本会ノ恒常的執行機関ニシテ委員長、副委員長、書記長
及常任委員ヲ以テ構成ス。

第十四条 本会ニ書記局ヲ置キ本会ノ事業活動ニ関スル一切ノ事項処理ニ任ゼシ
ム。

書記局ハ書記長及ヒ書記ヲ以テ構成シ書記長之ヲ主宰ス。但事務細則
ハ別ニ之ヲ定ム。

第十五条 本会各機関ノ会議ノ議決ハ出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス。

第五章 入会及退会

第十六条 本会ノ目的事業ニ賛意ヲ有スル在東北日本人科学者技術者ハ会員ノ紹

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

介ニヨリ委員会ノ承認ヲ得テ所定ノ会費ヲ納入ノ上入会スルモノトス。

第十七条 会員ノ納入スベキ会費ノ額ハ委員会ニ於テ之ヲ定ム。

第十八条 会員ハ申出ニヨリ退会スルコトヲ得。但シ既ニ納入シタル会費ハ返□
セザルモノトス。

第十九条 会員ニシテ会費三ヶ月分以上ヲ滞納セルモノ又ハ会ノ体面ヲ汚シタル
モノハ委員会ノ決議ニヨリ除名ス。

第六章 会計

第二十条 本会ノ経費ハ左記ノ収入ニヨリ支弁ス。

1. 会費 2. 事業収入 3. 寄附金 4. 補助金

第二十一条 本会ノ会計ニ干スル規則ハ委員会ニ於テ別ニ定ム。

第二十二条 本則ハ民国三十四年十二月 日ヨリ之ヲ実施ス。

委員長	守中清	第一工業部会	○鳥谷部愷	高木佐吉	栗田	前川和
			電線			
副々	塚本玄門	第二々	○中村崑義	堀信一	川股重三郎	米田崑一郎 武田
			農産			
書記長	方藤崑一	第三々	○米田正文	高橋誠一		
監事	小野硝介	保健部会	○三浦運一	千種峯義	橋本滿次	山岡義郎
	立服耕一	農業部会	○宇田一	井上辰義		
		経営部会	○菊沢貞雄	平野長秀	小野碩介	
				蒙毛		

※守中清…1884年生-没年不明。1910年に京都帝国大学医科大学を卒業。1918年に満鉄に招聘され南満医学堂教授・奉天医員内科長に就任。1921年に医学博士の学位を授与されるとともに、ドイツ・アメリカへ留学。帰国後、1924年に満州医大教授・満鉄病院医長に着任し、大連医院長を経たのち、1939年に満州医科大学長に就任した。居留民会の2代目会長をつとめた（宇佐美の後任）。

◎12月11日 暖

【課長会議】淀町谷口宅ニテ会議開催。決定事項次ノ通り。

1. 借入金五十万円ノ事

当社手持現金僅少ニテ今後数ヶ月ノ給与ハ全然見込ナキノミナラズ、治安回復次第会社トシテ何ラカノ事業ヲ営度シ。依ツテ若シ貸手現ハル、場合ハ五十万円迄借入限度ヲ引上グル件可決。沖、日塔、高野ノ各氏モ手許逼迫ノ模様ナリ。

2. 選鉱剤融資ノ件

選鉱剤八年内一杯ニハ操業可能ト考へ前後処置ヲ講シ来タレルガ到底見込立タ、ズ、且目下男子全員ハ終夜ノ警備ニ当たり別ニ職業ヲ得ル能ハザル現状ニ鑑ミ、二月初迄即十二ノ一月俸給ヲ支払度ク、此レガ費用三万三千余円ノ借用依頼

アリタリ。依テ種々相談ノ結果極力資金蒐集ニ努力シ成功ノ上ハ三万円程度貸与スベシト意見一致。

3. 年末餅代支給

年末餅代トシテ独身者 50[〃]、家族 100[〃]ヲ支給シ、貧者ノ一灯ヲ求メシムルコト。

4. 月額給与減額

主脳部ノ苦心ニ不拘、不心得ナル者有リ。或ハ当社給与ガ上厚下薄ナリトシ或ハ資金ハ相当豊満ニテ借入金ハ之ガカモフラージナリト、又一部給与規定ヲ社外ニ洩ラスタメ他社、殊ニ傍系ヨリ云々サル、ナド面白カラズ。且当方手許ハ相当以上逼迫セルニヨリ一月ヨリ本俸 1/2 月分減額支給スルコトニ決定ス。尚新京へ連絡ノ場合ハ新規定入手ノ上全満ニ統一スル方ガ良シト意見有リ。急速ニ実現シタシ。

5. 錦県組及大正海上北川家族

錦県組ガ北川氏ヨリ借用ノ布団ハ北川氏又困窮中ナレバ 1500[〃]ニテ買取り、更ニ 1500[〃]ヲ家賃其ノ他トシテ支払ヒ度シト提案、一同承認。北川家族ハ過般ソ兵乱入 1700[〃]ヲ奪ハレタリ。

6. 傍系会社事情調査

日本ト通信付キ次第早速報告スベキハ当社事情ノ外傍系会社ノ実状、殊ニ Bie Sheet、現金処分、給与ノ実情等ナレバ、各員手分シテ纏メルコト、ス。

7. 支店長技術委員就任

12/10 記載条項承認。

【利益圏】某氏聴取ノ Radio ニヨレバ McArther ハ“朝鮮、台湾、関東州ヲ日本ノ利益圏ト認メル”ト声明シタル由ナリ。以上三ヶ所ニ限り日本人ノ居住ヲ認メ自由ニ貿易通商ヲ営マシメルト言フ意味カ、工場其ノ他ヲ許スト言フノカ、利益圏ノ意義不明ナルモ逆ニ満州ニテハ一切許可セヌノカ分ラヌモ、六十六年租借説ハ此ノ辺カラバラマカレタノカト想像サル。

【兵役干係者】過日呼出ヲ受ケタル兵役干係者ハ分区ニ集合セントコロ、“第二国民兵”ト記載セル者ヲトラックニ乗セ、他ハ数日中改メテ出頭ヲ命ズル旨ヲ言渡シ一先帰宅セシメタリ。今日右ノ出頭命令出タルモ誰モ集マラズ分区長ノ責任ナリトテ役員総出テ狩集メツ、アルモ堂ニモナラヌ様子ナリキ。

◎12月12日 暖

【治安愈悪シ】五条方面ノソ兵乱行ハ相当以上ノ如シ。一般ニ人通激減セリ。兵役干係者ノ遁走セルモノ多ク、再ヒ使役ニ不足セルタメカ加茂町附近ニテハ莊〔社〕年者ハ無闇ト引張ラルタメ大広場方面ハ淋レタリ。尚公安局ヨリ出頭ヲ命ゼラレ行方ヲクラムシタルモノアリ。此ノ代人ヲ求ムルノカ本人ヲ捜サスノカ、アパート辺ニ公安隊ノ出入スルヲ見受ク。

【強盗】強盗ノ出没依然絶エズ、当莊附近モ昨夜三ヶ所ニ入ル。分区事務所ノ隣家ハ主人ヲ縛リ二階ヨリ突落シ殆ト半死半生ニタ、キノメシ、一万余円ト寝巻以前完全ニ運去リタリ。恐ラク附近ノモノナラン。満鮮各二名ナリ。十二時ヨリ五時ニ亘ルモ吾等全然気付カズ、向側第三曉莊ニハソ兵二名侵入、三戸ヲ強奪シ廻ル。隣家ニモ三時頃二名侵入、懐中電灯ニテ捜シ廻リタルヲ見受けシモ、遂ニ目的ヲ達セズ立去ル。瀋陽館方面ニテハ四名ノ中二名捕縛セラレタリ。何レモ鮮系ナリキ。

【分区費用分担】当分区費用月額一万円ナルガ、此ノ割当ニ干シ本日臨時常会アリ。当莊 380^円 per m/□ナリ。此ノ他分区割当ノ避難民 130 名ヲ收容スルタメ廃屋ノ修理費 4000^円、毎月ノ補助費 1000^円 ナド仲々負担過重ナリ。平和食堂又全様。

【松本寮母】松本良子大連ヨリ帰奉シ荷物処分ノ上再度南下ノ由ナリ。現在借用中ノ笹山、川口、柘田ノ各君ニ買求メシムル様打合ハセタリ。尚竜江酒精金子君（在連中）ヨリ来状アリ。同君ノ荷物モ処分スル様依頼アリタルヲ以テ明日相談ノ予定ナリ。同女ハ稀ニ見ル優レキ夫人ニテ川野君ナド相当面倒ヲカケタル由。

【済南堀野】済南堀野（準）ハ今回三名ニテ食パン製造業ヲ開始スルニツキ資金融通願度シトノ話アリ。笹山、小野相談ノ結果、此レニテ打切ルトテ 1000^円 ヲ与ヘルコトヲ承認セリ。

【病人続出】支店長風邪、久保夫人全様、後藤原因不明、西村過労ニテ臥床。

【平和食堂】雇人同志ノ Trouble ニテ北安疎開者休ム。営口小母サン辞意表明ス。

【公安局騒ギ】隣家曉莊前ニ公安隊二十名余自動車ニテ乗付ケ大騒ギナリ。何事カト近隣モ心配シツ、アリタルガ、夕刻ニ至リ判明セル実情次ノ如シ。曉莊居住者ノ一名ガ某満系知己ニ自分モ警察官ニナラウト話シタルコトアリ。此ノ満系何時ノ間ニヤラ警察官トナリ出世セルタメ此レヲ誇示スルタメニ同家ニ部下ヲ引伴レ来往シ兼テ警察官就職ヲ薦メタルモノナリ。事情判明一同大笑ヒセルガ一時ハ心痛セリ。

◎12月13日 暖

【ハルピン事情】協和岩見氏、水銀千葉氏来訪。岩見氏ヨリ別紙（裏面記載）来状ヲ示シ、ハルピン事情ヲ説明アリタリ。工場長千原氏ハ十二月九日ハルピン駅出発、十日直接着奉セリ。ハルピン駅ニテ手廻品掠奪セラレタルモ途中ハ無事ニテ便所ニテ立通シタル由ナリ。Gig News ハ天野悌二氏ノ死亡ナリ。十一月二十四日ヨリ胃カイヨウニテ重態ニ陥リ二十八日小康ヲ得、大量ニ摂食セシガ廿日ニ至リ遂ニ立タツ遺言モナシ。満州デ死ヌノハ本懐ナリト臨終ハ立派ナリキ。協和烟草ハ全氏死亡後病人続々ト死亡シ総員廿四名ノ中死亡者七名、臥床中ノモノ十名ニテ、此ノ中三名ハ既ニ死亡セルナルベシ。資金ハ全然無クハルピン支店ヨリ

約 10 万円ノ融通ヲ受ケツ、アリ。支店ハ先頃迄相当豊満ナル資金ヲ有シツ、アルモ現在ハ借入不能ナル由。

【隣家強盗】今曉田中代理ノ家族ガバリバリ、ガタンガタント近隣騒シト言ヒオリタルガ、果セル哉、隣家峯へ兵隊上リト想ハルモノ数名乱入セリ。最初旧安藤宅ニ入りタルモ疎開者ナリシタメ気毒ダツタトテ立去リ峯ヲ押入り、何故疎開者ノ面倒ヲ見ヌカト説教地味ナル事ヲ述べ漸次ニシテ立去リタリ。西村君ハ“前回邪ケンタノハ此奴ダ”ト大分イヂメ付ケタルガ、仕舞ヒニハ同情シー一味ニ加入セヨト薦メタル由。同人等ハ既ニ 200 万円稼イダガ殆ト消費セズ避難民ニ与ヘツ、アリ。ピストルノ弾モノ発百円デ仲々費用モ苦ムナド話居リタリ。隣家（当家）ハ何シトノ質問ニ対シテ“会社ノ人ガ沢山居ル”“大シタコトハナイ”トノ事、覗ハシテハ大変ナリ。対策ニ干シ協議スルトコロアリタリ。

【竜江酒精】竜江酒精金子有美（大連市常磐町三四ノ八）ノ来状ヲ大隈ニ届ケ、明日返持参スル様頼ム。同人ノ依頼ニヨリ荷物処分ヲ開始セルトコロ、殆ト青山利通所持品ナレバ此レハ売持金ヲ金子ニ手交スベキモノニ非ラズト考へ、一先ヅ会社ニ保留スルガ宜敷シカルベシト松本良子ニ相談、一決ス。松本寮母ノ布団ハ一応片付キタルガ着類ハ相当類ニ及ブ見込ナリ。

【満配滋賀氏】満配滋賀家族、目下滨江荘ニ在ルガ気兼ねノタメカ、霞町住宅健在ナラ帰奉シタシト希望ヲ述べタリ。

【平和食堂】二名ノ女再ビ勤メニ出ル。雨降ツテ地固ルカ。

【Hawaiian Radio】在外同胞ノ帰還ニ就キ U.S.A 側協議シツ、アリ。中国軍ハ既ニ奉天へ入城セリ。蒋介石ハ天津ニ在リ。朝鮮人ノ母国帰還ハ十二月十日迄二六十一万、日本人ハ三十一万ナリ。鮮米ノ輸入ハ十萬石。朝鮮ニテ日系官吏十数名（技術系統）雇入レタリ。

青山所持品ヨリ日本銀行券 214 現ハル。香川保管。

協和烟草千原氏出状（12/9 出哈 12/19 着奉）

1. 8/15 夜工場ハ暴徒ノ襲撃ヲ受ケ掠奪ニ次キ放火、工場、倉庫、事ム所、社宅全部焼失、一物モナク掠奪セラレタリ（製造場ノミ焼残ル）。
2. 社員家族ハ無事ナルヲ得タルモ全員着ノミ着ノマ、ニテ翌十六日□□三井ニ避難シ、午後滨江荘ニ入り雨露ヲ凌キツ、アリ。
3. 八月十三日、日本人男子狩出ニカ、リ拉致セラレ爾来、香坊、新香河、海林、牡丹江ニ抑留生活。三十七日ニシテ十月三日釈放セラレ帰哈。拉致セラレタル当社干係者、天野、千原、田中、森、山石親子。
4. 現在滨江荘ニ集結シ居ル社員家族類ハ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

天野（死亡 11/30） 千原 田中三名（内一名死亡 妻 11/11） 森二名（一名死亡 妻 12/6） 徳重二名（一名死亡 12/6）、両四名。

中島三名 山石五名（内一名死亡 妻 12/1） 中谷六名（一名死亡 父 12/2） 大塚（死亡）

註 山石甚作重態ナリ。

中谷、大塚、応召中ノモノ十月初旬帰宅。西、中島、杉田、未帰着。

中谷父十月二十二日収容所ヨリ引取ル。

5. 掠奪ハ八月十五日夜、九月一ノ二日其他抑留中数回。

6. 社員給与ハ凡ソ三ヶ月分（十月迄）ヲ支給セルモ現在手許金ナシ、専ラ MBK ニ依存シ赤松氏ニ良ク面倒ヲ見テ貰ヒアリ。

7. ハルピンノ現況。

奥地ヨリ避難民殺到シ一時混乱セルモ現在ニテハ其ノ数六万ト称セラレ市内居住者七万ト合セ計十三万見当。

ソ聯側及ヒ中国側公安局ノ承認ヲ得テ救済委員会ヲ設ケタルモ充分ナラザルガ如シ。

8. 物資 米ヲ主トスル主食糧ハ市内自由ニ買付得、相場白米上 4^丁、野菜類其ノ他ハ漸次高騰ニ在ルモ左迄困難セズ。燃料ハ見透ツカズ石炭ハ屯 1200^丁 唱ナルモ入手出来ス。薪ハ珣 1,500 円（配給）。寒氣来襲ト共ニ益々燃料問題不安ナリ。滨江荘ニ住居スルモノ、本年暖房予算ハ一人当リ一千元ナリト。

9. 治安状態

ソ聯目下引揚中、中国公安局市内ノ治安ニ当リツ、アルモ、ソ聯ニ対シテハ無力ニシテ毎日市中ニ強盗、暴行ハ絶エザル如ク、連夜銃声ヲ聞ク。二ノ三日中国軍 300（800 トモ云フ）来哈セルモ此ハ八路軍系ニテ匪賊上リノ悪質ナレバ警戒ヲ要ストノ事ナリ。

10. 時更 本年ハ幸ニ□ク迄暖カク今朝初メテ雪ヲ見ル。室内 15/6°。今ノトコロ 凌易キモ日々低下シツ、アリ。

空気ハ湿度多ク子供ノハシカ流行、死亡率高ク殆ト死亡シツ、アリ。

満配滋賀家族モ滨江荘ニアリ。霞町社宅完全ナラ帰奉ノ希望ナリト。

◎12 月 14 日

【米屋組御難】松宮、高田、広瀬兄弟ノ米屋組ハ、昨日来小生ヲ捜ネアグミツ、アリタルトコロ、今朝高橋庶務課長同道ニテ来訪セリ。全人等ハ各千円ヲ持寄り高橋、小生ニテ一万ヲ出資シ米穀商ヲ営ミツ、アリタルトコロ、12/12 夜、松宮宅へ公安隊及ソ兵同同ノ掠奪団侵入シ、同人所有ノ仕入資金七千円ヲ奪ハレタリ。

此レ金円ハ不幸前々日安倍ヨリ借用セシコールマネーナレバ、何トカシテ返却致度シト言フ。而現在精算スレバ四人ノ四千円、小生、高橋ニ八百円ヲ負担シテ貰エバ par トナルト言フ。一同、殊ニ松宮ノ落嘆ハ見ルモアワレナレバ、何トカシテ継続セシメ度ク、場合ニ依テハ米ヲ社費ニテ仕入、同人等ニ引出毎ニ COD デ片付ケテハト考へ、支店長トハ諒解未済ナルモ元氣付ケテ帰ラス。松宮兄ハ旅館経営中（鮮系）ナルガ、附近五ノ六軒ノ Block ニ約四十名押入りタリ。公安局方面ハ今頃ノ連中最悪ナリ。何レモ相当ノ被害ナリ。

【蘇家屯満配ヨリ】太田君、苦力頭同伴来荘、小生、支店長面会懇談ス。苦力頭ハ現在工場主ノ積リデ経営シツ、アリ、太田トシテハ此ヲ立ネバ如何ナル珍事出来スルヤモ計ラズ、幸同人ガ小野氏在連時代大連出納ノボーイタリシコトアレバ、懇談願フ積リテ連レ来タリタルモノナリ。滋賀、岡本ニハ好意ヲ持タズ、太田ニハ使用人ノ積リカ怎フカ分ラヌモ不即不離、今迄ノトコロ好干係ナルハ仕合セナリ。同人ノ心組次第デ会社モ zero ニナルトコロト想ヘバ、若干ノ御世辞モ止ムナキモ、随分馬鹿々々シキ話ナリ。

【菅野】白耳義婦リノ菅野ハ本人ノ意向ヨリ退社セシメタリ。同人ニハ慘々迷惑ヲ被リタルガ、盗人大追跡ノ態トナレリ。母国ヲ跡ニ幾十年トナルト斯様ナタイプニナルモノカ。寔ニ迷惑ノ点多カリシモ兎モ角片付イテ仕合セナリキ。満鉄社員ト合同ニテ料理屋開業セリ。

【兵役干係者】市内ノ強盗愈々激シク、旁々ソ聯側ハ使役ガ要ルノガ兵役干係者ノ狩出シ始マリタルコト既述ノ通りナルガ、前例モアレバ何レモ逃亡シ頭数揃ハズ。此ノ代人ノ出頭ヲ命ズレバ代人又逃亡ス始末ニテ、分区長班長ハ正ニ命ガケナリ。旭区ニテハ人員不足ノタメ 20-50 才ノ全男子留置セラレツ、アリ。從テ強盗ハ愈々勢ヲ得テ無人ノ境ヲ行クガ如シ。当地越ノ満系宅ヘ昨夜侵入セシ由ナリ。

【強盗】当方モ身廻品布団ガ免ルレバ跡ハ仕方アルマイト覚悟ヲ決メル。分区ヨリ日本刀ノ供出ヲ求メラレ武器皆無デハ如何トモナシ難シ。明後日ハ鉄拾〔格〕子入ル予定ナルモ茲ニ三日ハ最モ危険ナリ。本日ヨリ窓ヲ釘付ケトスル。

【満南堀野】笹山氏ノ幹旋ニヨリ堀野ヨリ資金借入ノ交渉アリタリ。支店長爾后打切りトシテ一千元ヲ承認セシ由ナレバ、本日笹山ヘ手交ス。

【銃声】依然トシテ銃声絶エズ戦車砲ラシキ銃声又交ル。

【臨時常会】班長、組長ノ辞表呈出アリ改選トナル。何レモ命ガケナレバ名誉職デ出ル者ナシ。相当ノ給料支払ヒ要スルベシ。武器発見ノ場合ハ全班戦車ニテ數殺シ火砲ヲ打込ム旨ソ聯側声明セリ。

太田君一泊。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

※COD…Cash on Delivery を指すと思われる。現金引き換え。

◎12月15日

【分区長問題】 分区長、班長改選ニ付キ関谷分区長、野崎班長、他一名ニテ早朝ヨリ来荘。後任分区長ニ小野氏ヲ推戴シ度シトテ其ノ出馬ヲ促ス。当方事情八方説明ノ上辞退ノ意向開陳セルモ、仲々聴入レズ一先会见ヲ打切り小生、野崎氏間ニ改メテ接衝スルコト、セリ。時節柄到底名誉職デハ勤ラヌ故、俸給ニ千円程度支出スル意向ノ如シ。

【兵役者干係】 藤萩1分区ニテハ愈十八才以上五十三才迄ノ全男子出頭ト定マリ、相当数逃去シ一部出頭セリ。木下ハ唯一ノ男子ニテ大黒柱ナルガ幸ニ当荘ニ仮伯中ニテ免レタリ。北陵へ出頭セシ者モソ士官、日本軍達立会ニテ体格検査アリ。本人ノ病歴ニ從ヒ大部分ハ放免セラレ自他共ニ頑健ト言張ルモノ、ミ拉去セラレタル由。一説ニハ単ナル使役トモ言ヒ、一説ニハ捕虜六十九大隊ノ役更ニ七十大隊ヲ編成シ支那軍へ引渡ストモ謂ハル。

【満配苦力頭谷】 夕刻谷来荘。金五千円ヲ渡シテ太田ト共ニ立去ル。八月満配へ融資セル壹万円ノ内払ナリ。幸ニ同人ハ上機嫌ニテ引揚ゲタリ。

【藤原技師】 藤原君蘇家屯ノ一酒造家ニ指レテ同地へ赴ク。自酒製造ノ技術説明ノタメナリ。

【食堂】 公休日明ケニテ又賑フ。先般来早朝ヨリノ来客ハ怎フモ妖シト想ヒタルトコロ、弗々問ハズ語りニ本職ヲ語り出シタルハ薄気味悪シ。白地君ヨリ貸与セル200^円ハ返却シ本期ハ四ノ五千円手ニ持チツ、アリタルガ、此ノ話ヲ聞キ鮮スラシキ者ヲ交エ日系刑事型ノ三名同人ヲ尋ネ来タリタルガ、深入^マセル様一同ニ注意ス。

【小澤君ノ計画】 小沢、井上君ノピヤホールハ資本主孫氏ノ尽力ニテ春日町、平安広場ノ明治セ菓ヲ借受ケ得ル様ニナツタト報告アリタリ。支店長ヨリモ激励アリタリ。

悪感甚シ。

山口痔疾ニテ臥床。

木下泊。

※明治セ菓…満州明治製菓株式会社、1939年5月に明治製菓の工場を改組するかたちで、明治屋と明治製菓の出資により奉天に設立された。1942年2月に満州明治産業株式会社に改組されている。

◎12月16日 SUN 雪冷

【錦組へ強盗】昨夜九時前、錦組へ強盗押入ル。日系二名、満系一名、無詳二名ナリ。偶々唯一人ノ男子木下当荘ニ宿泊シ婦女子ノミナリシタメ、脅シ文句ニ有金全部ヲ提供シ内某夫人ハ隣家迄案内セシメラレタリ。合計5800^〇ニテ当方ヨリ融通セルモノ大部ヲ占メ、今後ハ生活ニモ支障ヲ生ズルニ至リ木下相談ノタメニ至ル、避難民ナルタメ強盗ニハ縁遠シト対策ナカリシハ遺憾ナリキ。何分男手一人ナリ。病氣其ノ他ヲ考ヘレバ相当ノ融資ヲシテ結局ハ喰込ミ泣付キ来ルガ関ノ山ナレバ、木下ヲ八幡寮へ、他ハ淀町へ引取り最底生活ヲ営マシムルニ然カズト話合ヒタルモ、終始行動ヲ供ニセル干係モアリ、且同人等カ充分ノ覚悟ト確信ヲ有スル故更ニ融資ノ上自活ヲ援助セラレ度シト言フ。

支店長へ相談ノ結果今日ハ本人ノ言分ニ從ヒ現状ニテ進マシムルコト、セリ。

【市中物凄シ】日曜日ノコト、テソ聯兵ノ横行甚シク、春日市場ニテハ女一人ヲ三名デ追廻ス始末ナレバ、食堂モ早目ニ閉ジテ引揚グ。SMR須藤ト共ニ来ル下士官モ某処ニテ強姦セル由同君ヨリ話有リ。又明日回来ルト言フノデ女共震上リ居レリ。何トカ断ル方法モナキヤト白地、山口等頭痛ノ態ナリ。銃砲ハ更ニ絶エズ。治安ハ再び最悪ニ類〔瀕〕シツ、アリ。

【寮母荷物整理】松本良子婦連ヲ急ギツ、アルモ、以テ本日日出向キ全部ヲ二千円ニテ仕切り手交ス。今夕出発ノ予定ニツキ渡辺代理宛近況報告シ置キタリ。竜江酒精金子ニハ荷物内容不明ニ就キ処分代金手渡出来ヌ旨伝言頼ム。

【青山荷物】青山君荷物ハ本日Yシャツ（新古各二枚）其ノ他持参セリ。此ノ代金180^〇也。

【米屋】高田、松宮、広セノ米屋ニ対シテハ事情寔ニ同情スベキモノアリ不取敢5000^〇ヲ貸与シタリ。

【藤原技師】同人性来ノ怠者ナレバト期待セルトコロ、果セル哉、今早朝出発三時頃帰宅ス。寒クテヤリ切レヌトカ駄目ダ駄目ダノ一点張デ話ニナラズ。

ビール工場休業ニテ17/9^〇ヨリ30^〇ニ暴騰。

白地、風邪下痢 木下、神代泊

◎12月17日 雪-10°

愈々本格的ノ寒気来タル。春日町露店入通共ニ激減ス。

当荘特記事項ナシ。

【空堀】避難者死亡者続出ニテ分区ヨリ穴掘作業ノ使役ニ向フ。後藤、広岡出役。

白地血便アリ

木下泊

◎12月18日 -17°

特記事項ナシ。

【神代氏宅】錦鼎木下君、諏訪夫人同道ニテ神代氏宅へ。同氏製造ノキンツバ50ヶ仕入レ此レヲ卸サシム。代価1[〃]、卸1.20[〃]、小売1.50[〃]ノ割ナリ。

【安東】安東機関庫員一名来堂シ其ノ話ニ、奉天ヨリノ列車ハ宮原ニテ終点トナリ、宮原―安東間ハ安東鉄道局ノ管理下ニ単独運行シツ、アルガ、ソレカラ先ハ八路軍多数駐屯中ナルタル治安ハ急激ニ悪化シツ、アリト。

寄金氏

◎12月19日 暖

【高野氏来訪】田中氏同窓ノ高野氏来荘。種々歓談ノ後帰ル。10[〃]。

【千原氏々（ハルピン）】協和烟草ハルピン工場長千原氏来荘。赤松支店長ヨリ寄托ノ書状途中ニテ略セラレタルニツキ、ソノ詫ヲ兼ネ同地情報ヲ提供セラレル。八月二十三日ヨリノ日系男子抑留ハ厭迄ロシヤ式ニテ、唯路上ノ男子ヲ拉致セルタメ干係者一同籠城中ナリシトコロ、遂ニ浜江荘ニソ兵来タリ、片パシヨリ引致セルモノナリ。自来五ヶノ抑留所ヲ転々セルモ、ソノ間仕事ヲサス訳デモナク、唯終日食事調弁ノタメ動キタルニ止マル。今日ニ到ルモ其ノ目的奈辺ニ在ルヤ分ラズ。男子留守中掠奪セルハ事実ナルモコレガ目的ニモ非ルベシ。

物価ハ野菜、石炭、酒ヲ除キ当地ヨリ割安ナリ（一割方）。資金方面ハ前述抑留生活中、老人達ヨリ使ツテ呉レトノ申出アリタル如ク、帰哈後比較的容易ニ集リタリ。

【東洋製粉】加賀林氏、中川代理ト同伴シ来タル。東洋セ粉駐在ノ武官ハ茲数日来全部背広ニ変リツ、アルガ、一昨日ニ至タリ同工場ヲ譲渡セヨト迫リ価格ノ協定ヲ強要ス。同氏ハ一使用人ナレバ此ノ相談ニ応シ難シト言フモ、先方ハ同人ノ意見ニテ差支エナシ、明日更ニ出頭セヨト命ジ去レリ。恐ラク中国入城後買取ノ形式ニテ目覚シキモノヲ確保経営ノ意向ナルベシ。経済方面ハ司令部スピーーンコフ少佐ノ担当スルトコロナリ。同社ヨリ遼寧通商公司方面ニ提出セル同様ノ書類ハ松田君保有シツ、アリ。ラヒムハ徴役十年ニ処セラレタリト。

東洋セ粉隣リハ当社会庫ナルガ既ニ当社ノ苦力ハ追放ヒ、東洋セ粉社ノ苦力又ハ日系ヲ随時使役シツ、アリ。在庫品ハ満系ヲ二ノ三十名呼込ミ落札ニヨリ大方処分済ノ模様ナリ。加賀林氏ヨリ日系ニモ分譲方頼込ミタルモ断リタル由ナリ。染料一箱六千円見当。

【満系落札者談】 食堂ノ常連タル一満系ノ談ニヨレバ、本日水銀 2000kg @ 400[〃]ニテ応札、城内ニ搬入セル由ナリ。砂糖ハ 12,000[〃]ニテ 50 俵買取りタルガ内 10 俵途中ニテ Dabei セラレタリ。

【中国軍入城確定】 民団会報ニヨレバ懸案ノ入城ハ二十三日頃行ハレル予定ニテ、此ノ二ノ三日道路ノ清掃ヲ命ゼラレタリ。新京ハ既ニ到着シ治安ハ極テ良好ニ維持セラレツ、アル由ナリ。

風引キ 岸原夫人、田中公子、白地

◎12月20日

【ソ兵多数入奉?】 本日春日町ハソ兵多ク日系ノ歩行者寥寥タリ。愈々引揚近ク土産買ヒカト想ハル。依然トシテ騒々シ。平安広場ニテ満服ノ男一名射殺セラレタリ。食堂附近モ朝ヨリ兵士数名ニテ押込ミ（反対側角）附近ノ女子一名拉致セリ。後刻 G.P.U. 多数来タリ一モメアリタリ。食堂前モトラック朝パラヨリ止マリ宛然出入禁止ノ有様ニテ客足尠ナシ。

【自活者ノ資金問題】 現在ニ於テハ食堂、薬局、米穀商ト相当纏リタル商内ヲシ始メタルガ、何レモ資金難ナリ。依テ会社ニ資金借入出来次第多少ナリ此ニ貸付度シトノ支店長意向ナリ。甚結構ナルガ要ハ此ノ確〔獲〕得方法如何ニアリ。食堂其ノ他各一万、営口組ハ一万五千程度ナリ。

【東洋セ粉】 買取問題ノ結果ハ不明ナルモ、昨日支店長ハ“厭迄権限ナシ”ト突張ルガ、一年契約デ借ス程度ニ話ヲ進メテハ如何ト話シタル由。突張組ハ如何ナル待遇ヲ受ケツ、アルカー応鉄西方向デ取調べル必要モアルベシ。三中井百貨店ヘモソ通商代表来タリ。20万円ニテ売却セヨト強要セルニ対シ、三中井ハ200万円デナケレバ手放セス、然ラザレバ寧ロ占領セヨト掛合ヒタルガ、先方依然20万円ト言フ由ナリ。結果不明ナリ。

【選鉱剤ヘ強盗】 選鉱剤ヘ満系十人組押入り、内五名ハピストルヲ所持セルガ、不幸一名ノ犠牲者ヲ出シタリ。寔ニ哀悼ニ堪エズ。

【職業登録】 “重慶入城ニ際シ就職斡旋ノ参考ニ資スルタメ”ト称シ職業ノ登録アリタリ。当方ハ全部技術者ニ非ラザル旨申告セリ。

【発疹チブスト医師】 発疹チブス依然多ク、死亡率ハ6/70%ナルガ俄ニ伝染シテ死亡セル医師石川、亀山博士以下数名アリ。当方御世話ニナリタル先生達バタバタトオレ全ク困リモノナリ。当方モ一同至急注射必要アリ。本日来堂ノ某衛生兵ニ個頼アリ。

白地、岸原、田中公子、早瀬、臥床。 来客 笹山、大武。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

※三中井百貨店…滋賀の商人・中江勝治郎が1905年の朝鮮への進出を嚆矢に大陸各地に支店を設立した百貨店。

◎12月21日

【選鉦刑】 中村氏早朝来訪。過日ノ強盜ニ就テ語ル。此レハ所謂強盜ト異リ八路ノ殘党ニシテ通常警備セルヲ識ツテカ約三十名侵入前一一分間百発程度ノ発砲ヲ続ケテ至ル。男子ハ数日腰立タ、ヌ迄タ、カレ、ナゲナラレ、女子ハ脅迫ヲ受ケタリ。一夫人案内ヲ命ゼラレタルガ、不幸岸川宅ナリシガ同人窓ヨリ脱出セントシテ射殺セラレ娘ハ右腕貫通ニテ助カリタリ。民会、ソ兵公安局ト相談ノ上手榴彈三十発ヲ以テ依然警備シツ、アルガ、附近ハ軒並ミニ襲撃セラレタリ。現金、布団ナド相当量搬出セラレタルヲ以テ此レガ救済資金トシテ二万円ヲ持帰りタリ。

（鞍山情報） 同氏ノ鞍山情報ニヨレバ八路入市以来急悪化シ行方不明者、射殺セラレタルモノ多キ模様ナリ。

（中国軍） 本日 8.40 am 日本放送ニヨレバ中ソ会谈纏ラズ中国軍ノ入奉ハ未ダナラズト報ジタル由。尚在住日本人ハ飢餓ニ頻〔瀕〕シツ、アリト報道セラレタル由ニテ逆ニ家族ノ心配ヲ心痛シツ、アリ。

【発疹チブス】 淀町社宅居住ノ近森ハ、其ノ娘及ビ娘婿ヲ避難者群ヨリ引取り同居セシメラレタシト依頼アリ。当方モ内諾ヲ与ヘツ、アリタルモ、本日既ニ入寮済ニテ而モ発疹チブスノ疑ヒアル旨赤十字野田院長ヨリ診断セラレ、然モ偶々同席セル松本女子事ム員ヨリ洩レタルメ同人ガ常ニコソコソ□動スルヲ不快トセル一同憤激シ、全員最後策ヲ凝議セリ。病人ヲ動カス訳ニモ不参、左リトテ集団生活ニ放置スル訳ニモ不参、暫ク様子ヲ視テ入院其ノ他可然処置スルコト、定ム。三井寮白土妻女ノ赤痢ト云ヒ、今例ト申シ、殆ド無用ノ人物ニスルケース多キハ遺憾ナリ。

高橋要之助氏一泊。

◎12月22日 暖

【鞍山】 鞍山駐在員付白井君早朝ニ着奉ス。鞍山製鉄所ハ十一月五／六日迄ニ解体作業ヲ完了セルガ、此ノ間日系男子ハ全部十二時間ノ使役ニ徴発セラレタリ。終了后日当十円ヲ支給セラレタリ。

全地ハ日本軍ヲ以テ警備セシメタルヲ以テ当初極メテ良好ナリシモ、十一月八路ノ入市ト解体作業終了ニ伴ヒ武装ヲ解除セラレ急激ニ悪化シタリ。全市殆ト八路ニテ横溢セル観アリ。目覚シキ方面ニハ掠奪盛ニ行ハレ此ノカモフラージノタメカ応召家族ニ対シテハ毎月若干ノ補助ヲ与ヘツ、アリ。

(事務所状況) 岸本大将、矢野理事等、有力者ハ何レモ行衛不明ナリ。大谷重工業社長モ Boiled water ヲ浴セラレ全身火傷ノ噂アリ。当方干係者タリシ松本大朗君ハ生活困難ニテ当方ヨリ二千円融資セル由ナリ。白井ハ両親ト同居セルトコロ家屋接取セラレタルタメ事務所階上ニ後藤妻女等ト共ニ同居シツ、アリ。十月迄ハ銀行開キツ、アリタルモ、八月十五日以降 1500[〃] 以上ヲ引出シタルモノニハ払出セズトノコトナリシモ、八路入市以来自然消滅セリ。当事務所ハ八月十四日現在預金高 24000[〃]、此ノ中 4000[〃] ヲ引出シ現在迄過シ来レルガ、既ニ消費シ尽シタルヲ以テ本日同人ニ奉天員同□ヲ支給シタリ。岡村女子事務員ハ三月迄ヲ支給シ退社セシムルコト、セリ。事務所ハ幸ニ商店街ナレバ治安状況比較的良好ナリ。

車中ハ寿司詰メナルタメカ却テ安全ナリトノ白井君ノ話。

【中村明】 ハワイ、マレー沖等ノ映画ニ出演セル中村明ナル俳優、山口ノ朋友ナル由ニテ本日来荘。兩名旧交ヲ暖メ一泊セリ。芸術協会所属員ヲ以テ目下銀映座ニ出演中ナルガ、連中大入満員ニテ入り切レルヌ連中ニテ一騒ギアリタル由ナリ。宛然震災後ノ如クセツナセツナニ墮シタルガ如シ。避難民救済ノ資金ヲ与ヘツ、アルモ、現金テ渡セバ酒ヲ呑ミ、米デヤレバ米ヲ売り、余リ始末ニイカヌト話ソノマ、。

【米価暴騰】 数日来再ヒ奔騰。4.80/5.60/6.10/6.60 卸値ニテ約二円ノ値上リナリ。

砂糖ハ引続キ引締マリ、カルピス(小売 50[〃]) 類ノ糖分含有物ハ随伴上向キツ、アリ。蜂蜜 45[〃]、ブドー糖 20[〃]。

白地、岸原、小野 中村、白井一泊。

※岸本大将…岸本綾夫。1879年生-1947年没。1999年に陸軍士官学校砲兵科を卒業。日露戦争への従軍を経て、帝大派遣学生に選ばれ1909年に東京帝大造兵科を卒業。1924年に陸軍科学研究所長、1928年に陸軍長兵器局長、1931年陸軍造兵廠長官、1934年陸軍技術本部長と陸軍の要職を歴任した。退役後は1942年に東京市長を務めたのち、1944年に満州製鉄理事長に就任し鞍山製鉄所長も務めるなか終戦を迎えると、ソ連軍に連行され抑留中に死去した。

※中村明…中村彰。1916年生-1969年没。1907年に東京帝国大学文学部美学科を卒業すると、東宝へ入社。学士俳優第1号として話題となり、良家の令息やインテリ青年などの配役が多く、戦時中は戦争映画で端正な将校の役も務めた。戦後、1947年に新東宝に転じるが、1961年の新東宝が倒産するとともに映画界を去った。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

◎12月23日

【白井君】鞍山白井君、七時ノ列車ニテ帰任ノタメ早朝出発セルガ満員ニテ乗切レズ再ヒ帰り、午後四時ニ再ヒ駅ニ向フ。

【高野氏（SMR）】田中代理ノ同窓高野氏、部下北村氏ト共ニ来訪、種々懇談セリ。満鉄干係者モ相当入奉セルガ、ソ聯側ニテハ弗弗減員ノ意向ナリト言フ。羅津鐵道局ノ全員ハ奉天ニ、錦県ハ八千人中二千人ヲ引取りタリ。目下ノ頭痛ノ種ハチ、ハルトナルガ、全地方ハ相当苛酷ナル取扱ヒト受ケツ、アリ。局長ノ如キハ数回投獄セラレタリト。ソ聯ヨリモ鐵道兵入込ミツ、アルガ、恐ラクソ聯各方面ノ最弱点ナルベク全ク問題ニナラスト言フ。從而邦人技術員ノ援助ナクシテハ列車運行不可能ナルベシト。華北方面ニ於テモ、事ム員ハ去レ技術家ハ残レト言ヒツ、ナル由ナリ。

【香川淀町】香川、特別ノ用務ニテ淀町ヘ赴ク。近森婿ノ発疹チブスハ現在迄ノトコロ可能性尠ナシ。不取敢同居人升崎家族ヲ移転セシメ、近森家ヲ隔離スル様手配シタリ。(5)

【東北日報（北平ノ姿）】廿三日付東北日報ニ満系ノ北平訪問記アリタリ。要旨次ノ如シ。

北平ニ於テハ和平ト共ニ一斤400[〃]ノメリケン粉ガ40[〃]ニ暴騰シタガ、最近ハ再ヒ400[〃]ニ戻ツタ。

【貨幣問題】此レハ南京側ガ法幣ヲ持来リ聯銀券ニ対シ1:13ノ比率ニ依ツテ併用セリ。然ルニ此ノ当時純金ノ価格ハ一匁北平三万円、重慶八万円ナリキ。從テ飛來セル要人達ハ此ノ売買ニテ多数ノ収益ヲ取メタリ。此ノ事情判明ト法幣ノ漸増ニ伴ヒ1:3トナリ。最近ハ兩紙幣PARト化シタリト。

【大連行】太田、原口ト全行セルSMR社員ノ報告ニヨレバ、兩名ハ大名橋ニテソ聯ニヨリ下車セシメラレ満系ニ襲ハレ上衣ズボンノ如キモズタズタニ引裂レタリ。多分何レカヘ金ヲ隠シタリト疑ハレタルニヨルナルベシ。兩名ハ斯クシテ列車ノ出発間際ニ再ヒ嚙付キ辛クモ入連セリトノコトナリ。

根来、神代、高野、北村 神代一泊。

◎12月24日 暖

【後藤君】昭和十六年入社、営業部（繊維部）勤務ノ後藤某訪ネ来タリ（高橋庶務課長同道）。雨露ヲ凌ギ度シトテ頼込ム。一先ヅ女子寮ヘ仮收容ノ上改メテ淀町ヘ定住セシムル様手配ス。

【日満鋼材齊藤氏宅ヘ強盗】日満鋼材齊藤支配人宅ヘ強盗八名押入りタリ。同氏宅ハ社員営業ノ屋台ノ本部タル干係上、客ノ出入多ク相当注目セラレツ、アリタル

如シ。同氏手許金七千円斗リナリシモ、同居中ノ除隊兵、令嬢、炊事婦等何レモ三／四千円ヲ所有シツ、アリ。賊家搜シノ際八方ヨリ金ガ出テタルタメ却テ大金ヲ隠匿セルヤノ疑ヲ持タレ同氏ハ散々ニ脅セラレタルノミナラズ、翌日再度ノ侵入ヲ受ケタル始末ナリ。当莊ノ如ク寄合者世帯ハ此ノ危険アレバ種々対策ヲ講ジタリ。一般ニ強盜話ハ此ノ附近ニ干スル限り減少シツ、アリ。

【砲声】夜来ノ砲声ハ、鉄西方面ノ工場自警団ガ特ニ許サレテ手榴彈ノ配給ヲ受ケ此ヲ発砲セル物音ナリト言フ。夜半ニ入レバ時ニ連続的ニ響クコトアリ。

【店舗新設】広瀬、松宮、高田ノ米穀商ハ店舗ナク不便不勤ルニ鑑ミ兼テ隣家中沢へ交渉中ノトコロ、本日貸与承認ノ旨回答アリタリ。早速彼等ト連絡シ当分ノ間米、味噌類ヲ主トシテ開業スルコト、定ム。

【WAR PRISONER】兵役干係者ニシテ二日分ノ食糧携行、北陵ニ出頭セル連中ハ近日ウクライナへ送還サル、由ノ噂立チ、多数逃亡ヲ試ミ射殺セラレタル者又尠ナカラザル由ナリ。食事ハ一日高粱粥二杯ニ味噌ニ止マリ栄養不良ニ陥リツ、アリ。場内ニテ鼠ヲ捕ヘテ喰フモノアリ。猫いらず装入ノ団子ニテ死亡セルモノアリ。惨状目モ当ラズト言フ。斯クテハシベリヤ其ノ他へ転送セラレタル連中モ、生ヲ完シテ帰り得ルヤ否ヤ甚タ疑問ナリト一同痛心セル次第ナリ。

【野菜商内】渾河農場ノ野菜、本日ヨリ予約販売開始セルガ幸ニ成績優秀ナリ。白菜 1.35、人参 1.40、葱 1.20 ニテ大体二割方ノ利益計上出来ル見込。山口君外独身者ノ小使ヲ稼ガシムルガ目的ナルモ、此ノ調子ナラ案外大量ニ売捌キ可能ナルカ。

谷口、高橋、後藤。

◎12月25日

遼寧日本人新聞十二月廿四日発刊サル。発行所居留民会。主要記事次ノ通り。

〈発刊ノ辞〉

〈蘇軍ノ撤退〉○蘇軍撤退ハ一月三日ト決定ス。

東北保安総司令杜將軍ハ十一日朝重慶ヨリ帰来シタカ記者団ニ対シ国軍ノ空輸ハ蔣特使ト宋行政院長トノ会見後ニ実施サレル旨ヲ語ツタ。

〈紙幣〉○東北流行券ヲ発行一旧紙幣モ等価デ流通

〈旅客列車〉○復活シタ旅客列車

連東線	南行	大連	7.20	北行	ハルピン	7.00
		鞍山	16.40		長春	11.30
		大連	21.15		ハルピン	21.30

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

			〃	23.00
安奉線	營原	17.30	撫順	16.30

〈北滿邦人救済資金〉○四市デ救済資金ヲ募集

外務省内海外同胞救済部デハ応急救済資金トシテ瀋陽、長春、大連、ハルピンノ主要都市ニテ各五千万円ゾ、ヲ現地邦人カラ調達シテ難民ノ救済ニ当ルコトニナツタ。

〈生還スル英霊四万〉○McArthur 司令部デハ今迄吾国ニ於テ英霊トシテ祭ラレテキルハズノ将兵ガ実ハ未ダ生存シテキル旨發表シタ。

〈財閥問題〉○米国進駐軍ノ放送ニヨレバ聯合軍司令部ハ日本ノ財閥 10、特殊会社 318 ニ対シ業務停止ヲ命令シタ。

〈発疹チブス予防〉本日陸軍病院ノ松山君等ノ厚意ニヨリ食堂及ビ当荘居住者全員ニ予防注射ヲ実施ス。

〈中国軍〉当警察外事科ニ勤ムル唯一ノ邦人吉井ナル仁来堂、種々情報アリタリ。中国軍ハ廿日頃入城ノ予定ナリト。警察ハ幹部級ノ更迭〔迭〕ヲ見ルダケニテ大部分居据ルベシ。又中国軍中ニハ約五万ノ日系有リト言ハル。

〈窓鉄柵〉南側窓ノ鉄柵ハ昨日ヨリ工事ニ取掛リタルガ、本日ニ窓丈ケ完了セリ。

木下 医師二名

※遼寧日本人新聞…ソ連の指導により奉天で発刊された週3回発行のタブロイド紙。日本人への文化指導を目的に結成された中ソ日友好協会が事業として行った。ソ連の宣伝情報を多く含み、ソ連軍の撤退にともない廃刊となった。

※東北流行券…東北九省流通券。東北行営が新京の満州中央銀行本店を中央銀行長春支店とし、満銀券と等価として東北九省流通券を発行した。

〔ガリ版印刷物〕

工廠調査表

1. 名称 2. 地址 3. 電話番号 4. 畧図（在市区位置及廠房佈置）

（一）以前状況

1. 隸属 親会社トノ関係、資本系統 2. 員工人数 昭和十九年末又ハ二十年上半期 3. 組織情形（列表）社内業務系統

4. 工作能力 昭和十九年実績又ハ二十年上半期実績

（二）現在状況

1. 負責人 2. 動力設備（能力及其ノ他） 3. 重要機件（名称及数量） 4. 現存原料（名称及数量） 5. 現存成品（名称及数量） 6. 現存半成品（名称及数量）

7. 現有工作能力 8. 員工現狀 9. 運輸設備 10. 建築現狀 11. 其ノ他

(三) 填報人意見

1. 保管意見 警備等々□々 2. 復工計画 復旧 3. 原料補充 4. 散失物品調査方 5. 其ノ他

(四)

填報人姓名 住址 職業 報表日期

[ガリ版印刷物]

東北技術協会定例委員会提案事項

日時 一月十一日 午前十時

場所 於ガス会社会議室

議題

(一) 報告事項

1. 市政府ヨリノ要望事項ニ就テ □川委員 [鉛筆書込み]→技術名ノ登記、産業建設ノ意見書 (各員ノ)

2. 市当局トノ会見報告 宇田副委員長 [鉛筆にて打ち消し線]

3. 会計報告 塚本副委員長 [鉛筆にて打ち消し線]

(二) 会員名簿提出ニ関スル件

部会幹事申□会員名簿十四日迄ニ民会ヲ通ジ市当局ニ提出ノ件

(三) 防疫研究寄附金ニ関スル件

協会ガ一応寄附金受入レ援助スル件

(四) 技術協会発会式ニ関スル件 附会費ノ件

(五) 懇談事項 防疫ニ対スル協力ノ件 其ノ他

以上

◎12月26日

【掉尾ノ会議 (名刺交換)】正月ノ名刺交換其他ノ挨拶廻リハ一切禁止ノ筈ナリシモ、全然止メルノモ怎フカト言フノデ、支店長提案ノ通り元旦ハ午前十時ヨリ十二時ノ間ニ首脳部全員淀町ニ参集、年賀ヲナス。此ノ費用約五百円トシテ会社 a/c、酒四ノ五升、煮付程度ヲ準備ノコト、谷口夫人ニ一任。

(錦県組) 錦県組ハ強盗被害ヨリ生活難ナレバ不取敢先方要求通り三千円給与ノ事決定ス。

(融資) 各個人ノ營業ニテ若干ノ融資ヲ受レバ事業拡張ノ見込アリトカ、急場ヲ凌グガ如キ際ハ委員会ニ掛ケ一店一万円迄融資スルコト。委員ハ海辺、谷口、田中ノ三氏ト決定。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【中ソ干係情報】 小沢君干係孫氏ノ情報ニ依レバ

1. 中ソ協定ハ十二月廿四日ニ成立セリ。
2. 重慶側ハ三十一日頃入城ノ予定ナルモ二日前ニ予告スルト言フ。
3. 現在錦泉駐屯ノ部隊ハ極メテ秩序整然タリ。入城後五日間ハ全然兵士ヲ外出セシメズ、其後外出セシムルモ市内酒類ノ販売ハ全然禁止スルト言フ。

ソ聯側ヨリハ十五ヶ条ニ上ル要求ヲ提出セルモ、中国側ハネツケ結局最後ニ残リタル三点ハ、

- (1) SMR 全線ノ中国ヨリノ譲渡乃至支配権ノ要求
- (2) 沿線ノ鉱山経営権ノ譲渡
- (3) 旅順ノ使用权ト大連ノ支配権
- (4) ソ聯撤退後ニ入城ノ要求

以上ニ対シ中国側ハ一戦ヲ辞セズトノ強硬ナル態度ヲ以テ主張セル結果、遂ニソ聯側折レ全面的ニ撤回セル模様ナリ。ソ聯撤退ヲ待望セル民衆ハ何レモ喚岳ノ声ヲ挙グルナラン。

【選鉱剤】 中村氏、笠原氏ト共ニ薬品若干ヲ携行シ来タル。此レヲ処分シテ同社 a/c トシテ保留スル筈ナリ。

【物価】 米価引続キ奔騰。小売 7.00-7.50。一般物資又同様ナリ。

昨日来各方面へ販売セル野菜ハ何レモ好評ナリキ。

【窓鉄柵】 一階窓ノ鉄柵工事本日完了。盗難予防ノ対策ノ一ハ完了。跡 Door 類ノ補強ヲ残スノミ。

寄金

◎12月27日

【緊要常会】

(中ソ歓送迎費) 1. 重慶軍ノ入城ハ時機不明ナルモ近迫ノ予定ニ付キ、此ガ歓迎費並ニソ聯ヘノ送別費トシテ当分区ヘ一万円ノ割当アリタリ。右ハ分区費ノ二割ニ当ル故ソノ積ニテ御用意願度シ。

(武器供出) 2. 武器ノ供出。一月八日迄ニ短刀類迄供出願度シ。右ハ盗賊ニ奪ハレテ被害ヲ倍加スル怖レモアリ、警務局自身武器ニ不足シ居ル故是非左様願度シ。此ノ期間ハ密告ヲ取上ゲヌモ其後ノ密告ハ嘉賞スル。若シ発見サル、場合ハ班、組長共同責任トス。

(清掃) 3. 道路ノ清掃ハ特ニ留意願度シ。警務局ニテ一応注意スルモ其後ハ住宅ハ都度 500[〃]、商店ハ 1000[〃]ノ罰金ヲ科スル定メナリ。

(強盗) 4. 強盗ニテ捕縛セラレタルモノ中、鮮系ハ大概死罪ニ処セラレツ、ア

ル由。

5. 江島町／浪速通ノ交番ハ現在三分区ニテ養ハセツ、アリ。一通予算 1500[〃]ノトコロ、2200[〃]見当ヲ要シ此亦区民ノ負担トナリ皆様ニ御気毒ナリ。

【薬種商】谷本、薬局ヨリ offer 取付ケ淀町ヘ売約ス。カルモチン 30 T.B. 入 7.50/8.00、ピオヘルミン 150grm 18[〃]/20[〃]。受渡ハ明日トシ Bie ハ広岡君ノ小使トスル。Vitamin.C、B 剤搜シツ、アルモ見当ラズ。

【野菜売約】先般来売込ミタル白菜以下総額三千元ニ近ク、山口君ノ小使 280[〃]ヲ稼出シタリ。同君ヲ鞭撻シツ、アルモ今頃ノ青年ハ骨惜ミシテ困リ者ナリ。

【ルーデサック】満配岡本君、ルーデサック @1.10/1.15 見当ニテ二万ヶ買付ケル故資金ヲ貸与セヨト言フ。何レモ軍ノ押収品ナルガ、ソナナ高値デ売レルカト言ヘバ、大連ハ 3[〃]、当地春日町ハ 2[〃]ナル由。成ル程電球全様暫ク生産サレヌ故見込アリト謂フベキカ。

◎12月28日 極寒 -27° 外

【蘇家屯（満配工場）】満配蘇家屯工場ヨリ井舟、植田兩名連絡ニ来タル。

蘇家屯地区ハ現在八路系カ駐屯セルモノノ如ク、公安局モ同様ノ色彩ナリ。最近中国ノ入奉確定シ再ヒ撤退スルタメカ各方面ニ無理難題ヲ吹き掛ケ何レモ兢々タリ。治安ハ急激ニ悪化セリ。

十九日公安局ヨリ同地三十六工場ニ対シ三百万円提供ノ命令アリタルヲ以テ、同日ヨリ三日間干係凝議ノ結果十万円ニテ片付ケント廿二日代表出頭セルトコロ（満配割当 3000[〃]）、先方全然受けケズ強奪シカネ間敷キ有様ナリキ。再凝議ノ結果、五十万円トシ現金廿万円（満配 5000[〃]）、現物 30 万円ニテ納入スルコトニ決マル。

（ソ聯）同時ニ二十二日ソ聯側来タリ。百二十俵ノ飼料ヲ搬出セルガ、此ノ時ノ番兵一名酩酊ノ末ピストルヲ打出シー同生キタル心地ナキ裡ニ所持品ヲ引繰返シ引揚ゲタリ。

（公安局封印）廿三日ニ至リ公安局ヨリ出張シ来タリ。工場及ヒ倉庫ヲ seal シ茲ニ無事ヲ祈リタル甲斐モナク事実上閉鎖ノ止ムナキニ至リタリ。

（強盗）廿五日夜、苦力頭宅ヘ五人組ノ覆面強盗侵入シ日覚シキ金品持去リタリ。此ノ朝苦力連ヨリ一万円ノ要求アリ、此ノ拒否セル事実モアリタリ且覆面セルトコロヨリモ部下ナリト考ヘラル、点多シ。谷ハ帳簿類ヲ太田ニ渡シ何レカヘ逃避セルガ翌日妻子モ引揚ゲ自来姿ヲ見セズ。

【寒気】今朝外気零下廿七度、正ニ今年ノレコードナリ。当荘モ便所、水道全テ氷付キ如何トモナシ難シ。隣家中沢ヨリ貰ヒ水シテ漸ク炊事ス。暖房内ノ水ヲ抜カザリシタメ室内各所ガ破張シテ金属性ノ音ヲ出シ寔ニ不気味ナリ。既ニ入浴セザ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ルコト久シ。一同、特ニ婦女子ハ悲鳴ヲ挙ゲツ、アリ。

【麻雀】年末ニ付キー卓ト笹山、神代、高橋君等集ル。

米 卸 7.50 一般物価暴騰中。

井舟、植田、神代、高橋一泊。

◎12月29日 極寒昨日以上ナリ。

【極寒】昨日以上。野菜類其ノ他何レモ氷結。十二時近ク漸ク朝食ヲ採ル。石炭殆ト皆無ニテ一同震エツ、アリタリ。

【妙ナ客】白地君妙ナ客人連レ来タル。白糖其ノ他ノ売買ヲ希望セリ。

Cash 100⁻ Dining R 30⁻

Our R 20⁻

mitsu 22⁻

Bie 28⁻

【兩名帰場】兩名貨車ニテ帰場。

岸原夫人神経衰弱気味ニテ臥床中。

寄金君

◎12月30日 極寒

寒気愈々加ハル。

当寮貯炭量皆無ナリ。後藤、広岡君尽力シテ一屯 1400⁻ ニテ入ル。

年末押詰り出入少シ。

【平壤ノ情報】軍部干係ノ疎開者平壤ニ落付キタルガ、此ノ際持出シタル一億万円ハ強権ヲ以テ鮮銀券ニ兌換シ干係者ヘ分配セリ。然ルニソ聯側此ヲ聴キ此ノ金門ヲ登録セシメ此レヲ没収セリ。此ノ際同行セル疎開者モ卷ソエヲ喰ヒ又没収セラレ、自来十月三元、十一月二元、十二月一円ト毎日ヲ給与セラレ結局喰フヤ喰ハズニテ近着ノ予定ナリ。

此ノ連中ハ極度ノ栄養不良ニテ駅ヨリ受入側宅ヘ迄モ歩行不可能ナルベシ。是非各家庭ヨリ五点程度ノ防寒用具ノ供出ト此レヲ受入側ニテ援助セラレ度シト分区ヨリ話アリタリ。

【今後ノ問題（人員整理）】新京其ノ他トノ連絡可能トナリ、且ツ本店ト通信出来次第早速問題トナルハ人員整理ノ件ナルベシ。特ニ現地採用ノ準職員以下ガ組上ニ上ルコト确实ナリ。大東亜戦以來要員獲得至難ナリシ干係上職員ノ登用比較的安易ナリ。且準職用濫用ノ弊漸ク蔽ヒ難キニ至ル。現在ハ

- 1 本店採用職員
- 2 登用職員（現地採用）
- 3 準職員 特務職員（内地採用）
- 4 準職員（現地採用）
- 5 其他

ニ区分セラル、ガ、四以下ハ第一候ホトシテ近々声明スルノ外ナカルベシ。此ノ際規定ノ退職資金ヲ支給スルノ外若干ノ加給ハ勿論必要ナルベキモ、即時衣食ニ困ラス様現在ノ職業ヲ此等ヲ主眼ニ育成セシムル要アリト考ヘラル。

此レガタメニハ更ニ厚生資金ノ適當有効ナル運用コソ肝要ナリト信ズ。

海辺、寄金

◎12月31日

【除夜ノ弁】佐々木、柳家両氏、千葉、岩見両氏来訪。年末挨拶ノタメナルガ“良イ年ヲ”ノ挨拶ヲシテヨイモノカト笑合ヒタリ。此奈年ハ忘レ度キモノナリ。自分トシテハ正ニ走馬灯ノ如キ今年ハ何ト形容シテヨイカ。若年寄り乍ラ“永生キハ恥多シ”トハ此ノ事ナルベシ。

一同年越ノウドンヲ会食ス。

【寒気甚シ】寒気愈々激シク、台所ノ全テガ氷結シテ仕事ニナラズ、婦人連臥床スル者多シ。本日炊事場用ノストーブヲ据エル。代金430^〇。

【米屋】米屋仲間、本日決算シ来ル。取扱約七万円也。利益3600^〇、別途積立金2000^〇、一人当400^〇ノ配当ナリ。同人等ノ努力大ニ買フベシ。

【食堂】食堂ハ約二千元ノ利益ナルモ、家賃ノ問題未ダニ中野煮切ラズ、平田ノ婆サン又全様ニテ閉口ナリ。

【ソ聯撤退】一月三日ノ予定ノ処又々延期セラレタル模様ニテ、恐ラク二月一日以降ナルベシト言ハル。

【内地放送（千葉氏ノ話）】“満州ニ於テ邦人ノ大虐殺ガ行ハレタトノ噂ハ事実無根ト判明シタ。多分男女別々ニ強制労働ヲ命ゼラレツ、アル模様ナリ。”

当地ヨリノ連絡全然ナキ為カ甚ダ認識不足ニテ却テ心配ナリト一同話合フ。

“在外同胞七百万人ノ引揚ゲハ四年間ヲ要スト考ヘラレタルガ、現状デハ大体三ヶ月ニ100万人ヲ輸送可能ニテ昭和廿二年九月迄ニ完了スベシ。尤モ満州ハ別ナリ”

以上ハ千葉氏ノ受売りニテ結局昭和廿四年ニナルダラウト又聴者ヲ落胆サス。

北方ニ使役セラレタル連中ハ大量再ヒ南下シ旅順ニ送付セラレ、同要塞ノ構築ニ当リツ、アリ。従テ此ノ連中ハ再ヒ沙婆ニ出ルコトハアルマイトノ事ナリ。

【中国軍ノ配置】中国軍ハ大体北、中、南満ニ三分シ、北部ハ第一軍ノ馬占山軍ニシテ、中満ハ杜將軍ナリ。更ニ中国青年党其ノ他大略七勢力ガ有リ、此ノ内紛モ噂サル、故、仲々簡單ニハ參ラザルベシトノ見方多シ。殊ニ馬占山ハ杜軍ヲ目シテ鉄路隊ナレバ鉄路警備ニ専念シテ政治ハ吾ニ委セト言フガ如ク、馬杜間ニ内乱ノ噂スラ聞エツ、アリ。

千葉、岩見、佐々木、柳家

※馬占山…1884年生-1950年没。馬賊の出身。1905年清国軍に入り、辛亥革命後は黒竜江省で騎兵団長などを務める。満州事変に際しては国民政府から黒竜江省主席代理に任命され日本軍と戦うも、日本側へ寝返り、満州国軍政部総長となった。しかし再び国民政府に戻ると、以降は一貫して抗日戦を指揮した。戦後の国共内戦では初め国民政府につくも、1949年に共産党軍に寝返った。

※中国青年党…中国の国家主義政党。五・四運動ののち1923年12月にパリで創立された。「内に国賊を除き、外は強権に抗す」を掲げ日本の侵略に抵抗した。国民党の一党独裁・共産党の階級主義に反対し第三の道を目指すも、最終的に国民党への協力姿勢をとった。

※杜將軍…杜聿明、1903年生～1981年没（生年は諸説あり）。中国国民党軍の軍人。1945年10月に東北保安司令部長官に就任した。

◎1月1日

大連支店長来状 12/27/45

太田君へ托送ノ御芳書確ニ入手。御地ノ事情モ太田、原口ノ両君ヨリ委細聴取。責任者ノ苦勞ハ貴我共ニ変ナキコト、御同情ニ堪エズ候。然乍ラオ互身体丈ハ壯健、店員ニモ不幸ナク無事元気ナルガ何ヨリ御座候。太田君、一兩日中ニ貴地ヘ帰ラレルトノ事ツキ当地事情ハ委細本人ヨリ御聴取被下度候。

一概ニシテ言ヘバ

○大連ノ概況 当地ハ表面上ハソ聯警備司令官ノ軍政下ニ共產系ノ中国人側市政府ガアリ治安其ノ他ニ当リ居リ貴地ヨリ良好ニ見受ケラル、モ、依然トシテソ聯兵ノ掠奪、暴行、満人日人ノ強盜、保安隊（警察官）ノ権力濫用ニヨル白昼略奪等諸所ニアリ。日人ノ被害ヲ蒙リ居ルモノ多々有之候。

○総工会ノ横暴 其ノ上工場及ビ事業体ハ総工会（共產系ノ労働組合）ノ動キニテ中国人従業員ガ勝手ニ要求ヲナシ、各社共金円並ニ物資ノ強要ニ皆苦シミ居候。大体中国人従業員ハ過去十年間位ハ下積トシテ安イ給料デ働カサレタカラ其ノ慰

安トシテ一人当り二千円ヲ給与シ、其ノ上絶対解雇ヲ許サズ若シ仕事ガナケレバ
出社セズトモ一人当り三百円（毎月）、出社スレバ毎月六百円ヲ給与セヨト総工
会ヨリノ申渡アリ。夫レニ従ハザル場合ハ責任者ヲ留置シ折カンスルト言フ。ラ
ンチバーヲ行居ハ困ツタモノニ候。

三泰其ノ他傍系ハ勿論、当店ノ中国人ニ対シテモ同様ノ要求アリ。此レモ時世
ト断メ夫々支払ヒニ応居ル始末ニ候。

- 当店及ヒ傍系 当地ノ工場ニテソ聯軍ノ掠奪、満人モツツノ暴行ニカ、ラヌモノ
ハ無之、全体ノ八割ハ操業不能ノ状態ニ有之候モ、三泰ヤ太陽バルブハ無傷ニテ
三泰ハ僅カ斗リ操業ヲ致居候。然ラ製品其ノ他ノ持出シ有リ、被害額ハ相当ナ
モノニ候モ何時デモ操業差支エナキ程度ニ今日迄維持シ来シ得タルコトハ幹部初
メ日人従業員ノ努力ト感謝致居候。

店ハ先月ソ聯野戦軍ニ接收セラレ本月初メニ撤退致シ候モ、家具什器ハ殆ト売
飛バシ其ノ乱行ハオ話ニナラズ。書類ナド減茶々々ニサレ申候。其ノ間一時三越
ノ四階ニ事務所ヲ設居候処、去十五日山縣通りニ帰りコワサレタ机ヤ台ヲ並ベテ
別館ノ二階丈ケニ籠城致シ居リ。本館其ノ他ニハ難民ヲ収容、面倒ヲ見テキル状
態ニ御座候。

- 社宅及ヒ在庫品 小生ノ社宅モ大連港湾所長（ソ聯軍）ニ接收サレ、目下神明町
ノ日中モ日モ当ラス倉庫ノ如キアパートニ仮住ヒ致居候。小玉町ト須方町モモツ
ツニ荒サレズニ今日迄社員ニテ完全ニ警備致シ居候モ、ソ聯軍ニ之モ亦一時接收
セラレ砂糖、紅茶其他彼等ノ好ムモノ全部持出サレ申候。

然シ未ダ二百万円見当ノ物資ハ保管シ居候処ガ、此ノ物資ヲ換価スル事ガ容易
ニ出来不申、運搬スレバスグ掠奪ニ遭フト云フ仕事ニテ今日迄殆ト小物以外換価
モ出来ズ其ノマ、保管シ居ル仕末ニテ、一週程前ニ遂ニ市政府ヨリ封印サレ目下
在庫品全部凍結サレアル状態ニ候。

- 金融 銀行ハ事実上ハ接收ヨリハ目下閉鎖中ニテ、勿論預金ノ払出シハ勿論貨
〔貸〕出シニモ応ジ呉レズ、物ハ換価出来ズ、今後ノ店員ヘノ給与ニ困ル訳ニテ
日本ノ本店払ノ条件ニテ現金ノ借用方目下奔走中ニ御座候。当地ニテハ銀行ガ開
店（従来）シ居リ現金ノ掠奪ガ恐シサニ一般ニ一度払出シタル現金ヲ更ニ銀行ヘ
預ケ居リタルモノ多ク、当店モ全様ニテ從テ貴地方面トハ違ヒ現金ノ大量保持者
ガ案外少ナク借入レニモ難渋シ居ル次第ニ候。今後貴地方面ヨリ当地ヘ避難サ
ル、方ハ食糧ト金円ヲ必ず持参サル、様々モ御伝願上候。

- 給与 今日迄ハ店員ニ休戦前ト同様ノ給与ヲ致シ参リ、奥地ヨリノ避難者モ同様
ニ取扱ヒ居候（店ヘ出テ働イテ呉レル方丈ケ）。

ソレモ当地ハ異常ナル物価高ニテ会社ノ給与丈ケニテハ食ベラレヌ。夫々適当
ニ衣類、家具道具ナドヲ売飛バスアリ。烟草、雜品類ナドヲ内職ニ売歩クナドシ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

て生計ヲツナギ居り、之レヲ致方無之ト存居候。

- 物価 当地物価ハ貴地方面ヨリ遙ニ高く、元々生産地ニ非ル為芝罘ソレニ安東方面ヨリ米、其ノ他食糧品ガ密輸入サレルタメ割高ニテ、米モ一時一斤 22[〃] 迄昇り候モ、其後入荷モ多クナリ現在 10[〃] 見当、potato 一匁 40[〃]、豚牛肉百匁 30[〃]、烟草 10 本入最低 5[〃] ト言フ処ニテ一人前生計費ハ優ニ 400[〃] ハカ、ル現状ニ候。
- 人員整理 店員整理ハ大体月末迄ニ片付ケ、女子ハ目下三名丈ケ残居り、特務職員、準職員以下全部原則的ニ解雇シ目下残留サセ居ル者ハ約十名ニ御座候。但シ中国人三十六名ハ前述ノ通総工会干係ニテ全部残居候。
- 手当 解雇手当ハ会社規定ノ年金ノ外ニ四ヶ月分ノ給与ヲ加給致シ申候。現在残存シ居ルモノハ貴地方面其他奥地ヨリノ避難者ヲ加エ四十名足ラズト相成申候。
勿論職員ハ本人ヨリ希望ナキ限り首ハ切り不申候。職員中三井物産ノ前途ヲ案シ退社致度キ者ニモ会社規定ノ退職金ヲ仕払フテモ（払フル内ハ）其ノ求メニ応ジテヤル積リニテ現在迄ニ二名希望者有之候。
- 内地連絡 奥地ヨリ大連ニハ引揚船ガ来ルモノト予定シテ避難シ来ル者有之候モ、目下ノ処引揚船ノ来ル予定ハ皆目分ラズ。唯七ノ八十屯ノ機帆船ヤ漁船ガカナリ内地ヘ密航致居り、運船ハ一人參千円見当御座候。婦人デモ此ノ密航船ニ乗ツテ歸ルモノ有之、知合ヒニテ歸ル者ニ内地ヘノ手紙ヲ托送致居り本店ヘモ出状致度候間、届キ居ルコト、存候。

若シ内地ヘメール差出シ御希望ナラ当地ヘ托送ナサレ度。適當更ニ帰朝者ヘ托送可致候。只封筒ニハ宛名明記サレ度。内地ヘ上陸後投函出来ル様御手配賜度候。

【新年ノ挨拶】 打合せ通十一時前支店長始メ四名淀町独身室ヘ集合ス。既ニ全社員及ビ数名ノ夫人連迄待機中ナリ。早速座ニ付キ一年賀ノ後宴会ニ入ル。費用僅少乍ラ谷口夫人以下ノ努力ニテ卓上相当ノ賑ヒナリ。支店長ノ挨拶アリタリ。未曾有ノ時局下午ヲ正月ラシク一同歓ヲ尽シテ散会セリ。

大連ヨリ帰来ノ太田君、新夫人ヲ携エテ来タル。席上ニ出テ一同挨拶。支店長鶴亀ヲ一曲シテ錦上花ヲ揃ヘ一同拍手ヲ以テ新夫妻ヲ嘉ス。

【大連ノ情況】 別紙来状ノ通り也。

【原口鈴好君】 太田ト同行セル新京原口君ハ本宿氏ノ勧告ニ従ヒ同店ノ倉庫警備員トシテ残留スルコト、ナレリ。

本人来状

拜啓 此度大連潜行予想外ノ難関ヲ突破、十三日午後八時安着仕候間乍他事御放念被下度候。

再ヒ販奉スル積リニテ大連行ヲ決行仕候ガ本宿支店長殿ヨリ大連ニテ倉庫警備（第一第二倉庫共現在ハ大連市公安総局物資発現所ニ依リ接収、其ノ警備ヲ当店

ニ委託。主トシテ運輸課員ニ依リ第一倉庫ハ昼間ノミ、第二倉庫ハ昼間及宿直、此レガ人員少数ニテシテ家族持ノ社員ハ非常ニ困却致居状態ニ候）ニ当ツテ呉レト御申出有之方々満閑監督ノ南下策ノ御主旨及ヒ私今後又奉天ニテ種々御迷惑掛ルハ如何トモ存シ受諾致候次第ニ候。

奉天滞在中ハ種々御厄介相掛御世話ニ相成リ御礼ノ御言葉申上候機会ヲ失セシハ心残ニ存候。何卒右事情御汲取御了承被下度御願申上候。尚赴奉ノ機会ヲ得候節ハ參上御礼ノ言葉申上度何卒今後共宜敷御願申上候。

右御礼旁々近況迄。

12/21/45

※太陽バルブ…太陽バルブ製作所、1936年8月設立。本店を大連に、出張所を大連に置いた。

◎1月2日 大雪

【小島氏死去】 早朝八時何人カ門扉ヲタ、ク者アリ。白地君応待スルニ七時十五分小島氏代理ノ死亡ヲ告ゲテ又立ち去ル。支店長、香川兩名顔ヲ洗ハズ同宅へ急行、同時ニ山口君ヲ淀町へ走ラス。

宅ニ至レバ逝去ソノマ、ノ姿ニ令嬢枕頭ニ泣クノミ。隣近所ノ三氏御世話セラル。

【死因発疹チブス】 近藤ビルハ割当ノ疎開民ヲ一部収容シタルトコロ、此ノ中ニ発疹チブス患者発生セリ。各戸ニ分散セルニ危険ナリトテ小島氏ハ家屋ヲ提供シテ隔離病室トナシ自ラハ知己ニ寄寓セリ。何レモ全失セルタメ再ビ帰宅セルガ十六日発疹チブスヲ発シ廿日ヨリ意識不明ニ陥ル。廿一日ニ至リ急激ニ体温下リ三十五度三分トナル。心痛致シタルガー一日廿八度ニ戻リ小康ヲ得タリト考ヘタルトコロ、今晚ニ至リ呼吸劇シ。七時十五分令嬢脈ヲ検スルニ既ニナシ。

【葬儀相談】 元來時局ノ犠牲者ハ社費ヲ以テ賄ヒツ、アリタル故社葬ト致度シト考ヘタルモ、当隣組ハ極メテ融和シツ、アリ此ノ人々ノミニテモ営ミ度キ意向ナレバ此等ト合同ニテ行フコト、セリ。

【令嬢ノ処置】 令嬢ハ何レカヘ引取ル外ナキモ保菌者ト見做サル、故暫ク現在ニ置キ而落付キ先ヲ協議スル筈。

帰荘後同氏ノ略歴及ヒ弔詞ヲ書ク。

神代氏一泊。

◎1月3日

【小島家葬儀】 午前十時ヨリ大広場教会渡辺牧師司会ノ下ニ葬儀開始。一時間半ニ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

亘ツテ営マル。讚美歌三節ノ後支店長弔辞、海辺氏ノ遺族代表挨拶アリ。葬儀委員ノミ残留シテ鉄西火葬場ヘ送ス。本日ハ隣組各員ニ一任、明日ノ骨揚ハ当社員ガ担当スル様打合ハス。

運搬車ハリヤカー、火葬用石炭ニ麻袋ヲ同時ニ携行ス。在奉社員殆ト全員来会、八畳四畳半ハ爪モタ、ヌ有様ナリ。

当アパートハ他ニ患者ニ名アリ。尚終熄セヌ様子ナリ。

渡辺牧師ハ同志社ノ同志ナリ。多年ノ教友ナレバ万事都合ヨク運ビタリ。

【避病院】牧師ノ話ニ最近医大ノ高森内科ヲ発疹チブスノ専用隔離病室ト定メタリト。一ヶ月費用 1000^円。

【松村氏奇禍】三井食堂ノ経営者タリシ白十字堂主人松村氏ハソ聯自動車ニ敷カレ生命危篤ノ状態ナリ。昨今ハ運転士ニ素人ラシキモノ多ク、例ノ急速ナレバ余程厳戒ヲ要スベシ。

【年号更新】噂ニヨレバ母国ハ天皇、皇后、皇太子ヲ戦争犯罪者ニ加エラレ天皇御退位セラレ年号モ一大大新ト改メラレタル由ナリ。現帝ハ某皇族ノ王子ニテ高松宮殿下摂政ニ就任セラレタル由ナリ。母国ノ如キ伝統ニヨツテ結束セル国家ガ斯シテ治マリ得ルヤ否ヤ。痛心ニ堪エズ。

◎1月4日

【小島家骨上】高橋、広瀬、近森、井上ノ諸君、火葬場ニ行ク。午後三時自宅ニ納メ万事滞リナク終了ス。

【令嬢発病？】小島氏令嬢綾子サン午後発熱、三十九度二分ナリ。早速医師ヲ招キタルガ略々発疹チブスニ間違ヒナキモノノ如シ。脈博速シ。相会スルモノモ何レモ落付カズ。病人一人ヲ残シテ去ルニモ忍ビズ、隣組ノ方ト相談ノ結果全快者ノ疎開民ニ看護依頼セントス。満大ノ隔離病室ヘ入院セシムルカ？

【葬儀費用】奉天葬儀社ヨリ請求、1500^円ナリ。時節柄トハ謂ヘ法外ノ如シ。万般当荘ヨリ立替ヘタルガ火葬費用其他 2000^円ヲ超スベシ。

【後藤ダバイ】後藤君、両夫人ト共ニ淀町ヨリ帰路、春日廠附近ニテソ聯兵二名ニ掠奪セラル。被害百円。

【物価騰貴・対策】昨日来米価急騰シテ十一円唱エ、春日町方面ハ十三円モ現出シツ、アリ。此レカ原因ハ種々アルベシト雖、重慶軍入城後ノ流行券ノ流通多額ニ上ルヲ予想セルナルベシ。即チ単ニ米価ノミナラズ所謂インフレ状態ヲ示現シツ、アルナリ。悪性インフレトナツテハ現給ヲ以テ如何トモ為難キモ、兎モ角米分ナリ生必品購入ノ助ケトモナルベシト考ヘ給料三ヶ月分ヲ支給シタシ。既ニ無駄使ヲ懸念スル必要ナケレバ応急手段トシテ焼石ニ水トハナルベシ。

【重慶軍ノ待遇】重慶軍ハ華北ニ於テ支給セル月給兵士 300^円、将校最低 2000^円ヲ其

仮支給スル由ナレバ、毎月ノ放出量モ巨額ニ上ルベク、暫クインフレハ拡大サル、ハ当然ナルベシ。

◎1月5日

【月給前払ニ就キ】昨日支店長ト協議セル三ヶ月前払ニ就キ、兩次長ヲ訪レテ諒解ヲ求ム。依而薄井出納課長ニ事務手續ノ打合ハセヨナス。

【技術協会】支店長部会へ出席。菊沢氏ト協議ノ末、涉外、運送倉庫、保険、金融、交易等六分科会ノ設置及ヒ委員ノ増員等ヲ打合ハス。

【強盗及ソ聯】当地区ハ比較的平穩ナルモ、五条方面ハ兩者連日ノ来訪相不変ニテ兢々タル実状ナリ。

【重慶軍入城】重慶軍入城スル故中国旗ヲ以テ參集セヨトアリ。淀町、女子寮デハ二名出スルモ現物ハ更ニ現ハレズ。省主席ガ市中ヲ廻ツテ城内ヘ入りタル由ナリ。満系ハ全然歓迎ニ加ハラザリシ由。一方重慶軍ガ極少数入りタリ、見タリト言フ人アリ。想像スルニ極ク一部ハ日本来奉セルモノ、如シ。

田澤氏来訪。

◎1月6日 暖

【現金輸送】当莊保留ノ cash 全部淀町ヘ送り、三ヶ月分ノ俸給支払完了 (5)。

【重慶軍】重慶軍ノ一部入城説ハ愈々確實ナルガ如シ。

【石炭購入】優秀炭小量買付タルガ、麻袋ヘ六分目ニテ一俵百円ナリ。正ニ生死ノ問題ナルガ現状ニ於テハ米以上ノ重要性アレバ余儀ナク買付ケタリ。

【小島綾子】小島氏令嬢ノ看護人漸ク見付カリ一安心セリ。極テ善良ナル看護婦見当リタリ。

【支店長別居ノ事】当莊ハ人員増加ニ伴ヒ下級者増加シ、随テ給与モ低下セシメザルヲ得ズ且又來客実ニ多クシテ密談モ出来兼ネル実情ナレバ、何トカシテ小ヂンマリトシタ所ヘ移転セシムルガ良シト田中氏ヨリ発言セリ。香川、田中同道ノ上谷口氏ト一応研究スルコトス。

【丸三商店】丸三商店本日開業セリ。取扱品ハ主食品、烟草、蜂蜜程度ナルガ漸次擴張ノ予定。

【在鮮三井】12/5 日本時間ニヨレバ進駐米軍ハ日本ノ官財及三井、三菱、安田ノ財産モ没収シテ朝鮮ヘ手交スル由ナリ。

◎1月7日

【食費暴騰ニヨリ生活問題深刻トナル。】米価ノ暴騰 (本日 10⁻~13⁻) 二件ヒ各自

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ノ生活難ハ深刻化セリ。当荘ニ於テモ総員十七名、給与総額 6070^円 ナルガ、日々ノ喰込ニテ不足額合計ハ一万円ニ達シタリ。今後ハ現在相場ヲ以テシテモ尚且一名当リ 500^円 ヲ要シ、概算的 8500^円 トナル。即チ毎月 2500^円 ノ赤字ナレバ此ノ際抜本的ノ方策ヲ講ズルニ決シ、本夕全体会議ヲ招集セリ。

現住者次ノ通

小野碩介	1010 ^円 +500	山口邦彦	210 ^円
田中一正	1190 ^円	家族 4 名	早瀬夫人 270 ^円
香川卓一	700 ^円	岸原夫人	320 ^円
白地照彦	500 ^円	久保川夫人	250 ^円
藤原	500 ^円	西村トク	170 ^円
高橋正司	340 ^円		
後藤	340 ^円		
廣岡了或	290 ^円		

結論トシテ減員ヲ断行シ最大 10 名トスルコト、支店長ハ生活程度ノ切下ゲニ堪エザルベク且ハ御気毒ニ就キ移転シテ貰フコト、此ノ食事其他斡旋ノタメ岸原、久保川ノ両夫人ト略定マル。

【淀町ノ住宅問題】 右ニ干シ淀町社宅ノ二軒ヲ要スル故谷口氏ト田中、香川ニテ鳩首セリ。

◎1 月 8 日 SNOW

【居住ノ事】 香川、谷口氏ヲ再訪。引続キ協議ス。淀町トシテハ一部ヲ八幡寮ニ転居セシメ、支店長室及ビ他ニ一室ヲ準備スルコトハ同氏ノ承認ヲ得タリ。本日諸事決定セントシタルニ、

【谷口氏来訪】 香川ニ追尾シテ谷口氏ニ来訪セラル。同氏ノ意見ハ、

支店長ニ両夫人ヲ以テ一家ヲ営ムコトハ世間ノ評判モ有ル故反対ナリ。依ツテ支店長ハ薄井氏ト同居セシメ淀町ノ何人カニ食事ノ世話ノミヲ頼ムニ然カズ。両夫人ハ其ノ假当荘ニ保存スルカ或ハ全然他ノ家族ニ挿入スルカ可ナリ。尚田中氏ハ一家族ナレバ集団生活セリ脱スルガヨシ。左スレバ小野、田中、早セノ計七名トナリ残十名内三名ナレバ何トカ行クベシトノ話ナリ。

田中、香川兩名大体賛成ナルモ、薄井氏ノ意見モアリ部屋繰リノ都合モアレバ改メテ明朝打合ハスコト、セリ。

【丸三商店初ダバイ】 丸三商店ハ昨日初ダバイ。一ソ兵押入り被害日本酒二本ナリ。

100^円 小島 15^円 5^円
食堂 30^円

米代 55⁻ 40⁻
1.80⁻
ミソ 2.20

◎1月9日

【移転問題】当荘ノ分解乃至移転問題ハ難航ヲ続ケツ、アリ。香川再度谷口ト凝議セリ。支店長ト同行ノ両夫人ハ既定ノ事実トシテ楽シミツ、アリ。田中夫人ノ居据リ宣明ヨリ再ビ振出シヘ戻ルノ感アリ。要之独身者内ニ家族ヲ置キ、然モ此ノ連中ハガ家族中心ニヤル場合ハ傍ガ堪ラヌ次第ニテ、若手ニシテ収入ノ源泉者ニ陸続トシテ退荘ヲ申出デ産婆役ハ全ク手モ足モ出ヌ始末ナリ。

【三協会準備】明日ノ三協会ニ備ヘ食器其ノ他若干ノ準備ヲナシタリ。

【七曜会開催】ロターリークラブノ後身タル七曜会開催セラレ、支店長出席。何レモ閑ナルタメカ堂ニ充チ十二時過食事売切レノ状態ナリ。特記事項ナシ。

(1) 支那当局ヨリ奉天在任邦人ノ約半数、特ニ技術家ハ対日交通可能ノ場合モ在満願度シトノ希望開陳セラレタル由ナリ。

(2) 天皇ノ御退位ハ単ニ噂ニ過ギザル如ク、過般詔勅ノ下付アリ。“汝国民”ト仰セラレタル由、此レガ一大センセイションヲ呼起シ米国紙辺リモ盛ンニ書立テツ、アル由ナリ。

【キンツパ開業】当荘ニ於テモキンツパ製造開始シタリ。

【仮埋葬死体発掘】春日小学校々庭ニアル避難者ノ死体ハ茲數日発掘ノ上指定埋葬地ヘ搬入セラレツ、アリ。全ク裸体死体ニテ氷結シツ、アルガ、涙ナクシテハ通行シ得ズ。就動スルモノ満人共ニ無神經ノ態ニテ寧啞然ナラザルヲ得ズ。

【満妻激增】邦人ニテ満系ノ妻女トナルモノ多シ。満系ノ唯一ノ理想ナルカ最近ハ街頭ノ婦女子ニ厚顔ニモ呼掛クルモノアリ。一般満系ノ邦人ニ対スルシリ、強脅其ノ他不逞行為又漸増セリ。

【平和食堂立退】平和食堂ハ平田ヨシノロヨリ二月半ニテ退去シテ貫レト欲求アリタリ。当方返事セザリシモ全人ハ三井寮ノ炊事婦タリ。最近迄堀田君ノ附添人タリシ干係上、ソノ依頼ニヨリ二万円弱ヲ投ジ整備セルニ不拘最近ハ弗々常客ノ定リタルヲ以テ欲ノ出タモノカト想ハル。

◎1月10日

【三協会】午前十一時全員參集シテ会議ニ入ル。小野支店長ヨリ挨拶アリ。岩見協和烟草専務ヨリ逐次各社ノ被害状況其ノ他ニ就キ説明アリ。後懇談ニ入り、小宴ヲ催シ三時過キ散会ス。

(記事 No91 以下)

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

物価

米	9.80/9.50	油	100 ⁻	酒	45 ⁻	酢	15 ⁻
高粱	3.50/4.00	砂糖	120 ⁻	味ソ	4 ⁻ /3.50		
白采	2.50	馬鈴薯	4.00	ブドー糖	25 ⁻		

【偽警官】最近警察官ノ服装ヲセル者街頭ニ多シ。此ノ中何人カ偽者ナルカ不明ナルモ、取調べニ藉口シテ侵入シ居直リ強盗トナル者多シ。岩見専務宅へハ三日午前十時頃五名入り、目覚シキモノ総ザラヘセラレタリ。

【金融干渉】市中各銀行ノ統合ニ就キ左ノ通り決定セル由話アリタリ。

朝鮮銀行／日系全部

中国 “／支那系

興銀　／在満銀行

当社　　小野、海辺、田中、室谷、高橋、薄井、香川

協和　　岩見

東棉　　森山、森本

豚毛　　神代

康德　　田澤

日満鋼材 渋谷、日塔、谷口、斉藤

三キ　　田中

水杖子　千葉

宮口　　笹山

選鉱剤　中村

○協和烟草　岩見専務

（奉天工場）八月二十一日、MOBノ襲撃ヲ受ケタカ工場長代理趙子沛以下ノ尽力ニヨリ掠奪ハ免レタリ。二十三日ソ軍ヨリ占領セル旨ノ言渡シアリ、自来“華豊烟公司”ト偽称シ大過ナキヲ得ツ、アリ。

九月十八日、第六戦車隊ノ管理下ニ在リポプロフ隊長ノ命令ニヨツテ製品ハ全テソ軍ニ納入シツ、アルモ、当社トシテハ機械類、原料品ノ持出阻止ニ重点ヲ置キ可及的小量ヲ供給シツ、アルタメ（一日三ノ四梱）先方満足セズ、然モ満系工員ニ対スル賃銀ノミヲ見積リ支払ハル、ノミナレバ種々難関ニ逢着シツ、アルガ、九月二十五日来奉ノ楊連三常務ニ依テ都度危機ヲ脱シツ、アリ。十二月二十日、大西倉庫ガ蘇軍ノ発見スルトコロトナリ楊ハ司令部ニ招致サレタガ日産十六梱ニテ押収ヲ免レタ。八ノ九月損失金合計　677,353⁻。

犠牲者　勝矢選　8/28 9.00 AM

(ハルピン工場) 八月十五日夜、支那 MOB 来襲。放火ニヨツテ消失セリ。8/28 天野、千原外三名ハ牡丹江ヘ拉致、抑留セラレ、十月三日ニ釈放サレ自来滨江莊ニ落付キツ、アリ。天野氏ハ 11/23 胃潰瘍ニ発疹チブスヲ併発シ 11/30 死亡。

損失合計 3,595,000-

○日満鋼材 渋谷社長

当日誌既述ノ通り。搬出セルモノ 66 台、残留 91 台ナルガ幸ニ変電設備、クレイン完全ナレバ簡単ナル製作ハ可能ナリ。第二工場モ東洋タイヤ駐屯軍ノタメニ荒サレ coal 1000ton 外相当ナル損害ナリ。

○康德被服 田沢専ム

8/19 9.00 pm、銃器ヲ有スル卅名ヲ追出シ、11.00 pm、千名各自扉ヲ越エテ来ルニ及ビ従業員ハ何レモ避難ス。同時ニ五一八部隊、憲兵、警察ニ通知シ独立守備隊三分隊ノ来援ヲ求メ、5/60 名ヲ殺生セル故日本軍ノ解除ト共ニ暴徒ハ完全ニ工場ヲ拭去リタリ。

○水銀 千葉

昭十八 500 万円 今回 600 万円

○東棉 森山支店長

一、東棉社ハ満系第一ノ希望商品タル繊維類ヲ取扱ヒ居リタルタメ、真先ニ襲撃セラレ、ハイラル、ヂヤラントン、錦県、通遼、ハルピン、コートク、ノ各地共ニ一物ヲ止メズ。

二、傍系 錦県ノ紡織ハ無傷ニテ一部操業中トノ噂アリ。満発又全壊ヲ免レタル様子ナリ。東綿化成(蘇家屯)モ醬油設備ハソノマ、アリ。工場、社員トモ無傷ナリ。澱粉工場(安東)ハ満ソ聯合ニテ全滅セシメラレタリ。

三、損害 奉天ノミニテ 600 万、全満 2000 万円ヲ下ラズ。

四、現状 44/5 名ノ社員及家族ハ 11 月末ヨリ食料雑貨ノ小売業ヲ開始セリ。

○豚毛 神代専務

一、武装解除ノ翌日 2000 MOB ニ襲ハレ、薪 5000 リーベ、coal 1000 ton、木材 15cars、金額ニシテ 750 万円

二、worker 1000 名 日系 100 名 (60% 応召) 1 1/2 年ノ前渡シ完了

○選鉱剤 中村技師長

現在相場ニテ 1000 万円 (特殊油 30-40 drums、過性ソーダ 200 ton)

◎1月11日

【支店長移転ノ事】 淀町社宅ニテハ部屋繰ノタメ全員ニテ移転清掃ノ騒ギナリ。若手連中鍋釜類ノ買出シニ出ツ、アリ。

【重慶軍】 愈々十五日ト謂ハル。会報ナレバ恐ラク例ノヨタニハ非ラザルベシ。此

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

ノタメニ市内ニ大ビル接収セラルヤモ知レズトアリ。春江ビルハ公安局員来タリ言渡シタルガ可然金円ヲ贈リ頼込ミタル由ナリ。何モ兢兢々タル有様ナリ。

駐奉部隊ハ五万名ニテ内若干ノ邦人アルガ如シ。

鉄西地区ハ二万名ニテ各戸二名程度ノ割当アリ。一同協議シツ、アリ。警察ハ軍ノ命令ニヨルカ又ハ気嫌取りノタメカ分ラヌモ全ク閉口ナリ。

【発疹チブス】 医師診察班十六組ヲ以テ全市ニ検診ヲ行ヒ患者ハ全部太車ニテ鉄西地区搬送スル由ナリ。此レデハ助カル病人モ助ラヌト干係者心配シツ、アリ。

罹病者ハ推定 1500 名、死亡率 10% ナリ。

民会一支店長

※東棉化成…東棉化成工業株式会社、1940年9月設立。東洋棉花が出資した高梁科学工業の商号を変更したもの。蘇家屯に本店、工場を置いた。

◎1月12日 極寒

【支店長転出】 早朝ヨリ起出シ十一時引越シ始マル。破損品ハリツクニテ搬送シ、太車ヲ以テ布団類全部完了。三時ニハ一同帰宅セリ。兩名ノ布団ノ外コーヒーカップ5、皿類等相当量ヲ片付け大分ユトリガ出来タト話居リタルモ、吾々終始附添ヒタルモノハ一沫ノ淋シサヲ覚ユ。

谷口氏ノ諒解ヲ得テ粉炭若干ヲ得タルガ、雪道ト荷車心棒氷結ニテ能力挙ラズ。

【高野氏】 高野、北村氏来訪。懇談ノ後去ラル。(5) 偶々移転中ナリシ為全時ニ淀町へ搬入セリ。

【錦県へ強盗】 錦県組ニ昨夜再ヒ日満系ノ強盗ニ侵入セラレ、木下ハ身ニ数ヶ所ノ刀傷ヲ受ケ現金五百円程度持去ラル。同居人北川氏家族ハ諸品持出サレタル由ナリ。

五条ヨリ南方ハ強盗朝夕ニ襲ヒ来タリ。何レモ極度ノ不安裡ニ在ルモノノ如シ。

【重慶軍入奉】 重慶軍ノ入奉ハ愈々確實ノ如ク、一部先遣隊ハ商工公会ニ入りタルモノアリ。遼東閣ビルハ接収セラレタル由ナリ。在奉軍ハ四万トモ謂ハル、モ実数元ヨリ不明ナリ。加入ノ皇軍ハ郊外方面ニテ八路ト對抗シツ、アルガ如シ。結局ハ第一線ニ常ニ在ルモノナルベシ。

【布団供出】 右ニ伴ヒ布団ノ供出ヲ命ゼラレ班長ノ依頼ニヨリ毛布一枚ヲ差出ス。

【U.S.A.】 News ニヨレバ米国ハ日本ニ 100 cargo boats ヲ貸与シテ支那、朝鮮ヨリノ引揚ヲ援助スル由ナリ。

高野、北村、寄金

◎1月13日 温

【田中、薄井、室谷】三名ニテ某氏ヲ訪問。借入金ニ就キ懇談セシモ、附近強盗ノ被害頻発シテ到底搬出入不能ナレバ現物ノ受授ニ至ラズ、証書ノ書換ニ終ル。

【強盗】葵町方面ハ連日連夜ノ来訪ニテ、錦県組ノ如キハ卅名余ニ襲ハレ one block ヲ取巻キトラックヲ持来タリ。男子ハ附近全員負傷セザルハナキ状況ナリ。

【豚毛後藤急逝】豚毛後藤氏宅附近モ強盗難ニ洩レズ、余リ頻発セル故ソ聯兵ニ依頼シ警備ニ当タラシメタルトコロ、昨夜全氏外出セルヲソ聯兵強盗ト誤リ射殺セリ。今朝神代氏淀町ヘ急報シ支店長葬儀ヘ参列ス。11.00 AM。

全氏ハ豚毛工業更生ノ恩人ナリ。人柄ニ付テハ若干ノ批評アリタルモ、積極的ニシテ果敢ナル性格ハ遂ニブラシ工業ノ確立ニ成功、全地ノ更生ニ尽力セル功績ハ特筆ニ値スト言フベシ。

【久保川夫人就職】安藤道雄君主宰ノソセージ工場ヘ出向キ、久保川夫人ノ就職ヲ依頼シ成功ス。事務方面ニ採用サレ大略600円見当ノ収入ノ由ナリ。隠岐氏来会シー別以來ノ懇談ヲナス。同氏モ又加入セルガ如シ。目下ハソセージ1 kilo 六十円見当ニテ買上ゲラル、ガ、原料22/3ニテ引合ハヌカラ近々ハ路軍ノ壁ヲ突破シテ十七／八円ノ仕入レヲ致度シト言ヒ居レリ。例ニ依リ若干無軌道ナルモ、兎モ角モ事業ヲ確立セルハ偉キモノナリ。

【支店長新世帯振り】支店長ハ広岡君ト自炊生活ニ入ルモ、道具類割高ニテ又容易ナラザルガ如シ。電球100W 200ニナレバ電球ノミニテ1000ノ支出ナリ。アルミ湯沸200、他ハ知ルベシ。

【大アパートノ接収】中国軍ノ入奉ニヨリ兵舎トシテ大アパートヲ接収スル噂ナリシガ、本朝住吉ビルノ立退決定セリト噂サル。各方面トモ此種居住者ハ恐怖状態ナリ。

【平和食堂】平和食堂炊事婦堀井、本日暇ヲ貰度シトテ外出ス。一同善後処置ヲ鳩議ス。

◎1月14日

【十五日重慶軍入城】待望ノ中央軍ハ愈々明十五日入城ト定マリ、設営班ハ奉ビル、住吉ビル等本日に中ニ立退ヲ命ズルナド活動中ナリシガ、本日午後ニハ道路ノ雪除キニ多数使役ヲ徴発セリ。当荘モ山口君出掛ケタルガ、大広場モ明朝十時迄完了スベシト言ヒ、食堂前モ本夕中ニトテ騒ギ居リタレバ、今回ハ実現スベシト話合ヘリ。

【給与】小沢君ノ言ニヨレバ来奉ノ部隊ハ雲南方面ヨリ転進セルモノニシテ、給与ハ卒ニテ月額3000程度、辺地手当1000ニテ相当額ナルモ、郷里送金又ハ貯蓄トシテ大部分保留シ現地デハインフレヲ考慮シテ引締メル予定ト言ハル。此ノ

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

結果カ掠奪トナルカ否カハ別トシテ、現在ノインフレヲ多少トモブレーキスルコトニナレハ仕合せナリ。

【軍紀】 敵正ナリト言ハル。此ノタメニ強姦ノ場合ハ証拠烟滅ノタメ後射殺スルガ常ナリト。奉天地区ニテハ多分左様ナ暴行ナルベシト楽観シツ、アルモ、此レ又不明ナルガ何レニシテモ現状以上ニ変化ノ方法モナケレバ夫レ相当ノ手ヲ打ツヨリナカラシ。

【兵舎】 合計廿万ニ上リ中五／六万ガ奉天、残りハ再ヒ他ヘ転駐スル予定ト伝ヘラル。ソ聯兵殆ト撤退ノ模様モ見エヌ故結局大和区辺ハ全部日系宿舎ニ落付クベク、邦人ノ居住問題愈々至難トナルベシ。商工公会ハ特務団ニ、奉ビルハ将校宿舎又ハ司令部ノ由ナリ。

【不動産所有数】 日系ニ対シテハ不動産所有ヲ認メザル建前ナリト云フ。全テガ然ルカ、法人所有物ヲ押収シ而後ニ小口ニ及ブカ此レ又全然未知数ナルモ、現在ト食堂問題ハ此レニ干連シテ妙案ナキヤト小沢君ニ相談シタリ。

【後藤氏葬儀】 本時十一時出棺、明朝骨上ゲノ筈。

【旅行禁止】 目下幹線ハ旅行禁止ナリ。SMR 辺スラ石炭泥棒ニシテヤラレ運転不能状況ナリ。

【支店長室】 本日広岡君ノ手ニテ自炊始マル。

物価 白面 17⁻ 豚肉 32⁻/34⁻

マッチ 6⁻ 大函 140⁻

何レモ上向キ、換物思想旺シナリ。

岡本、高橋、神代、林。支店長往訪。

◎1月15日

【小島令嬢】 本日ニテ三日間平熱ニ近シ。食事ハ依然進マズ一食一杯ガ漸クナリ。未ダ便所モ独行出来ヌモ不日恢復ハ明カナリ。

隣保ノ山下ナル仁ニ呼止メラレ看護婦給料十日分トシテ 250⁻ 支払ヒタリ。別ニ布団ヲ二三軒ヨリ借用中ナルガ、此レヲ返却スルコトナク出来得レバ買求メ願エヌカト申出アリ。承諾ノ旨話置キタリ。

【中央軍入奉】 愈々本日ニ迫リタル如ク、各戸ニ国旗其ノ他歓迎ノ施設アリ。小旗ヲ手セル満人多シ。正午ニ至ルモ入城ノ報ナシ。引続キ使役ハ多数微発サレツ、アリ。奉ビル玄関ニハアーチアリ。兵卒ハ全部鉄西ヘ。将校ノミ当区ヘ駐屯スル様子ナリ。従テ当区ハ交通遮断殆トナキモノ、如シ。

【臨事〔時〕休業】 臨時休業店多シ。ソ兵ノダバイ意外ニモ更ニ減セズ。

高橋、岸原、外泊。

◎1月16日

【日満鋼材ノ現状】渋谷社長、支店長ニ面談ノタメ来荘、淀町へ廻ル。

日満鋼材ハ目下袁氏ヲ以テ中国經濟參謀大佐ト接衝シツ、アルガ、幸ニ全社カ満重ブロックヲ脱シテソ聯ニ未接收ナリシヲ好感シテ会談ハ極メテ円満ニ進行シツ、アル様子ナリ。

袁氏トノ tie up モ中国ノ接收ニ対スル小細工ニ非ラズシテ、今後ノ事業干係ニヨルモノナルコト、從テ押収サル、モ異義ナキ旨ヲ申告シタルニ、此又諒トセル様子ナリ。

全社トシテハ飽迄モ中国ノ復興ニ貢献スルガ目的ニテ、今後米国製ノ自動車組立工場タラントスルモノナリ。即チ同和自動車ヨリ引続キタル技術者ハ全員確保シアレバ、月産1000台ハ容易ナルベシ。尤モ対米為替干係其他ニテ急速ニ抄ラス場合ヲ考慮シ、太車乃至運搬車ノ建造ヲ計画シツ、アリ。満州ニ欠乏セルハ先ヅ自動車ナルガ、此レガ染手迄以上二者ニヨツテ運輸ニ貢献セントスルモノナリ。此ノタメニ東洋タイヤト連絡セルガ、現在ゴム原料及ビ米棉ノ輸入ヲ以テ全社モ又相当量ノタイヤ製造能力アルヲ確認セリ。

車体用ノ木材ハソ聯荷造資材ニ相当量ヲ失ヒタルモ、此レ又国内ニテ自給可能ナルベシ。此ノ主旨ニ御賛成乞フト言フガ同氏ノ要旨ナルガ、恐ラク支店長モ賛成セルナラン。

【淀町】田中、後藤、香川、夫々ノ目的ニテ淀町往訪。

【ブローカー】山口ヲ同道、田園ニテ砂糖ノ在庫品ヲ確メタリ。文房具ハ満鉄干係ヘ納入ノタメ湯浅藤原氏宅ヘ参リ打合ハス。

電球100ヶ@1.20 per watt ニテ契約セルガ、果シテ入手出来ルヤ否ヤヲ疑問ナリ。

会社自体トシテ何事ガヤル時機ハ今ナリト断ゼラル、ニヨリ、二ノ三日中具体案ヲ以テ支店長ヲ往訪ノ積リ。結局合議制ハLimitトナリ勝チナレバ是非一委任セラレタキモノナリ。

【家族會議】議論百出、結局田中一家ノ退出ヲ求ムル声多シ。

【田中二女】明日ヨリソーセージ工場ノ職工トシテ通勤。

※同和自動車…同和自動車工業株式会社、1935年3月、「同和自動車工業株式会社法」により設置され、満州国が現物出資した旧奉天迫撃砲廠の土地建物に本社が置かれた。満州重工業の関係会社となったのち、1942年5月に満州自動車製造に吸収合併された。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

◎1月17日

【高島屋飯田】中国軍ノ買付担当者高島屋ヲ田中氏ヲ往訪セルモ、坂内重役及ヒ担当者不在ニテ要領ヲ不得。出口ニテ警察官ニ Hold up サセラル。

【ブローカー】待望ノ電球屋来ラズ。ネオヘロシチン、燐寸ノ売手、石炭ナド続々来屋セルモ話纏ルモノツモナシ。正二千三ツ屋ノ感アリ。

【写真】僑居証明者用ノ写真ヲ撮ル。6×6 ニテー一枚 15[〃] ナリ。

※高島屋飯田…高島屋飯田株式会社、1916年12月設立（高島屋飯田合名の貿易部門が分立）。千代田通りに奉天支店があった。

◎1月18日

【高島屋飯田】田中、香川ニテ再訪。事務所改造中ニテ未ダ職員連中出勤セズ。

【営口組】笹山氏以下三名ニテ食料品店資本借入ノタメ淀町へ来訪セリ。

【錦県組】強盗ノ再襲ニテ当支店長トシテモ現状ニ放置スル訳ニモ不参、八幡寮、女子寮二分轄収容センカト考へ居ルモ、同居ノ崑多川家族ヲ切放ス訳ニモ参ラザルベク、全家族収容セバ半永久的ニ世話セネバナラスカト斯レ迷ヒ居ル次第ナリ。

木下君負傷後初ノ来訪ナリ。支店長へ懇談スルトコロアリタルガ、転々スルヨリハ現状ノマ、頑張ルト一同ノ意向ナリ。本人等ノ意思ニ一任スルヤ否ヤ一同協議スルコト、セリ。全人ヨリ更ニ 5000[〃] ノ借入申込アリタリ。同人ハ此レニテ暫クヤツテ見ルトノ話ナルモ、結局喰込ミ喰込ミトナルガ落ちナルベク、当初ノ自活資金ト言フガ何等ノ効果ヲ納メザルニ至ル。筆者ノ予想セル如ク、同人一名ノ男子ニテ十二名ヲ視ルコトハ事実不可能ニ近カルベシ。其ノ使途ニ就キ更ニ明細書呈出ヲ求メタリ。

【中国軍】歓迎ノタメ慰問袋ノ提出ヲ求メラル。二戸ニテー袋ノ割合ナリ。晷ハ分区十二板ノ割当ナリ。鉄西地区ノ軍ハ極メテ遠慮勝チニテ“日本軍ノ四川ニ入ツタ時ノ様ナ事”ハセヌト言ヒ居レリ。日本人ガボチボチ附近満系ヲ荒シ居ル様子ナリ。

【旅行禁止】会報ニテ正式ニ旅行禁止ノコト通知アリタリ。既発ノ旅行証明書モ又無効トナル。

【電灯料金】分区ニ徴収ニ来レルモ当荘分ハナシ。多分七月分ノ實際支払高ヨリ average シテ取立ツル様子ナルガ、偶々当荘ハ七月分ノ領収証ナカリシタメ未タニ来タラズ。

【物価状況】安キモノハーツモナシ。米価 12[〃] ニ近シ。

ローソク 一本 3[〃] マッチ大箱 140[〃] 小箱 6[〃]

◎1月19日

【使役】藤原君ト共ニ使役ニ赴ク。7.00 AM ノ集合ナリ。平和区公所ニテ南七条派出所行キヲ命ゼラレタルガ、全所ニテハ使用先問合ハス故暫時待機セヨト言フ。其ノ中偽警察官ト覚シキニ邦人引致サレ種々訊問サル、ニ及ビ、当方ハ全ク忘却ノ態ナレバ断リテ帰ル。前後四時間余リ全ク徒費セルニ止マル。

【支店長往訪】寄金君ヨリ電球 1000 ケノ売物有リタル旨話有リ。此ノ機会ニ当社ノ仕事ヲ創メルガヨロシカラント考へ、資本金五万円程度ヲ以テ卸小売店開業シ、此ニ従事スル者ハ職員五名程度トシ利益金ノ一ノ二割ヲ同人等ノ報酬トシ残ハ社金トスル案ヲ以テ支店長ヲ訪ネタルモ、水銀千葉氏来訪中ナリシタメカ支店長氣乗薄ナリシ様子ナリ。谷口氏ニ廻リ同様案ヲ説明、具体化ニ付キ尽カテ依頼ス。

【後藤氏葬儀完了】豚毛後藤氏葬儀完了。神代氏、支店長へ挨拶ヲタメ来寮。遺家族ハ未亡人、娘ノ心細サナレバ現在地ヲ捨テ、奉ビル前社宅へ移転ヲ慫慂シ、家財整理ノ上帰国ヲ待機セシメタシトノ事ナリ。全宅附近ハ依然分区ニソ聯兵駐屯シツ、アルガ、後藤氏ノ誤殺後更ニ一名ノ死者出タル由ナリ。

【豚毛バーター】日満鋼材ノ自動車問題ニカラミ、対米豚毛ノ輸出ヲ復興シ此レト car トノバーターヲ進言シテハ、支店長ヨリ渋谷氏へ進メタルガ、神代氏ニモ其ノ具体化ニ就キ懇談アリタリ。神代氏モ自信アル旨回答シ居レルモ、全クノ手工業ニテ邦人ノ進出ヲ俟ツ要ナカルベク寧ロ城内專業者ニ一任サルベキモノニシテ、当社ガ交易業トシテ介在スル余地アラバ別ナルモ夫レ以上ハ問題ナカルベシ。

【鉄西国軍ノ現状】鉄西駐屯ノ国軍ハ現在三万五千ナルガ、ソ聯トノ干係ヲ考慮シ全然外出セシメザルガ如シ。

【中央、八路ノ衝突】本日駅前ニテ兩軍衝突セリ。未明銃声盛ンナリシハ此ノタメノ如シ。仲裁役ノソ聯兵発砲シ兩軍周章、引揚ゲタルガ如シ。

【貨幣】東北流行券ノ正体ハ未ダ不明ナルモ、聯銀券及ビ法幣ノ流通ハ禁止セラレタリ。華北インフレノ流入ハ軍トシテモ怖ル、トコロナレバ、全ク別個ノ特殊券ヲ発行セルモノナルベシ。

【邦人私有財産】邦人ノ私有財産ハ生活ノ最低限度ヲ保留シテ没収スル旨、小沢君及ビ高島屋ヨリニュースアリタリ。不動産干係ハ軍ノ所有物ヲ除キ市又ハ省ニ委任競売ト決定セル由ナリ。

【大華公司】高島屋ノ談ニヨレバ、今回中央軍ノ物資買付機関トシテ大華公司ナルモノ設立セラレ、主脳部ハ満系ナルモ邦人モ又採用セラル、由ニテ、田中氏モ買付員トシテ勤メテハ如何ト薦メラレタリ。俸給ハ大小ナク 1000 〃ナリ。寧テ経済使節トシテ入省セル王大佐ハ今回覆面ヲ脱シテ経済特務トシテ活動シ、大華公司ヲ主宰スル次第ナリ。

【附近ダンスホール】現在ノ高島屋ハ目下改築中ナルガ、主トシテ外国人ヲ相手ト

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

スルダンスホール、酒場ニナルト言フ。夏場ハ玄関前公園ヲ露天酒場トスル筈ナリ。

◎1月20日 SUN

【分区情報】 分区情報ニ依レバ、今日強盗退治ノタメ警察特攻隊トモ称スベキ特殊隊200名ガアリ、此ノ宿舍備品ノ供出ヲ命ゼラル。畳、布団、食器類ヲ始メ数々ノ供出ナリ。当荘モ田中組長種々陳弁セルモ一部食器ノ提出ヲ余儀ナクセラル。

【分所長交迭】 浪速通分所ノ所長交迭セリ。新任ハ王某ナルガ話ノ分ツタ仁ナル如ク、従来ノ様ニ分区ヨリ賄ヒハ此ノ際辞退シ、今後ハ相互ノタメニ支那人コックヲ雇ヒ自炊シ其ノ費用ヲ負担セラレタシ、左スレバ費用モ1/3減スベシトノコトナリ。大東区華園街ノ如キハ分所賄費十日間ニテ75000^円ニ上リ、此ノ負担ハ一戸一日75^円ナリシ事実アリタリ。毎食250人ノ巡査ゾロゾロト集ル程ナリシガ、十日目ニ全部引揚ゲタル由ナリ。前分所長ハ相当ノ乱暴者ニテ使役者ヲ蹴飛シタルコト屢々ナリキ。

【^マ第十一集団軍】 当地駐屯部隊ハ^マ第一集団軍ニテ副官ハ邦人ナル由ナリ。山口ノ友人沢木ハ中尉トシテ入団シ跡募集中ナリト聞ク。特務団ニ加入セルモノ或ハ公安局密偵タルモノ数々アルガ如シ。

【徐尊三】 社宅ノ唐二頼ミ明日徐君ヲ呼ビニヤツタトコロ、誤而本日来荘シ小生留守ニテ氣ノ毒セリ。

【支店長往訪】 昨日ノ電球買付ケ及ビ奉天支店トシテノ事業ニ干シ懇談シタルガ、Dabaiノ危険アル今日小数委員ニ相当金額ヲ委スコトハ不賛成ナリトノ意向ナリ。今後借入ノ見透シモ就カズインフレ必至トスレバ残存金ヲ以テ仕事ヲスル、然モ現状ヲ惜イテ好機ナシトスルモノナルガ責任者ニハ責任者トシテノ良考アリ。別運ヲ以テ善処スルコト、セリ。支店長ハ田中三機氏宅へ風呂ヲ貫ヒニ行カレ、同氏宅ハ暖房生活ナリト羨望シツ、アリタリ。ソ兵ノ宿舍ナルガ故ナリ。

【支那式ノ話、僑居証明、電熱料】 僑居証明書ガ発行セラレタルトコロ、最近ハ印刷シテ自由販売セルタメ（1pic 30^円）、此ノ手数料領収証ヲ併セテ携行スベシトノコトナリ。敵モ新手ナラコチラモ新手ト携行者ハ常ニ迷惑シツ、アルガ愉快ナ話。淀町電熱費ハ34,000^円ノ請求カ来テ一同吃驚仰天セルガ、種々交渉ノ結果3,700^円ニテ折合ヒタリ。然モ領収証ハ依然34,000^円ニテ摘要ニ“ソ聯使用”ト加筆セリ。一般ニテモ払フ払ハヌハ要領次第トハ不思議ナ国柄ト申スベキナリ。

【ヘット】 40斤売約 5斤小売。

◎1月21日・23日 四温

【特記事項】 ナシ。

【小島令嬢】 愈々全快ニ近シ。看護婦帰り家政婦ヲ雇入ル。

1/22 黒川宅

1/23 神代宅

◎1月24日 寒

【中央軍入城式】 本日施行サル、故市中歩行ハ注意セヨトノ事ナリシモ別状ナク、入城式モ延期セラレタル模様ナリ。満系局員談ニヨレバ、一部ニテハソ支兵ノ衝突事件多ク、ソ兵ヲ射殺セルモノ三十件ヲ下ラザル由ナリ。中央軍ニ対スル批判モ好悪半々ナルガ、市内ニハ未ダ殆ト見掛ケズ。

【支店長来訪】 支店長離荘後初ノ来訪ナリ。

【資金借入見透】 現在ノトコロ具体化セルモノナシ。近々藤原氏ト懇談ノ手配セルガ、支店長ト相談ノ結果ハ限度ハ五十万円ニ一先ツ据置クコト、定ム。

【清友荘】 共同炊事ハ経験上万事 waste 多キタメ、現在員十五名ヲ三ノ四ノ世帯ニ分ケテ別個ノ世帯ヲ張ル様ニ改組スルコト、定ム。部屋割其ノ他迫而相談ノ筈。

【供出問題】 過般来中央軍ニ対スル供出品ハ相当ノ量ニ達シツ、アルガ、今日更ニ二戸当リ一足ノ防寒靴、地下足袋ノ供出ヲ命ゼラレタリ。

【平和食堂】 中野ヨリ正式ニ立退キノ依頼受ケタリ。

◎1月25日

【警察官ト称スル者】 昨夕外事科員ト称スル者二名、安倍宅へ来タリ。ピストルヲ擬シテ同行ヲ求メタルガ、同人種々折衝ノ末三万円程度現金ヲ持帰りタル由ナリ。高田早朝ニ報告アリタリ。

然ルニ今朝ハ当荘香川卓一ヲ指名シテ同様警察官ト称スル者二名来訪セリ。前組長久保氏入口迄案内セルヲ以テ（執筆中附近ニ銃声頻々ナリ）直接案内セルトコロ、直ニ証明証（露文）及ビ警察手帖ヲ示シ香川卓一ニ訊問ノ筋アリト言フ。全然偽物トモ想レザル俣二階ニ招入レタリ。

一名ハ殆ト邦語ヲ解セズ一名ハ流誦ナリ。先ツ第一ニ嘘言ヲハク場合ハソ聯憲兵隊ニ引渡ス旨ヲ宣言シ、筆者ノ僑居証明取調ベノ上、会社内ノ地位及ビ俸給並ビニ八月十五日現在ノ所有高ヲ訊ネタリ。一万円ト答フ。次ニ加〔珈〕啡150斤ヲ買入レタル事実ヲ執拗ニ突込ミ此レヲ白状セヨト迫ル。此ノ間ピストルヲ示シ或ハ直ニ同行セヨト言ヒ、一方ガナタメ役ヲ買フナド相当ノ芝居振りナリ。元ヨリ其ノ事実ナケレバ何レニ引致サル、モ致シ方ナシト最後迄頑張りタルニ、次

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

二筆者が会社ヨリ持出シタルモノハ大小ヲ問ハズ供述スベシトノ命ナリ。此レ又立退当時ノ実状説明ノ上、斯ル事ノ在リ得ベカラザル事ヲ強硬ニ主張シタリ。

兩名共当荘ノ寒サニハ閉口ノ態ナリシガ、結局家捜シスル旨申出タルヲ以テ直ニ田中氏ヲ呼上ゲ、同氏ト共ニ主トシテ二階ヲ取調べタルガ、極メテ簡単ナリキ。最後ニ Radio ヲ供出セザル事実ヲ矢釜敷ク言ヒ出シタルニヨリ、何レモ所有者ナシト答ヘタルトコロ持つテ帰ルト言出シタリ。更ニ麻雀モ譲リ呉レトノ事ナリシカバ進呈スルト答ヘタルトコロ気嫌ヨク帰リタリ。同人ノ名前ハ王澤周ト答ヘタリ。

後聞スルニ安倍宅ノ犯人ト同一人ナルガ如キモ、一概ニ偽者トモ言難キトコロアリ。真物ノ小使稼カトモ想像セリ。

後藤君ノ軍服ヲ以テ軍人ガ居ルナラン、ピストルアラバモーゼル二号ノ弾ヲ呉レヌカト言出シタリ。

【帰国ノ話】 帰国ノ話アリ。六月ヨリ開始スル故帰国届ヲ提出セヨト言ヒタル分区アリ。ホームモー見アリ。当班ニテハソノ話ナキモ、大連ヨリ既ニ第一船ガ出タト言フモノアリ。何レモ希望ヲ見出シタリ。

林。田中、笠原宅へ。

◎1月26日 高野氏来荘、田中氏不在（Final） 香川、白地、田中令子淀町へ

【警察官問題】 報告ノタメ淀町へ向フ。前日ノ被害者安倍モ合流シ種々話合ヒタルガ、結局現職乃至曾テ警官タリシ者ノ内職稼ギニシテ、彼我同一人ナルコト明白ナリ。幸ニシテ当方ハ被害僅少ヲ悦ビタル次第ナリ。安倍ニ対シテハ康德社ヨリミシン五十台ヲ持出シ隣家ノ洋服屋ニ売却セル嫌疑アリトノコトナルガ、結局家捜シノ結果三万八千円ヲ発見シ、此レニ依ツテソ聯ノ Black List ヲヨリ抹消スル故安心セヨト立去リタル由ナリ。防止策トモナク、困ツタコト、話合フノミナリ。

【太車代ノ支払要求（中川代理）】 八月十七／八日当社ニ於テ使用セリト称シ太車代3600°程度ノ支払費ヲ要求セルニ満人アリ。中川、根来兩人ガ昨日支店長室へ連込ミ来タレリ。事情ハ勿論店長ノ知ルトコロニ非ラズ。然モ斯ル人物ヲ真直ニ責任者ニ面会セシメ其ノ席ニテ払フテ呉レナドハ以テノ外ノ無思慮ナリト憤慨セラル。怎フモ斯ル連中ノ多キニハ閉口ナリ。

【藤原氏往訪不在】 田中、香川ニテ藤原氏ヲ往訪セルモ留守ナリ。氏ハ交通部ヨリ呼バレ工場建設ニ就キ意見ヲ求メラレタルガ如シ。同工場ハ最近再ビ大量ノ搬出ニテ殆ト形体ヲ為サルモ、鉛粉砕器ハ敷存中ナレバ幾分ノ操業ハ可能ナリト申スベシ。G.S ハ SMR ノ口添ヘモアリ若干ノ製品ハ出シツ、アル模様ナリ。

【選鉱剤】中村氏ハ工業委員会ニカ、リキリニテ種々立案中ナリ。石鹼ハ相当ノ設備アルモ、搬出其他種々障碍アリ。殊ニ現状下ニ製造中ナルコトガ発見サレテハ元分子モナクナル故、極少量ヲ三工学院院生徒ヲシテ連絡所ヘ運ヒ来ル程度ナリト言フ。同人モ話モチグハグニテ如何ニモ三井ノ取扱ヒヲ難ズル風アルカト思ヘバ、恩被セガマシキ口吻モアリ充分警戒ノ要アリト申スベシ。

NEWS

1/14 民会

- 朝鮮 三井、三菱、住友、古河、安田、浅野、各財閥所有物ハ聯合國ニテ接收セリ。其ノ他モ同様ナルガ近ク完了シ居留民ハ八月ニ帰国セシム。接收分ニ対シテハ証書ヲ発行セル由ナリ。
- 華北 接收全テ完了シ居留民ノ引揚ゲアル筈ナルガ、技術者ハ工場ニ残シ最低5000^円ノ俸給ナリ。戦後華北ノインフレ急激ニ訂正セラレ右金額ニテ略々生活可能ナリト言フ。課長級以上ハ8000^円以上ニテ比格〔較〕的優遇ト申スベク、物価指数ヨリ申シ5000^円ハ当地1500^円ニ相当スベシ。

引揚居留民ノ残余ノ者ハ一定場所ヘ集團ニ生活セシメラレ男女共ニ使役ニ使ハレツ、アリ。

E.S.S.O 放送

1/16

1. 日本ノ勅令ハ今後ポツダム勅令ノ名称ヲ以テ発布セラル。財産税及ビ戦争利得税ナルモノ新設セラレタリ。
2. 日本政府ハ聯合軍ニ対シ三月末迄ノ許可条件付キニテ8,500億ノ公債発行ノ認可申請ヲナシタリ。
3. 米国ハ日本ニ対シ外国ニ支店ヲ有スル商社ガ支店ニ対シ其ノ財産ヲ維持スルタメニ必要トスル経費ノ送金ヲ許可セリ。右ハ事前ニ於テ McArthur ノ許可ヲ得ル必要ナシトノ条件付ナリ。
4. 聯合國ハ日本文化ニ関シテハ敢テ干渉セズ。特ニ技術家ト音楽家トヲ合流セシメヨト。

1/21 放送

1. 日本ニ於ケル戦争ニ干係セル工場施設ノ保管命令発セラレ、265工場ニ適用セラレタリ。
2. 十四財閥、十六会社ノ説明アリ。三井、岩崎、浅野、古河、大倉、日本生命、安田、日本鉱業（伊藤）ノ家憲ハ尊重ス。

1/23

1. 国債ハ1300億円ニ上ルガ此ノ利子ハ3.5%ヨリ2%ニ切下ゲ、郵貯、銀行モ

全率トナルベシ。

2. 選挙権 地主ハ一反歩以上ヲ所有セザレハ選挙権ナシ。

3. 米国務長官ノ声明

A 千島ハソ聯ガ一時的ニ占領スルトコロニシテ永久的ノモノナラズ。

B 太平洋諸島ハ米国領トシテ永久ニ支配スルガ此レハ今更他国ヘ相談スル必要ナキモノナリ。

C ビルマハ独立セシムル必要アリ。

4. 華北ヨリ帰国 4500 名ハ敦賀ニテ機雷ニフレ沈没シ中 200 名ハ行エ不明ナリ。日本ヨリノ連絡者、朝鮮經由來満セリ。内地情報次ノ如シ。

1. 治安状態 極テ良好。

2. 食糧問題 雑穀ヲ含メ二合三勺ナルガ分配平均ヲ期難シ。物価ハ暴騰ニテ米一升四十五円、其ノ他当地ト略不変。

3. 皇太子殿下 皇太子ノ米国留学説ハデマニテ米国崇拜ノ若者ヨリ出タ希望乃至デマナルベシ。

4. 米国崇拜 四十才以下ハ全テ米国崇拜ト申スベク、田舎ノ老母迄パーマネント姿ナリト言フ。六大都市ノ年末ハ婦女子ハ振袖姿ニテ米兵トテ徹宵遊ヒ暮セル有様ナリキ。

5. 私公娼 公娼ハ廃止セラレ芸者多ク私娼又多シ。

6. 家屋 不足全国 400 万ヶト称セラル。一般ニバラック生活者多シ。

7. 指導者 軍需工場及ヒ官吏ハ将来公職ニ就クコトヲ禁ゼラレタリ。従テ一般ニ指導者ヲ失ヒ惑アリ。復興建設ハ全然見透シツカヌ現状ナリ。

8. 民主々義 民主々義ト謂ヒ共產主義ト謂フモ一般国民ハ全然無関心ノ実状ニテ、唯反動ニテ浮カレテキル有様ナリ。

9. 中国 中国ニ干シテハ何等ノ発表ナシ。

10. 天皇 皇室、天皇、憲法ニ関シテハ種々論議セラレツ、アルガ、一月一日陛下ノ勅語ニ於テハ万機公論ニ決スル事ヲ強調セラレ、天皇ト国民トノ干係ハ相互ノ尊敬ト信頼ニ基ク旨ヲ説カレタルガ、右ハ McArther ヲシテ最モ感激セシメタリト言フ。

11. 小工商 小工商ハ全然復興ニ到ラズ。

12. 大工場 ハ活動ヲ禁止サル。

13. 紙幣 十月二十一日 発行高 550 億 ライスカレー 15/10⁻
八月十五日 “ 305 “
一昨年末 150 “

14. 娘子軍 生活費騰貴 (1m/1000⁻) ノタメ田舎ノ婦女モ都会ニ出テ米兵ヨリ金ヲ取ルガ如キコト考ヘ陸続活動スル結果、却テ農耕ニモ差支エル有様ナリ。

服装ハモンペー一瞬ニシテ霧消シ派手ナルコト呆ル、許リナリ。

※一月一日陛下ノ勅語…1946年1月1日に昭和天皇が発した自らの神格を否定した、いわゆる「人間宣言」のこと。正式には「新日本建設に関する詔書」という。

◎1月27日

【金融ノ件】当社財政愈逼迫シ、責任者ハヨクヨク協議中ナルガ、本日田中氏ト共ニ某氏ヲ往訪。路上ニ遭ヒテ懇談スルトコロアリタリ。三井本社ノ存在ヨリ延テハ当社ノ信用ニ対スル懸念モ百出シテ相手方モ容易ニ見当ラズ。更ニ当地インフレトモナレバ到底簡単ニ参ラヌコト、想像サル。

【従業員整理案】従業員整理ノ事ハ女事務員ニテ一応打切りトナリタルモ、資金難ト共ニ当然起ルベキ問題ナルガ、寧ろ全滿統一サルハ当然ナレバ出来得レバ支店長ガ新京ヘ行キ成案ヲ以テ処理スベキモノト考ヘラル。全時ニ又現状ハ一時的ノ小康ニテ接收完了ト共ニ集団乃至キャンプ生活ニ入ルモノトモ計ラズ、思ヒ過シカトモ考ヘラル。何レニシテモ日一日ト卑屈ニナリ行クハ違〔遺〕感ト言フベシ。

【右側通行】二月一日ヨリ右側通行ト発令セラル。

【キンツバ工場】淀町社宅ノキンツバハ愈々全寮ノモノトナリ、今朝五百ヶノ売揚ナリ。近々一千ヶト非常ナル張切りナルガ、指導役ノ谷口夫人又大童ノ活躍振ナリ。

【徐尊三氏】全氏本日来訪セリト。当方又留守ニテ遺憾ナリ。同人ハ既ニ三回目ナリト言置キタル由ナリ。

◎1月28日

【早川、高野氏】高野与作、早川亘ノ両氏来荘セラル。本日ハ北村修一氏ハ見エズ。他方、小野、谷口氏ヲ迎エ当荘田中、香川ノ六名ニテ程々懇談スルトコロアリタリ。SMR干係モ引続キ大量ノ餓首アリ、出征遺家族ニ対スル共済金モ容易ナラズ、殊ニ全社員ハ衣食住一切会社ノ take care ヲ受け居リタル習慣上依存性強ク、処分モ亦易カラズトアリタリ。

【邦人引揚能力】邦人引揚ガ話題トナリタルガ、客車ニテ十車両トシテ約千人ナルガ、貨車トセバ一車両七十人、四十車両ニテ三千人内外ハ可能ナリ。旁々 Liberty Boat ハ speedless ナレバ、何レ近海ヘ配船セラルベク、支那方面ハ意外ノ進捗ヲ見ルヤモ知レズト希望の観測ヲ加エツ、アリ。

【新京へ出状】大上夫人／加藤武満 本宿／小野ノ両状ニ筆者ノ高見ヲ附加シテ托送セリ。一月以降ノ近況ヲ略述シタリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【〒】旧正中八国内（東北九省）ニ郵便復活スル由、本日紙上ニ在リタルガ果シテ如何。

【邦人事業ノ見透】日本人ノ事業ハ工業ト貿易ナルガ、工業ハ其ノ性質上長期ノ消却ヲ必要トスル故、先ツ第一ニ治安状況ヨリ到底成立セザルハ明カナリ。豚毛乃至油脂部門ノ比較的簡単ナモノヲ除イテハ原価消却ニ二十年ヲ要シ、然モ低利ヲ必要トス。然ザレハ外国品ニ圧倒サル、当然ナルベシ。

貿易又然リニテ支那人ニハ扱高ニ対スル1/2%程度ノ仕事ハ到底出来ズ。対外信用又ゼロトスレバ当方面ハ邦人ニ利用スル価値多シト想ハル、モ、此レ又政治資金ノ対称トナツテハ活躍ノ余地ナシト言フベキカ。斯クテ当地ニ於ケル吾等ノ活動範囲ハ一部小商工ニ限ラルニ到ラン。

【SMR 整理】満鉄干係モ支那系従業員昨今中央軍ノ入奉ニテ出勤率可良ナルガ、何レモ能率挙ラズ、然モ命令ノ遵奉ヲ欠ク由ナリ。他方ソ聯ヨリ人員淘汰ノ命令アル由ニテ主腦者ハ日系ヲ鹹首スル積ナリガ、此レデハ列車ガ動カズト反対シ、左リトテソ聯側日本側ヲ此レヲ整理スル訳ニ不参、三者三スクミノ実状ナリト言フ。

社線ニ到ツテハ下級満系全然動カヌタメ彼等ヲ上役ニ仰ギ主客転倒ヲ提□シツ、アルガ、此レデハ余リ一足飛ニテ怎フニモ手が出ヌ、痛シ痒シノ有様ナリト話居レリ。SMR 社員ハ退職資金ヲ会社ヘ預ケ置ク慣例ニテ、此ノ金額ハ四億円ニ上ル由ナルガ、東京支社モ閉鎖サレタルコトデモアリ金利ノ支払モ受ケ得ヌ老退職者或ハ家族ハ如何ニシテ活路ヲ見出サト心痛シ居レリ。

※ Liberty Boat…第2次世界大戦中にアメリカで大量に建造された標準船。戦後、日本の復員・引揚船として一時使用された。

◎1月29日

【川野君病状】川野君腹膜併発シ容態悪化セリ。野田院長ノ診察ニヨレバ現状ナレバ時間ノ問題ノ如シ。全人ヲ世話セル古田女ハ着物ヲ売り、堀田君又持物ヲ売却シテ暖房費其他ヲ賄ヒツ、アルガ、此レハ当然会社ノ負担スベキカ又ハ友人ガ見舞スルモノナルニヨリ、明日支店長ニ窮状ヲ訴ヘ援助ヲ仰グ積リナリ。

◎1月30日

【高野氏】過日約束通り奥田氏同道ノ筈ニ付キ、支店長出迎エニ行ク。全氏具合悪キタメ谷口氏ヲ同道シ帰荘。高野氏来荘（8）。内地事情其他ニ付キ例ニヨリ快談スルトコロアリタリ。

【帰国問題】支店長及ビ谷口、田中、香川ニテ当社員帰国スベキヤ否ヤニ付キ議論アリタリ。筆者ハ本社ノ不安解消ト事業再開見透難ヲ以テ是非全員帰国スベシト交換船當時ノ申込事情ヲ引例ニテ主張セルニ対シ、支店長ハ中国治下ニ於テ事業

再開ノチャンスヲツカム為ニハ是非共一部居残必要ナリ。帰国シテモ社員ハ多々有ナリ却テ迷惑ナルベシ。且ハ現在デハ現地方針次第ナレバ、自分ノ意見ヲ伝ヘテ貰ヘハ可ナリ。從テ応召家族ハ原則トシテ総帰国、男子ハ全部残留シ其ノ家族ハ主人ノ自由トシタシ。此ノ原則ニ反スル場合ハ支店長ノ諒解ヲ求ムルコト。但シ分区ニ対スル届出ハ本人自由タルベシト落付キタリ。

【**挺進隊**】高野干係ニテ挺進帰国ノ方法アル由ナリ。セメテ家族ニ安否ヲ知ラセ度シトテ茲ニ挺進者ヲ設クルコト、セリ。時機其ノ他ハ不明ナルモ、機会アラバ是非決行致シ度キモノナリ。

【**帰国届ニ就キ**】分区ヨリ帰国届ノ書方其他ニ就キ緊急常会アリタリ。民会内意トシテモ中国側意向トシテモ成ル可ク帰国セヌ事ヲ希望スルトノ要求ナリ。

【**家族会議**】二月一日ヨリ新ナルアパート家ニ移行ノタメ本日は会議開催セリ。

【**川野救済**】川野君養生費トシテ 1000[〃] 貸与スル件可決。中川代理持参ノ筈ナリ。

【**食堂**】立退問題正式ニ話込マントセルモ、中野多忙ナリトテ意ヲ得ズ。

聯銀券 100 — 5 東北流行券
 |
中国銀行券 13 — 1

【**久保組長御難**】久保ハ夫人ヲタ、キ出シ妾ト同棲中ナリシトコロ、此ノ本妻何時間ニヤラ国軍中尉ノ想者トナリ本夕兵士四名ヲ連レテ家財道具ヲ引取ニ来ル。相当虐待セルダケニ吃驚、風ヲ喰ツテ姿ヲ隠シタルハ愉快也。今後ハ斯ルコトモ多カルベク女ノ方ハ強イコトハ確ナリ。酒ヲ飲ンデモ更ニ面白カラヌ今日、久方振ニ抱服〔腹〕セリ。

◎1月31日

【**帰国問題**】分区へ届出テ、以来今ニモ帰ルカノ如ク騒出シ、巷間ノ話題ハ此レ斗リ。

【**高野氏**】来ラズ。

【**扇原夫人分晩**】一週間斗リ前、男子分晩セリ。寄金君ニ依頼シテ祝品贈ル。

神代宅

◎2月1日

【**小島宅**】令嬢全快セリ。全人ハ引続キ現家屋ニ居据り度キ意向ナレバ、適當ナル仁ヲ組合ハセ此レヲ確保スル必要アリ。後藤ヲ介シテ支店長ノ意向ヲ打診ス。尚二月以降ノ手当至急取極メノ要アルベシ。

【**旧正**】一般ニ閑散ナリ。

終戦直後の満州と三井物産奉天支店（大窪・吉田）

【徐尊三】徐尊三ニ対シ年賀ノタメ餅紅白及ビスソーセージ二三、寄金君ニ托送ス。

【田中代理】座骨神経痛ニテ兩三日臥床中ナリ。

【丸三】同店一月決算報告アリ。取扱高約 10 万円、純益約 4 千円也。

室谷

◎2月2日 旧正

【奥田氏】奥田直氏、高野氏ト共ニ来訪（5）。香川、後藤ニテ淀町ニ向フ。例ノ件ニ就イテハ極最近予定有ルガ如キ口吻ナリ。支店長ト逐一相談セリ。

【中央軍】ハ八路系ノ奉天侵入ニ備へ、郊外 20~95 支里間ニ転開シ対戦ヲ決意セル模様ナリ。従テ此ノ入城ハ当分見込ナキ由、小沢君ノ話其ノ俣。

◎2月3日 極寒

【北村修一氏】来訪（2）。広岡君偶々入浴ノタメ在荘中ナリシタメ此レニ依頼セリ。

【佐々木氏情報】ソ兵撤退ハ六月一日迄延期セラル。宗〔宋〕美齡女史来長ノ上決定セル由ナリ。

※宋美齡…1901年生～2003年没（生年は諸説あり）、蒋介石夫人。自らも国民政府要職についたほか、日中戦争期および国共内戦期には対米交渉に貢献した。